# 現場説明書（技術的事項）

工事名称　福山市光交流館改築工事

1　現場の状況

工事場所は、福山市草戸町四丁目 14 番 2 号に位置し、福山市道草戸 27 号線に接しています。

2　別途工事

・電気設備工事
・給排水衛生設備工事
・空気調和設備工事
・ガス設備工事
・カーテン取付工事
・植栽工事

3　福山市週休２日適用工事について

（発注者が指定した工事に該当し実施については ⊙印のついたものを適用する）

⊙　発注者指定型
・　受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休２日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休２日適用工事の実施について）によるものとします。

4　留意事項

(1)　工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。

(2)　工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。また、北側道路は光小学校の児童通学路となっているため、工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。なお、工事現場までの道が狭いため、工事車両通行計画を監督員と協議してください。

(3)　道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。

(4)　工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。

(5)　工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。

(6)　大型車等の搬出入に際しては、必要に応じて交通誘導員を適切に設置した上で徐行運転及び一旦停止を行ってください。

なお、交通誘導員の配置については、１０人を見込んでいます。

(7)　重機作業等作業については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。

なお、騒音・振動計の設置・測定（２台）を見込んでいます。

(8)　高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。

(9)　実施工程表は、契約後１４日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。

(10)　工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください

(11)　木工事で使用する木材は設計図書の指定はもとより、その他の木材についても可能な限り市産材・県産材を使用するよう努めてください。

(12)　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に係る法律（平成１２年法律第１０４号）の対象工事に該当するため、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

(13)　特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。

(14) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。

(15) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。

(16) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

（別紙・発注者指定型）

# 公共建築工事における福山市週休２日適用工事の実施について

１　本工事は、発注者が週休２日に取り組むことを指定する週休２日適用工事である。

２　本工事において「週休２日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。

(1) 完全週休２日（土日）　対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの７日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、１週間に２日以上の現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が７日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、１週間に２日以上の現場閉所等を行っているとみなす。

(2) 月単位の週休２日　対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、４週８休（現場閉所等の割合が28.5%（８日／28日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では４週８休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、４週８休以上であるものとみなす。

３　本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。

(1) 現場閉所　巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(2) 現場休息　分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場作業が無い状態をいう。

(3) 対象期間　工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア　年末年始６日間及び夏季休暇３日間

イ　工場製作のみが行われている期間

ウ　災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

４　受注者は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休２日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。

５　受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

(1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
(2) その他工程の都合上やむを得ない場合

6　受注者は、当該工事が週休２日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。

7　受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月７日（７日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。

8　週休２日を理由とする工期延長については、認めないものとする。

9　受注者は、週休２日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10　経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものする。

なお、発注時点では、月単位の週休２日の経費を見込んでおり、現場閉所等の実績に基づき、完全週休２日（土日）を達成したと認められた場合は、完全週休２日（土日）の補正係数を適用し、月単位の週休２日を達成できなかった場合は、月単位の週休２日の補正係数を除いて、変更契約を行うものとする。

(1) 完全週休２日（土日）

ア　労務費　　1.02

イ　現場管理費　　1.01

(2) 月単位の週休２日

労務費　　1.02

11　週休２日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休２日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

12　計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

# 福山市光交流館改築工事

図　面　リ　ス　ト

| 番号 | 図面名称 | 番号 | 図面名称 | 番号 | 図面名称 |
|---|---|---|---|---|---|
| A-01 | 建築工事特記仕様書　No.1 | A-31 | 天井伏図 | S-01 | 構造設計標準仕様 |
| A-02 | 建築工事特記仕様書　No.2 | A-32 | 建具配置図 | S-02 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） |
| A-03 | 建築工事特記仕様書　No.3 | A-33 | 吹抜部分建具配置図 | S-03 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） |
| A-04 | 建築工事特記仕様書　No.4 | A-34 | 建具表（１） | S-04 | 木造軸組標準仕様書（１） |
| A-05 | 工事区分表 | A-35 | 建具表（２） | S-05 | 木造軸組標準仕様書（２） |
| A-06 | 敷地案内図 | A-36 | 建具表（３） | S-06 | 木躯体工事 標準仕様書（１） |
| A-07 | 配置図・敷地断面図 | A-37 | 建具詳細図（１） | S-07 | 木躯体工事 標準仕様書（２） |
| A-08 | 現況図 | A-38 | 建具詳細図（２） | S-08 | 木躯体工事 標準仕様書（３） |
| A-09 | 敷地面積求積図 | A-39 | 建具詳細図（３） | S-09 | 構造用集成材躯体木工事仕様書 |
| A-10 | 建物求積図 | A-40 | 部分詳細図（１） | S-10 | スリーエスＧ工法 特記仕様書 |
| A-11 | 法規チェック図・法規チェック表 | A-41 | 部分詳細図（２） | S-11 | ボーリング柱状図（１） |
| A-12 | 設計概要・外部仕上表 | A-42 | 部分詳細図（３） | S-12 | ボーリング柱状図（２） |
| A-13 | 内部仕上表 | A-43 | 部分詳細図（４） | S-13 | 柱状改良伏図 |
| A-14 | 平面図 | A-44 | 家具配置図 | S-14 | 基礎伏図 |
| A-15 | 吹抜部平面図 | A-45 | 家具詳細図（１） | S-15 | 基礎詳細図 |
| A-16 | 屋根伏図 | A-46 | 家具詳細図（２） | S-16 | 土台伏図 |
| A-17 | 立面図 | A-47 | 家具詳細図（３） | S-17 | 小屋梁図 |
| A-18 | 断面図 | A-48 | サイン配置図・詳細図 | S-18 | 屋根伏図（１） |
| A-19 | 断面詳細図（１） | A-49 | 外構配置図 | S-19 | 屋根伏図（２） |
| A-20 | 断面詳細図（２） | A-50 | 外構詳細図（１） | S-20 | 柱壁伏図 |
| A-21 | 断面詳細図（３） | A-51 | 外構詳細図（２） | S-21 | 軸組図（１） |
| A-22 | 平面詳細図（１） | A-52 | 屋外雨水排水図 | S-22 | 軸組図（２） |
| A-23 | 平面詳細図（２） | A-53 | 受変電設備架台図（参考図） | S-23 | トラス詳細図（１） |
| A-24 | 平面詳細図（３） | A-54 | 仮設計画図 | S-24 | トラス詳細図（２） |
| A-25 | 平面詳細図（４） | | | | |
| A-26 | 展開図（１） | | | | |
| A-27 | 展開図（２） | | | | |
| A-28 | 展開図（３） | | | | |
| A-29 | 展開図（４） | | | | |
| A-30 | 展開図（５） | | | | |

| 福山市建設局建築部営繕課 | | | 発注 2025年 8月 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 主務 | 課員 | 次長 | 課長補佐 | 営繕課長 | 建築部長 |
| | | | | | |

A2版(71%)
A3版(50%)

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
FAX 084-928-6000　高橋 啓之

| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| | | | A-00 |
| 図面名称 | 図面リスト | 縮尺 | 設計年月日 |
| | | － | 2025年 3月 |

# 福山市建築工事特記仕様書

## Ⅰ 工事概要

1. 工事名称　福山市光交流館改築工事
2. 工事場所　福山市草戸町四丁目１４番２号
3. 用途地域　第一種住居地域
4. 防火地域　・防火地域　・準防火地域　(・)指定なし
5. 工事種別　(・)新築　・増築　・
6. 敷地面積　2,174.10 ㎡
7. 建物概要　木造　平家建て
   1）構造　建築面積　641.00 ㎡
   2）面積　延べ面積　543.65 ㎡

| 床面積 | | | |
|---|---|---|---|
| | 1階 | 543.65 ㎡ | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

3）附属施設
自転車置場　建築面積：15.77 ㎡・床面積：7.89 ㎡
カーポート　建築面積：18.63 ㎡・床面積：12.82 ㎡
倉庫　建築面積：5.43 ㎡・床面積：5.43 ㎡

8. 別途工事
(・)電気設備工事　・昇降機設備工事
(・)給排水衛生設備工事　(・)カーテン取付工事
(・)空気調和設備工事　(・)植栽工事
(・)ガス設備工事　・

※ 本工事の工期は設備工事の工期及び工事検査期間としての１４日を含んでいる。
※ 契約締結後１４日以内に実施工程表を提出する。
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

## Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版（以下「建築改修標準仕様書」という。）による。
電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。
(1) 官公署手続き
受注者は関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）
(2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。
(3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。
2. 特記仕様
(1) 章、項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は(・)印のついたものを適用する。
(・)印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
(・)印と(※)印のついた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「建築標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。
3. 引渡し後、次に示す点検を行う。（○印のついたものを適用する。）
(・)引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後
(・)引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

| 章 | | 項 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 1 一般共通事項 | ① | 適用基準等 | (・)公共住宅建設工事共通仕様書　（令和元年度版）<br>(・)建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和４年版）<br>(・)建築構造設計基準及び同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）<br>(・)建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修<br>(・)建築工事安全施工技術指針　建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達<br>・ 建築改修標準仕様書　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）<br>(・)建築基準法、消防法、その他関係法令<br>(・)高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律への対応<br>(・)建築物移動等円滑化誘導基準（認定） |
| | ② | 監理(主任)技術者 | 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。 |
| | ③ | 工事実績情報の登録 (1.1.4) | ※ 受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。 (1.1.4)<br>登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。<br>請負金額 / 工事受注時：500万円以上 / 登録内容の変更時：契約後10日以内 / 工事完成時：変更契約後10日以内 / 工事完成後10日以内<br>変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合、登録不要）<br>※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。<br>なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要） |
| | ④ | 別契約の関連工事との調整等 (1.1.7) | 施工範囲　「工事区分表」による。<br>関連工事との調整<br>※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。<br>※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。 (1.1.7) |
| | ⑤ | 施工管理 (1.3.1) | 受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。 (1.3.1)<br>※ 施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。） (1.1.5)<br>技術者台帳（施工体制台帳に添付）<br>監理技術者・主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。<br>※ 施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。） |
| | ⑥ | 電気保安技術者 (1.3.3) | (・)適用する　・適用しない (1.3.3) |
| | ⑦ | 施工条件 (1.3.5) | (・)作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮すること。 (1.3.5)<br>(・)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 |
| | ⑧ | 施工中の安全確保 (1.3.7) | (・)労働安全衛生法第３０条第２項の規定に基づく指名　(・)有り　・無し (1.3.7)<br>(・)工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。<br>※低騒音型・低振動型建設機械を使用すること（近隣住民の生活環境の保全の必要性がある場合）<br>(・)本工事は、交通誘導員として 10 人を見込んでいる。<br>交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。 |
| | ⑨ | 発生材の処理 (1.3.11) | ・ 引渡しを要するもの　（　） (1.3.11)<br>・ 現場において再利用を図るもの　（　）<br>※ 再資源化を図るもの<br>(・)アスファルトコンクリート　(・)コンクリート　(・)木材<br>(・)コンクリート及び鉄からなる建設資材<br>※ 上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（以下、「資源有効利用促進法」という）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「廃棄物処理法」という）その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。<br>※ 建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　(財)日本建設情報総合センター<br>本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。<br>また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。<br>搬入：施工計画時＝再生資源利用計画書／工事完了時＝再生資源利用実施書<br>搬出：施工計画時＝再生資源利用促進計画書／工事完了時＝再生資源利用促進実施書<br>※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。<br>なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 |
| | ⑩ | 建築材料等 | 建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。<br>また（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。<br>国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。<br>材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。<br>工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。<br>本工事の施工に当たり、東洋ゴム化工品（株）又はニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、第三者機関による品質を証明する書類を提出するこ。 |
| | ⑪ | 特別な材料の工法 | 建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 |
| | 12 | 技能士 (1.5.2) | 工事別／適用種別／工事別／適用種別 (1.5.2) |
| | ⑬ | 化学物質の濃度測定 (1.5.9) | 受注者は、引渡し前に次の対象物質について室内空気中に含まれる濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。 (1.5.9)<br>対象物質<br>・ ４項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン）<br>(・)５項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン）(注)<br>・ ６項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン）<br>(注) 文部科学省の「学校環境衛生の基準」による。<br>測定方法<br>(※)計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。<br>対象室名　事務室、実習室、小会議室、大会議室、多目的室<br>測定箇所数　５カ所 |
| | 14 | アスベスト含有成形板の処理等 | 処理を行うアスベスト含有成形板の仕様及び部位<br>アスベスト含有成形板の仕様／使用部位<br>・ 石綿スレート<br>・ 石綿セメントけい酸カルシウム板<br>・ その他（　） |
| | ⑮ | 工事及び完成写真 | ※ 事前に施工調査等により広く確認を行う。<br>安全衛生管理<br>※ 石綿作業主任者<br>石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号。以下、「石綿則」という。）に基づき、石綿作業主任者を選定する。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。<br>・ 除去作業者<br>アスベスト含有建材の除去に従事する作業者（以下「除去作業者」という。）は、石綿側に基づく特別の教育を受けた者とする。<br>・ 表示及び掲示<br>作業現場の見やすい場所に、石綿則第34条に基づく掲示をする。<br>除去作業者の呼吸用保護具・保護衣<br>・ 呼吸用保護具（国家検定合格品　・ＲＬ２又はＲＳ２　・　）<br>※ その他の仕様は建築改修標準仕様書による。（建築改修標準仕様書 9.1.5）<br>分類／規格／撮影枚数／提出部数<br>着手前：Ｌ判程度（カラー）／必要に応じた数／1<br>工事中：Ｌ判程度（カラー）／必要に応じた数／1<br>完成時：Ｌ判程度（カラー）２Ｌ判程度（カラー）／各室４面 外景４面／1<br>着手前・工事中写真　(※)Ａ４判印刷、若しくはＡ４判写真帳<br>完成時写真　(※)アルバム（Ａ４判程度）　・写真帳<br>（検査後１４日以内に提出する。）<br>原版の提出　(※)する　（※ 完成時のみ　(・)全て）　・しない<br>（電子データ形式等は、監督員の指示による。） |
| | ⑯ | 完成時の提出図書 (1.7.1～3) | 速やかに次の図書を提出する。<br>(※)竣工図　（(※)完成図　(・)承諾図　(・)施工図　） (1.7.1)<br>(・)Ａ３判を２つ折りにして製本　１部<br>・　部<br>(・)竣工図電子データ　一式（竣工図電子データ作成要領による。）<br>(・)ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督員の指示による。） (1.7.2)<br>(・)保全に関する資料　１部 (1.7.3) |
| 2 仮設工事 | ① | 工事現場仮囲い | ・ナイロンロープ張り　・木製仮囲い　(・)鋼製仮囲い　・ガードフェンス |
| | ② | 監督員事務所 (2.3.1) | ・設ける（　㎡程度）　(・)設けない (2.3.1)<br>・備品等（　） |
| | ③ | 受注者事務所等 (2.3.1) | (・)敷地内へ建てることができる　・ (2.3.1) |
| | ④ | 工事用水 | 構内既存の施設　(・)有償で利用できる（副メーター設置等）<br>・無償で利用できる<br>・利用できない |
| | ⑤ | 工事用電力 | 構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　(・)利用できない |
| | ⑥ | 引渡しまでの光熱水費 | (・)本引込みより引渡しまでの基本料金　※ 受注者負担　・別途<br>(・)本引込みより引渡しまでの使用料金　※ 受注者負担　・別途 |
| | 7 | 安全対策 | ・ |
| | ⑧ | 足場その他 (2.2.4) | (2.2.4)<br>※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(２)手すり据置方式又は(３)手すり先行専用足場方式により行う。 |
| | ⑨ | 現況確認 | (・)工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。 |
| 3 土工事 | ① | 埋戻し及び盛土 (3.2.3) | 種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (表3.2.1) |
| | ② | 建設発生土の処理 (3.2.5) | ※ 構外搬出適切処理（再資源化処理施設へ搬入する）　・構内指示の場所に敷きならし (3.2.5)<br>・構内指示の場所に堆積　・構外指示の場所に処分<br>処分先<br>※ 搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等（原本）を監督員に提出する。 |
| 4 地業工事 | | | 特記仕様書（構造関係）による |
| 5 鉄筋工事 | | | 特記仕様書（構造関係）による |
| 6 コンクリート工事 | | | 特記仕様書（構造関係）による |
| 7 鉄骨工事 | | | 特記仕様書（構造関係）による |
| 8 CB・ALCパネル・押出成形セメント板工事 | 1 | コンクリートブロック (8.2.2) (8.3.2～3) | ブロックの種類及び厚さ　※ 空胴ブロック16 (8.2.2) (8.3.2)<br>・ 空胴ブロック16-Ｗ　・ 空洞ブロック08<br>種類・厚さ／適用箇所<br>各部の配筋<br>※ 図示による　・ (8.3.3) |
| | 2 | ＡＬＣパネル (8.4.2～7) | ＡＬＣパネルの種類等 (8.4.2～7) (表8.4.2～4)<br>種類／厚さ(mm)／単位荷重(N/m2)／耐火性能／工法種別<br>・外壁用／・間仕切用／・屋根用／・床用／耐火性能 30分／工法種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 ・Ｆ種 ・Ｆ種<br>外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能　※ 図示による<br>伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない |
| | 3 | 押出成形セメント板(ＥＣＰ) (8.5.2～5) | 押出成形セメント板の種類等 (8.5.2～5) (表8.5.1～2)<br>表面形状／厚さ(mm)／耐火性能／取付工法の種別<br>・外壁：※ フラットパネル／・ デザインパネル(図示)／・Ａ種 ・Ｂ種<br>・間仕切壁：※ フラットパネル／・ デザインパネル(図示)／・Ｂ種 ・Ｃ種<br>外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能　※ 図示による<br>製造所 |
| 9 防水工事 | 1 | アスファルト防水 (9.2.2) | (9.2.2)(表9.2.1～表9.2.10)<br>種別／施工場所<br>・ 屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）<br>材質及び種類　※ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き）(JIS A 9521（建築用断熱材）)<br>厚さ・　mm<br>・ 屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）<br>材質　※　発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材（JIS A 9521）<br>種類・<br>厚さ・　mm<br>防水立上り部の保護　種類・<br>※ 乾式保護材　製造所　評価名簿による<br>屋根露出防水絶縁工法の脱気装置<br>・ 設けない<br>※ 設ける　種類・平場部脱気型・立上り部脱気型<br>設置数　箇所 |
| | 2 | 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～3) | (9.3.2～3)(表9.3.1～3)<br>種別／施工場所 |
| | 3 | 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～4) | (9.4.2～4)(表9.4.1～2)<br>種別／厚さ／仕上げ塗料／施工場所 |
| | 4 | 塗膜防水 (9.5.2～4) | (9.5.2～4)(表9.5.1)<br>種別／仕上げ塗料／施工場所<br>脱気装置（種別Ｘ－１）<br>種類　※製造所の仕様による　・<br>設置数量　※製造所の仕様による　・　箇所 |
| | 5 | ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1～3) | (9.6.1～3)(表9.6.1～2)<br>種別／施工場所<br>※ C-UI／・ C-UP |
| | 6 | 漏水試験 | ※屋内については水張り試験を行う。 |

記号・略号

（一般）
BM……ベンチマーク
GL……基準地盤面
FL……基準床面
W……内法巾
H……内法高
UP……上がる
DN……下がる
PS……パイプスペース
DS……ダクトスペース
EV……エレベータ

（構造材料）
SRC……鉄骨鉄筋コンクリート
RC……鉄筋コンクリート
PC……プレキャストコンクリート
ALC……軽量気泡コンクリート
CB……コンクリートブロック
S……鉄（鋼）
W……木
LGS…軽量形鋼

（建具）
AD……アルミ製ドア
AW……アルミ製窓
AG……アルミ製ガラリ
SD……鋼製ドア
SW……鋼製窓
SG……鋼製ガラリ
SS……鋼製シャッター
STD…ステンレス製ドア
STW…ステンレス製窓
STG…ステンレス製ガラリ
STS…ステンレス製シャッター
WD……木製ドア
WW……木製窓
WG……木製ガラリ
F……ふすま
TD……強化ガラス製ドア
TW……強化ガラス製窓
AL……アルミ製リンググリルシャッター
SL……鋼製リンググリルシャッター
STL…ステンレス製リンググリルシャッター
SP……鋼製間仕切

（左官関係）
（薄付け仕上塗材）
外装薄塗材Ｅ…外装合成樹脂エマルション系
内装薄塗材Ｅ…内装合成樹脂エマルション系
（厚付け仕上塗材）
外装厚塗材Ｅ…外装合成樹脂エマルション系

（塗装関係）
SOP…合成樹脂調合ペイント
CL……クリアラッカー
NAD…アクリル樹脂系非水分散形塗料
DP……耐候性塗料
EP－G…つや有合成樹脂エマルションペイント
EP……合成樹脂エマルションペイント
EP－T…合成樹脂エマルション模様塗料
UC……ウレタン樹脂ワニス
LE……ラッカーエナメル塗り
OS……オイルステイン
WP……木材保護塗料

| 変更年月日・変更事項 | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号<br>TEL 084-920-9123<br>FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士<br>（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）<br>高橋 啓之 | A2版(71%) A3版(50%)<br>工事名称：福山市光交流館改築工事<br>図面番号：A-01<br>図面名称：建築工事特記仕様書 No.1<br>縮尺：－<br>設計年月日：2025年 3月 |
|---|---|---|---|

## ⑨ 防水工事

### ⑦ シーリング用材料 (9.7.2)

(表9.7.1)

| 被着体の組合せ | | | シーリング材の種類 JIS A5758 記号 | 主成分による区分 |
|---|---|---|---|---|
| 金属 | 金属 | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | コンクリート | | | |
| | ガラス | | SR－1 | シリコーン系 |
| | 石、タイル | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | ALC (注)1 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| | 押出し成形セメント板 | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| 樹脂製建具 | 樹脂製建具 | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | コンクリート | | | |
| | ガラス | | SR－1 | シリコーン系 |
| | 石、タイル | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | ALC (注)1 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| | 押出成形セメント板 | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| ガラス | ガラス | | SR－1 | シリコーン系 |
| 石 | 石 | 外壁乾式工法の目地 | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | | 上記以外の目地 | PS－2 | ポリサルファイド系 |
| コンクリート | プレキャストコンクリート | | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | 打継目地 | 仕上げなし | PS－2 | ポリサルファイド系 |
| | ひび割れ誘発目地 (注)1 | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| | 石、タイル | | PS－2 | ポリサルファイド系 |
| | ALC (注)1 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| | 押出し成形 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | セメント板 (注)1 | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| ALC | ALC (注)1 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| 押出し成形セメント板 | 押出し成形 | 仕上げなし | MS－2 | 変成シリコーン系 |
| | セメント板 (注)1 | 仕上げあり | PU－2 | ポリウレタン系 |
| 水回り | 浴室、浴槽 | | | |
| | キッチン、キャビネット回り | | SR－1 | シリコーン系 (注)2 |
| | 洗面、化粧台回り | | | |
| タイル | タイル（伸縮調整目地） | | PS－2 | ポリサルファイド系 |
| アルミニウム製建具等の工場シール | | (注)4 | | |

(注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。なお、仕上げを行わない場合は特記による。
2. 被着体がALCパネルの場合に用いるシーリング材は、JIS A 1439（建築用シーリング材の試験方法）に基づく養生後の引張接着性試験における50%引張応力が0.2N／mm²以下の製品を使用する。
3. 防かびタイプの１成分形シリコーン系とする。
4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。
5. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。
6. 外壁壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(4)による。

### ⑧ シーリング材の試験 (9.7.5)

接着性試験　※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　(9.7.5)

## 10 石工事

### 1 天然石 (10.2.1～2)

・石材の品質　床　※２等品　・　(10.2.1)
その他　※１等品　・

・石材の種類及び表面仕上げ (10.2.1)(10.2.2)

| 施工箇所 | 種類・産地・名称 | 厚さ | 仕上げの種類 | 工法 |
|---|---|---|---|---|
| ・ | | | | |
| ・ | | | | |
| ・ | | | | |
| ・ | | | | |

建築基準法に基づき定められた風速（V0）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分
※図示による　・適用しない

### 2 取付け金物 (10.2.2)

乾式工法用金物式　・スライド方式　・ロッキング方式　(10.2.2)(表10.2.4)

### 3 その他の材料 (10.2.3)

・石裏面処理材　(　)　(10.2.3)
・張打ち処理材　(　)
・ドレンパイプの材質　(　)
・金物固定充填材料　(　)
・浸透性吸水防止剤　※図示による
・専門工事業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督員に提出する

## ⑪ タイル工事

### ① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)

⊙外壁の伸縮調整目地　(11.1.3)
・図示による　※表11.1.1による。
※ 下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。

### 2 施工後の確認及び試験 (11.1.7)

※ 打診による確認　(11.1.7)
※屋外のタイル張り及び吹抜け部分　・（　）

・ 引張接着試験　※行う　⊙行わない

### 3 セラミックタイル張り (11.1.2～4) (11.2～3.7)

タイルの種類　※標準色　・特注色　(11.1.2～1.4)
役物使用箇所　※各部の形状は図示による

| | |
|---|---|
| 内　装 | 出隅　天端　（標準一体成型品以外は接着成型品とする） |
| 外　装 | 出隅、窓台、マグサ |

タイルの試験張り　※行わない　・行う（　）
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（　）

・下地コンクリート素地面　(11. 2～3. 7)

| 適用タイル | 躯体表面 | 下地モルタル塗り | 工法 |
|---|---|---|---|
| ・小口タイル<br>・二丁掛タイル | ・ＭＣＲ工法<br>・目荒し工法<br>（高圧水洗） | ※ポリマーセメント<br>・モルタル下塗り<br>・行わない | ※密着工法<br>・改良圧着張り<br>・接着剤張り |

ＭＣＲ工法
ＭＣＲ工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。
施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。
目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、５０Ｎ／mm²の水圧で２．５分／㎡とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。
施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。
ポリマーセメントモルタルの調合は、15.2.3(4)による。

## ④ セメントモルタルによるセラミックタイル張り (11.2.5)

・タイル張りの種類　工法　(表11.2.2)

| | 施工箇所 | 形状（mm） | きじ | うわぐすり | 工法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 壁 | | | | | ※ 密着張り |
| | | | | | ・改良積上げ張り |
| | | | | | ・改良圧着張り |
| | | | | | ・ユニットタイル |
| 床 | ポーチ・風除室 | 300×300 | 磁器 | なし | ・ユニットタイル |
| | | | | | ⊙その他のタイル |

## ⑤ 接着剤によるセラミックタイル張り (11.3.1～2)

(11.3.1)(11.3.2)

| 施工箇所 | 形状（mm） | きじ | うわぐすり | その他 |
|---|---|---|---|---|
| ポーチ・風除室（壁） | 異形状ネット | BI | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

有機質接着剤の種類　(11.3.3)
・タイプⅠ　・タイプⅡ　・その他（　）
※F☆☆☆☆　・

## ⑫ 木工事

### ① 適用基準等

※「建築標準仕様書」12.1.1　：内装の木下地，木造作及び木仕上げの工事
⊙ 木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：軸組工法等の木造建築工事に適用
・ 住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書（最新版）の木造躯体工事
⊙ 福山市公共建築物等木材利用促進方針

### ② 寸法

図面上の寸法は構造材はひき立て寸法、造作材は仕上り寸法とする。

### ③ 表面仕上げ (12.1.4)

見え掛り面の表面仕上げ　(12.1.4)
見え掛り面の表面仕上げ程度は、プレーナー加工のうえ、超自動機械かんな、サンダー等により、使用箇所、樹種、仕上げ等に適したものとする

### ④ 木材の含水率 (12.2.1.4)

下地材　※Ａ種　・Ｂ種　(12.2.1.4)(表12.2.1)
造作材　※Ａ種　・Ｂ種
（ただし、５～８項で含水率が規定されているものは、その規定による）

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆（※１）　・
※１：F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、
塗装していないものは「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」
塗装したものは「非ホルムアルデヒド系接着剤及び
ホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」
化粧加工したものは「非ホルムアルデヒド系接着剤及び
ホルムアルデヒドを放散しない材料使用」

### ⑤ 製材

「製材の日本農林規格」による製材
⊙下地用針葉樹製材　樹種，寸法，等級，形状（耳付材・押角），含水率，保存処理，表面の材質

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 形状（耳付材・押角） | 含水率 | 保存処理 | 表面の材質 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 壁下地 | 杉 | 図示 | ・１級 ※２級 | 押角 | １５％以下 | Ｋ１ | ２級 |
| 天井下地 | 杉 | 図示 | ・１級 ※２級 | 押角 | １５％以下 | Ｋ１ | ２級 |
| 破風等下地 | 杉 | 図示 | ・１級 ※２級 | 押角 | １５％以下 | Ｋ２ | ２級 |
| | | | ・１級 ※２級 | | ％以下 | | |

⊙材料の地域産の指定　⊙有（　樹種：　杉材　、地域：広島県産　）　・無

⊙造作用針葉樹製材　樹種，寸法，等級，形状（板類・角類），含水率，保存処理，材面の品質

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 形状（板類・角類） | 含水率 | 保存処理 | 表面の材質 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 見切巾木 | 杉 | 図示 | ・無節 ※上小節<br>・小節 | 板類 | １５％以下 | | |
| 建具枠額縁 | 杉 | 図示 | ・無節 ※上小節<br>・小節 | 板類 | １５％以下 | | |
| 羽目板 | 杉 | 図示 | ・無節 ※上小節<br>・小節 | 板類（本実加工） | １５％以下 | | |
| 中段・枕棚 | 杉 | 図示 | ・無節 ※上小節<br>・小節 | 板類 | １５％以下 | | |

⊙材料の地域産の指定　⊙有（　樹種：　杉材　、地域：広島県産　）

・広葉樹製材　樹種，寸法，等級，含水率，保存処理，材面の品質

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 表面の材質 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・特等 ※１等 ・２等 | ※10%以下 | | |
| | | | ・特等 ※１等 ・２等 | ※10%以下 | | |
| | | | ・特等 ※１等 ・２等 | ※10%以下 | | |
| | | | ・特等 ※１等 ・２等 | ※10%以下 | | |

「製材の日本農林規格」以外による製材
・下地，造作及び仕上げに用いる製材　樹種，寸法，材面の品質，防虫処理，含水率

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ・ %以下 |
| | | | | | ・ %以下 |
| | | | | | ・ %以下 |
| | | | | | ・ %以下 |

・造作材の材面の品質　※Ａ種　・Ｂ種　(表12.2.2)

樹種

| 区分 | 樹種 |
|---|---|
| 下地材<br>壁・天井下地<br>畳下・下張り用床板等 | ⊙杉　・松　・（　） |
| 造作材 | ⊙杉　・松　・ひのき　・（　） |

## ⑥ 造作用集成材 (12.2.1.3)

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1.3)
⊙造作用集成材　単材の樹種及び厚さ

| 施工箇所 | 樹種名 | 単材の厚さ（mm） | 施工箇所 | 樹種名 | 単材の厚さ（mm） |
|---|---|---|---|---|---|
| ｶｳﾝﾀｰ | ｶﾊﾞ | 図示 | | | |
| ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | 杉 | 図示 | | | |

⊙材料の地域産の指定　⊙有（　樹種：　杉材　、地域：広島県産　）　・無

⊙化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 見付け材面の品質 | 芯材の樹種名 | 化粧薄板の樹種名 | 化粧薄板の厚さ（mm） |
|---|---|---|---|---|
| 柱 | ※１等 | | 杉 | ※１．０以上 |
| かも居、なげし、廻縁 | ※１等 | | 杉 | ※０．６以上 |
| 天井板 | ※１等 | | 杉 | ※０．２以上 |
| 敷居 | ※１等 | | | ※１．５以上 |
| カウンター | ー | | メラミン樹脂化粧板 | ※１．０以上 |

・化粧ばり構造用集成材

| 施工箇所 | 芯材の樹種名 | 化粧薄板の樹種名 | 化粧薄板の厚さ（mm） |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・造作用集成材　単材の樹種及び厚さ

| 施工箇所 | 見付け材面の品質 | 樹種名 | 単材の厚さ（mm） | 含水率 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ※15%以下 |
| | | | | ※15%以下 |
| | | | | ※15%以下 |

・化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 見付け材面の品質 | 芯材の樹種名 | 化粧薄板の樹種名 | 化粧薄板の厚さ(mm) | 含水率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ※15%以下 |
| | | | | | ※15%以下 |
| | | | | | ※15%以下 |

・化粧ばり構造用集成柱

| 施工箇所 | 見付け材面の品質 | 芯材の樹種名 | 化粧薄板の樹種名 | 化粧薄板の厚さ(mm) | 含水率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ※15%以下 |
| | | | | | ※15%以下 |
| | | | | | ※15%以下 |

## ⑦ 造作用単板積層材 (12.2.1.4)

「JAS0701」に規定する造作用単板積層材　(12.2.1.4)
・単板積層材

| 施工箇所 | 表面の品質 | 防虫処理 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

「JAS0701」に規定するもの以外の造作用単板積層材
・単板積層材

| 施工箇所 | 表面の品質 | 防虫処理 | 含水率 |
|---|---|---|---|
| | | | ※14%以下 |
| | | | ※14%以下 |

## ⑧ 直交集成材 (12.2.1.5)

「JAS 3079」に規定する直交集成板
・直交集成材

| 品名 | 曲げ強度（強度等級） | 種別 | 接着性能（使用環境） | 樹種名 | 寸法 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

## ⑨ 合板等 (12.2.1.6)

「合板の日本農林規格」による下地用合板
・普通合板

| 厚さ（mm） | 接着の程度 | 表面の品質 |
|---|---|---|
| ※５．５ | ※１類　・２類 | ・１等　※２等 |
| ⊙１２ | ※１類　・２類 | ・１等　※２等 |

・構造用合板

| 厚さ（mm） | 接着の程度 | 表面の品質 |
|---|---|---|
| ※１２ | ・特類　※１類 | ※Ｃ－Ｄ　・ |
| ⊙９、２４ | ⊙特類 | ※Ｃ－Ｄ　・ |

その他合板
⊙「JIS A 5908」によるパーティクルボード

| 厚さ（mm） | 耐水性 | 曲げ強さ |
|---|---|---|
| ※１５ | ・Mﾀｲﾌﾟ　・Pﾀｲﾌﾟ | ・18ﾀｲﾌﾟ　※13ﾀｲﾌﾟ　・8ﾀｲﾌﾟ |
| ⊙２０ | ⊙Mﾀｲﾌﾟ | ⊙18ﾀｲﾌﾟ |

・「JAS 036D」による構造用パネル

| 厚さ（mm） | 寸法 | |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

・「JIS A 5905」によるミディアムデンシティファイバーボード（MDF）

| 厚さ（mm） | 耐水性 | 曲げ強さ |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

## ⑩ 接合具等 (12.2.2.1～3)

釘　湿潤状態となる場所　※ステンレス製　(12.2.2.1)
それ以外の場所　※表面処理された鉄製
木ねじ　※ステンレス　・
諸金物　※亜鉛めっき品　・　(12.2.2.2)
接着剤　ホルムアルデヒドの放散量　※　F☆☆☆☆　(12.2.2.3)

## ⑪ 防腐・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.1.7～ｴ)

・防腐，防蟻処理が不要な樹種による製材　(12.3.1)
適用部位　（　）
⊙薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　(12.3.1.7)

| 適用部位 | 保存処理性能区分 |
|---|---|
| 柱・土台 | ・Ｋ２　⊙Ｋ３　・Ｋ４ |
| | |

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　(12.3.1.4)

| 適用部位 | 処理の方法 |
|---|---|
| | ※特記なき場合は、薬剤の製造所の仕様による。 |
| | |

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　(12.3.1.ｳ)
適用部位　（　）
⊙合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理　(12.3.1.ｴ)
保存処理性能区分　⊙Ｋ３　・（　）

## ⑫ 防虫処理 (12.3.2)

⊙行う（ＪＡＳ保存処理の性能区分Ｋ１）　・行わない　(12.3.2)

## 13 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造等の内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1)

間仕切軸組に用いる木材　(・杉　・松　)　(12.4.1)
床組に用いる木材　(・杉　・松　・　)

## ⑭ 窓、出入口その他 (12.5.1)

窓，出入口その他に用いる木材　(12.5.1)
吊元枠，水掛りの下枠及び敷居　(・ひのき　⊙杉　)
その他　(・松　⊙杉　・　)

## 15 床板張り (12.6.1)

縁甲板及び上がりがまちに用いる木材　(・ひのき　・　)　(12.6.1)

## ⑯ 壁及び天井下地 (12.7.1)

木材　(⊙杉　・松　・　)　(12.7.1)

## ⑬ 屋根及びとい工事

### ① 長尺金属板葺 (13.2.2～3)

形式　⊙立て平葺　・心木なし瓦棒葺　・横葺　(13.2.2～3)
種類　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25）　(表13.2.1)
・ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯（Ａ種、ＳＧ）
・塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)(CZACCR-20)
※ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)(CGLCCR-20-AZ)JISG3322
⊙ ＳＧＬ鋼板（CGLCCR-20-AZ）JISG3332
鋼板の厚さ（mm）
一般部　※ 0.4　⊙ 0.5　・　谷 部　※ 0.4　⊙ 0.5　・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 図示による　・
下葺材料　⊙アスファルトルーフィング９４０　・改質アスファルトルーフィング下葺材

### 2 折板葺 (13.3.2～3)

材種　※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25）　(表13.2.1)
・ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯（Ａ種、ＳＧ）
・塗装溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)(CZACCR-20)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)
・
種類　山高　㎜　山のピッチ　㎜　(13.3.2)
厚さ　㎜
形による区分　※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
タイトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。
建築基準法に基づき定まる耐風圧に対応した工法　(13.3.3)
※ 図示による　・

### ③ とい

軒どい　⊙ガルバリウム鋼板製　(13.5.2)
たてどい　⊙ガルバリウム鋼板製
とい受け金物　※ 亜鉛めっき　・ ステンレス（ＳＵＳ304）
足 金 物　※ 溶融亜鉛めっき　・ ステンレス（ＳＵＳ304）

### 4 ルーフドレン

型式（　）
※ 打込み　・ 後付け

### 5 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2.3) (13.5.3)

防露巻き仕様　・
防露部
高さ（mm）　床　※１５０
天井　※ ３０
防露材　防露材のホルムアルデヒドの放散量　(13.5.2.3)(表13.5.3)
※ F☆☆☆☆　・
屋内見え掛りの場合　(13.5.3)
※屋内床：ステンレス鋼板幅木（厚0.2mm）、天井取合い部：廻り縁
防露を行わない場合
※ステンレス製シーリングプレートを取り付ける（床、天井共）

## ⑭ 金属工事

### 1 あと施工アンカー (14.1.3)

引抜き耐力の確認試験　※ 引張試験機による試験　・　(14.1.3)
設計用基準強度　N／本

### ② ステンレス

| 種類 | 表面仕上げの種類 | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ⊙ＳＵＳ304 | ※ＨＬ（ＪＩＳ） | 手摺・３方枠 |
| ・ＳＵＳ304 | ・鏡面 | |
| ・ | | |

### 3 アルミニウム及びアルミニウム合金 (14.2.1)

(14.2.1)(表14.2.1)

| 表面処理の種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・ | |
| ・ | |
| ・ | |

皮膜の品質試験　・行う　※行わない（試験成績書の提出）

### 4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)

(14.2.2)(表14.2.2)

| 種別 | 施工箇所 | 種別 | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

### 5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4.8)

野縁などの種類（ＪＩＳ Ａ 6517）　(14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※19形　・25形　屋外　・19形　※25形
・天井のふところが1.5m以上の補強　(14.4.4.8)

| 適用箇所 | 仕様 | 適用箇所 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

・耐震性を考慮した補強　(14.4.4.8)

| 適用箇所 | 仕様 | 適用箇所 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

・屋外における耐風圧性を考慮した補強　(14.4.4.8)

| 適用箇所 | 仕様 | 適用箇所 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

・特定天井
適応箇所、仕様　※図示による

### 6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)

スタッド、ランナーの種類（ＪＩＳ Ａ 6517）　(14.5.3)(表14.5.1)
・50形　・65形　・90形　・100形

---

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
高橋 啓之

工事名称　福山市光交流館改築工事
図面名称　建築工事特記仕様書　No.2

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号　A-02
縮尺　－
設計年月日　2025年 3月

## 左官工事

7 金属成形板張り (14.6.2～3)

| 種別 | アルミスパンドレル（既製品） | |
|---|---|---|
| 製法 | ・押出し形材　・板曲げ | |
| 寸法（mm） | 板幅<br>板厚 | |
| 形状 | | |
| 表面処理 | | |
| 伸縮継手 | ※設けない　・設ける（場所は図示） | |

8 アルミニウム製笠木 (14.7.2～3)
※押出形材　・曲げ材 (14.7.2～3)(表14.7.1)
部材の種類　・250形（呼称肉厚は1.6以上）
・300形（呼称肉厚は1.8以上）
・350形（呼称肉厚は2.0以上）
表面処理　種別（　　）種　・
笠木等の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 図示による　・

## 左官工事

1 ラス系下地 (15.2.4)
※図示による。 (15.2.4)
2 せっこうボード、その他のボード下地 (15.2.5)
材料 (15.2.5)
せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　種類（　）　厚さ（　mm）
せっこうラスボード　種類（　）　厚さ（　mm）
木質系セメント板　種類（　）　厚さ（　mm）
3 こまい下地 (15.2.6)
建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり (15.2.6)
4 木ずり下地 (15.2.7)
材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の材種　※杉（心去り材）　・
5 モルタル塗り (15.3.2～5)
材料 (15.3.2)
モルタル
・現場調合材料　・既調合材料
吸水調整材の品質　※表15.3.2による
既製目地材料　・使用しない　・使用する
形状、寸法　（　）
床目地　・設ける（工法　※押し目地　・　）　・設けない (15.3.5)
外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験　・行う　・行わない
(15.5.2)(表15.5.1)

6 セルフレベリング材塗り (15.5.2)

| 種類 | 厚さ（mm） | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ⊙セメント系 | ※ 10 ・ | 図示 |
| ・せっこう系 | ※ 10 ・ | |

7 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
材料 (15.6.2.1)
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・
・薄付け仕上塗材 (15.6.2)(表15.6.1)

| 種類 | 仕上げの形状 | 工法 | 吸放湿性 |
|---|---|---|---|
| ・外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状<br>・ | ・吹付け | |
| ・内装薄塗材Ｅ | ・砂壁状じゅらく | ・吹付け | ・適用する<br>・適用しない |
| ・可とう形外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状 | ・吹付け | |
| ・ | ・ | ・ | |

・厚付け仕上塗材 (15.6.2)(表15.6.1)

| 種類 | 仕上げの形状 | 工法 | 吸放湿性 | 上塗材 |
|---|---|---|---|---|
| ・外装厚塗材Ｅ | ・吹放し<br>・凸部処理 | ・吹付け | | ・行う<br>・行わない |
| ・内装厚塗材Ｅ | ・吹放し<br>・凸部処理 | ・吹付け | ・適用する<br>・適用しない | |
| ・ | ・ | ・ | | |

・複層仕上塗材 (15.6.2)(表15.6.1)

| 種類 | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・複層塗材Ｅ | ・凹凸状 | ※吹付け | ※水系 | ※ｱｸﾘﾙ系 | ※つやあり |
| ・複層塗材ＣＥ | ・凸部処理 | ・ﾛｰﾗｰ | ・溶剤系 | ・ｶﾞﾗｽﾘﾝﾀﾝ系 | ・つやなし |
| ・可とう形複層塗材ＣＥ | ・ゆず肌状 | | ・弱溶剤系 | ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 | ・ﾒﾀﾘｯｸ |
| ・複層塗材Ｓｉ | | | | ・ふっ素系 | |
| ・複層塗材ＲＥ | | | | ・ｼﾘｶ系 | |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

複層仕上塗材の耐候性　※耐候形３種　・ (15.6.2)

・軽量骨材仕上塗材 (15.6.2)(表15.6.1)

| 種類 | 仕上げの形状 | 工法 |
|---|---|---|
| ・吹付用軽量塗材 | ・砂壁状 | ・吹付け |
| ・こて塗用軽量塗材 | ・平たん状 | ・こて塗り |

8 マスチック塗材塗り (15.7.2)
種別　・Ａ種　・Ｂ種 (15.7.2)
9 しっくい塗り
※図示による (15.10.1)(15.10.2)(15.10.3)(15.10.4)(表15.10.1～表15.10.5)
10 こまい壁塗り
※図示による (15.11.2～5)(15.11.7～8)(表15.11.9)
11 ロックウール吹付け (15.12.2)
ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ (15.12.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・
仕上げ吹付け厚さ(mm)　・ 図示による　・ 25mm

## 建具工事

1 防火戸の指定 (16.1.3)
※ 図示による (16.1.3)
2 見本の製作等 (16.1.4)
建具見本の製作　・ 製作する（図示）　※ 製作しない
特殊な建具の仮組　・ 行う（図示）　※ 行わない (16.1.4)
建具の製作所　※ 監督員の承諾する製作所
3 アルミニウム製建具 (16.2.2～16.2.5)
性能及び構造 (16.2.2～16.2.5)(表16.2.1)(表16.2.2)
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級
・コンクリート系下地及び鉄骨下地

| 性能項目<br>種別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠の見込み寸法 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ａ種 | ※ Ｓ－４ | ※ Ａ－３ | ※ Ｗ－４ | 70mm（注） |
| ・Ｂ種 | ※ Ｓ－５ | | ※ Ｗ－５ | |
| ・Ｃ種 | ※ Ｓ－６ | ※ Ａ－４ | ※ Ｗ－５ | （　mm） |

（注）引違い・片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、100mmとする。

## 建具工事

⊙木下地

| 種別<br>性能項目 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠の見込み寸法 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ｄ種 | ※ Ｓ－２ | ※ Ａ－３ | ※ Ｗ－３ | （　mm） |
| ⊙Ｅ種 | ※ Ｓ－３ | ※ Ａ－３ | ※ Ｗ－３ | （　mm）⊙ 図示 |

耐風圧性は取付高さに適応したものとする。

| | | |
|---|---|---|
| 表面処理 | ・外部 | ・Ｂ－１種　・ |
| | ・内部 | ・Ｃ－１種　・ |

着色の色合　・ アンバー　・ ブロンズ　・ ブラック系　・ステンカラー
・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　※ 図示による　・
・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　※ 図示による　・

表面処理 (16.2.4)
外部に面する建具　種別　・BB-1種　・BB-2種 (表14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
屋内の建具　種別　・BC-1種　・BC-2種 (表14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
ステンレス鋼板の種類　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1　・ (16.2.3)(16.6.3)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.2.4)(16.4.4)
結露水の処理方法　※図示による　・ (16.2.4)
水切り板、ぜん板　※図示による　・ (16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.2.5)

4 網戸 (16.2.3)
防虫網　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　※ 合成樹脂製 ⊙ ステンレス製 (16.2.3)
線径　※0.25mm以上　・
網目　※16～18メッシュ　・
防鳥網　・ ステンレス製　径1.5mm　ピッチ15mm

5 樹脂製建具 (16.3.2～16.3.5)
性能及び構造 (16.3.2～16.3.4)(表16.3.1)(表16.3.2)
外部に面する樹脂製建具の性能等級
・コンクリート系下地及び鉄骨下地

| 種別<br>性能項目 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠の見込み寸法 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ａ種 | Ｓ－４ | Ａ－４ | Ｗ－４ | |
| ・Ｂ種 | Ｓ－５ | | Ｗ－５ | |
| ・Ｃ種 | Ｓ－６ | | | |

・木下地

| 種別<br>性能項目 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠の見込み寸法 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ｄ種 | Ｓ－２ | Ａ－４ | Ｗ－３ | （　mm） |
| ・Ｅ種 | Ｓ－３ | | | |

・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　※ 図示による　・
・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　※ 図示による　・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
ガラス　※複層ガラス　・　・ (16.3.3)
表面色　・標準色　・特注色 (16.3.4)
水切り板、ぜん板　・図示による　・ (16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

6 鋼製建具 (16.4.2～6)
・ 簡易気密型ドアセット　気密性、水密性の等級　・ 標準仕様書　表16.4.1よる (16.4.2)
・ 建具表による
外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６ (表16.2.1)
・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　※ 図示による　・
・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　※ 図示による　・
・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級　※ 図示による　・
ステンレス鋼板の種類　※SUS304、SUS430J1L,J1L又はSUS443J1　・ (16.4.3)(16.6.3)
点検口の類のくつずりの材料　・ (16.4.3)
鋼板類の厚さ　(W)以下の場合　※ 表16.4.2による　・ (16.4.4)
(W)を超える場合　※ 図示による　・
(W)１枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm (16.4.4)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.4.6)
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による。）
・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による。）・

7 鋼製軽量建具 (16.5.2～6)
・ 簡易気密型ドアセット　気密性の等級　・Ａ－３ (16.5.2)
・ 建具表による。
・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　※ 図示による　・
・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　※ 図示による　・
・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級　※ 図示による　・
鋼板　・ 鋼板（16.5.3.1.7）・ ビニル被膜鋼板　・ カラー鋼板　・ ステンレス鋼板 (16.5.3)
召合せ、縦小口包み板、押縁　※ 鋼板（16.5.3.1.7）　・ (16.5.3)
鋼板類の厚さ　(W)以下の場合　※ 表16.5.1による　・ (16.5.4)
(W)を超える場合　※ 図示による　・
(W)１枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.5.4)(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による。）
・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による。） (16.5.6)

8 ステンレス製建具 (16.6.2～5)
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　・建具表による　・ (16.6.2)
外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６ (表16.2.1)(16.6.2)
・ 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　※ 図示による　・
・ 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　※ 図示による　・
・ 耐震ドアセット、面内変形追従性の等級　※ 図示による　・
ステンレス鋼板　※ SUS304、SUS430J1L,J1L又はSUS443J1　・ (16.6.3)
表面の仕上げ　※ ＨＬ　・ (16.6.4)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ＨＬ　・ (16.6.4)(16.4.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ (16.6.5)

9 木製建具 (16.7.2～4)
建具材の含水率　※ Ａ種　・ Ｂ種 (16.7.2)(表16.7.1)
接着材のホルムアルデヒド放散量　※ Ｆ☆☆☆☆　・ (16.7.2)
枠、くつずりの材料　・建具表による　・ (16.7.2)
⊙フラッシュ戸　表面材の合板の種類 (16.7.2)(16.7.2)
・普通合板　・天然木化粧合板　⊙特殊加工化粧合板　（接着の程度、板面の品質は16.7.2による）
・ＭＤＦ（表裏面の状態、曲げ強さ、接着材、難燃性による区分は図示による。）
表面材の材料のホルムアルデヒド放散量　※標準仕様書16.7.2(4)(a)による　・ (16.7.3)
表面板の厚さ　※標準仕様書表16.7.6による　・ (16.7.4)
引戸の定規縁　・召し合わせかまちをいんろう付きとする　・ (16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)
⊙かまち戸　かまち樹種、鏡板樹種、見込み寸法は図示による (16.7.2)(表16.7.3)(16.7.3)
・ふすま　種別、工法、上張り、縁仕上、見込み寸法は図示による（表16.7.7）(16.7.4)(表16.7.10)
(16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)
・戸ぶすま　表面材の種類、品質等、見込み寸法は図示による (16.7.3)(表16.7.7)
・紙張り障子　見込み寸法は図示による

10 建具用金物 (16.8.1～4)
建具表による (16.8.1～4)(表16.8.1～4)
見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。
鍵箱　⊙ 設ける（ 30　個用）　・ 設けない　⊙ 鍵札
マスターキー　⊙ 製作する（ 3　組）　・ 製作しない　・ 既存マスター合わせ

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。
※ 扉にラッチ受座用切込開口補強　・ 枠に解錠機構用切込開口補強

## 建具工事

11 自動ドア開閉装置 (16.9.2)
戸の開閉方式　⊙図示による　・ (16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能 (16.9.2)
駆動装置の性能　※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.1による　・
防錆の適用　・適用する　・適用しない
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能　※標準仕様書表16.9.1による　・
防錆の適用　・適用する　・適用しない
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.3による　・
防錆の適用　・適用する　・適用しない
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4による (16.9.2)
種類⊙光線(反射)センサー　・熱線センサー　・音波センサー　・光電センサー　・電波センサー
・タッチスイッチ(・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ)　・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ(・大形(開・閉)押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ)
凍結防止措置　・適用する　・適用しない (16.9.2)

12 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)
性能　※ 標準仕様書　表16.10.1による　・図示による (16.10.3)

13 重量シャッター (16.11.2～3)
シャッターの種類　・ 管理用シャッター　・ 外壁用防火シャッター (16.11.2)
・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（　）pa
開閉方式の種類　※ 電動式（手動併用）　・ 手動式 (表16.11.1)
防火・防煙シャッターは、自動閉鎖機構及び随時開鎖機構付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。

安全装置の設置箇所

| 安全装置 | 設置箇所 |
|---|---|
| ・急降下制動装置　・急降下停止装置 | ・図示による |
| ・障害物感知装置 | ・図示による |
| ・危害防止機構 | ・図示による |

管理用シャッターのシャッターケース　・ 設ける　・ 設けない (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類　・JIS G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ステンレス鋼板の種類　※SUS304、SUSJ1L又はSUS443J1　・ (16.11.3)(表16.12.1)

14 軽量シャッター (16.12.2～4)
開閉形式　・ 電動式（手動併用）　※ 手動式 (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度　（　）pa (16.12.2)
電動式の場合の安全装置

| 安全装置 | 設置箇所 |
|---|---|
| ・障害物感知装置 | |

スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)　めっき付着量　※Z06又はF06　・
・JIS G3322(塗装溶融亜鉛55%ｱﾙﾐｶﾙﾆ亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量　※AZ90　・
スラットの種類　・ インターロッキング形 (16.12.4)
・ オーバーラッピング形

15 ガラス (16.14.2～3)
ガラスの種類、厚さの組合せ、品質等 (16.14.2)
※ 図示による　・
ガラス留め材 (16.14.2)(16.14.3)(表9.7.1)

| 建具の種類 | 材種 |
|---|---|
| 鋼製及び鋼製軽量 | ・ シーリング材　・ |
| アルミニウム製 | ・ ガスケット（注）⊙ シーリング材　・ |
| ステンレス製 | ・ シーリング材　・ |
| 樹脂製 | ・ ガスケット　・ |

防火戸のガラス留め材は認定を受けた条件による。
（注）外部に面する複層ガラス、合わせガラス、網入り板ガラス、線入り板ガラスを除く
ガラス溝の大きさ (図16.14.1)
※ 建具の製造所の仕様による　・

## カーテンウォール工事

17 1 カーテンウォール (17.1.3)(17.2.2～6)(17.3.2～6)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 耐風圧性 | ※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの。<br>・ 正圧　N/㎡以上、負圧　N/㎡以上に対して安全なもの | | |
| 耐震性 | 水平方向に対する地震力係数 | ※ 1.0 | |
| | 鉛直方向に対する地震力係数 | ※ 0.5 | |
| | 層間変位追従性 | S造 | ※ 1/200以上 |
| | | RC、SRC造 | ※ 1/300以上 |
| ・水密性 | ・ Ｗ－４　・ Ｗ－５　・ | | |
| ・気密性 | ・ Ａ－３　・ Ａ－４　・ | | |
| ・耐火性 | | | |
| ・耐温度差性 | | | |
| ・遮音性 | ・Ｔ－１　・Ｔ－２　・ Ｔ－３　・ Ｔ－４ | | |
| ・断熱性 | | | |

性能の確認方法及び判定方法　※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料　・
その他の性能　・ 図示による
種類　・ メタルカーテンウォール
金属材料その他の材料　※ 図示による
・ ＰＣカーテンウォール
製作所

## 塗装工事

19 1 材料 (18.1.3)
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※ Ｆ☆☆☆☆　・ (18.1.3)
防火材料
・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　）

2 塗装面の確認等 (18.1.7)
工事現場塗装　※ 使用量から単位面積当たり塗付け量を推定 (18.1.7)
工場塗装　※ 適切な測定器具により膜厚を確認

3 素地ごしらえ (18.2.2～7)
種別 (18.2.2～7)(表18.2.1～18.2.7)

| 下地面等 | | 種別 |
|---|---|---|
| 木部 | 不透明塗料塗り | ※ Ａ種　・ Ｂ種 |
| | 透明塗料塗り | ・ Ａ種　※ Ｂ種 |
| 鉄鋼面 | ＤＰ塗り | ・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種 |
| | 上記以外 | ・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | | ・ Ａ種　・ Ｂ種 |
| モルタル面及びせっこうプラスター面 | | ・ Ａ種　※ Ｂ種 |
| コンクリート面（ＤＰ以外）及びＡＬＣパネル面 | | ・ Ａ種　※ Ｂ種 |
| コンクリート面（ＤＰ）の場合 | | ※ Ａ種　・ Ｂ種 |
| 押出成形セメント板面 | | ・ Ａ種　※ Ｂ種 |
| せっこうボード面及びその他ボード面 | 目地：継目処理工法 | ※ Ａ種　・ Ｂ種 |
| | 目地：継目処理工法以外 | ・ Ａ種　※ Ｂ種 |

## 内装工事

1 接着剤等 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
※ Ｆ☆☆☆☆　・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の (19.2.2)(表19.2.2)
ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分　・図示による　・
下地の施工 (19.2.3)
標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法　・図示による　・

2 ビニル床シート
ビニル床タイル (19.2.2～3)
⊙ ビニル床シート (19.2.2～3)

| 種類 | 記号 | 色柄 | 厚さ（mm） | 特殊機能 | 工法 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ 発泡層のないもの<br>・ | ※ ＦＳ<br>・ | ⊗ プレーン<br>⊙ マーブル<br>・ 特殊柄 | ※ 2<br>・ 2.5 | ・ 帯電防止<br>・ 耐動荷重<br>・ 防滑性 | ・ 突付け<br>※ 熱溶接 |

⊙ ビニル床タイル (19.2.2)

| 記号 | 色柄 | 厚さ（mm） | 特殊機能 | 寸法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ＴＴ<br>・ＦＴ<br>※ＫＴ | ※ 標準柄<br>・ 特殊柄 | ※ 2 ⊙ 3 | ・ 帯電防止<br>・ 防滑性 | ※ 図示による | |
| ・ＦＯＡ<br>・ＦＯＢ | ※ 標準柄<br>・ 特殊柄 | ・ 4以上<br>・ 4未満 | ・ 帯電防止<br>・ 防滑性 | ※ 図示による | |

⊙ 特殊機能床材 (19.2.2)

| 種類 | 厚さ（mm） | 形状、寸法、性能等 |
|---|---|---|
| ⊙ 視覚障害者用 | 3.0+5.0 | 単層ビニル床タイル（黄色）　300×300 |
| ⊗ 床タイル | 13.0+5.0 | 磁器質（無釉）タイル（黄色）　294×294 |

⊙ ビニル幅木 (19.2.2)

| 厚さ（mm） | 高さ（mm） | 種類 | 色柄 |
|---|---|---|---|
| ※ 1.5以上　・ | ※ 60　⊙ 75　・ 100 | ※ 軟質　・ 硬質 | ※ 標準柄 |

・ ゴム床タイル (19.2.2)

| 種類 | 厚さ（mm） | 形状、寸法、性能等 |
|---|---|---|
| ・ 単層品<br>・ 積層品 | | |

・ タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

| 種別 | パイル形状 | 寸法（mm） | 総厚さ（mm） | 色柄 | 敷き方 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ 一種<br>・ | ※ ループパイル<br>・ カットパイル | ※ 500×500<br>・ | ※ 6．5<br>・ | ・ 無地<br>・ 柄物 | 平場　※市松敷き・模様流し<br>階段　・市松敷き※模様流し |

製造所及び製品名
・ 繊じゅうたん　・図示による　・ (19.3.2)(表19.3.1)
・ タフテットカーペット　・図示による　・ (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

4 合成樹脂塗床 (19.4.2)(19.4.3)
・ 厚膜型塗床材 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.8)

| 塗床の種類 | 仕上げの種類 | |
|---|---|---|
| ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床 | ※ 平滑仕上げ<br>・ つや消し仕上げ | ・ 防滑仕上げ |
| ・ エポキシ樹脂系塗床 | ・ 薄膜流しのべ工法<br>・ 樹脂モルタル工法 | ・ 厚膜流しのべ工法<br>・ | ・平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ |

・ 薄膜型塗床材

| 塗床の種類 | 仕上げの種類 |
|---|---|
| ※ エポキシ樹脂系塗床 | ※ 平滑仕上げ |

※ 合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド発散量
※ Ｆ☆☆☆☆　・

3 カーペット敷き (19.3.2)(19.3.3)

4 塗装 (18.4.1～18.12.2)
種別 (18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～表18.12.1)

| 塗装 | | 種別 |
|---|---|---|
| ・合成樹脂調合ペイント塗(SOP) | 木部屋外 | ※Ａ種　・Ｂ種 |
| | 木部屋内 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 鉄鋼面 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.4.3 |
| ・クリアラッカー塗り(CL) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ⊙耐候性塗料塗り(DP) | 鉄鋼面 | 標準仕様書　表18.7.1 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.7.2 |
| | コンクリート面及び押出成形セメント板面 | ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 |
| ⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) | コンクリート面、モルタル面等 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 木部 | 標準仕様書　表18.8.2 |
| | 屋内の鉄鋼面 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.8.4 |
| ・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ・ステイン塗り | ・ピグメントステイン塗り | — |
| | ・オイルステイン塗り(OS) | — |
| ⊙木材保護塗料塗り(WP) | 屋外 | ・Ａ種　※Ｂ種 |

塗料の種類等 (表18.5.1)
クリアラッカー塗り(CL)
種別がＡ種の場合における、標準仕様書　表18.5.1の工程2　・塗料の種類(　)
耐候性塗料塗り(DP) (表18.7.2)
上塗り塗料の等級　鉄鋼面　(　)級　亜鉛めっき鋼面(　3　)級
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (表18.10.1)
標準仕様書　表18.10.1の工程１の着色　・適用する　⊙適用しない
オイルステイン塗り(OS)の仕様 (表18.11.2)
・図示による

## 建具工事

5 塗装 (18.4.1～18.12.2)
種別 (18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～表18.12.1)

| 塗装 | | 種別 |
|---|---|---|
| ・合成樹脂調合ペイント塗(SOP) | 木部屋外 | ※Ａ種　・Ｂ種 |
| | 木部屋内 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 鉄鋼面 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.4.3 |
| ・クリアラッカー塗り(CL) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ⊙耐候性塗料塗り(DP) | 鉄鋼面 | 標準仕様書　表18.7.1 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.7.2 |
| | コンクリート面及び押出成形セメント板面 | ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 |
| ⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) | コンクリート面、モルタル面等 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 木部 | 標準仕様書　表18.8.2 |
| | 屋内の鉄鋼面 | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| | 亜鉛めっき鋼面 | 標準仕様書　表18.8.4 |
| ・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) | | ・Ａ種　※Ｂ種 |
| ・ステイン塗り | ・ピグメントステイン塗り | — |
| | ・オイルステイン塗り(OS) | — |
| ⊙木材保護塗料塗り(WP) | 屋外 | ・Ａ種　※Ｂ種 |

塗料の種類等 (表18.5.1)
クリアラッカー塗り(CL)
種別がＡ種の場合における、標準仕様書　表18.5.1の工程2　・塗料の種類(　)
耐候性塗料塗り(DP) (表18.7.2)
上塗り塗料の等級　鉄鋼面　(　)級　亜鉛めっき鋼面(　3　)級
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (表18.10.1)
標準仕様書　表18.10.1の工程１の着色　・適用する　⊙適用しない
オイルステイン塗り(OS)の仕様 (表18.11.2)
・図示による

## ⑤ フローリング張り (19.5.2～5)

・単層フローリング (19.5.2～5)

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ（mm） | 大きさ（mm） | 仕上塗装 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ 1等 | ・釘留め工法（根太張り） | ※ なら・ | 15 | 板幅75以上 板長さ400以上 | ・塗装品 ・無塗装品 |
| | ・釘留め工法（直張り） | ※ なら・ | ・12以上 ・ | 板幅75以上 板長さ400以上 | |
| | ・接着工法 | ※ なら・ | ・8以上 ・ | 板幅75以上 板長さ400以上 | |
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ 1等 | ・接着工法 | ※ なら・ | ・ | ・ | ・塗装品 ・無塗装品 |

⊙複合フローリング (19.5.2～5)

| 種類 | 工法 | 樹種 | 厚さ等 | 防湿処理 | 仕上塗装 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | ・釘留め工法（根太張り） | ※ なら | ※ 図示による | ・適用する | ⊙塗装品 |
| | ⊙釘留め工法（直張り） | ⊙杉 | | ⊙適用しない | ・無塗装品 |
| | ・接着工法 | | | | |

⊙材料（面材）の地域産の指定 ⊙有（ 樹種： 杉材 、地域：広島県産 ） ・無
フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※ F☆☆☆☆、接着剤等不使用（単層フローリングに限る）、ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用（単層フローリングに限る）、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。

※ 製造所及び製品名（ ）
接着工法の場合の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・ (19.5.5)

## ⑥ 畳敷き (19.6.2)

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ⊙Ｄ種（畳床：ＫＴ-Ⅲ） (19.6.2)(表19.6.1)
防虫処理 防虫加工紙を使用する場合は、薬事法の承認を受けたものとする。（Ａ、Ｂ、Ｃ種）

## ⑦ せっこうボード その他ボード及び合板張り (19.7.2～3)

※ 天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

⊙せっこうボード製品 (19.7.2)(表19.7.1～表19.7.5)

| 材種・規格 | 施工箇所 | 張り方 | | 厚さ（mm）等 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙せっこうボード (JIS A6901) | ⊙壁 | ⊙下張り ⊙上張り ⊙直張り | ・目透し ⊙突付け ⊙継目処理 | ⊙9.5（準不燃） ⊙12.5（不燃） ・ |
| | ⊙天井 | ⊙下張り ・上張り ・直張り | ・目透し ⊙突付け ・継目処理 | ⊙9.5（準不燃） ・12.5（不燃） ・ |
| ⊙化粧せっこうボード（トラバーチン模様）(JIS A6901) | ⊙天井 | ⊙直張り | ⊙突付け | ※ 9.5（準不燃） |
| ⊙化粧せっこうボード（プリント）(JIS A6901) | ⊙天井 | ⊙直張り | ⊙目透し | ⊙12.5（不燃） |
| ・吸音用穴あきせっこうボード(JIS A6301) | ・天井 | ・ | ・目透し ・突付け | ・9.5（準不燃） ・不燃性原紙裏張り |
| ⊙ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301) | 天井 | ⊙上張り ・直張り | ⊙突付け | ⊙9（不燃） ・12（不燃） ・15（不燃） |
| | | | | |

⊙繊維強化セメント板

| 種類 | | 施工箇所 | 張り方 | 厚さ（mm） |
|---|---|---|---|---|
| ⊙けい酸カルシウム板 | | | ・目透し | ・6（不燃） |
| タイプ2 | ・普通板 (JIS A5430) | ・壁 ・天井 | ・突付け ・突付けＶ目地 | ・8（不燃） ・10（不燃） ・12（不燃） |
| | ⊙化粧板 (JIS A5430) | ⊙壁 ・天井 | ⊙目透し （シーリング） ・突付け ・ジョイナ | |

・その他ボード

| 種類 | 規格等 |
|---|---|
| ・木質系セメント板 (JIS A5404) | |
| ・ | |
| ・ | |

⊙合板 (19.7.2～3)

| 材料 | 樹種名 | 処理 | 接着の程度、厚さ（mm）等 |
|---|---|---|---|
| ⊙普通合板 | ラワン | ⊙防虫 | 1類 ⊙5.5 ⊙12 ・15 |
| | シナ | ・防虫 | 類 ・4 ・ ・ |
| ・天然木化粧合板 | | ・防虫 | 類 ・ |
| | | | |

合板のホルムアルデヒド放散量等
※ F☆☆☆、非ホルムアルデヒド系接着剤使用（普通合板及び天然木化粧合板に限る）、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（天然木化粧合板に限る）並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（特殊加工化粧合板に限る）とする。
・
合板の張付け ・Ａ種 ⊙Ｂ種 (19.7.3)(表19.7.3)

## ⑧ 壁紙張り (19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの (19.8.2)

| 施工箇所 | 種類（製造所） | 防火性能の種別 |
|---|---|---|
| 図示 | | ・図示 |
| | | ・ |
| | | ・ |

壁紙のホルムアルデヒドの発散量
※ F☆☆☆☆ ・

## ⑨ 断熱材 (19.9.3～4)

断熱材打込みエ法 (19.9.3)

⊙断熱材

| 材種 | 種別 | 厚さ | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・ビーズ法ポリスチレンフォーム | | | |
| ※ 押出法ポリスチレンフォーム | ⊙２種ｂ ・３種ｂ | ※ 25 ・ 20 | 土間下 |
| ・Ａ種硬質ウレタンフォーム | | | |
| ・硬質ウレタンフォーム | | | |
| ⊙フェノールフォーム | | ⊙ 30 | 屋根 |

※ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ Ｆ☆☆☆☆
断熱材補修材 ・断熱材と同材
・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材

断熱材現場発泡工法 (19.9.4)

| 材種 | 種別 | 厚さ | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材 | ※ Ａ種１ ・Ａ種１Ｈ 難燃性 | ・ | |

※ 難燃性 ・２級 ※ ３級

## ⑩ ユニットおよびその他工事

### 1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

| 施工箇所 | 材質 | 寸法・高さ | 所定荷重 | 耐震性能 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※ 表面仕上材 ※ 図示による ・
・ 帯電防止性能 ・ 漏えい抵抗

### 2 可動間仕切 (20.2.3)

・パーティション (20.2.3)

| 構造形式種別 | 構成基材の種類 | パネル表面材・仕上 | 遮音性能 | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|
| ・スタッド式 | ※ アルミ ・スチール | | | ・不燃 ・ |

パネルのホルムアルデヒドの放散量 ※ Ｆ☆☆☆☆

### 3 移動間仕切 (20.2.4)

・スライディングドア (20.2.4)

| 操作方法種別 | パネル表面材・仕上 | 圧接装置操作方法 | 遮音性能 | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|
| ・手動式 ・ | | ・ハンドル回転式 ・プッシュ式 | | ・不燃 ・ |

製造所

### 4 トイレブース (20.2.5)

| 表面材の材質（下小口共） | 脚部 | | ドアエッジ | |
|---|---|---|---|---|
| ※ メラミン樹脂系化粧板 | ※ 幅木 | ※ ＳＵＳ | ・標準 | ⊙アルミ |
| ・ポリエステル樹脂系化粧板 | ・支柱 | ・ | ※ Ｒ付 | ・ＳＵＳ |

金物 ※ 図示による（見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。）
パネルのホルムアルデヒドの放散量
※ Ｆ☆☆☆☆ ・

### 5 手すり (20.2.6)

材料の種類 ⊙木製 仕上 ・ (20.2.6)

### 6 階段滑り止め (20.2.7)

(20.2.7)

| 材種 | 形状・寸法 | | 工法 | フラットエンド |
|---|---|---|---|---|
| ・ステンレス製 | ※ タイヤ入 | ※ 35㎜ | ※ 接着工法 | ・有（ ） |
| ・アルミ製 | ・タイヤなし | | ・埋込工法 | ・なし |

### 7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

(20.2.9)

| 種類 | | 色 | 暗線 | 施工箇所 |
|---|---|---|---|---|
| ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 | ※ 焼付 | ※ 緑 ・黒 | ・有 ・なし | |
| ⊙ホワイトボード | ※ ほうろう | ⊙白 | ⊗有 ⊙なし | 図示 |

枠 ・木製（図示による） ※ アルミ製
形状 ⊙平面 3 箇所
⊙平面（行事） 1 箇所
⊙スライド式 1 箇所
チョークボックス ・アルミ製 ・
ピクチャーレール ・有（図示による） ・

### 8 表示 (20.2.11)

⊙衝突防止表示（ 図示 ） (20.2.11)
⊙室名札（ 図示 ）
⊙ピクトグラフ（ 図示 ）
⊙案内板（ 図示 ）
・視覚障がい者案内板（ ）
⊙市章（ 図示 ）
⊙車イスマーク（ 図示 ）
⊙施設名文字 ⊙切抜文字 ⊙ステンレス 字数（ 7 ）
・箱文字 ・ステンレス 文字の大きさ（ × ）

### 9 ブラインド (20.2.14)

(20.2.14)

| 形式 | ※ 横形(JIS A4801) | ・縦形 |
|---|---|---|
| 種類 | ※ ギア式 ・コード式 | ※ コード方式 |
| スラットの幅 | ※ 25㎜ ・ 35㎜ ・ | ・100 ・75 |
| スラットの材種 | ※ アルミニウム合金 | ※ アルミニウム合金 ・クロス |
| ボックス等の材種 | ※ 鋼製 | ※ アルミ（ヘッドレール） |

### 10 カーテン及びカーテンレール (20.2.16)

(20.2.16)

| きれ地の品質等（製造所） | ひだの種類 | |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300以上
カーテンレール 材種 ・ステンレス製 ※ アルミニウム製

## 11 スクリーン

種別 ※ ホワイトスクリーン
形式 ※ スプリング巻上（ノーショック）式 ・
寸法（mm） 幅（ ） 高さ（ ）

## 12 くつふきマット

枠 ※ ステンレス製 ・黄銅製
マット ※ 塩化ビニル製 ・ゴム製 ・アルミ合金製 ・鉄製
排水 ※ 設ける（排水目皿ＶＰ50φ） ・設けない

## 13 厨房器具

| 器具名 | 規格・施工箇所等 | |
|---|---|---|
| ⊙流し台 | 市販品 | 図示 |
| ⊙調理台 | 〃 | 図示 |
| ・コンロ台 | 〃 | |
| ・ガステーブル | 〃 | |
| ⊙つり戸だな | 〃 | 図示 |
| ⊙水切だな | 〃 | 図示 |

## 14 ピクチャーレール

タイプ ⊙天井面付け ⊗壁面付け
安全荷重 ⊙フック 耐荷重 30kg程度 2個／m

## 15 ブラインドボックス カーテンボックス

材質 ※ アルミニウム製 ⊙木製
表面処理 ※ Ｃ－１ ・Ｃ－２（色調： ）
清幅×深さ（㎜）※ 図示による ・１２０×８０ ・

## 16 消火器ボックス

⊙既製品（図示による） ・

## 17 視覚障がい者用誘導ブロック

材種 ⊙塩化ビニル製 厚さ ※ 8㎜（3+5） ※ ３００×３００
・コンクリート製（厚さ30㎜）
⊙磁器質タイル製

## 18 家具類

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量
※ Ｆ☆☆☆☆ ・

## 21 排水工事

### ① 排水管 (21.2.1)

⊙硬質ポリ塩化ビニル管（※ＶＵ ⊙ＶＰ） (21.2.1)
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ）
・遠心力鉄筋コンクリート管（※外圧管Ｂ形） １種

### ② 排水桝 (21.2.1)

・コンクリート現場打ち桝 (21.2.1)
種類 ※ 普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※ 18N/㎟ ・
スランプ ※ 15cm ・ 鉄筋種別 ※ SD295 ・
⊙コンクリート既製桝
⊗樹脂製溜め桝

### ③ 埋戻しに用いる材料 (21.2.1)

・Ａ種 ※ Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 (表3.2.1)(21.2.1)

### ④ 桝蓋 (21.2.1)

⊙グレーチング （材質：ｽﾁｰﾙ(ﾒｯｷ処理) 耐荷重：Ｔ－２５ ） (21.2.1)
・マンホール （・ＭＨＡ ・ＭＨＢ ）
・鉄板 （ｔ＝ ㎜ ）
・樹脂製 （ ）

### ⑤ 溝蓋 (21.2.1)

⊙グレーチング （材質：ｽﾁｰﾙ(ﾒｯｷ処理) 耐荷重：Ｔ－２ ） (21.2.1)
・鉄板 （ｔ＝ ㎜ ）
・既製コンクリート板 （ｔ＝ ㎜ ）

## 22 舗装工事

### ① 路床 (22.2.2～5)

フィルター層 ※ 適用しない ・適用する（厚 ㎜） (22.2.2)
路床安定処理 ※ 適用しない ・
路床の盛土材料 ・Ａ種 ※ Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 (表3.2.1)(22.2.3)
路床の試験 ＣＢＲ試験 ⊙行わない ・行う (22.2.5)
路床締固め度の試験 ⊙行わない ・行う
現場ＣＢＲ試験 ⊙行わない ・行う
砂の粒度試験 ⊙行わない ・行う

### ② 路盤 (22.3.2～5)

路盤の構成 ・車路：100、歩行者用通路：100 ⊙図示による (22.3.2)
材料 ・砕石クラッシャラン ※ 再生材クラッシャラン (22.3.3)
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
締固め度の試験 ⊙行わない ※ 行う (22.3.5)

### ③ アスファルト舗装 (22.4.2～6)

舗装厚 車路 ⊙50 ・ (22.4.2)
歩行者用通路 ⊙30
アスファルト ⊙再生アスファルト ※ 60～80 ・ 80～100 (22.4.3)
・ストレートアスファルト
加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)
表層 ※ 密粒度アスファルト混合物（13） ・
※ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
切り取り検査 ※ 行う（ 3 箇所） ・行わない (22.4.6)
アスファルト混合物等の抽出試験 ⊙行う ・行わない

### ④ コンクリート舗装 (22.5.2～6)

舗装厚 車路及び駐車場 ・ (22.5.2)
歩行者用通路 ⊙70
コンクリート ⊙FC18 (22.5.3)
目地材 ⊙ｴﾗｽﾀｲﾄ t10
溶接金網 ⊙使用する（150□×6φ）・使用しない
コンクリート版の厚さの試験 ・行う ⊙行わない (22.5.6)

### 5 カラー舗装 (22.6.2～6)

舗装厚及び種類 (22.6.2)
・加熱系カラー舗装 ・図示による ・
・常温系カラー舗装 ・図示による ・
切り取り検査 ※ 行う（ 箇所） ・行わない (22.6.6)

### 6 透水性

舗装の構成及び厚 ・図示による (22.7.2)
アスファルト舗装 (22.7.2～6) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない (22.7.6)
切り取り検査 ※ 行う（ 箇所） ・行わない

### ⑦ ブロック系舗装 (22.8.2～3)

⊙インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)
基層 ・アスファルト混合物 ・50
⊙コンクリート版 ⊙70
クッション材 ※ 砂 ・空練りモルタル
種類、形状、厚さ ⊙図示
製造所

### ⑧ 区画線

路面標示用塗料 ・１種 ・２種 ※ ３種１号
色 ※ 白
・
塗布幅 ※ 図示 塗布厚さ ※ １．０

## 23 植栽工事

### 1 植栽地の確認 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数、電気伝導度等の試験 ・行う ※ 行わない (23.1.3)

### 2 植栽基盤 (23.2.2)

植栽基盤 ・適用する (23.2.2)
・適用しない（ただし、芝及び地被類の植栽の場合は整備する。）

有効土層の厚さ（cm） (表23.2.1)

| | 樹木 | | | | 芝、地被類 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 高木 | | | 低木 | |
| 樹高 | 12m以上 | 7～12m未満 | 3～7m未満 | 3m未満 | |
| 有効土層 | ※ 100 ・ | ※ 80 ・ | ※ 60 ・ | ※ 50 ・ | ※ 20 |

工法 樹木 ※ Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種
芝及び地被類 ・Ａ種 ※ Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種
土壌改良材 ※ バーク堆肥 ・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）

### 3 支柱材

支柱材 ※ 杉の焼丸太 ・竹

### 4 芝 (23.4.2)

種類 ※ コウライシバ ・ノシバ

---

A2版(71%) A3版(50%)

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社 高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号 TEL 084-920-9123 FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

工事名称 福山市光交流館改築工事
図面名称 建築工事特記仕様書 No. 4
縮尺 －
設計年月日 2025年 3月
図面番号 A-04

# 福　山　市　工　事　区　分　表

1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。
2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。

| 分類 | 項目 | 建築 | 電気 | 給排水 | 空調 | ガス | 昇降機 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 設備基礎 | 1. 建物内の機器類の基礎 | ※ | | | | | |
| | 2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 | | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 3. 建物外部の機器類の基礎 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 | | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 5. 外灯基礎の製作及び設置 | | ※ | | | | |
| 2 設備機器類取付下地 | 1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置 | | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 3. 設備機器類の取付け用下地補強 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| 3 躯体貫通 | 1. 地中梁の連通管、通気管及び人通孔の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | |
| | 2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | |
| | 4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 5. 同上開口補強 | ※ | | | | | |
| | 6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 7. 同上開口補強 | ※ | | | | | |
| | 8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| 4 躯体以外の貫通・開口 | 1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む） | ※ | | | | | |
| | 2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む） | ※ | | | | | |
| | 3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | |
| | 6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | |
| | 7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口 | ※ | | | | | |
| | 8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 9. ユニットバスの換気扇の開口（メーカー規格外の場合） | ※ | | | | | |
| 5 点検口・ガラリ | 1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置 | ※接続受 | | | ※ | | |
| | 3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置 | | | | ※ | | |
| | 4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置 | ※ | | | ※ | | |
| | 5. 各室建具ガラリの製作及び設置 | ※ | | | | | |

| 分類 | 項目 | 建築 | 電気 | 給排水 | 空調 | ガス | 昇降機 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 建具等 | 1. 防火（煙）シャッター及び自動閉鎖装置の製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 2. 同上用連動制御器と感知器の製作・設置及び電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 3. 防火戸の扉、枠の製作・設置（自動閉鎖装置用切り込み補強共） | ※ | | | | | |
| | 4. 同上用自動閉鎖装置の製作・設置 | ※ | | | | | |
| | 5. 同上用連動制御器及び感知器の製作・設置 | | ※ | | | | |
| | 6. 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 7. 可動式防煙壁及び自動降下装置緩衝装置の製作・設置 | ※ | | | | | |
| | 8. 同上用連動制御器、感知器の製作・設置及び電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 9. 電動式排煙窓の開放装置の製作・設置及び二次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | |
| | 10. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 11. 電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | |
| | 12. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| 7 排水工事 | 1. 屋内、敷地内雨水排水工事（側溝等への放流を含む） | ※ | | | | | |
| | 2. 敷地内汚水、雑排水工事 | | | ※ | | | |
| | 3. 屋内汚水、雑排水工事 | | | ※ | ※ | | |
| | 4. 下水道本管への接続（汚水・雑排水（雨水を除く）） | | | ※ | | | |
| | 5. 玄関マット等の排水管 | ※ | | | | | |
| 8 便所・浴室・湯沸室・調理室等 | 1. 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置 | ※ | | ※ | | | |
| | 2. 同上給排水管及び排水金物の接続 | | | ※ | | | |
| | 3. 同上フードへのダクト接続 | | | | ※ | | |
| | 4. 洗面化粧台の製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 5. 同上給排水管接続 | | | ※ | | | |
| | 6. 同上陶製洗面器の設置（一体型を除く） | | | ※ | | | |
| | 7. ユニットバス・ユニットシャワー類の設置 | ※ | | | | | |
| | 8. 同上給排水管接続 | | | ※ | | | |
| | 9. 同上ダクト接続 | | | | ※ | | |
| | 10. 同上一次側電気配管配線 | | ※ | | | | |
| | 11. オストメイト対応トイレパック（既製品）（汚物流し・シャワー・電気温水器・ライニング含む） | | | ※ | | | |
| | 12. 同上給排水管接続 | | | ※ | | | |
| | 13. 同上一次側電気配管配線 | | ※ | | | | |
| | 14. 電気湯沸器、電気温水器、電磁ヒーターの設置 | | | ※ | | | |
| | 15. 同上一次側電気配管配線 | | ※ | | | | |
| | 16. 既製化粧鏡の設置 | ※ | | | | | |
| | 17. 特注化粧鏡の設置 | ※ | | | | | |
| | 18. 大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置 | | | ※ | | | |
| | 19. 手すり | ※ | | | | | |
| | 20. ベビーシート、ベビーチェアー、介助用ベッド | ※ | | | | | |
| | 21. ペーパーホルダー | | | ※ | | | |
| | 22. 洗濯機パン | | | ※ | | | |
| | 23. 同上給排水管接続 | | | ※ | | | |
| | 24. 洗面器・衛生陶器の設置及び給排水管接続 | | | ※ | | | |

| 分類 | 項目 | 建築 | 電気 | 給排水 | 空調 | ガス | 昇降機 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 ピット・マンホール・水槽等 | 1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ | ※ | | | | | |
| | 2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置 | ※ | | | | | |
| | 3. 屋内の排水溝、配管ピット、配線ピットの内外の防水及び仕上げ | ※ | | | | | |
| | 4. 同上付属蓋類及びタラップの設置 | ※ | | | | | |
| | 5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置 | | ※ | ※ | ※ | ※ | |
| | 6. 屋内マンホールのRC造躯体、鋳鉄蓋及び化粧蓋の設置 | ※ | | | | | |
| | 7. 屋外マンホールのRC造躯体、鋳鉄蓋の設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | |
| | 8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置 | ※ | | | | | |
| | 9. 同上化粧蓋の仕上 | ※ | | | | | |
| | 10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ | ※ | | ※ | | | |
| | 11. 同上用マンホール蓋及びタラップの設置 | | | ※ | | | |
| | 12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く） | | | ※ | | | |
| | 13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置 | | | ※ | | | |
| | 14. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置 | | ※ | | ※自動制御設備のみ | | |
| | 15. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け | | ※ | | | | |
| | 16. 同上電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| 10 電気設備等 | 1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事 | | ※ | | | | |
| | 2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ | ※ | | | | | |
| | 3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事 | | | ※ | | | |
| | 4. 自家発電運転用給排気設備工事 | | ※ | | | | |
| | 5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 | | | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 6. 自動制御などの現場盤への電源接続 | | ※ | | | | |
| | 7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事 | | ※ | | | | |
| 11 空調・換気設備等 | 1. 一般換気扇（壁付型を含む）、全熱交換器の設置 | | | | ※ | | |
| | 2. 同上用の取付け枠の製作及び設置 | ※既共付属の場合 | | | ※ | | |
| | 3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む） | | ※ | | | | |
| | 4. ユニットバスの換気扇の設置 | | | | ※ | | |
| | 5. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 6. 空調機器のスイッチの設置 | | | | ※ | | |
| | 7. 同上二次側電気配管工事 | | ※ | | | | |
| | 8. 同上二次側電気配線工事 | | | | ※ | | |
| | 9. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置 | | | | ※ | | |
| | 11. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| 12 消火設備等 | 1. 消火栓ボックスの設置 | | | ※ | | | |
| | 2. 同上起動押釦、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 | | | ※ | | | |
| | 4. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置 | ※ | | | | | |
| | 6. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 7. ガス漏れ警報設備 | | ※ | | | ※警報器のみの場合 | |

| 分類 | 項目 | 建築 | 電気 | 給排水 | 空調 | ガス | 昇降機 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 昇降機 | 1. 昇降路内ピットの防水、集水桝の製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 2. 昇降路内点検用タラップの製作及び設置 | ※ | | | | | |
| | 3. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置（S造に限る） | ※ | | | | | |
| | 4. 出入り口扉三方枠、沓摺の製作及び設置 | | | | | | ※ |
| | 5. 同上枠廻り空隙の充填及び補修 | ※ | | | | | |
| | 6. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造に限る） | ※受金物 | | | | | ※ |
| | 7. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造を除く） | | | | | | ※ |
| | 8. 機械室天井フックの製作及び設置（S造に限る） | ※ | | | | | |
| | 9. 機械室天井フックの製作（S造を除く） | | | | | | ※ |
| | 10. 同上の設置 | ※ | | | | | |
| | 11. ホール押し釦、インジケーター、鋼索等の躯体開口の設置及び補強 | ※ | | | | | |
| | 12. 昇降路、ピット内の保守用コンセントの設置 | | ※ | | | | |
| | 13. 昇降機の制御盤及び二次側電気配管配線工事 | | | | | | ※ |
| | 14. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 15. 昇降路内の換気設備の設置 | | | | ※ | | |
| | 16. 昇降路内の煙感知器の設置 | | ※ | | | | |
| | 17. 昇降路内の換気設備及び煙感知器の電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 18. 昇降路外の遠方操作盤及び警報監視インターホン用電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 19. 遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの設置及び調整 | | | | | | ※ |

| 分類 | 項目 | 建築 | 電気 | ブラインドカーテン・ | | | 別途工事 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 その他 | 1. カーテンレール、カーテンの設置 | | | ※ | | | |
| | 2. ブラインドボックス、カーテンボックスの設置 | ※ | | | | | |
| | 3. 電動ロールスクリーン、電動カーテンの設置 | | | ※ | | | |
| | 4. 電動ロールスクリーン、電動カーテンのスイッチの設置 | | | ※ | | | |
| | 5. 同上二次側電気配管配線工事（本体・スイッチとの結線を除く） | | ※ | | | | |
| | 6. 同上本体・スイッチとの結線 | | | ※ | | | |
| | 7. 同上一次側電気配管配線工事 | | ※ | | | | |
| | 8. 同上取付け用の開口及び補強 | ※ | | | | | |
| | 9. 電動ロールスクリーン、電動カーテンの取付け類下地補強 | ※ | | | | | |
| | 10. ブラインドボックス等の電気配線用開口 | ※ | | | | | |
| | 11. 消火器（発電設備及び変電設備に必要な消火器は電気設備工事） | | ※ | | | | ※備品 |
| | 12. 消火器ﾎﾞｯｸｽの設置　（発電設備及び変電設備分は電気設備工事） | ※ | ※ | | | | |

| 変更年月日・変更事項 | | | |
|---|---|---|---|
| | | | |

福山市建設局建築部営繕課

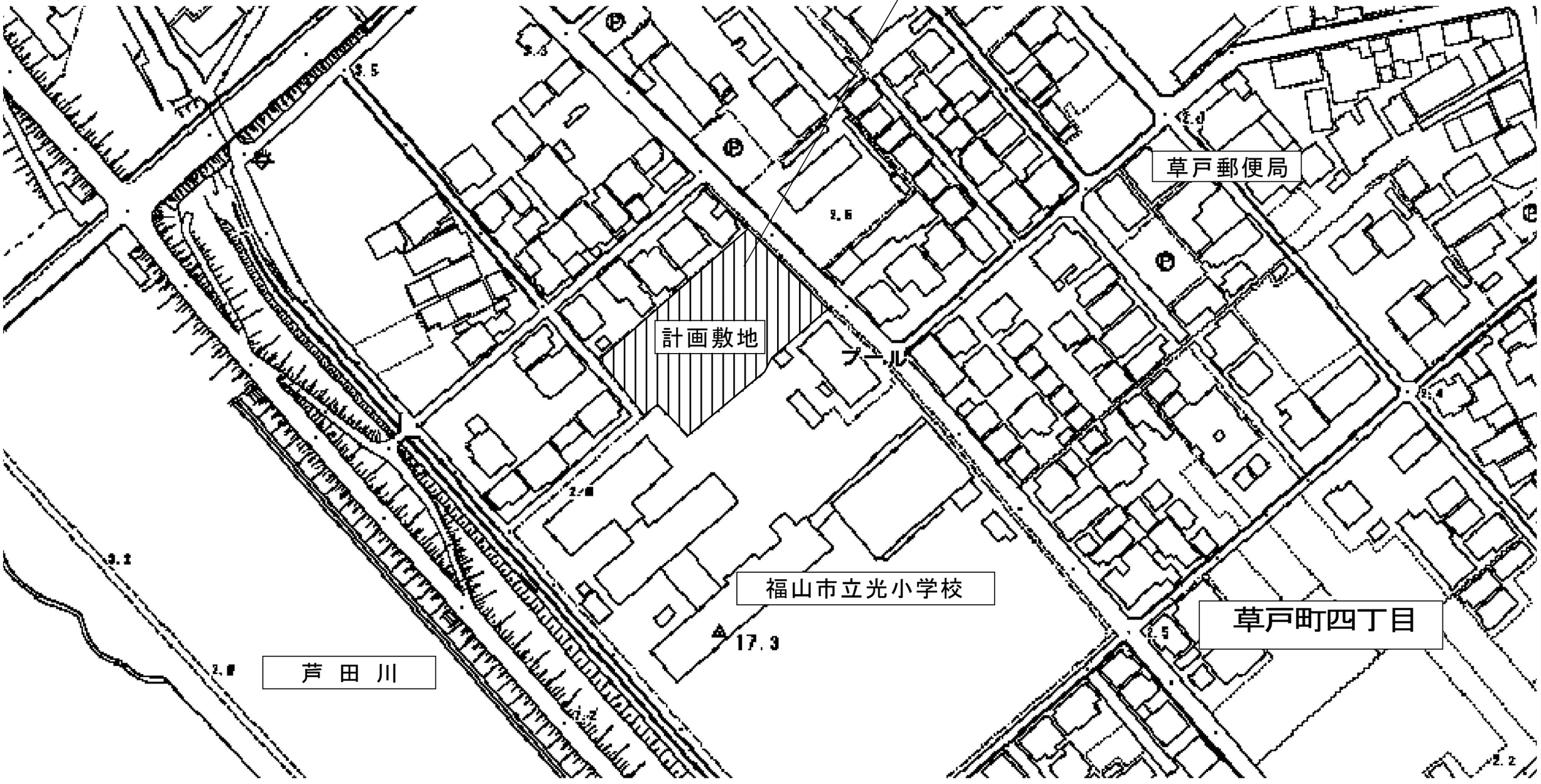
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 工事区分表 |

| A2版(71%) / A3版(50%) | |
|---|---|
| 図面番号 | A-05 |
| 縮尺 | － |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

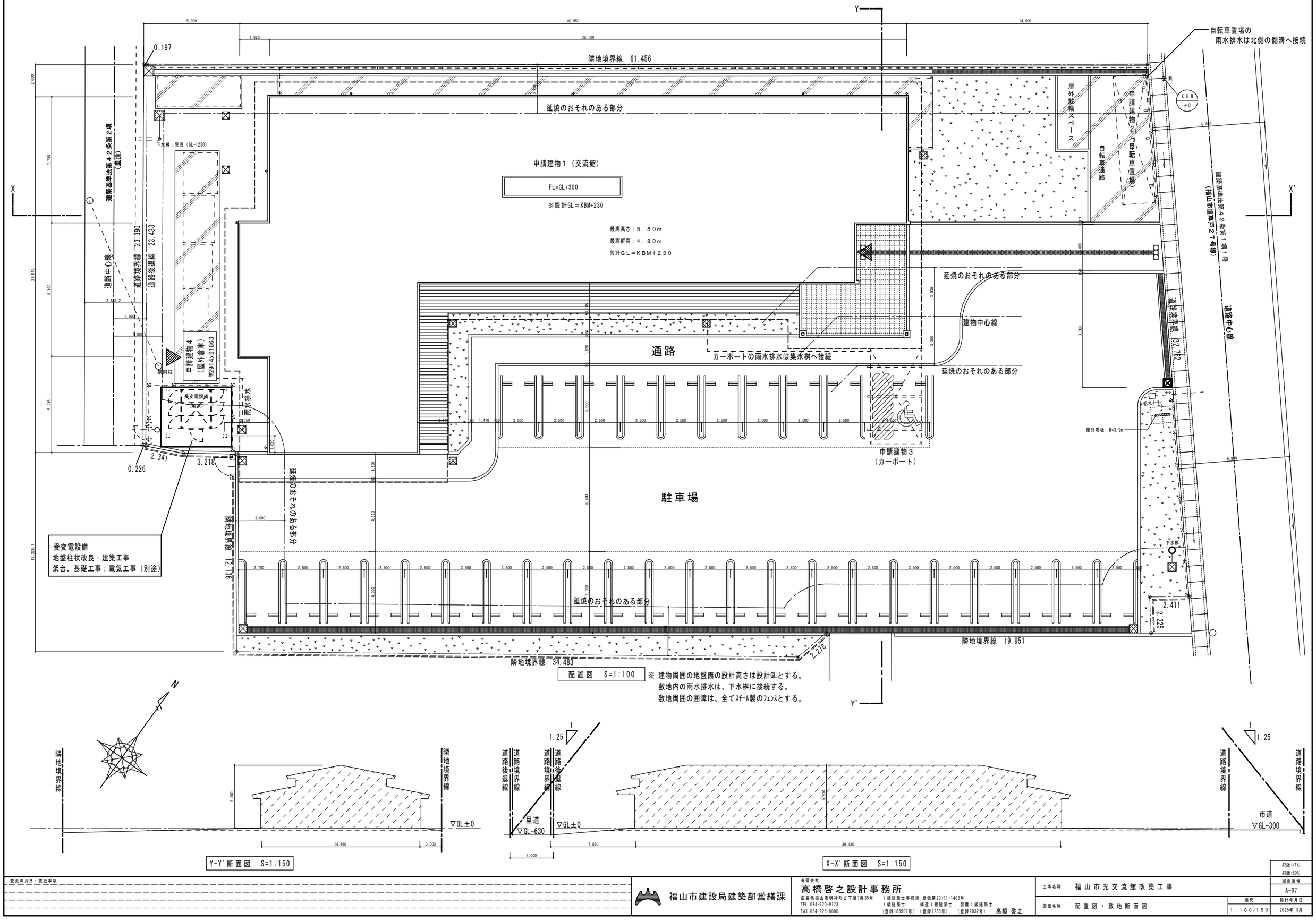
N

建設地：福山市草戸町四丁目1154-1、1154-2、1170-10、1172-3の一部
（住居表示）福山市草戸町四丁目14番2号




敷地案内図　S=1:600

| 変更年月日・変更事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士<br>FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事 | A2版(71%)<br>A3版(50%)<br>図面番号 A-06 |
| | | | 図面名称　敷地案内図 | 縮尺 1：600<br>設計年月日 2025年 3月 |




配置図 S=1:100

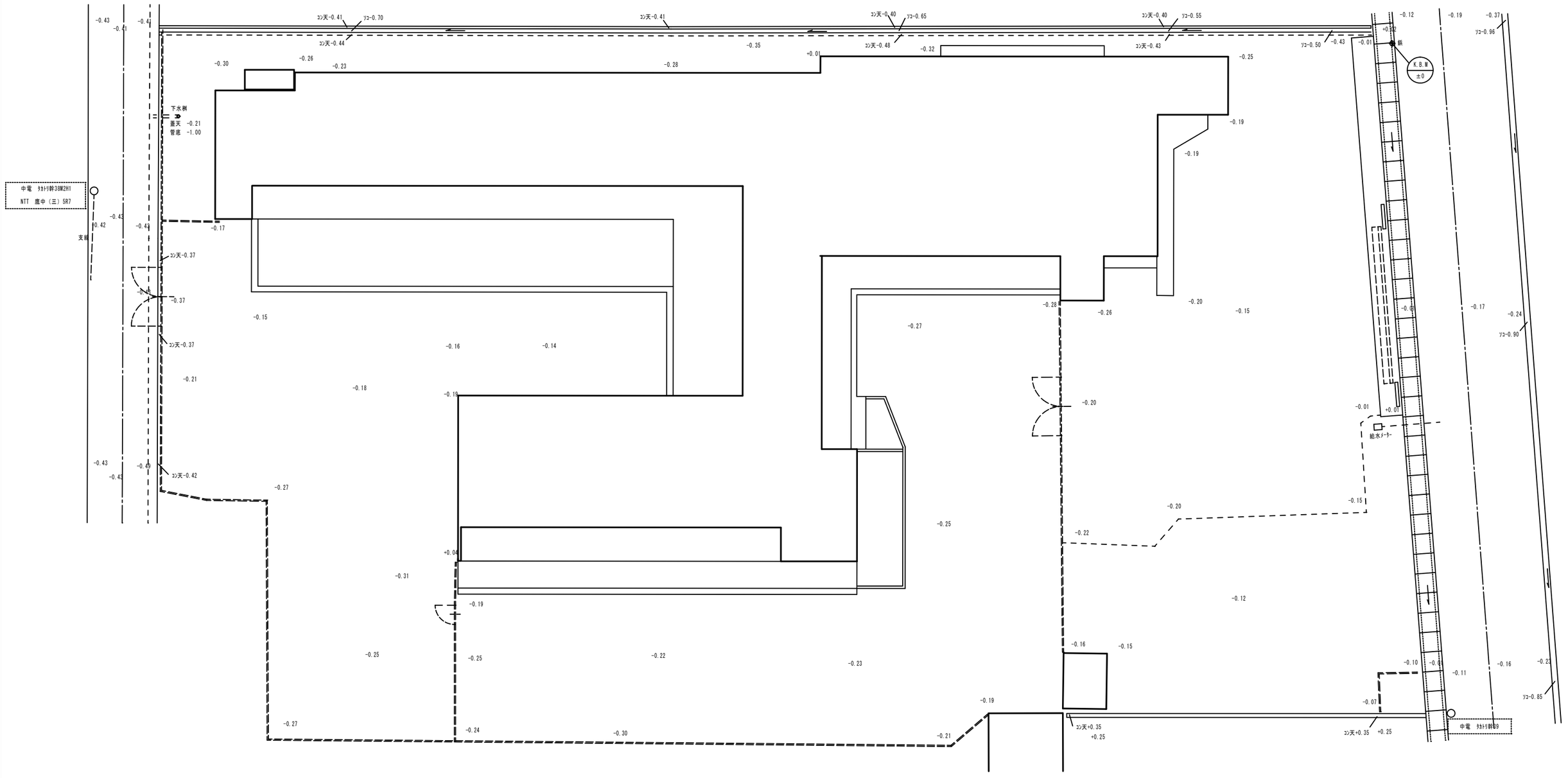
※ 建物周囲の地盤面の設計高さは設計GLとする。
敷地内の雨水排水は、下水桝に接続する。
敷地周囲の囲障は、全てｽﾁｰﾙ製のﾌｪﾝｽとする。

| 変更年月日・変更事項 | | | |
|---|---|---|---|
| | | | |

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 （登録183507号）
構造１級建築士 （登録7233号）
設備１級建築士 （登録2832号）
高橋 啓之


| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | A2版(71%) A3版(50%) |
| 図面名称 | 配置図・敷地断面図 | 縮尺 1：100/150 | 図面番号 A-07 |
| | | | 設計年月日 2025年 3月 |




現況図　S=1:100

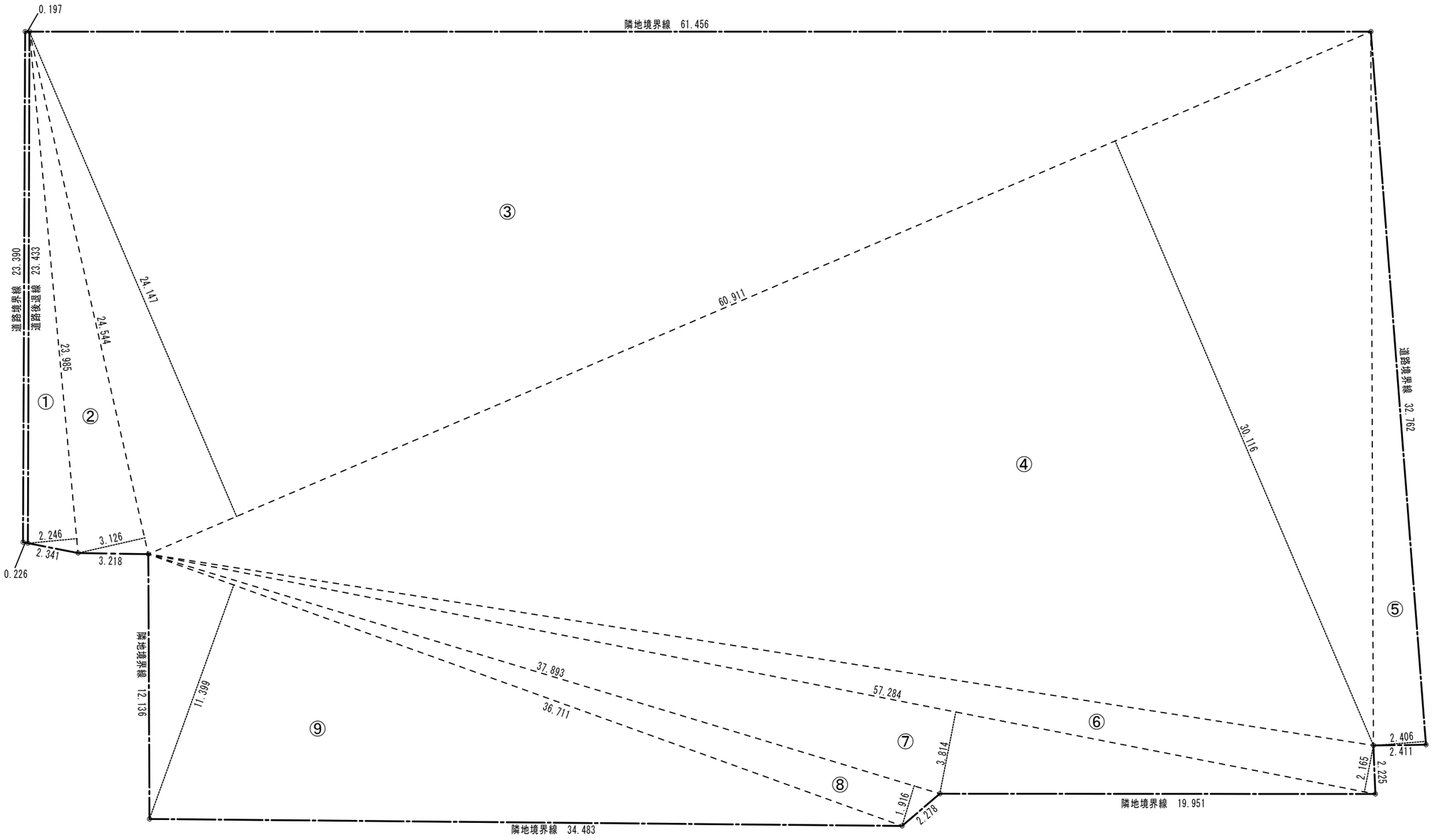
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 現　況　図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-08 |

A2版(71%)
A3版(50%)




敷地面積求積図 S=1:100

敷地面積求積表

| 番号 | 底辺 | 高さ | 倍面積 |
|---|---|---|---|
| ① | 23.985 | 2.246 | 53.870310 |
| ② | 24.544 | 3.126 | 76.724544 |
| ③ | 60.911 | 24.147 | 1,470.817917 |
| ④ | 60.911 | 30.116 | 1,834.395676 |
| ⑤ | 32.762 | 2.406 | 78.825372 |
| ⑥ | 57.284 | 2.165 | 124.019860 |
| ⑦ | 57.284 | 3.814 | 218.481176 |
| ⑧ | 37.893 | 1.916 | 72.602988 |
| ⑨ | 36.711 | 11.399 | 418.468689 |
| | | 合計 | 4,348.206532 |
| | | x1/2 | 2,174.103266 |
| | | 敷地面積 | 2,174.10㎡ |

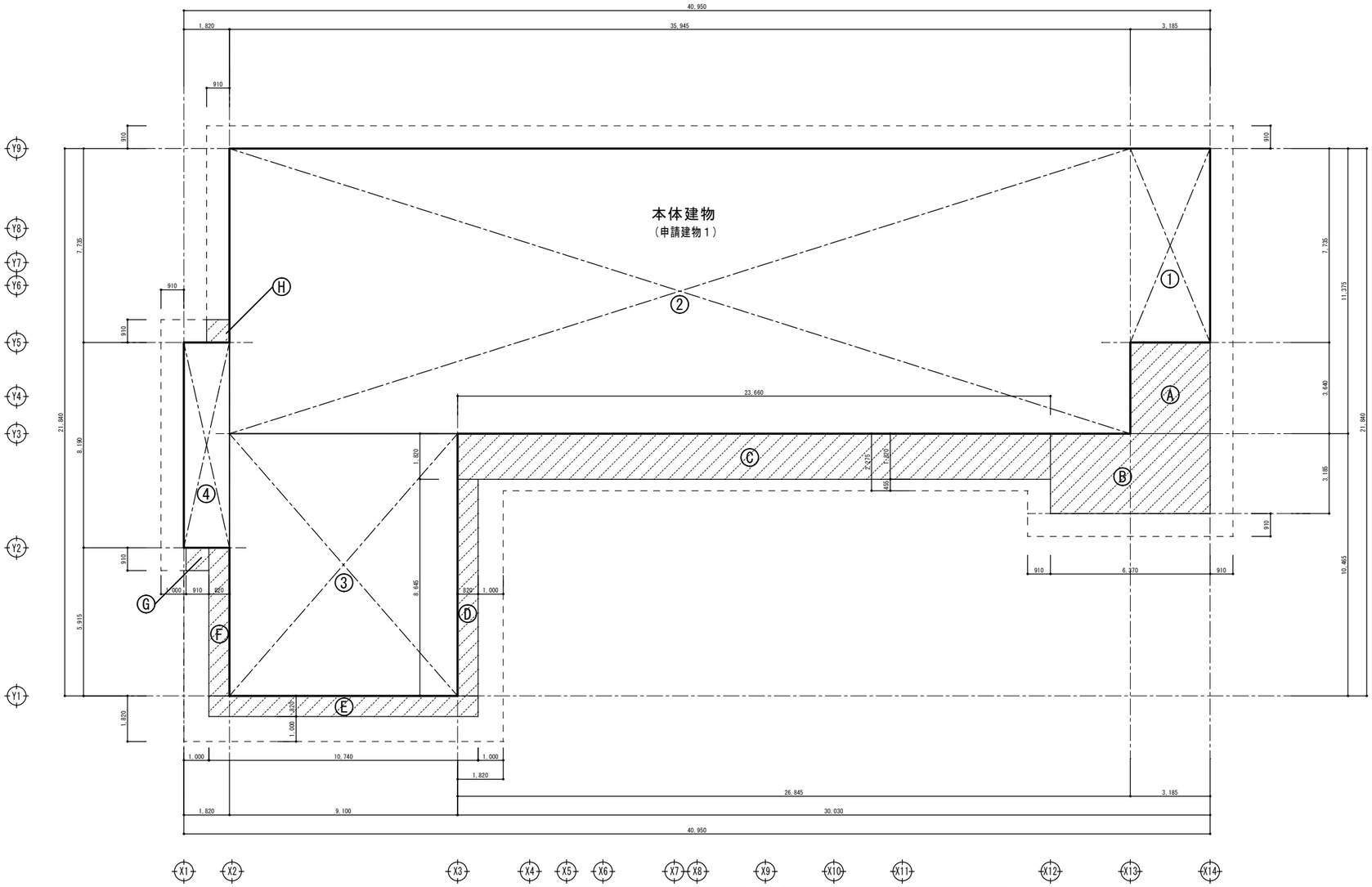
変更年月日・変更事項

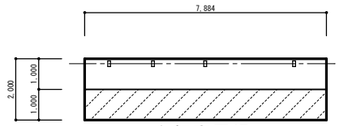
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 （登録183507号） 構造１級建築士 （登録7233号） 設備１級建築士 （登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 敷地面積求積図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-09 |

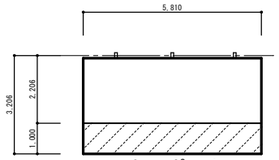
A2版(71%)
A3版(50%)



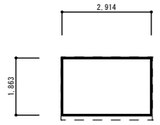

自転車置場
（申請建物２）

| 自転車置場　求積表 | | |
|---|---|---|
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ⓐ | 7.884 × 2.000 | 15.76800 |
| 建築面積 | | 15.77 ㎡ |
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ⓑ | 7.884 × 1.000 | 7.88400 |
| 床面積 | | 7.89 ㎡ |




カーポート
（申請建物３）

| カーポート　求積表 | | |
|---|---|---|
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ⓐ | 5.810 × 3.206 | 18.62686 |
| 建築面積 | | 18.63 ㎡ |
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ⓑ | 5.810 × 2.206 | 12.81686 |
| 床面積 | | 12.82 ㎡ |




屋外倉庫
（申請建物４）

| 屋外倉庫　求積表 | | |
|---|---|---|
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ⓐ | 2.914 × 1.863 | 5.428782 |
| 建築面積、床面積 | | 5.43 ㎡ |

| 本体　床面積求積表 | | |
|---|---|---|
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| ① | 3.185 × 7.735 | 24.635975 |
| ② | 35.945 × 11.375 | 408.874375 |
| ③ | 9.100 × 10.465 | 95.231500 |
| ④ | 1.820 × 8.190 | 14.905800 |
| 合　計 | | 543.647650 |
| 床面積 | | 543.65 ㎡ |

| 本体　建築面積求積表 | | |
|---|---|---|
| 符号 | 計　算　式 | 面　積 |
| | 床面積 | 543.64765 |
| Ⓐ | 3.185 × 3.640 | 11.5934 |
| Ⓑ | 6.370 × 3.185 | 20.28845 |
| Ⓒ | 23.660 × 1.820 | 43.0612 |
| Ⓓ | 0.820 × 8.645 | 7.0889 |
| Ⓔ | 10.740 × 0.820 | 8.8068 |
| Ⓕ | 0.820 × 5.915 | 4.8503 |
| Ⓖ | 0.910 × 0.910 | 0.8281 |
| Ⓗ | 0.910 × 0.910 | 0.8281 |
| 合　計 | | 640.9929 |
| 建築面積 | | 641.00 ㎡ |

延べ床面積　求積表

| 棟　名 | 床面積 |
|---|---|
| 本体建物 | 543.65 |
| 自転車置場 | 7.89 |
| カーポート | 12.82 |
| 屋外倉庫 | 5.43 |
| 合　計 | 569.79 ㎡ |

建築面積　求積表

| 棟　名 | 建築面積 |
|---|---|
| 本体建物 | 641.00 |
| 自転車置場 | 15.77 |
| カーポート | 18.63 |
| 屋外倉庫 | 5.43 |
| 合　計 | 680.83 ㎡ |

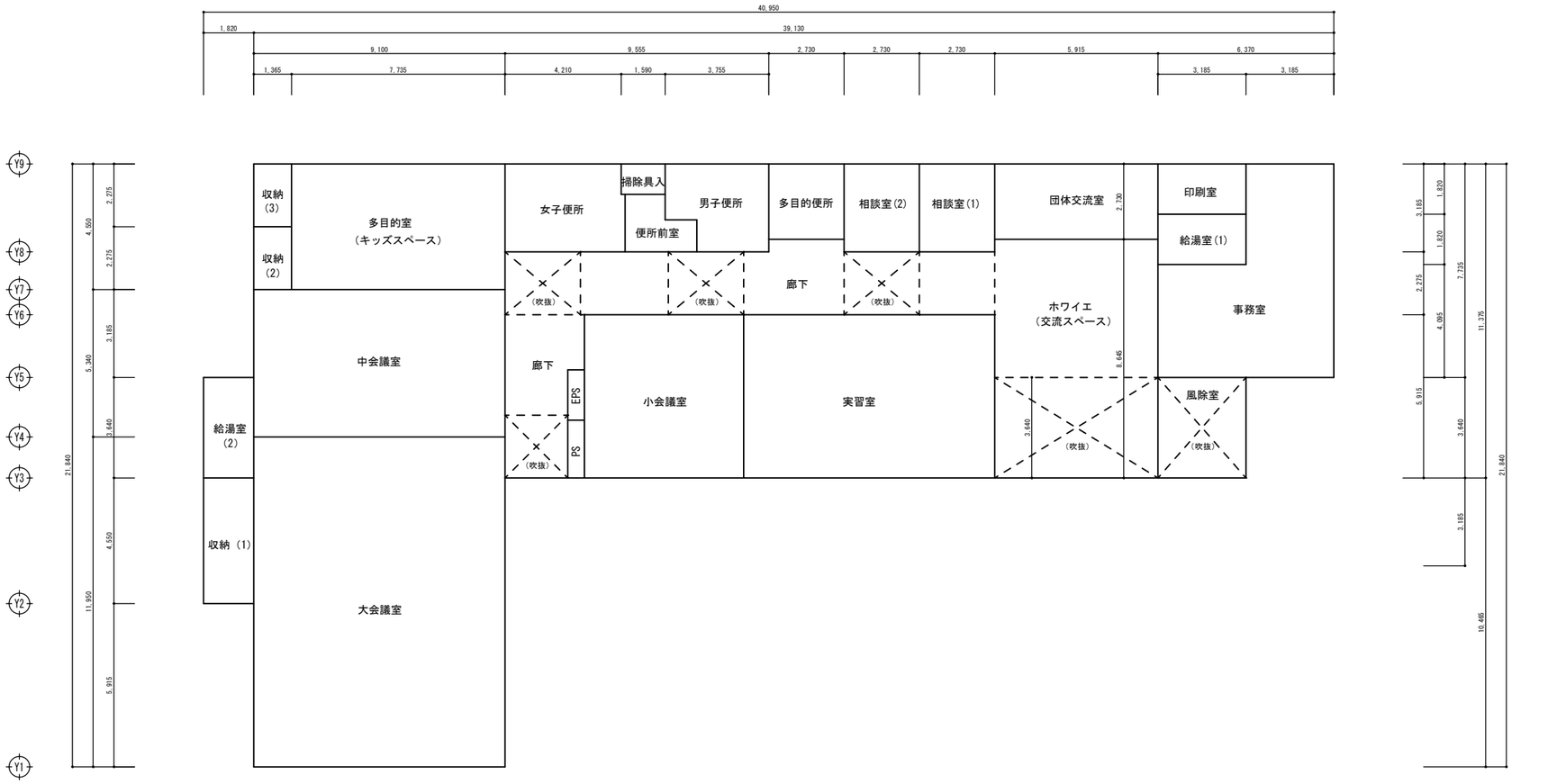
建物面積求積図　S=1:100

変更年月日・変更事項

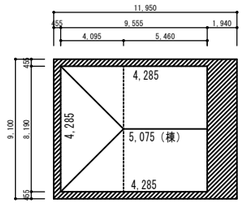
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| A2版(71%) A3版(50%) | |
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面番号 | A-10 |
| 図面名称 | 建物面積求積図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

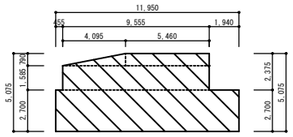



法規チェック図　S=1:100




大会議室平面図　1：200

：CH2,700部を示す

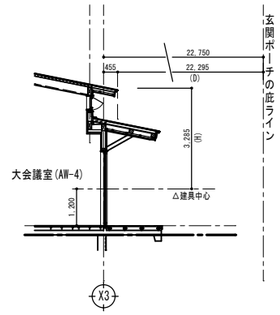


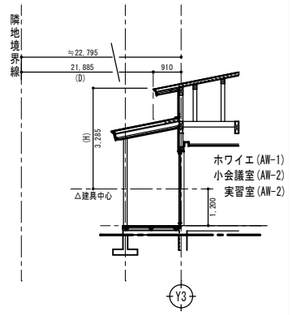

大会議室断面図　1：200

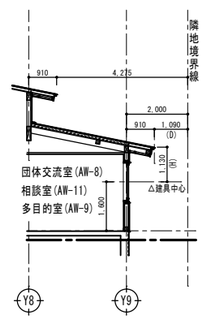
大会議室気積：11.95×9.1×2.7＋9.555×8.19×1.585＋5.46×8.19×0.79×1/2
＋4.095×8.19×0.79×1/3＝444.15

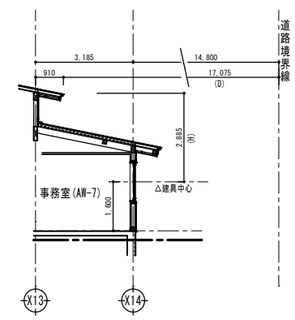
## 法規チェック表

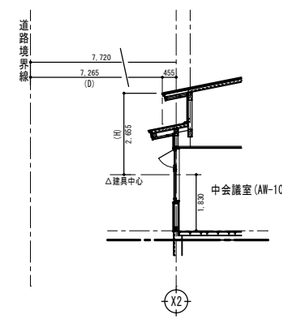
| 室名 | 室面積計算式 | 室面積（㎡） | 天井高（m） | 気積（m3） | 採光 必要面積（㎡） 1/20 | 採光 建具符号 | 採光 採光補正係数 (D/H x 6 - 1.4) | 採光 有効開口面積（㎡） | 採光 判定 | 換気 必要面積（㎡） 1/20 | 換気 建具符号 | 換気 有効開口面積（㎡） | 換気 判定 | 排煙 必要面積（㎡） 1/50 | 排煙 建具符号 | 排煙 有効開口面積（㎡） | 排煙 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大会議室 | 9.10×11.95 =108.745 | 108.75 | 4.285～5.075 2.70（下り部） | 444.15（右上図参照） | 5.44 | AW-4 | 22.295/3.285×6-1.4 =39.32 → 3.0 | 2.40×2.40×3×3 =51.84 | OK | 5.44 | AW-4 AW-14 | 2.40×2.40×1/2×3 =8.64<br>1.146×0.374×2×3 =2.57<br>計5.45 | OK | 2.18 | AW-14 | 1.146×0.374×2×3 =2.57 | OK |
| 中会議室 | 9.10×5.34 = 48.594 | 48.60 | 2.70 | 131.22 | 2.43 | AW-10 | 7.265/2.655×6-1.4 =15.01 → 3.0 | 2.00×1.00×3 =6.00 | OK | 2.43 | AW-10 | 2.00×1.00×1/2 =1.00<br>0.946×0.534×2 =1.01<br>計2.01 | NG | 0.98 | AW-10 | 2.00×0.10×1/2 =0.10<br>0.946×0.534×2 =1.01<br>計1.11 | OK |
| 小会議室 | 5.77×5.915 = 34.12955 | 34.13 | 2.60 | 88.74 | 1.71 | AW-2 | 21.815/3.285×6-1.4 =38.44 → 3.0 | 2.055×2.4×3×2 =29.59 | OK | 1.71 | AW-2 | 2.055×2.4×1/2×2 =4.93 | OK | 0.69 | AW-2 | 2.055×0.6×1/2×2 =1.23 | OK |
| 多目的室（キッズスペース） | 7.735×4.55 = 35.19425 | 35.20 | 2.50 | 88.00 | 1.76 | AW-9 | 1.09/1.13×6-1.4 =4.38 → 3.0 | 1.60×1.20×3×2 =11.52 | OK | 1.76 | AW-9 | 1.60×1.20×1/2×2 =1.92 | OK | 0.71 | AW-9 | 1.60×0.50×1/2×2 =0.80 | OK |
| 実習室 | 9.10×5.915 = 53.8265 | 53.83 | 2.60 | 139.96 | 2.70 | AW-2 | 21.815/3.285×6-1.4 =38.44 → 3.0 | 2.055×2.4×3×2 =29.59 | OK | 2.70 | AW-2 | 2.055×2.4×1/2×2 =4.93 | OK | 1.08 | AW-2 | 2.055×0.6×1/2×2 =1.23 | OK |
| 相談室（1） | 2.73×3.185 = 8.69505 | 8.70 | 2.40 | 20.88 | 0.44 | AW-12 | 1.09/1.13×6-1.4 =4.38 → 3.0 | 0.60×1.20×3 =2.16 | OK | 0.44 | AW-12 | 0.60×1.20 =0.72 | OK | 0.18 | AW-12 | 0.60×0.60 =0.36 | OK |
| 相談室（2） | 2.73×3.185 = 8.69505 | 8.70 | 2.40 | 20.88 | 0.44 | AW-12 | 1.09/1.13×6-1.4 =4.38 → 3.0 | 0.60×1.20×3 =2.16 | OK | 0.44 | AW-12 | 0.60×1.20 =0.72 | OK | 0.18 | AW-12 | 0.60×0.60 =0.36 | OK |
| 事務室 | 6.37×4.095 = 26.08515<br>3.185×3.64 = 11.5934 | 37.68 | 2.50 | 94.20 | 1.89 | AW-7 | 17.075/2.885×6-1.4 =34.11 → 3.0 | (0.60×2+1.16) ×1.20×3 =8.49 | OK | 1.89 | AW-7 AW-11 | (0.60×2) ×1.20 =1.44<br>0.60×1.20 =0.72<br>計2.16 | OK | 0.76 | AW-7 AW-11 | (0.60×2) ×0.50 =0.60<br>0.60×0.50 =0.30<br>計0.90 | OK |
| ホワイエ（交流スペース） | 5.915×8.645 = 51.135175<br>（吹抜部）<br>5.915×3.64 = 21.5306 | 51.14 | 2.70（吹抜部）4.25 | 138.08（吹抜部）91.51 計229.59 | 2.56 | AW-1 | 21.815/3.285×6-1.4 =38.44 → 3.0 | 1.60×2.40×3×2 =23.04 | OK | 2.56 | AW-1 | 1.60×2.4×1/2×2 =3.84 | OK | 1.03 | AW-15 | 0.746×0.374×2×2 =1.11 | OK |
| 団体交流室 | 5.915×2.73 = 16.14795 | 16.15 | 2.50 | 40.38 | 0.81 | AW-8 | 1.09/1.13×6-1.4 =4.38 → 3.0 | 2.955×1.20×3 =10.63 | OK | 0.81 | AW-8 | (0.70×2) ×1.20 =1.68 | OK | 0.33 | AW-8 | (0.70×2) ×0.50 =0.70 | OK |




採光補正係数算定図　S=1:100

| 変更年月日・変更事項 | |
|---|---|
| | |

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目７番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号） （登録7233号） （登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 法規チェック図・法規チェック表 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-11 |

A2版(71%)
A3版(50%)

## 工事概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称<br>その他 | 工事名称 | 福山市光交流館 改築工事 | | | |
| | 用途 | 建築基準法：交流館（公民館に準じる）08140　　消防法：集会場　1項ロ | | | |
| | 建築主 | 福山市長 | | | |
| | | 福山市東桜町３－５ | | | |
| | 建設地 | 住居表示：福山市草戸町四丁目１４－２ | | | |
| | | 地名地番：福山市草戸町四丁目１１５４－１外３筆 | | | |
| 地域・地区 | 都市計画区域 | 市街化区域 | 許容建ぺい率 | 法規制及び算定・指定建ぺい率 | |
| | 用途地域 | 第一種住居地域 | | ６０％ | |
| | 防火指定 | 指定なし | 許容容積率 | 法規制及び算定・指定容積率 | |
| | 地区（都計法による） | 法２２条地域 | | ２００％ | |
| | その他の法規 | 宅地造成等工事規制区域、下水処理区域（合流式） | | | |
| 敷地の状況 | 道路幅員 | 東：6.8m　　西：4.0m | | | |
| | 道路との高低差 | 配置図に依る | | | |
| | 地質調査（ボーリング） | 有り（別紙参照） | | | |
| | その他 | | | | |
| 構造概要 | 主体構造 | 木造平家建 | | | |
| | 基礎・地業 | 地盤改良（柱状改良） | | | |
| | 各部の高さ | 最高高さ：5.80m　　最高軒高：4.80m | | | |

### 面積表　（㎡）

| | 交流館 | 自転車置場 | 屋外倉庫（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ） | ｶｰﾎﾟｰﾄ | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 木造 | ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造 | 軽量鉄骨造 | ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造 | | | | | |
| | 平家 | 平家 | 平家 | 平家 | | | | | |
| 敷地面積 | | | | | | | | | 2,174.10 |
| 建築面積 | 641.00 | 15.77 | 5.43 | 18.63 | | | | | 680.83 |
| 床面積 | 543.65 | 7.89 | 5.43 | 12.82 | | | | | 569.79<br>（172.02坪） |

## 外部仕上表

| | | |
|---|---|---|
| 屋根 | 屋根 | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板（SGL鋼板） t＝0.5　たてひら葺　　ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940<br>構造用合板 t＝12　垂木45ｘ75@303（通気工法）<br>ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 t＝30挿入　継ぎ目気密ﾃｰﾌﾟ貼り<br>構造用合板 t＝24　　母屋120ｘ150@910<br>水切（唐草）：屋根材同材同色 t＝0.5 曲げ加工　　換気棟@4.5m（屋根同材同色）<br>※ 屋根の断熱材と防水シートは気密ﾃｰﾌﾟを貼り、気密層の連続を確保する。 |
| | 軒天 | ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 t＝12<br>野縁45ｘ45@455 |
| | 破風・鼻隠 | 屋根：窯業系不燃性化粧外装材 H=210<br>下屋：窯業系不燃性化粧外装材 H=210（2枚重ね） |
| 外壁 | 地覆 | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修　複層塗ﾘ仕上（ﾄｯﾌﾟｺｰﾄのみ） |
| | 壁 | 窯業系化粧ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ横張り t＝16　通気金具 t＝15@455　、防鼠付土台通気水切（ｱﾙﾐ）、　通気見切<br>透湿防水ｼｰﾄ（ﾓｲｽﾝ遮熱ｼｰﾄⅡ　同等品）　構造用合板 t＝9<br><br>ﾀｲﾙ張り廻り：構造用合板 t＝9　透湿防水ｼｰﾄ　通気胴縁18ｘ45<br>両面硝子繊維ﾈｯﾄ張ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ板 t＝12.5下地　ﾀｲﾙ張り（石調）<br><br>※ 外壁に面する給排気口、ｸｰﾗｰ用ｽﾘｰﾌﾞ、換気口の周囲は外部より、全てｺｰｷﾝｸﾞを施す<br>※ 外壁範囲全てｸﾞｽｳｰﾙ充填（防湿層付）24K　t＝100 |
| | 窓・出入口 | ｱﾙﾐﾆｳﾑ製、複層ｶﾞﾗｽ<br>開口部全周：防水ﾃｰﾌﾟ（ﾌﾞﾁﾙﾃｰﾌﾟ）及びｼｰﾘﾝｸﾞ打 |
| 玄関ﾎﾟｰﾁ | 床・階段 | 300角磁器質ﾀｲﾙ<br>（300角視覚障がい者用点字・線状磁器質ﾀｲﾙ） |
| | 郵便受け | W390xH390　前入後出　口金・防滴ﾀｲﾌﾟ |
| ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ | 床 | 再生木 t＝30（働き巾200mm）目地3mm　附属下地金物他一式 |

| | |
|---|---|
| 土間 | 土間下：防湿ｼｰﾄ（t＝0.15　重ね200以上）<br>ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(2種b) t＝25 敷込み(屋内のみ) |
| 樋 | （東・南・西面）軒樋：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製GH15号<br>縦樋：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製114φ<br>（　北・西面　）軒樋：樹脂製前高ﾀｲﾌﾟ165W型<br>縦樋：ｶﾗｰVP100φ |
| その他 | 館名文字(玄関ﾎﾟｰﾁ外壁（ﾀｲﾙ張り面））：SUS304PL t＝5.0　焼付塗装（市章ﾏｰｸ＋７文字）　h=200前後　浮かせ仕様<br>梁木材現し部：WP塗装<br>鉄骨柱　　：溶融亜鉛ﾒｯｷのうえDP塗装 |

■参考指定材料リスト（同等以上とする）

| 名称 | 品質仕様 | 参考メーカー |
|---|---|---|
| たて平葺き鉄板 | SGL鋼板 | 日鉄鋼板㈱ |
| 軒天 | 軒天12　木目調 | ﾆﾁﾊ㈱ |
| 破風・鼻隠 | ｱｸﾃｨ　木目調PNﾘｰｽﾞ | ﾆﾁﾊ㈱ |
| 窯業系化粧サイディング | ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16　N-fitｼﾘｰｽﾞ　しぶきﾌﾞﾚﾐｱﾑ | ﾆﾁﾊ㈱ |
| 石調外壁ﾀｲﾙ | ﾙﾐﾅｽ（はるかべ工法） | ㈱LIXIL |
| 300角磁器質床ﾀｲﾙ | ﾋﾞｯﾂｱ　OXｼﾘｰｽﾞ | ㈱LIXIL |
| ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 | ﾈｵﾏﾌｫｰﾑ | 旭化成建材㈱ |
| ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ | ﾊﾞﾙｺﾆｰ用ｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ200　再生木 | YKK AP㈱ |
| 樋 | 軒樋:HACO HIGH FRONT-GH15号　　竪樋:ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製大型丸たてとい 114φ | ﾀﾆﾀﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ㈱ |
| 郵便受け | W390xH390　前入後出　口金・防滴ﾀｲﾌﾟ　KS-MAB2-05LK | ㈱ﾅｽﾀ |
| WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | WPC加工、UV抗菌耐摩耗塗装　（地域産材対応突板） | 大建工業㈱ |
| 乾式二重床 | ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ　ｴｱﾛﾋﾞｸｼｽﾃﾑ（ｽﾎﾟｰﾂ関連施設用乾式二重床） | ﾌｸﾋﾞ化学工業㈱ |
| 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ | ｸﾞﾗﾋﾞｵﾙｰﾊﾞｰUS　30ｘ150 @150 | 大建工業㈱ |
| 消火器ﾎﾞｯｸｽ | 全埋込型消火器ｹｰｽ　UFB-1F-3017-PWH | ㈱ﾕﾆｵﾝ |
| 可動間仕切 | 天井収納式電動可動間仕切　SUPERWALL40 | 三和ｼｬｯﾀｰ工業㈱ |
| 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ | 耐摩耗化粧合板　ﾏｰﾚｽﾎﾞｰﾄﾞ | ｱｲｶ工業㈱ |
| ﾎｰﾛｰ化粧鋼板 | ｴﾏｳｫｰﾙ　t＝1.3 | ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ㈱ |
| 化粧ｹｲｶﾙ板 | ｽﾃﾝﾄﾞ#400　t＝6.0 | ㈱ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ |
| 押入ﾎﾞｰﾄﾞ | ﾀｲｶﾞｰﾊｲｸﾘﾝｽｶｯﾄ押入ﾎﾞｰﾄﾞ　t＝12.5 | 吉野石膏㈱ |
| | | |
| | | |
| | | |

### ■特記事項

- 手摺、吊戸棚、衛生機器その他付属品取付け下地はｺﾝﾊﾟﾈ下地or鉄板下地とし緩み、ぐらつきのないものとする
- 貼物下地の接着剤は耐水性のり使用（耐湿施工）
- ﾍﾟﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ等は全て水切（SUS）付きとする
- 屋根、外壁、ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ廻り、水切等の鉄板は全てｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製とする
- 外部廻りの取付金物、取付ﾋﾞｽ、取付ﾎﾞﾙﾄは全てSUS304とする
- 壁ｸﾛｽ仕上げは振動吸収目地使用（位置は施工図により調整）
- ＰＢのｼﾞｮｲﾝﾄ部はＶｶｯﾄ、ﾊﾟﾃ処理（ｼﾞｮｲﾝﾄﾃｰﾌﾟ）とし出隅部は全てｺｰﾅｰﾃｰﾌﾟ又はｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄﾞを使用する
- 特記なき限りステンレスは、SUS304HL仕上とする。
- 木製見切、巾木等で出隅部は面取り加工とすること。
- ｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ及び植栽は別途工事とする。
- 屋根仕様については、太陽光パネルが設置できる仕様とする。

### ■防火区画（小屋裏隔壁）仕様

- 配管等の防火区画貫通部は令112条20項･21項、令129条の2の4第1項7号、告示1422号による。
- 上記の電線管等は貫通用防火措置ｷｯﾄを使用する（消防設備安全ｾﾝﾀｰ認定品）
- 空調冷媒管の区画貫通処理は国土交通大臣の認めた構造方法とする。
- 防火区画を貫通する給排気ﾀﾞｸﾄにはFD（防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ）を設ける。
- 外部から点検できない場合、ﾀﾞﾝﾊﾟｰ付近には点検口を設置する(ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞも同様)
- ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ、ｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｼﾞｭｰﾀﾝ等は防炎処理品とする。

### ■延焼の恐れのある部分

- 外壁の延焼のおそれのある部分　防火構造：ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１

### ■ｼｯｸﾊｳｽ対策

- 内装仕上材、建具、造り付け家具の仕上材、塗料及び接着剤はＦ☆☆☆☆以上のものを使用すること。
- 屋根裏・天井裏下地及び断熱材等はＦ☆☆☆相当以上を使用する
- 建築材料は全てｱｽﾛﾙﾋﾞﾘﾎｽ不添加品とする。

### ■ｶﾞｽ配管設備等の仕様

- ｶﾞｽｺﾝﾛの側方150mm、上方1,000以内は不燃材料仕上げとする
- 火気使用の取扱いについては当該地区消防組合火災予防条例による。

### ■不燃・準不燃認定番号

| | |
|---|---|
| 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ＜9.5＞ | ＱＭ－９８２８　（準不燃） |
| 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ＜12.5＞ | ＮＭ－８６１９　（不　燃） |
| 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ＜9.5＞ | ＱＭ－０５２４　（準不燃） |
| ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ＜12.5＞ | ＮＭ－９６３９　（不　燃） |
| 押入ﾎﾞｰﾄﾞ＜12.5＞ | ＮＭ－０５３０　（不　燃） |
| ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板＜9.0＞ | ＮＭ－８５９９　（不　燃） |
| 無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板＜6.0＞ | ＮＭ－２７７３　（不　燃） |
| 化粧ｹｲｶﾙ板＜6.0＞ | ＮＭ－３０７３　（不　燃） |
| 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ 30ｘ150 | ＮＭ－４３８９　（不　燃） |

ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ：無機質壁紙 日本壁装協会防火施工管理ﾗﾍﾞﾙ　　ＮＭ-９９５１　（不　燃）

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 設計概要・外部仕上表 |
| 縮尺 | － |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-12 |

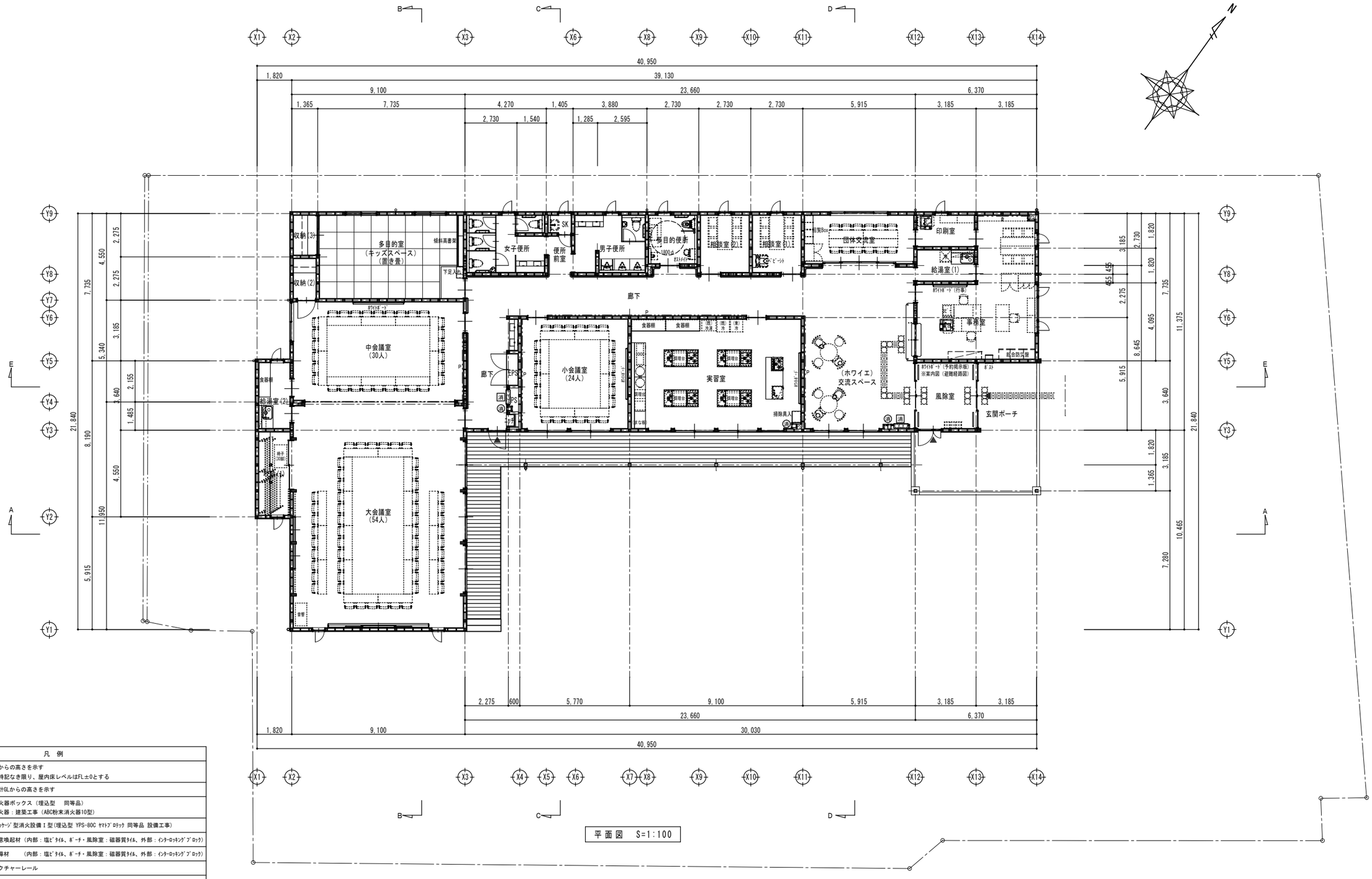
A2版(71%)
A3版(50%)

# 内 部 仕 上 表

| 階 | 室 名 | 居室 | 内装制限 | 排煙種別 | 床仕上ﾚﾍﾞﾙ / ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ | 床 下地 | 床 仕上 | 巾 木 仕上 | 壁 下地 | 壁 仕上 | 天 井 下地 | 天 井 仕上 | 天井高 | 廻 縁 | カーテンBOX | 備 考 | 室 名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1階 | 風 除 室 | | | | ±0 / -50 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ﾓﾙﾀﾙ下地<br>300角磁器質ﾀｲﾙ貼り t＝13.0 | 床材同材同色<br>H＝150(2面) | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t＝2.5<br>（北面）ﾀｲﾙ張り（石調）下地は外壁に倣う<br>（吹抜け部）石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>木製見切縁 60×45 UC塗装(FL+3,160) | 木 | 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ<br>（吹抜け部）石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>木材現し部　UC塗装 | 2,700<br>4,250（吹抜け部） | — | — | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（部屋別行事予定及び館内案内表）、視覚障がい者用点字ﾀｲﾙ（300角磁器質ﾀｲﾙ）、自動ﾄﾞｱ衝突防止柵<br>傘立（備品） | 風 除 室 |
| | ホワイエ<br>（交流スペース） | ○ | | 自然 | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝3.0 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>一部：化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ<br>（吹抜け部）石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>木材現し部　UC塗装 | 2,700<br>4,250（吹抜け部） | 塩ビ | ○ | 受付ｶｳﾝﾀｰ、ﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ、手摺、消火器BOX、視覚障がい者用点字・線状ﾀｲﾙ（300角ﾋﾞﾆｰﾙ床ﾀｲﾙ）<br>ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型屋内消火栓設備（別途工事）<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | ホワイエ |
| | 団 体 交 流 室 | ○ | | 自然 | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝3.0 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 2,500 | 塩ビ | ○ | 回覧板ﾎﾞｯｸｽ（4列×5段）<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 団体交流室 |
| | 廊 下 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝3.0 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装）<br>掲示板用壁面：ﾈｰﾛｰ化粧鋼板 t＝1.3（見切：ｱﾙﾐ材）<br>手洗い前：ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地化粧ﾀｲﾙ貼 t＝6 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（吹抜け部共）<br>一部：化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ<br>（吹抜け部）木材現し部　UC塗装 | 2,700<br>4,250（吹抜け部） | 塩ビ | — | ﾋﾞｸﾁｬｰﾚｰﾙ、手摺、消火器BOX、ﾆｯｹｶｳﾝﾀｰ<br>手洗いｶｳﾝﾀｰL＝1600・D＝450(TOTO㈱ ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ　ﾂｲﾝﾃﾞｯｷﾎﾞｳﾙｰ一体ﾀｲﾌﾟ同等品）、鏡<br>ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型屋内消火栓設備（別途工事）<br>小屋裏収納用ﾌﾗｯﾌﾟ：天井収納式9尺用ｽﾗｲﾄﾞﾌﾗｯﾌﾟ（大建工業㈱ CQ0336-2同等品） | 廊 下 |
| | 事 務 室 | ○ | | 自然 | ±0 / −10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,500 | 塩ビ | ○ | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（行事用）<br>総合防災盤（別途工事）<br>ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 事 務 室 |
| | 印 刷 室 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | | 印 刷 室 |
| | 給 湯 室 （1） | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 流し台L＝1200、吊戸棚、SUS水切り棚（㈱ LIXIL TIO同等品）<br>流し前ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う(ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ出隅ｼﾞｮｲﾅｰ）（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ） | 給 湯 室 （1） |
| | 相談室（1）・（2） | ○ | | 自然 | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝3.0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 2,400 | 塩ビ | ○ | ﾍﾟﾋﾞｰｼｰﾄ（相談室（1））<br>ｶｰﾃﾝ（別途） | 相談室（1）・（2） |
| | 便 所 前 室 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝3.0 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 | 2,400 | 塩ビ | — | 手摺 | 便所前室 |
| | 多 目 的 便 所 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | 床材巻上げ<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6　（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ）<br>男女便所境壁はGW24K充填　t＝100 | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 跳上げ手摺、L型手摺、ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ用折りたたみｼｰﾄ1500x500（TOTO㈱ 収納式多目的ｼｰﾄ同等品）、鏡<br>設備機器ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う(ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ出隅ｼﾞｮｲﾅｰ）（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ）<br>ｵｽﾄﾒｲﾄ（別途工事） | 多目的便所 |
| | 男 子 便 所 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染）<br>小便器廻り：汚垂石張り（ｾﾗﾐｯｸ） | 床材巻上げ<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6　（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ）<br>便所境壁はGW24K充填　t＝100 | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 小便器用手摺、L型手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱｰ<br>手洗いｶｳﾝﾀｰL＝1500・D＝600(TOTO㈱ ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ　ﾂｲﾝﾃﾞｯｷﾎﾞｳﾙｰ一体ﾀｲﾌﾟ同等品）、鏡<br>設備機器ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う(ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ出隅ｼﾞｮｲﾅｰ）（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ） | 男子便所 |
| | 女 子 便 所 | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | 床材巻上げ<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6　（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ）<br>便所境壁はGW24K充填　t＝100 | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | L型手摺、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱｰ<br>手洗いｶｳﾝﾀｰL＝1500・D＝600(TOTO㈱ ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ　ﾂｲﾝﾃﾞｯｷﾎﾞｳﾙｰ一体ﾀｲﾌﾟ同等品）、鏡<br>設備機器ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ） | 女子便所 |
| | S K | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | 床材巻上げ<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6　（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 設備機器ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ）<br>棚､ﾌｯｸ | S K |
| | 実 習 室 | ○ | (準) 火気使用室 | 自然 | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6　（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ、ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t＝9 | 2,600 | 塩ビ | ○ | 食器棚、調理台、作業台、掃除具入、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、消火器BOX<br>作業台前ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う(ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ出隅ｼﾞｮｲﾅｰ）（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ）<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 実 習 室 |
| | 小会議室 | ○ | | 自然 | ±0 / -25 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（杉） t＝15（直貼） | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>境壁はｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K充填 t＝100<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t＝9<br>天井裏：GW24K充填 t＝100 | 2,600 | 塩ビ | ○ | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 小会議室 |
| | 大会議室 | ○ | | 自然 | ±0 / -150 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | 乾式二重床ｼｽﾃﾑ<br>捨貼合板 t＝12下地<br>WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（杉） t＝12 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装）<br>柱現し部：UC塗装 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t＝9<br>梁現し部:UC塗装 | 4,285～5,075<br>2,700（下り天井部） | 塩ビ | ○ | 引分式ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（ｽｸﾘｰﾝ対応型）、姿見鏡、ｽｸﾘｰﾝ、ﾊﾞﾄﾝ<br>可動間仕切：天井収納型電動間仕切壁<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ、排煙窓部電動ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 大会議室 |
| | 中会議室 | ○ | | 自然 | ±0 / -150 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | 乾式二重床ｼｽﾃﾑ<br>捨貼合板 t＝12<br>WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（杉） t＝12 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：杉羽目板 t＝9　UV塗装品（見切､ｺｰﾅｰ：杉材UC塗装） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t＝9 | 2,700 | 塩ビ | ○ | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ<br>ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ（別途工事） | 中会議室 |
| | 多 目 的 室<br>（キッズスペース） | ○ | | 自然 | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0<br>置畳：ｽﾀｲﾛ畳（KT-Ⅲ） t＝60 | 木製（杉）<br>UC塗装<br>H＝75 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼<br>腰：石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地　化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t＝2.5<br>掲示板用壁面：ﾈｰﾛｰ化粧鋼板 t＝1.3（見切：ｱﾙﾐ材） | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5下地 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t＝9 | 2,500 | 塩ビ | ○ | 傾斜高書架、下足入、L型木製置框<br>ｶｰﾃﾝ（別途工事） | 多目的室 |
| | 給 湯 室 （2） | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t＝2.0（耐汚染） | ﾋﾞﾆﾙ巾木<br>H＝75 | 木 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地<br>化粧ｹｲｶﾙ板 t＝6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | 木 | 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 収納棚、流し台L＝1200、吊戸棚、SUS水切り棚（㈱LIXIL TIO同等品）<br>流し前ﾗｲﾆﾝｸﾞ：仕上は壁に倣う(ｺｰﾅｰ：ｱﾙﾐ出隅ｼﾞｮｲﾅｰ）（天端：ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ） | 給 湯 室 （2） |
| | 収 納（1） | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝2.0 | 雑巾摺<br>H＝15 | 木 | 押入ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5 | 木 | 野地板素地 | 直天 | — | — | 吊下げ式中段、枕棚 | 収 納（1） |
| | 収 納（2）・（3） | | | — | ±0 / -10 | ｺﾝｸﾘｰﾄ | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地<br>ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t＝2.0 | 雑巾摺<br>H＝15 | 木 | 押入ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5 | 木 | 押入ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5 | 2,400 | 塩ビ | — | 中段、枕棚 | 収納（2）・（3） |
| | ＥＰＳ | | | — | ±0 | ｺﾝｸﾘｰﾄ 金鏝押A | 防塵塗装 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ素地 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5素地 | 木 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝9.5素地 | 2,400 | 塩ビ | — | | ＥＰＳ |
| | 小 屋 裏 収 納 | | | — | +3,424 | 木 | 構造用合板 t＝24 | 雑巾摺<br>H＝15 | 木 | 押入ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5 | 木 | 押入ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5<br>野地板素地 | 1,400<br>一部直天 | 塩ビ | — | 転落防止柵H800：杉60×60 | 小 屋 裏 収 納 |

(準) 仕上材のみ準不燃材料以上を示す　(不) 仕上材のみ不燃材料以上を示す　(不) 仕上材、下地材共不燃材料以上を示す　(難) 仕上材のみ難燃材料以上を示す。　※1・・・1.2m以下の腰壁を除く

| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | A2版(71%) A3版(50%) | 図面番号 A-13 |
| 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | |
| | | 図面名称 | 内 部 仕 上 表 | 縮尺 − | 設計年月日 2025年 3月 |




平面図　S=1:100

| 凡　例 | |
|---|---|
| ±0 | FLからの高さを示す<br>※特記なき限り、屋内床レベルはFL±0とする |
| ±0 | 設計GLからの高さを示す |
| 消 | 消火器ボックス（埋込型　同等品）<br>消火器：建築工事（ABC粉末消火器10型） |
| 消 | ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型消火設備Ⅰ型(埋込型 YPS-80C ﾔﾏﾄﾌﾞﾛｯｸ 同等品 設備工事) |
| | 注意喚起材（内部：塩ﾋﾞﾆﾙ、ﾎﾞｰﾁ・風除室：磁器質ﾀｲﾙ、外部：ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ） |
| | 誘導材　（内部：塩ﾋﾞﾆﾙ、ﾎﾞｰﾁ・風除室：磁器質ﾀｲﾙ、外部：ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ） |
| P | ピクチャーレール |
| ○ | 竪樋：55%アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 114φ |
| ○ | 竪樋：カラーVP 100φ |
| ▲ | 出入口 |
| | |

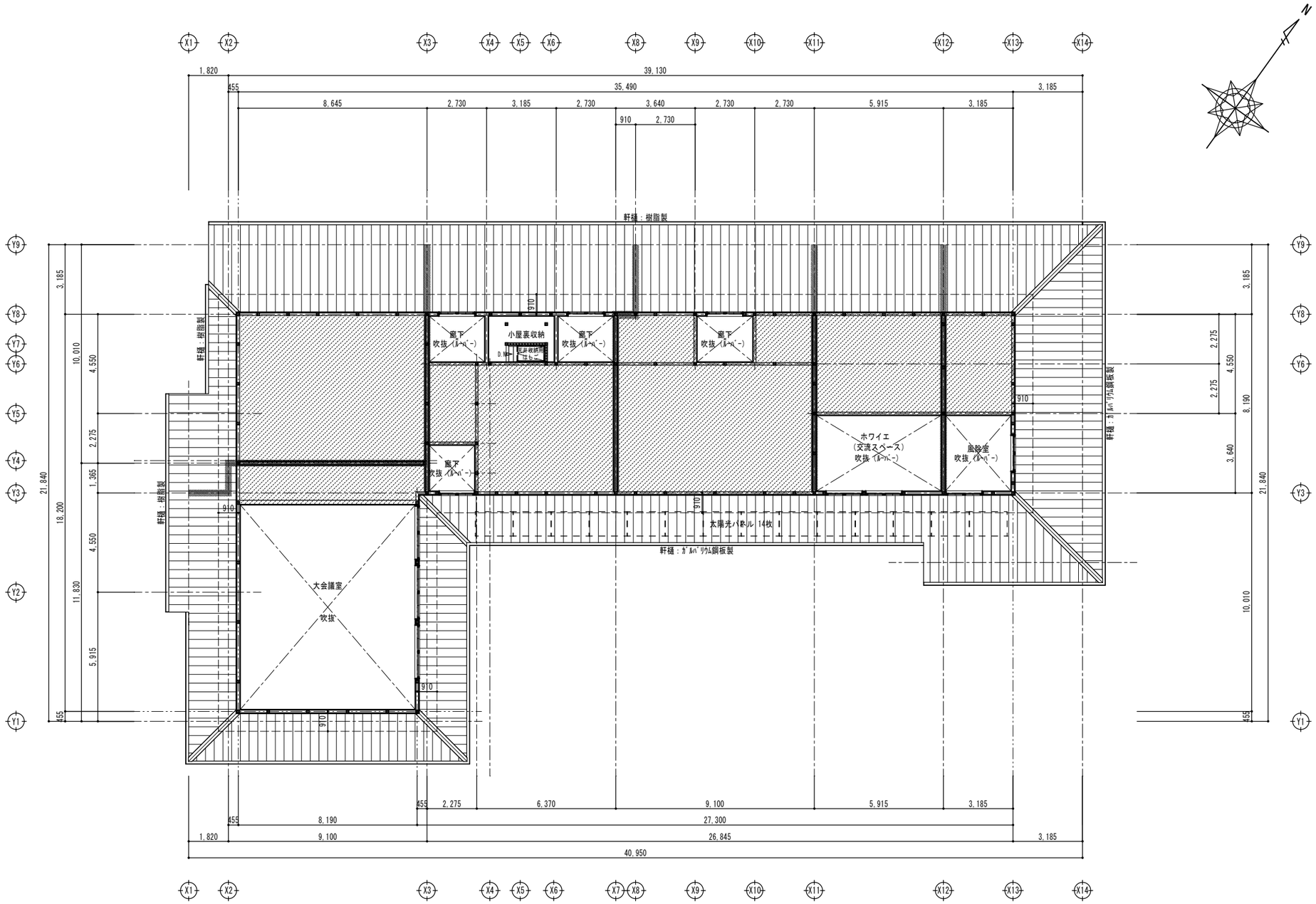
変更年月日・変更事項


福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）
高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 平　面　図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-14 |

A2版(71%)
A3版(50%)




吹抜部分平面図　S=1:100

凡　例

| | |
|---|---|
| | 建令114条第3項小屋裏の隔壁<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5両面貼り準耐火構造（H12 建告 1358号 ） |
| | |

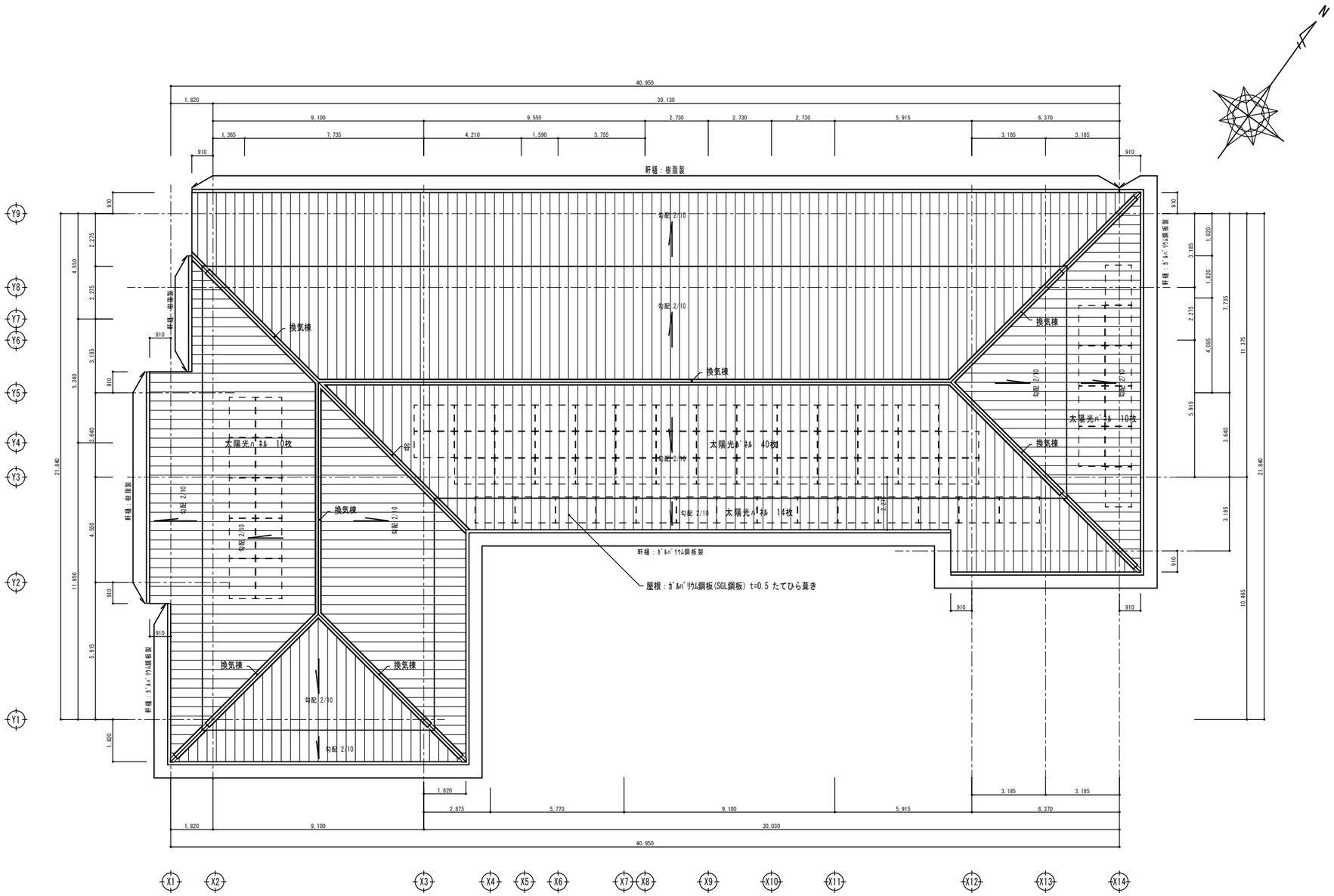
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

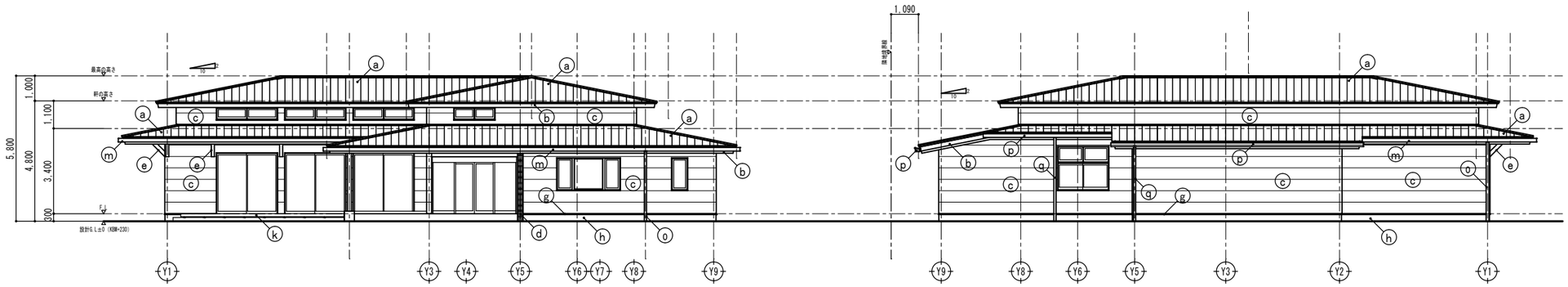

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 吹抜部分平面図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-15 |

A2版(71%)
A3版(50%)




屋根伏図 S=1:100

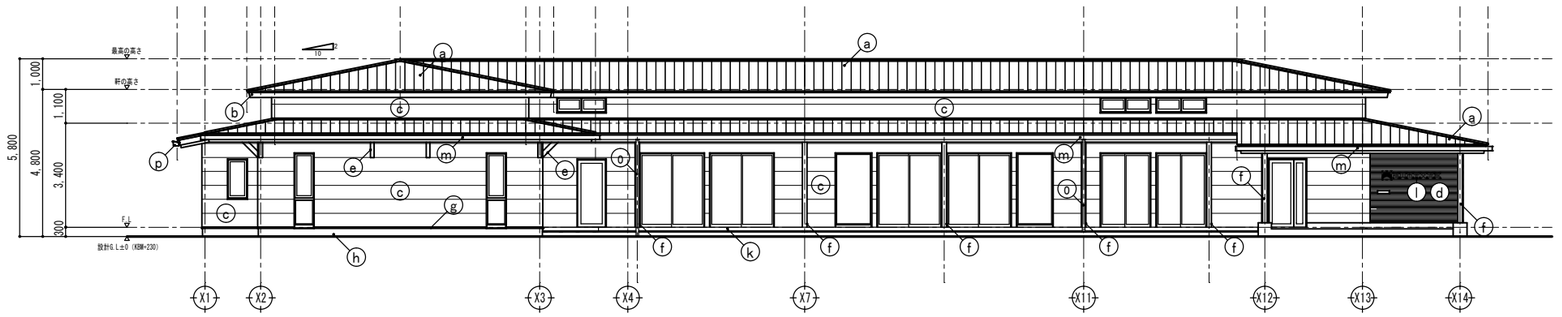
| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | | | A2版(71%) A3版(50%) |
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所 広島県福山市明神町２丁目7番35号 TEL 084-920-9123 FAX 084-928-6000 1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号 1級建築士（登録183507号） 構造1級建築士（登録7233号） 設備1級建築士（登録2832号） 高橋 啓之 | 工事名称 福山市光交流館改築工事 | 図面番号 A-16 |
| | | 図面名称 屋根伏図 | 縮尺 1：100 / 設計年月日 2025年 3月 |



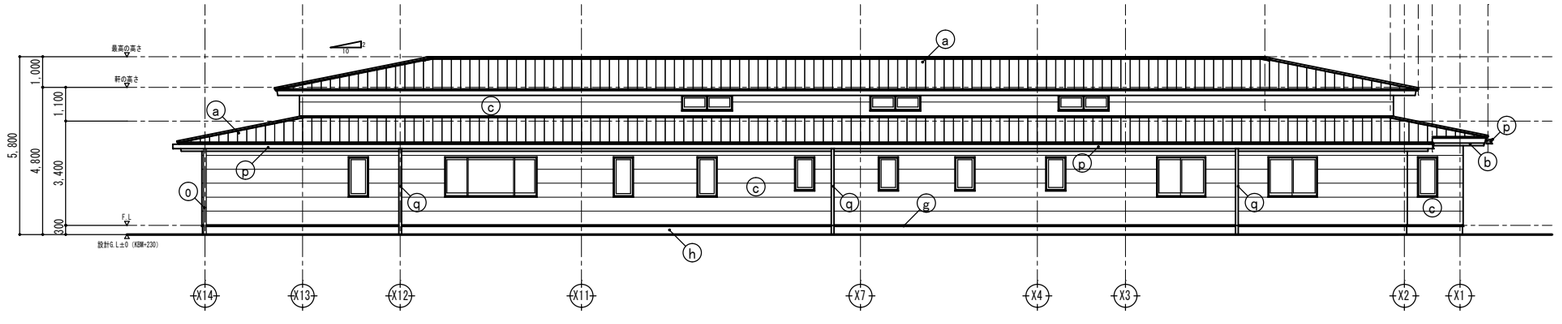

東面図　S=1:100




西面図　S=1:100




南面図　S=1:100




北面図　S=1:100

| 符号 | 仕　上 |
|---|---|
| a | 屋根：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5(SGL鋼板) たてひら葺き<br>ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940　構造用合板t=12 |
| b | 破風・鼻隠し：窯業系不燃性化粧外装材 H=210 （下段のみ2枚重ね） |
| c | 外壁：構造用合板 t=9　透湿防水ｼｰﾄ　通気金物下地　窯業系化粧ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ横張りt=16 |
| d | 外壁：構造用合板 t=9 ＋ 両面ｶﾞﾗｽ繊維ﾈｯﾄ張りｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ板 t=12.5 下地<br>ﾀｲﾙ貼り（石調） |
| e | 方杖：杉 自然保護塗料(WP)塗り |
| f | 柱：鉄骨 溶融亜鉛ﾒｯｷの上 DP塗装 |
| g | 土台水切り：防鼠付土台通気水切（ｱﾙﾐ） |
| h | 地覆：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修　巾木専用塗材塗り（ベースプロテクト同等） |
| k | ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ：再生木 t=30（働き巾 200mm）目地3mm |
| l | ｽﾃﾝﾚｽ切文字 200角 |
| m | 軒樋：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製（TANITA H15号同等品） |
| o | 縦樋：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ製114Φ（TANITA号同等品） |
| p | 軒樋：樹脂製 前高ﾀｲﾌﾟ165型 |
| q | 縦樋：ｶﾗｰVP100Φ |
| | |
| | |
| | |
| | |

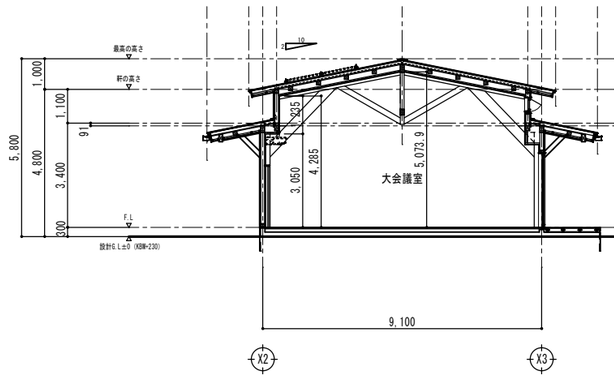
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

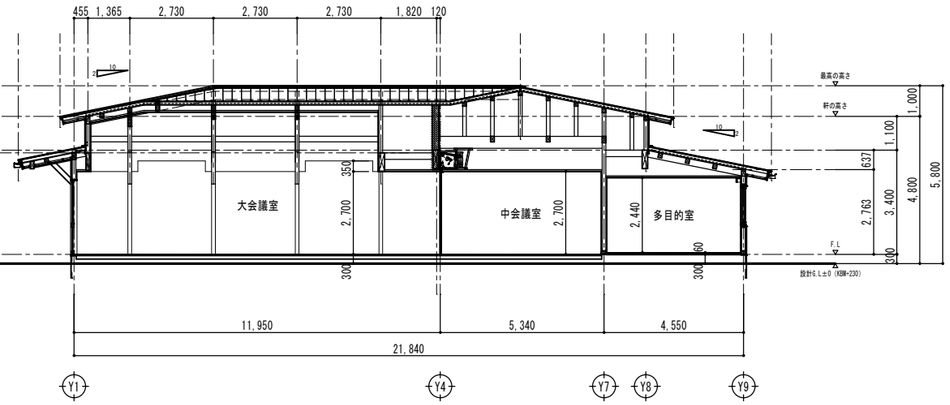
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之
FAX 084-928-6000

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 立　面　図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

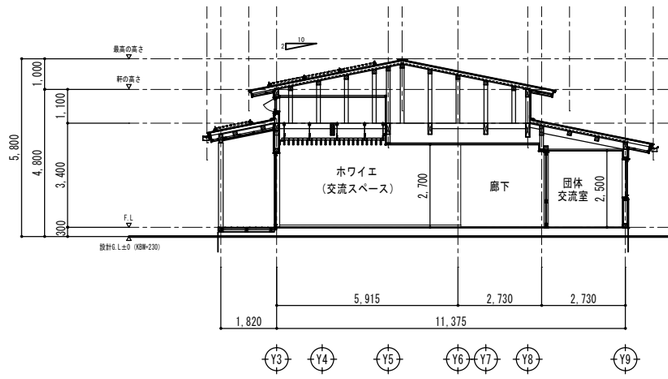
A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号
A-17



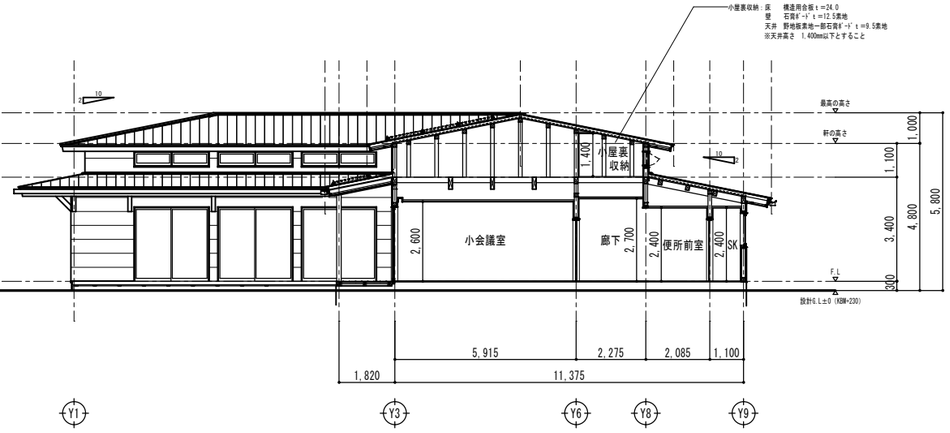

A－A 断面図　S=1:100



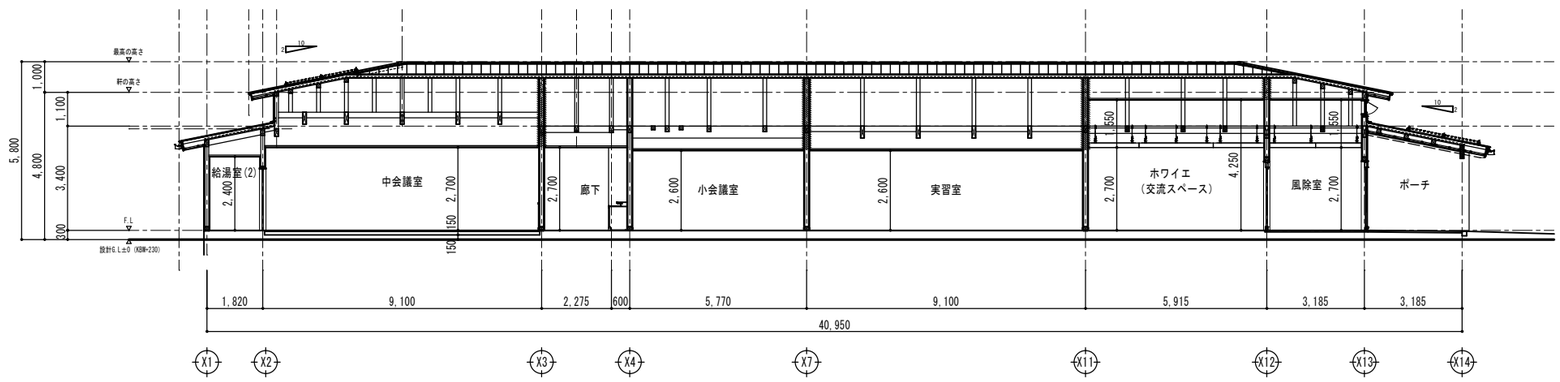

B－B 断面図　S=1:100




D－D 断面図　S=1:100




C－C 断面図　S=1:100




E－E 断面図　S=1:100

| 凡 例 | |
|---|---|
| | 建令114条第3項小屋裏の隔壁<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5両面貼り準耐火構造（H12 建告 1358号 ） |
| | |

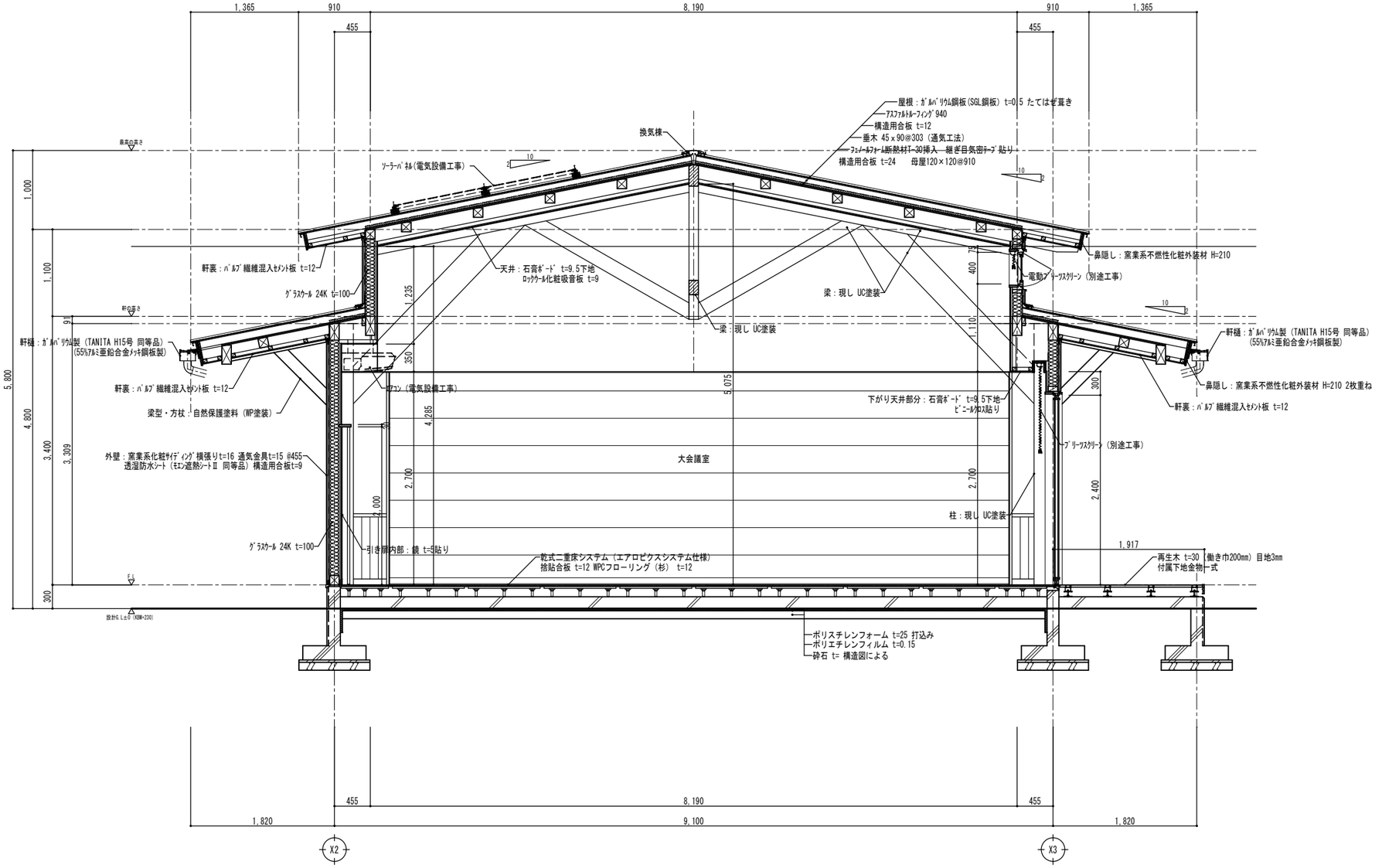
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之
FAX 084-928-6000

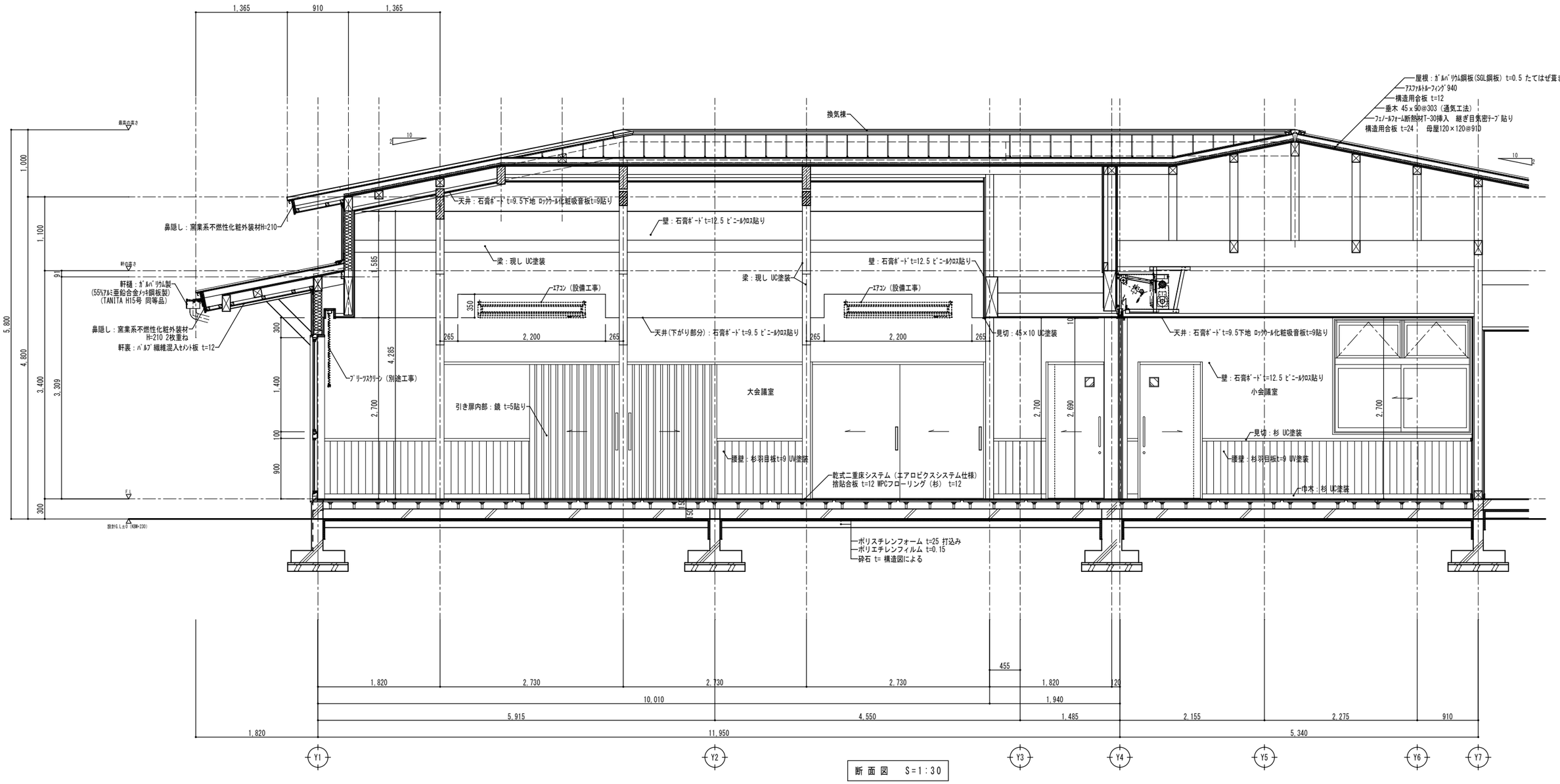
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 断　面　図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-18 |

A2版(71%)
A3版(50%)




断 面 図　S=1:30

| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士<br>（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | A2版(71%)<br>A3版(50%)<br>図面番号 A-19 |
| | | | 図面名称 | 断面詳細図（１） | 縮尺 1：30<br>設計年月日 2025年 3月 |




断面図 S=1:30

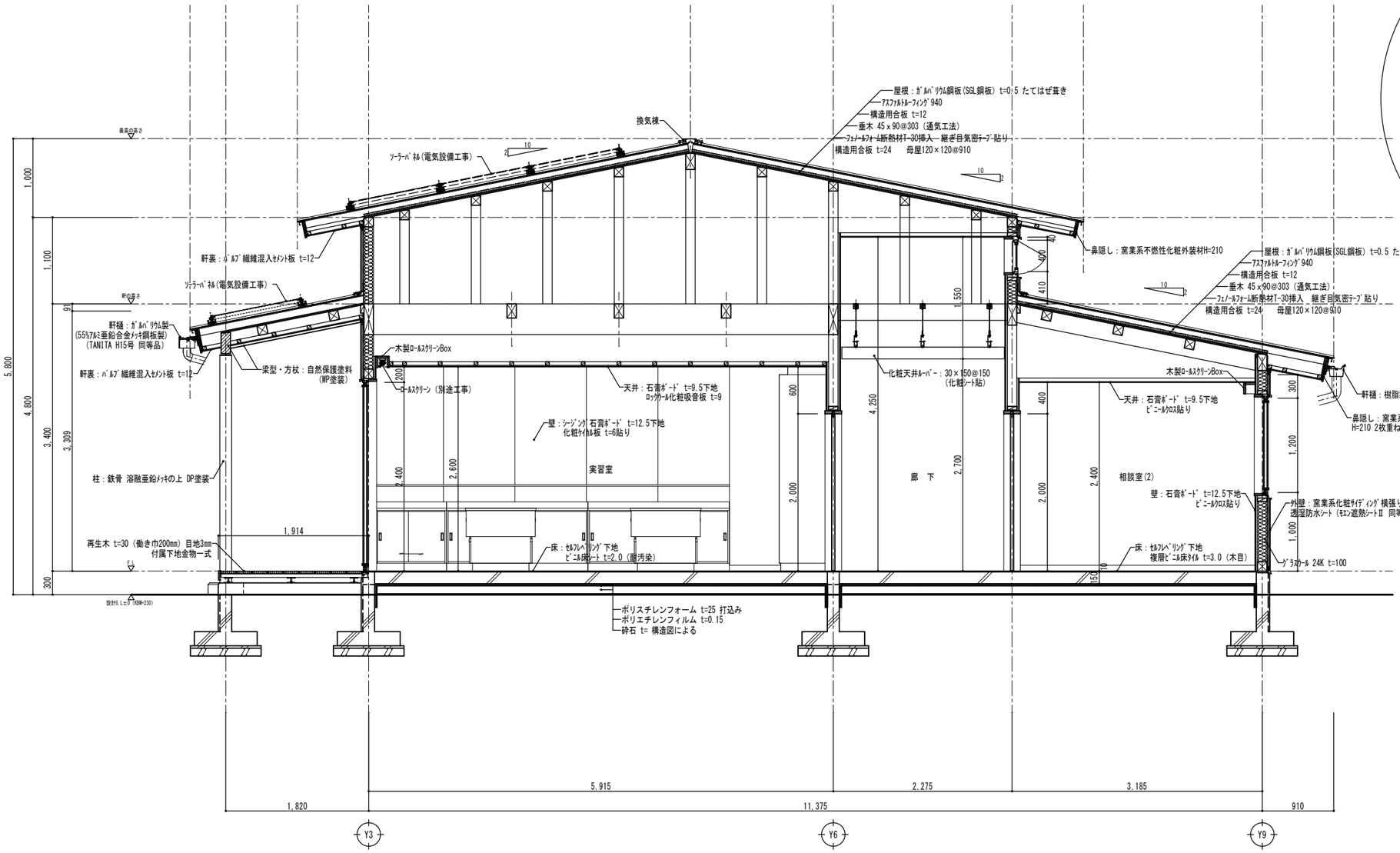
| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

福山市建設局建築部営繕課

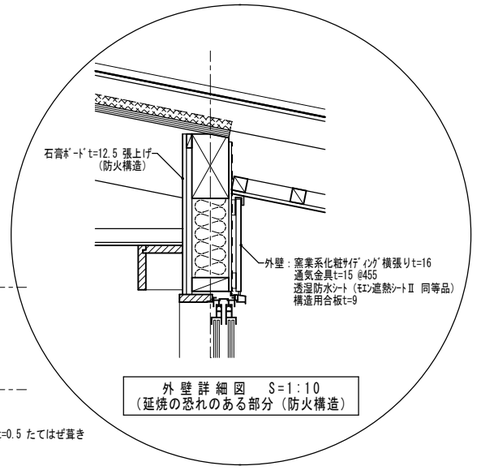
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号） 構造１級建築士（登録7233号） 設備１級建築士（登録2832号） 高橋 啓之

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | |
| 図面名称 | 断面詳細図（２） | 縮尺 | 1：30 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-20




断 面 図　S=1:30




外 壁 詳 細 図　S=1:10
（延焼の恐れのある部分（防火構造）

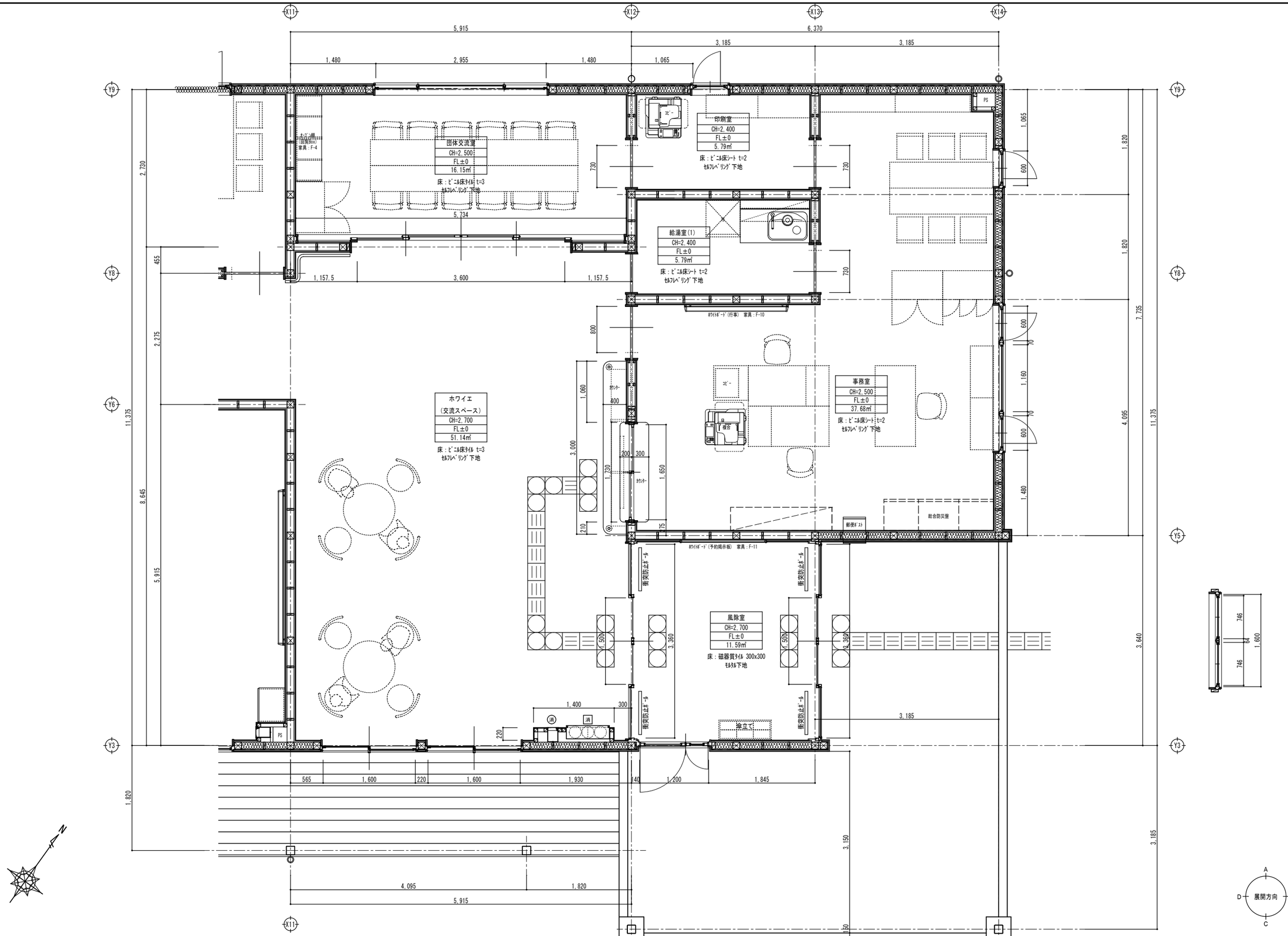
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

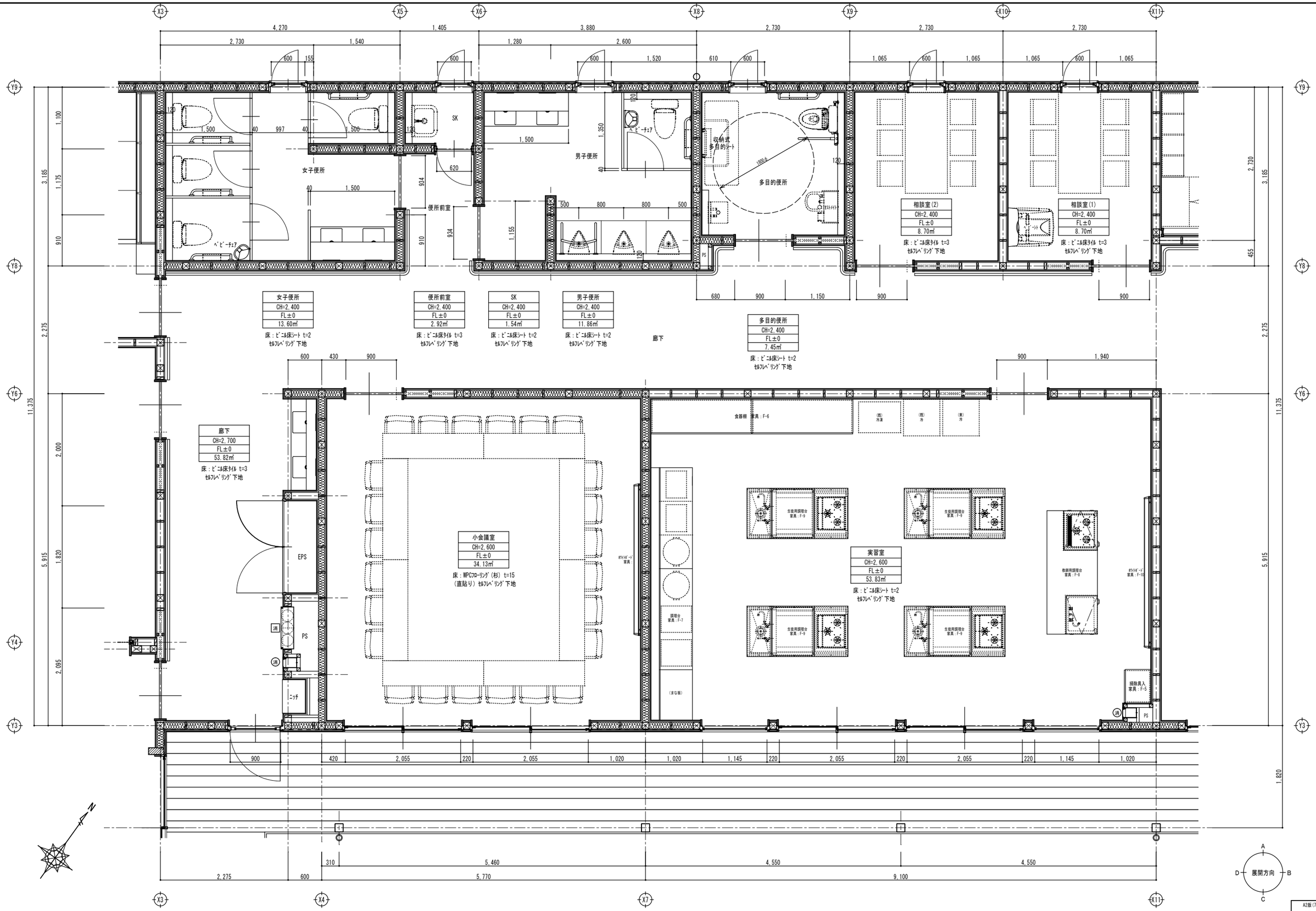
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 断面詳細図（３） |
| 縮尺 | 1：30 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号
A-21




| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | | | |
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）<br>FAX 084-928-6000　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事<br>図面名称　平面詳細図（１） |

| | |
|---|---|
| A2版(71%) A3版(50%) | |
| 図面番号 | A-22 |
| 縮尺 | 1：30 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |




| 変更年月日・変更事項 |
|---|

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目７番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 平面詳細図（２） |
| 縮尺 | 1：30 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-23 |

A2版(71%)
A3版(50%)

収納(3)
CH=2,400
FL±0
3.10㎡
床：ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2
ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ

収納(2)
CH=2,400
FL±0
3.10㎡
床：ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2
ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ

給湯室(2)
CH=2,400
FL±0
6.62㎡
床：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2
ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ 下地

多目的室
（キッズスペース）
CH=2,500
FL±0
35.20㎡
床：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2
ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ 下地
置畳：ｽﾀｲﾛ畳（KT-Ⅲ）t=60

中会議室
CH=2,700
FL±0
48.60㎡
床：捨貼合板t=12 WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（杉） t=12
乾式二重床下地

置框：ﾀﾓ集成材 UC塗装 t=60

天井収納型電動間仕切

女子便所

廊下

EPS

PS

天井収納型電動間仕切

給湯室(2)

収納(1)
CH= ～
FL±0
8.28㎡
床：ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2
ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地

収納(1)

椅子(30脚)

大会議室
CH=2,700～5,075
FL±0
108.75㎡
床：捨貼合板t=12 WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(杉) t=12
乾式二重床下地

PS

消

1/DT

音響

ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 家具：

額縁：杉 107×25 UC塗装
杉 25×65 UC塗装
1/DT 1：10

展開方向

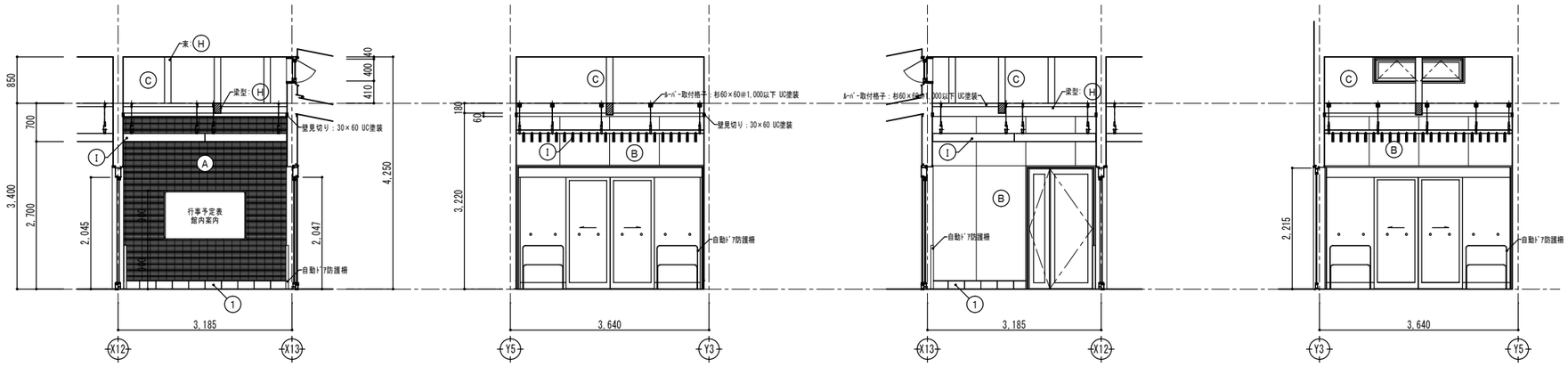
| 変更年月日・変更事項 |
|---|

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士
(登録183507号) (登録7233号) (登録2832号) 高橋 啓之

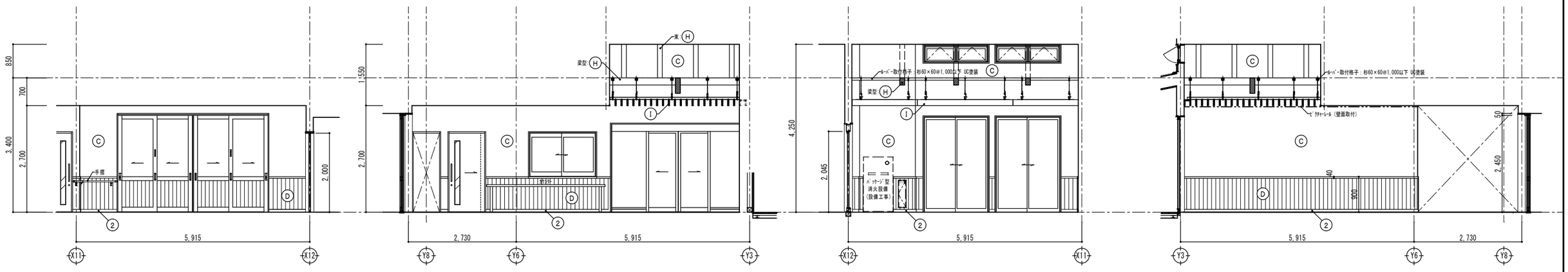
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 平面詳細図(4) |
| 縮尺 | 1：30 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-25 |

A2版(71%)
A3版(50%)

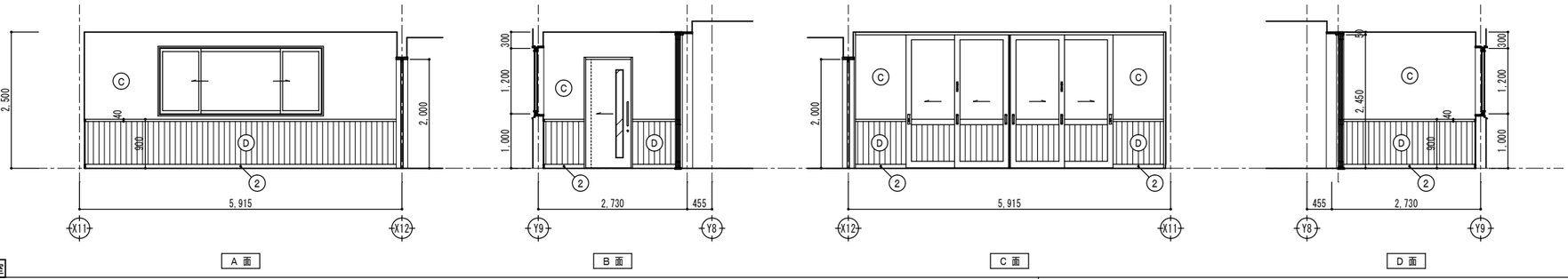



| | |
|---|---|
| A | 磁器質［BⅠ］タイル貼り |
| B | 石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り |
| C | 石膏ボード t=12.5下地 ビニールクロス貼り |
| D | 腰：杉羽目板貼り UV塗装（見切,コーナー：杉材 UC塗装） |
| E | 腰：石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り |
| F | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地 化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） |
| G | 押入ボード t=12.5張り |
| H | 木材現し部(柱梁型、束,方杖)：UC塗装） |
| I | 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ：30×150@150（化粧ｼｰﾄ貼） |

## 風除室

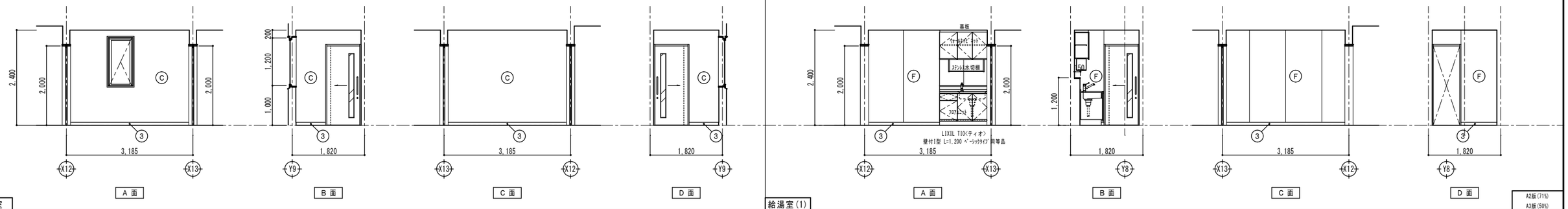



## ホワイエ（交流スペース）




| | |
|---|---|
| 1 | 巾木：床材同材同色（磁器質［BⅠ］ﾀｲﾙ）H=150 |
| 2 | 巾木：木製 杉 UC塗装 H=75 |
| 3 | 巾木：ビニル巾木 H=75 |
| 4 | 巾木：床材巻上げ H=75 |
| 5 | 巾木：畳寄 杉 UC塗装 H=75 |
| 6 | 巾木：雑巾摺 H=15 |
| | |
| PR | ピクチャーレール |
| | |

## 団体交流室




## 印刷室

## 給湯室(1)

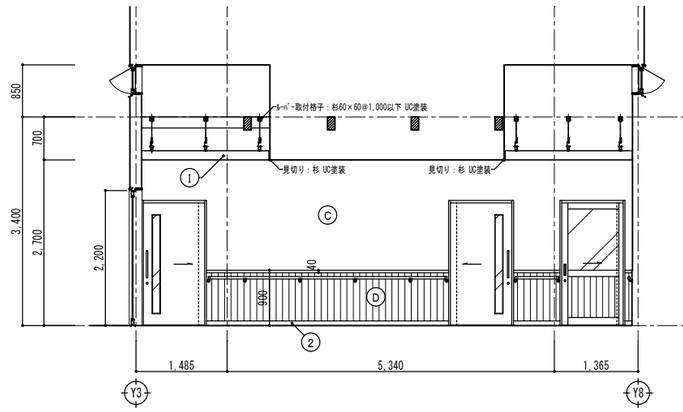
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

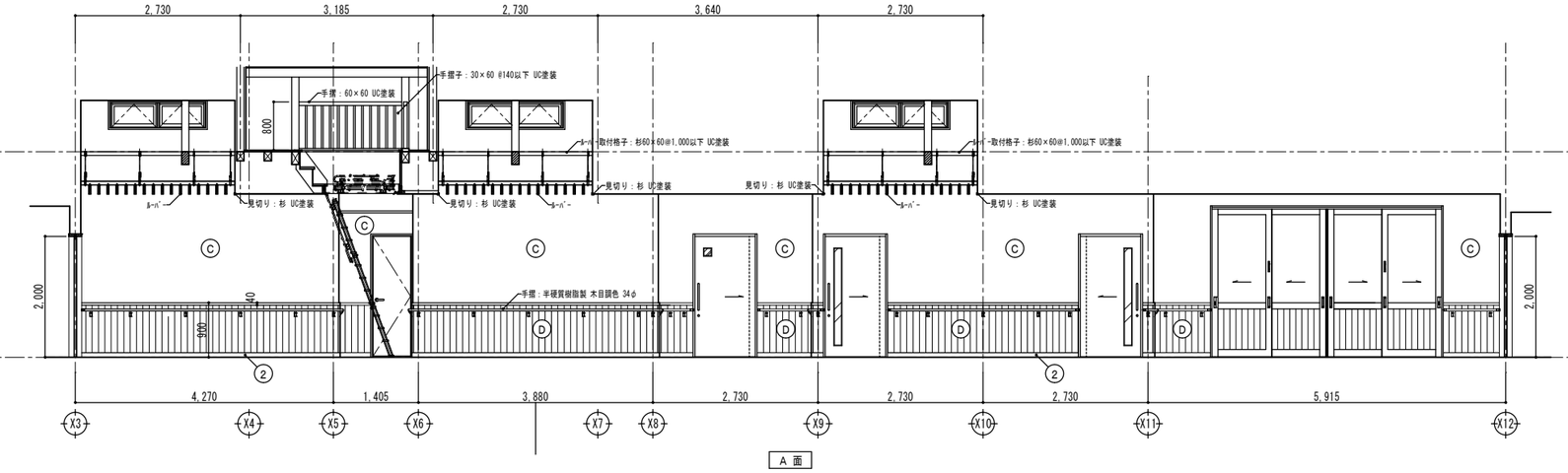
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 展開図（１） |
| 縮尺 | 1：50 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

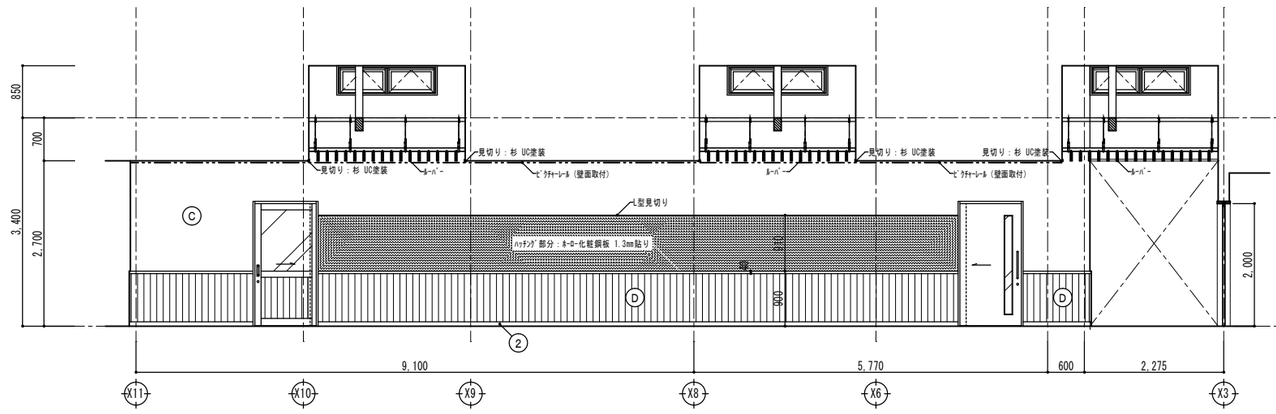
A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-26



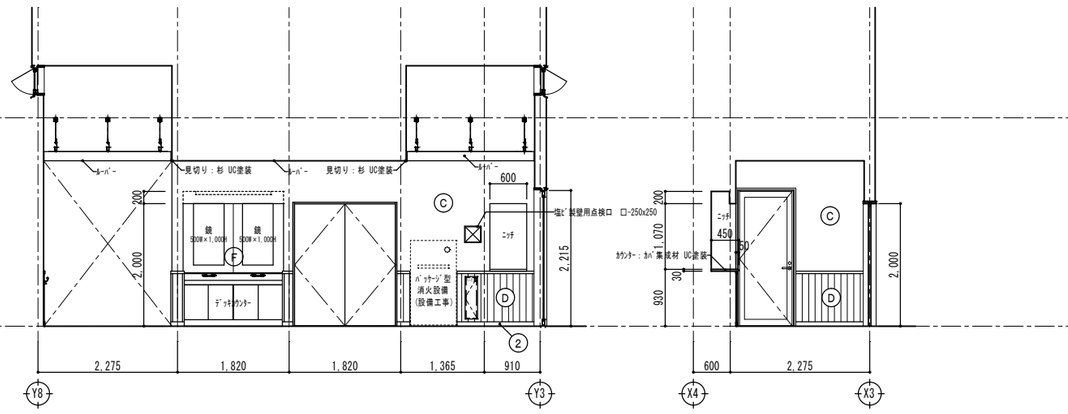

D 面




A 面




C 面

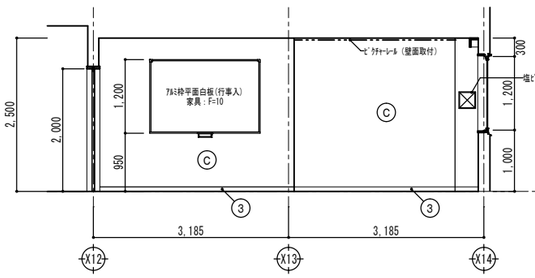



B 面

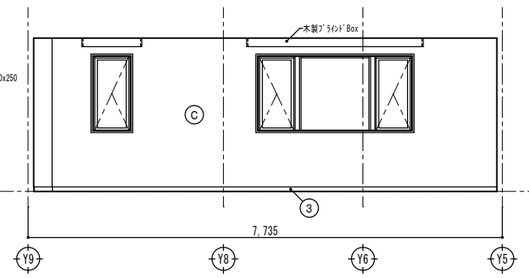



C 面

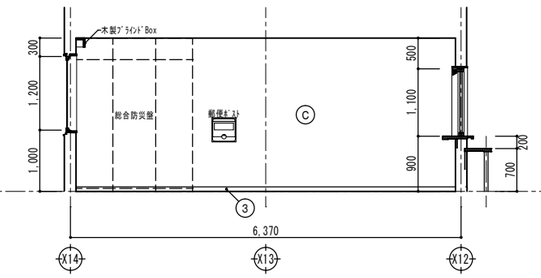
廊 下



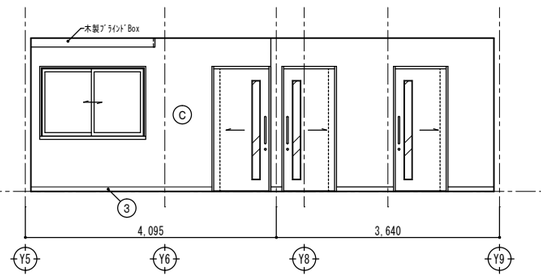

A 面




B 面

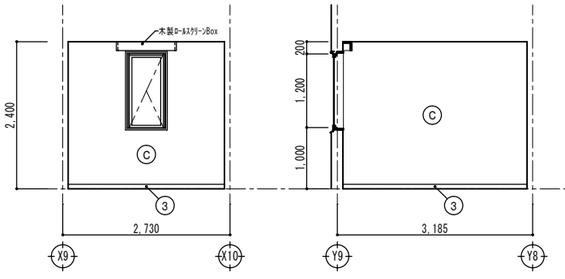



C 面




D 面

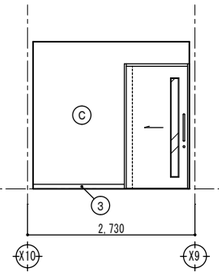
事務室



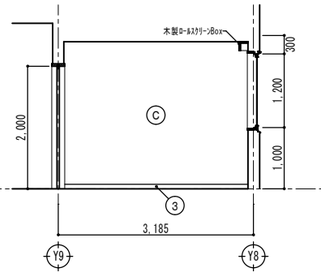

A 面




B 面

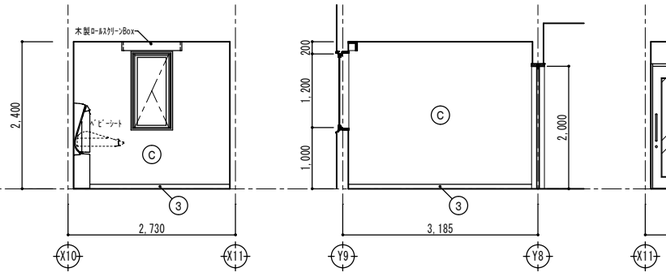



C 面




D 面

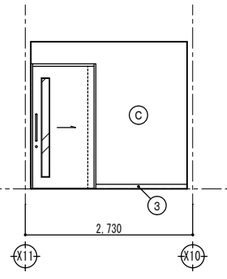
相談室(1)



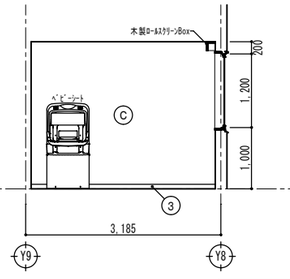

A 面




B 面




C 面




D 面

相談室(1)

| 変更年月日・変更事項 |
|---|
| |

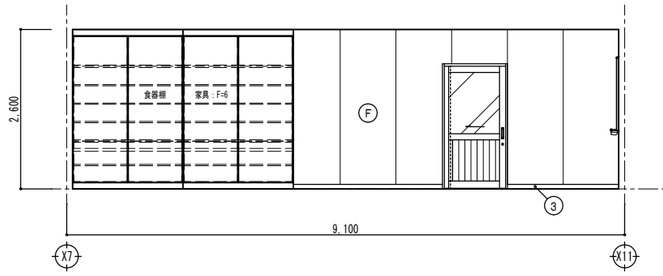
福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

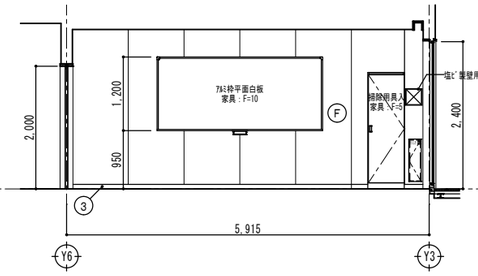

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 展開図（２） |
| 縮尺 | 1：50 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-27

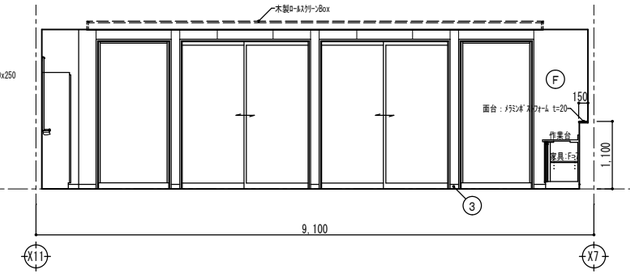
## 実習室



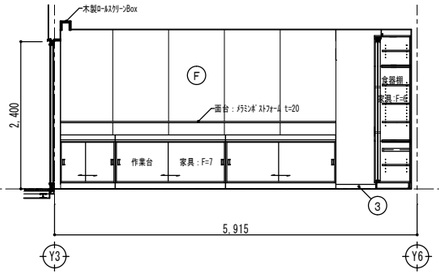

A 面




B 面

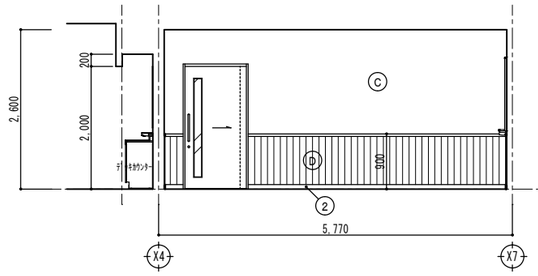



C 面

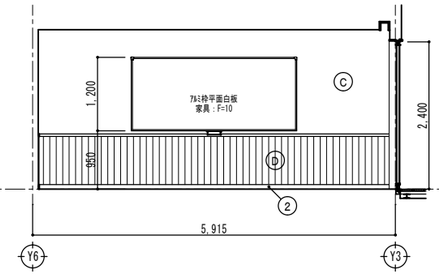



D 面

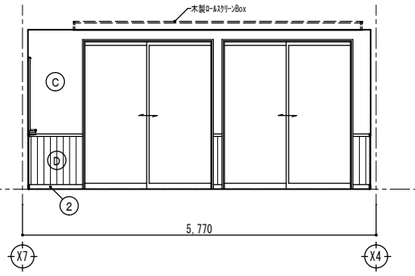
## 小会議室



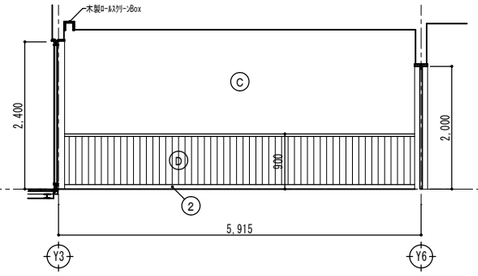

A 面




B 面

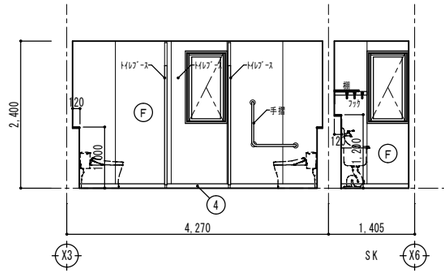



C 面

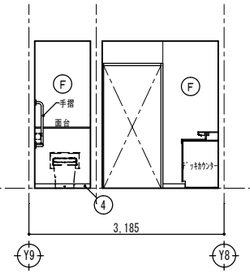



D 面

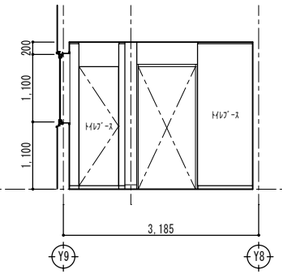
## 女子便所



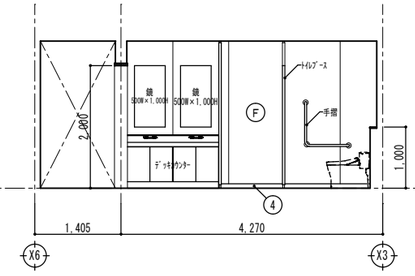

A 面



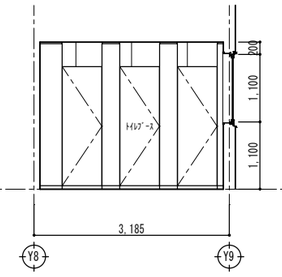

B 面



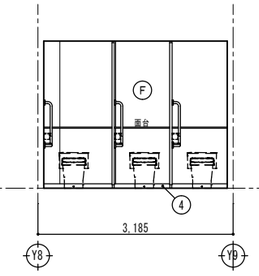

B 面




C 面

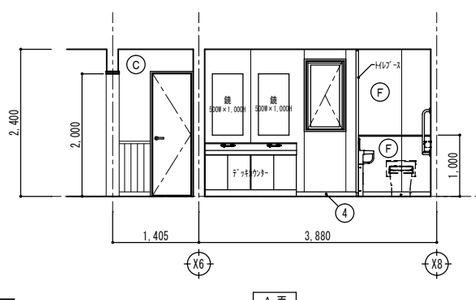



D 面

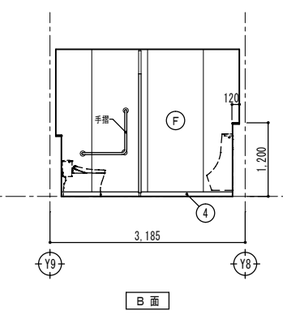



D 面

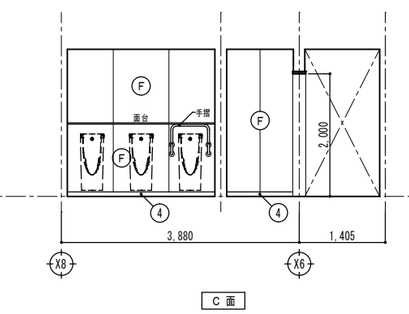
## 多目的便所



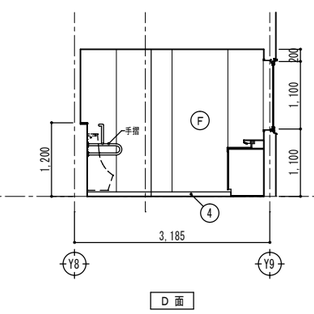

A 面




B 面

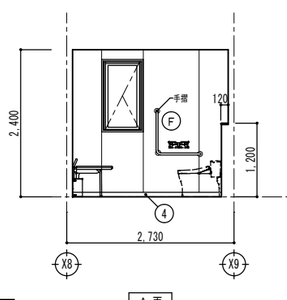



C 面

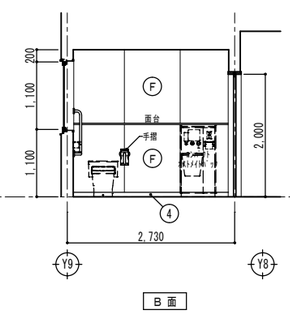



D 面

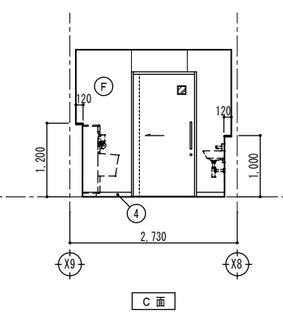
## 男子便所



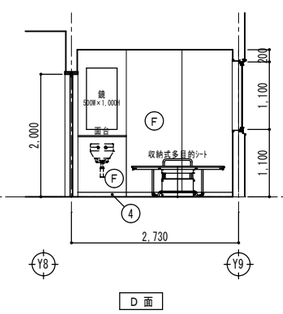

A 面




B 面




C 面




D 面

| | | | |
|---|---|---|---|
| (A) | 磁器質［B I］タイル貼り | (1) | 巾木：床材同材同色（磁器質［B I］ﾀｲﾙ）H=150 |
| (B) | 石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | (2) | 巾木：木製 杉 UC塗装 H=75 |
| (C) | 石膏ボード t=12.5下地 ビニールクロス貼り | (3) | 巾木：ビニル巾木 H=75 |
| (D) | 腰：杉羽目板貼り UV塗装（見切、コーナー：杉材 UC塗装） | (4) | 巾木：床材巻上げ H=75 |
| (E) | 腰：石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | (5) | 巾木：畳寄 杉 H=75 |
| (F) | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地 化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | (6) | 巾木：雑巾摺 H=15 |
| (G) | 押入ボード t=12.5張り | | |
| (H) | 木材現し部(柱梁型、束、方杖)：UC塗装） | PR | ピクチャーレール |
| (I) | 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ：30×150@150（化粧ｼｰﾄ貼） | | |

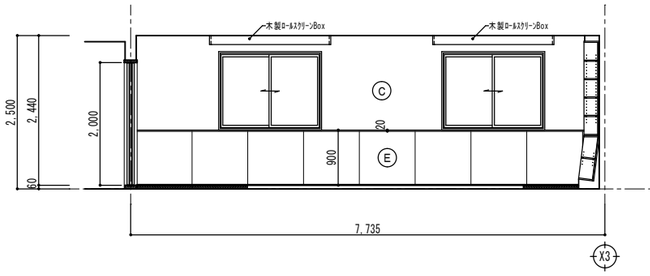
変更年月日・変更事項


福山市建設局建築部営繕課

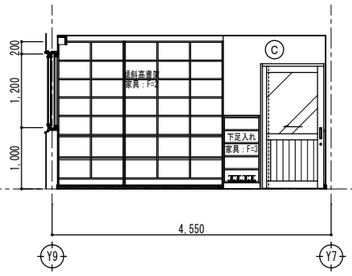
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号） 構造１級建築士（登録7233号） 設備１級建築士（登録2832号）
高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 展開図（３） |
| 縮尺 | 1：50 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-28 |

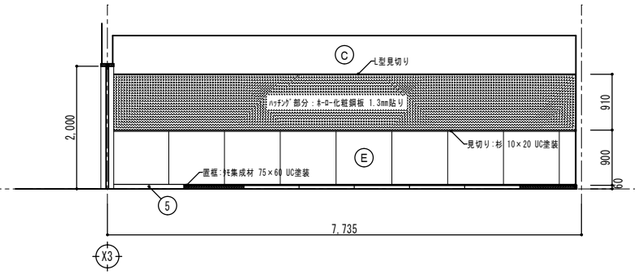
A2版(71%)
A3版(50%)



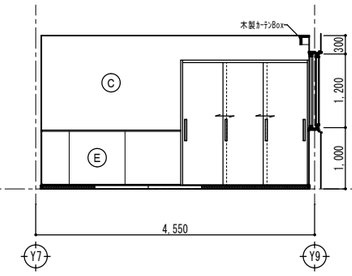

A 面




B 面

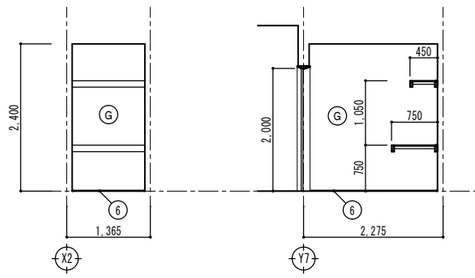



C 面




D 面

## 多目的室（キッズスペース）

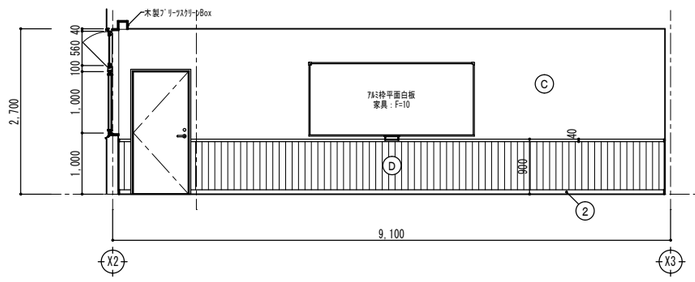



A 面



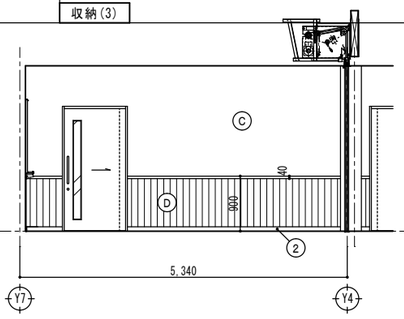

B 面

## 収納(2)

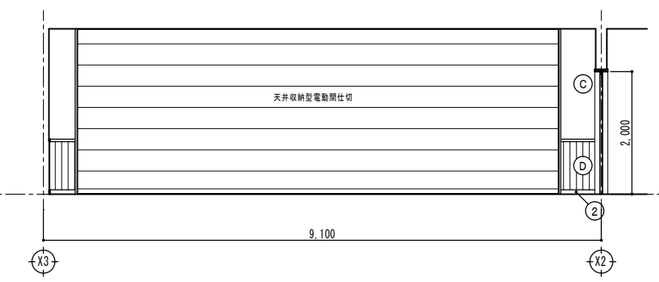



A 面

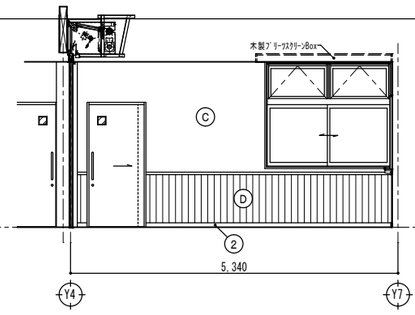
## 収納(3)




B 面

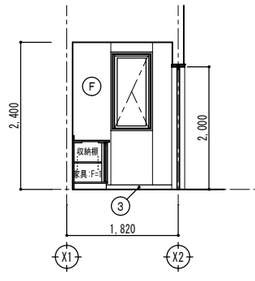



C 面

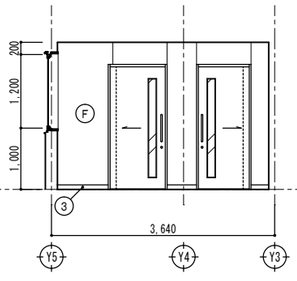



D 面

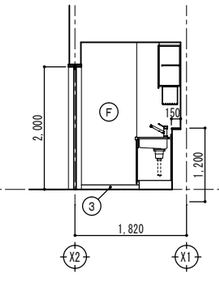
## 中会議室



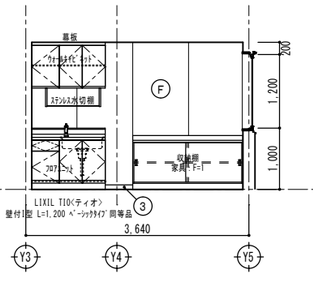

A 面




B 面

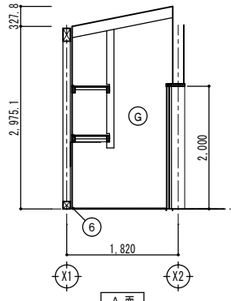



C 面

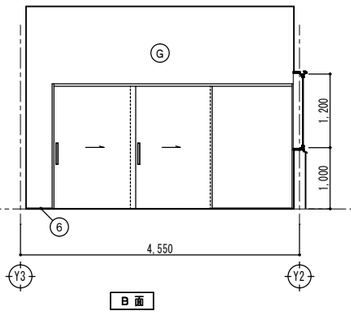



D 面

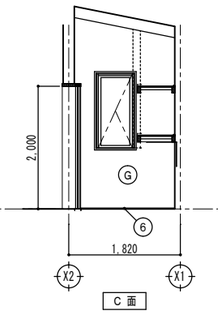
## 給湯室(2)



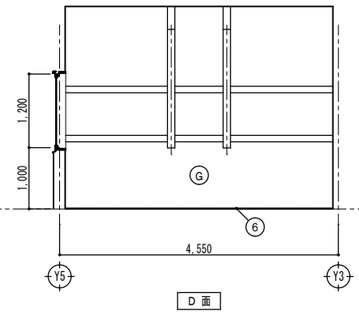

A 面




B 面




C 面




D 面

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | 磁器質［B I］タイル貼り | 1 | 巾木：床材同材同色（磁器質［B I］ﾀｲﾙ）H=150 |
| B | 石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | 2 | 巾木：木製 杉 UC塗装 H=75 |
| C | 石膏ボード t=12.5下地 ビニールクロス貼り | 3 | 巾木：ビニル巾木 H=75 |
| D | 腰：杉羽目板貼り UV塗装（見切、コーナー：杉材 UC塗装） | 4 | 巾木：床材巻上げ H=75 |
| E | 腰：石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | 5 | 巾木：畳寄 杉 H=75 |
| F | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地 化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | 6 | 巾木：雑巾摺 H=15 |
| G | 押入ボード t=12.5張り | | |
| H | 木材現し部(柱梁型、束、方杖)：UC塗装） | PR | ピクチャーレール |
| I | 化粧天井ルーバー：30×150@150（化粧ｼｰﾄ貼） | | |

## 収納(1)

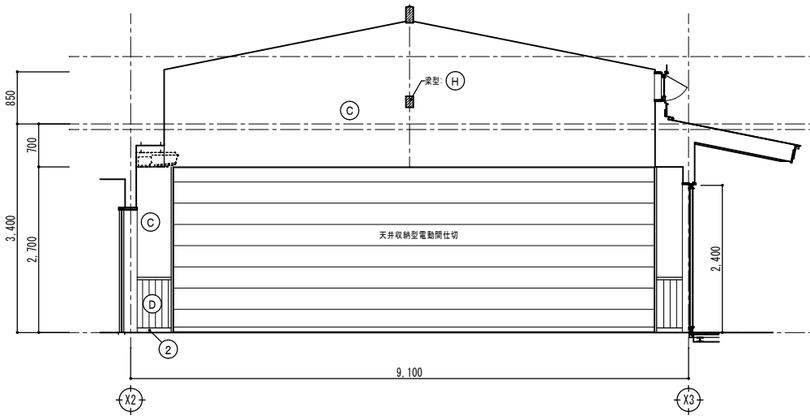
変更年月日・変更事項


福山市建設局建築部営繕課

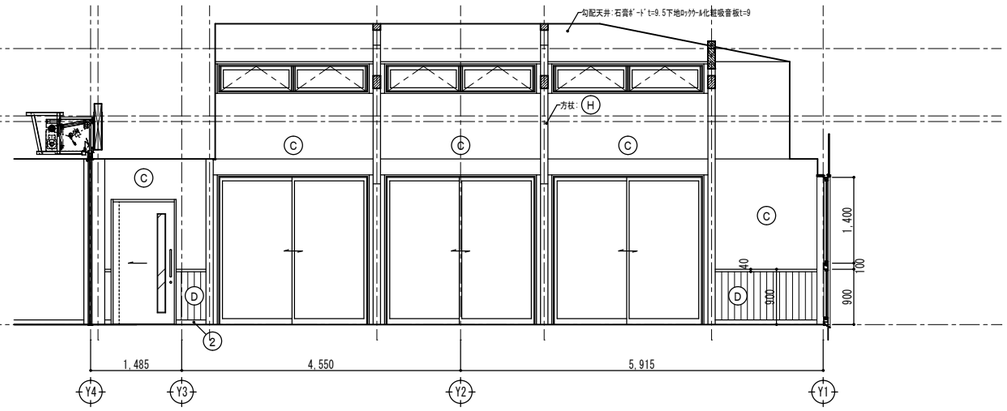
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号） 構造１級建築士（登録7233号） 設備１級建築士（登録2832号）
高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 展開図（４） |

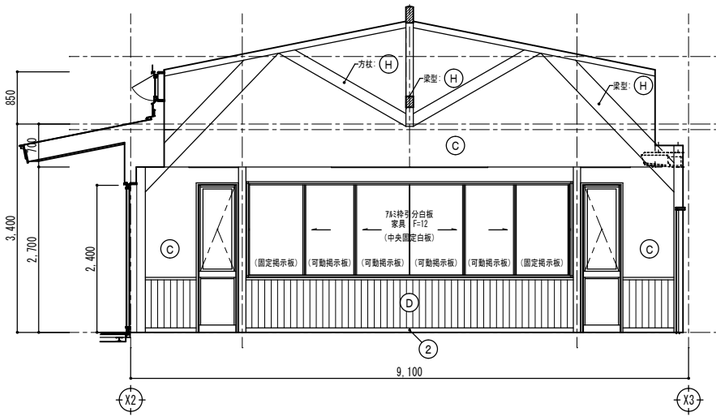
A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-29
縮尺 1：50
設計年月日 2025年 3月



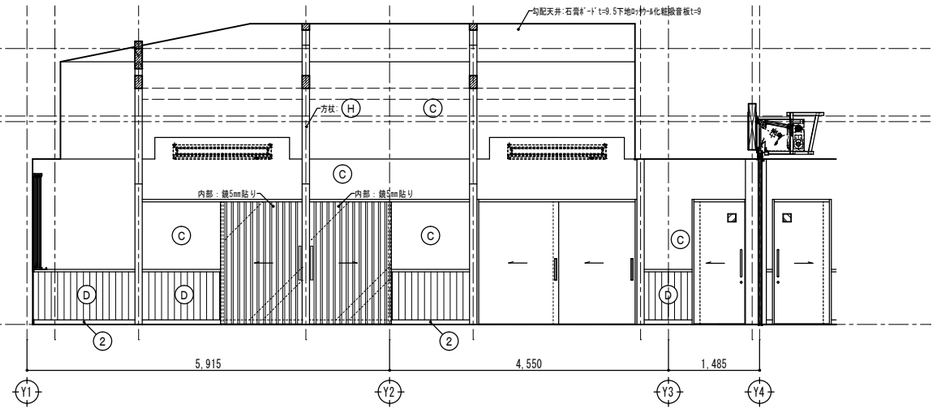

A 面




B 面




C 面




D 面

大会議室

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | 磁器質［ＢＩ］タイル貼り | 1 | 巾木：床材同材同色（磁器質［ＢＩ］ﾀｲﾙ）H=150 |
| B | 石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | 2 | 巾木：木製 杉 UC塗装　H=75 |
| C | 石膏ボード t=12.5下地 ビニールクロス貼り | 3 | 巾木：ビニル巾木　H=75 |
| D | 腰：杉羽目板貼り UV塗装（見切､コーナー：杉材 UC塗装） | 4 | 巾木：床材巻上げ　H=75 |
| E | 腰：石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ﾎﾞｰﾄﾞ t=2.5貼り | 5 | 巾木：畳寄 杉 H=75 |
| F | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t＝12.5下地 化粧ｹｲｶﾙ板 t=6（目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ） | 6 | 巾木：雑巾摺 H=15 |
| G | 押入ボード t=12.5張り | | |
| H | 木材現し部(柱梁型､束､方杖)：UC塗装） | PR | ピクチャーレール |
| I | 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ：30×150@150（化粧ｼｰﾄ貼） | | |

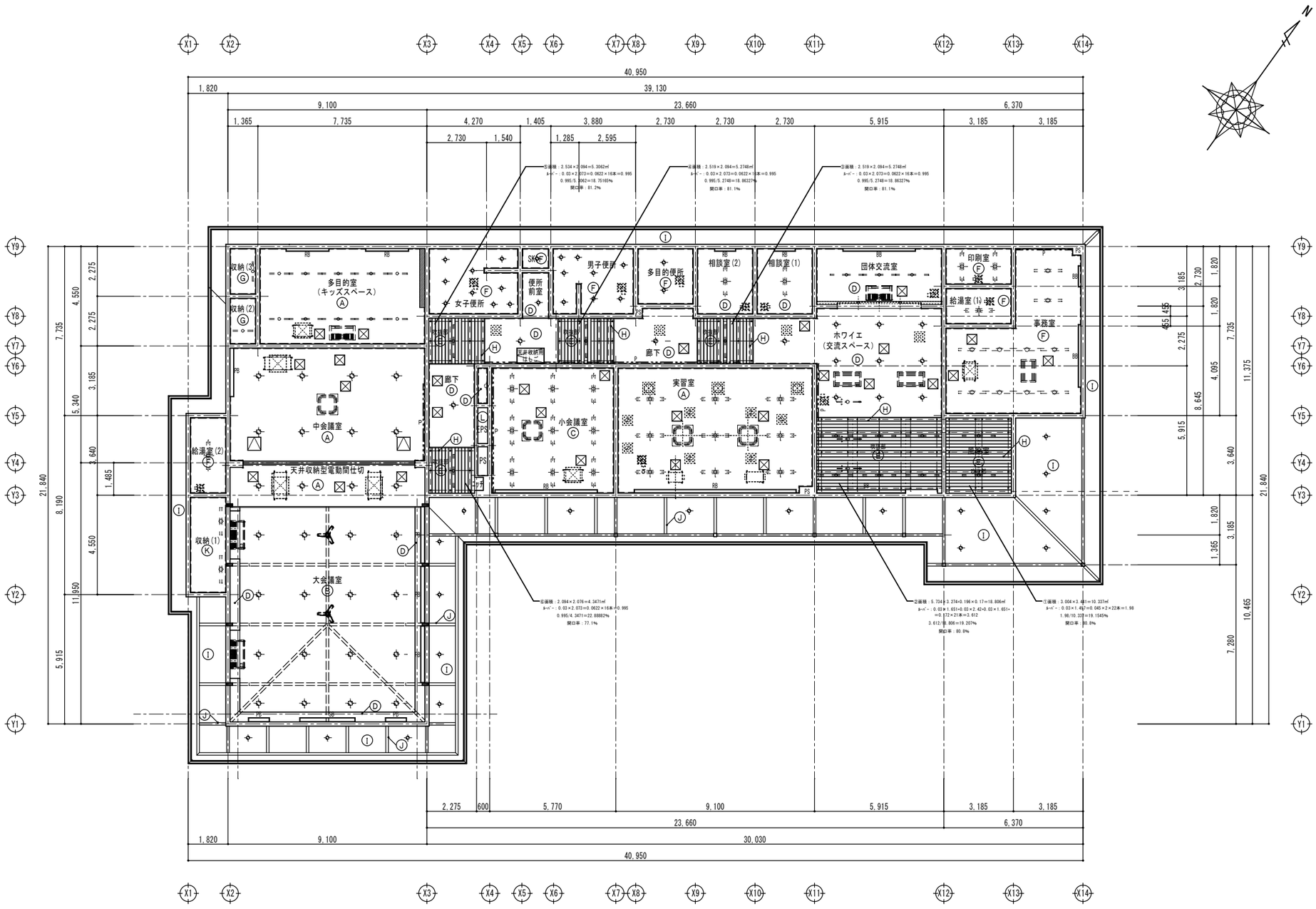
A2版(71%)
A3版(50%)

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | 図面番号 | A-30 |
| 図面名称 | 展開図（５） | 縮尺 | 1：50 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |




天井伏図　S=1:100

＜凡例＞

| 記号 | 仕上 |
|---|---|
| Ⓐ | 石膏ボード t=9.5 捨貼り ロックウール化粧吸音板 t=9×300×600貼り |
| Ⓑ | 勾配天井(木材現し部：UC塗装) |
| | 石膏ボード t=9.5 捨貼り ロックウール化粧吸音板 t=9×300×600貼り |
| Ⓒ | 石膏ボード t=9.5 捨貼り ロックウール化粧吸音板 t=9×300×600貼り |
| | グラスウール24K t=100 敷 |
| Ⓓ | 石膏ボードｔ＝9.5下地 ビニールクロス貼り |
| Ⓔ | （吹抜け部）石膏ボードｔ＝9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り |
| Ⓕ | 化粧石膏ボード t=9.5 |
| Ⓖ | 押入れボード t=12.5 |
| Ⓗ | 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ：30×150@150（化粧シート貼） |
| Ⓘ | パルプ繊維混入セメント板 t=12 |
| Ⓙ | 方杖・梁型：WP塗装 |
| Ⓚ | 野地板素地 |
| Ⓛ | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5素地 |
| | |
| — — | 廻り縁：塩ビ製 |
| CB | 木製ｶｰﾃﾝBOX（杉集成材 t=25）UC塗装 |
| BB | 木製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX（杉集成材 t=25）UC塗装 |
| RB | 木製ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝBOX（杉集成材 t=25）UC塗装 |
| PB | 木製ﾌﾞﾘｰﾂｽｸﾘｰﾝBOX（杉集成材 t=25）UC塗装 |
| SB | 木製ｽｸﾘｰﾝBOX（杉集成材 t=25）UC塗装 |
| P | ｱﾙﾐ ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（天井・壁付け） |
| | |
| ☒ | ｱﾙﾐ天井点検口　450×450 |
| ◺ | ｱﾙﾐ天井点検口　600×600 |
| | |

| 電気設備開口寸法 | |
|---|---|
| ⊕ | 照明器具 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 開口寸法 200φ程度 |
| | |
| | |
| | |

| 機械設備開口寸法 | |
|---|---|
| | エアコン 開口寸法：890×890 |
| | エアコン 開口寸法：1,030×640 |
| | エアコン 開口寸法：1,245×680 |
| | エアコン 開口寸法：1,180×660 |
| | エアコン 天井吊型 |
| | シーリングファン |
| | 天井換気扇　開口寸法：750×750 |
| | 天井換気扇　開口寸法：650×650 |
| | 天井換気扇　開口寸法：350×350 |
| | 排気グリル　開口寸法：450×450 |
| | 給気グリル　開口寸法：550×550 |
| | 給気グリル　開口寸法：450×450 |

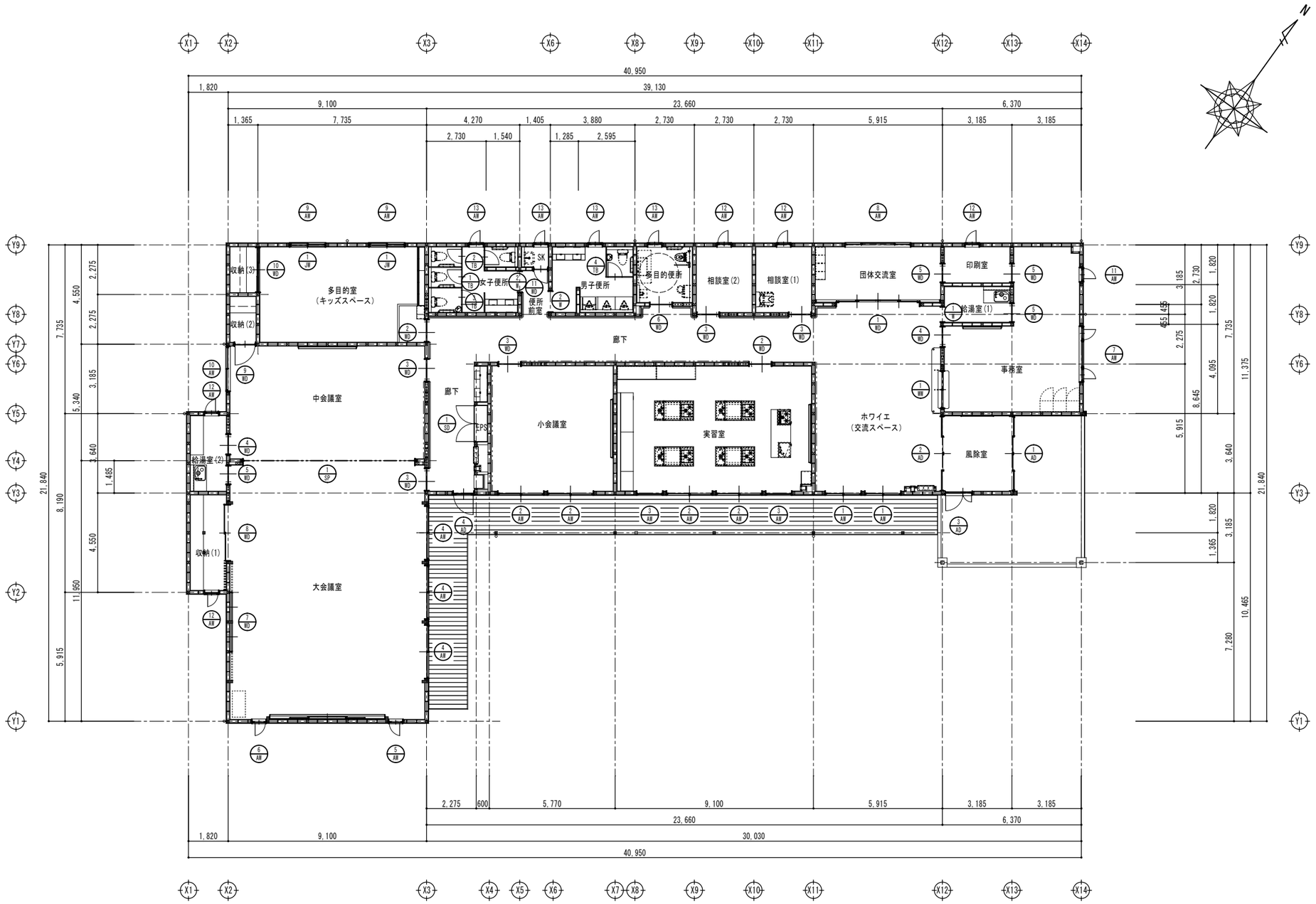
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目７番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号） 構造１級建築士（登録7233号） 設備１級建築士（登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 天井伏図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-31 |

A2版(71%)
A3版(50%)




建具配置図　S=1:100

| | 特　記　事　項　　特記なき限り下記による。（特記仕様書と併用する） | | |
|---|---|---|---|
| 一般事項 | 1　製作に当たってはあらかじめ製作図を作製し監督員の承諾を受けること。<br>2　製品は社内検査に合格したものとし検査成績書を監督員に提出して承諾を受けること。<br>3　寸法は建築標準詳細図による建具寸法を示し、製作に当たっては現場実測すること。<br>4　ガラリの材質及び仕上は建具と同じとし、開口率は３０%とする。鋼製建具のガラリは山型遮光ガラリとする。<br>5　ポリエステル化粧合板の厚さは２．７㎜とする。　（木製ガラリの開口率は５０%とする）<br>6　防虫網はＳＵＳ３１６、１６メッシュとする。<br>7　網戸の網はガラス繊維入り合成樹脂とする。 | 金物関係 | 1　一般金物の材種はステンレス製とする。<br>2　錠前でマスターキーを設ける場合、金属製、木製共通とする。<br>3　握玉高さは１０００㎜バックセット６４㎜を原則とする。<br>4　排煙用外倒し窓は９０°開きとする。<br>5　排煙用オペレーターボックスはフラット埋込タイプとし、手動ワンタッチオペレーターかハンドルオペレーターかは打ち合わせによる。<br>6　排煙用オペレーター手動装置及び排煙上有効な窓のクレセント等の位置はＦＬ＋８００～＋１５００とする。 |
| 枠関係 | 1　外部アルミサッシは合成ゴム又はモヘアウェザーストップ付とする。<br>2　外部用建具はガラス面結露水受け及び水受け（風除け付）を設ける。<br>3　金属製建具の出入口下枠はステンレス（ＳＵＳ３０４）ｔ２．０mmＨＬ仕上とし枠詰めモルタルを充填する。<br>4　枠詰め防水（普通）モルタルは圧力注入とする。<br>5　特記なき限り、鋼製建具枠、鋼製軽量建具枠は見付２５、戸当り１５とする。 | その他 | 1　Ｌｏｗ－Ｅ硝子は無色透明を含めブルー系、グリーン系等の見本品を提出すること。<br>2　複層ガラスの表示は室外側＋空気層＋室内側とする。<br>3　建具枠、額縁の壁仕上とのチリは１５とする。 |

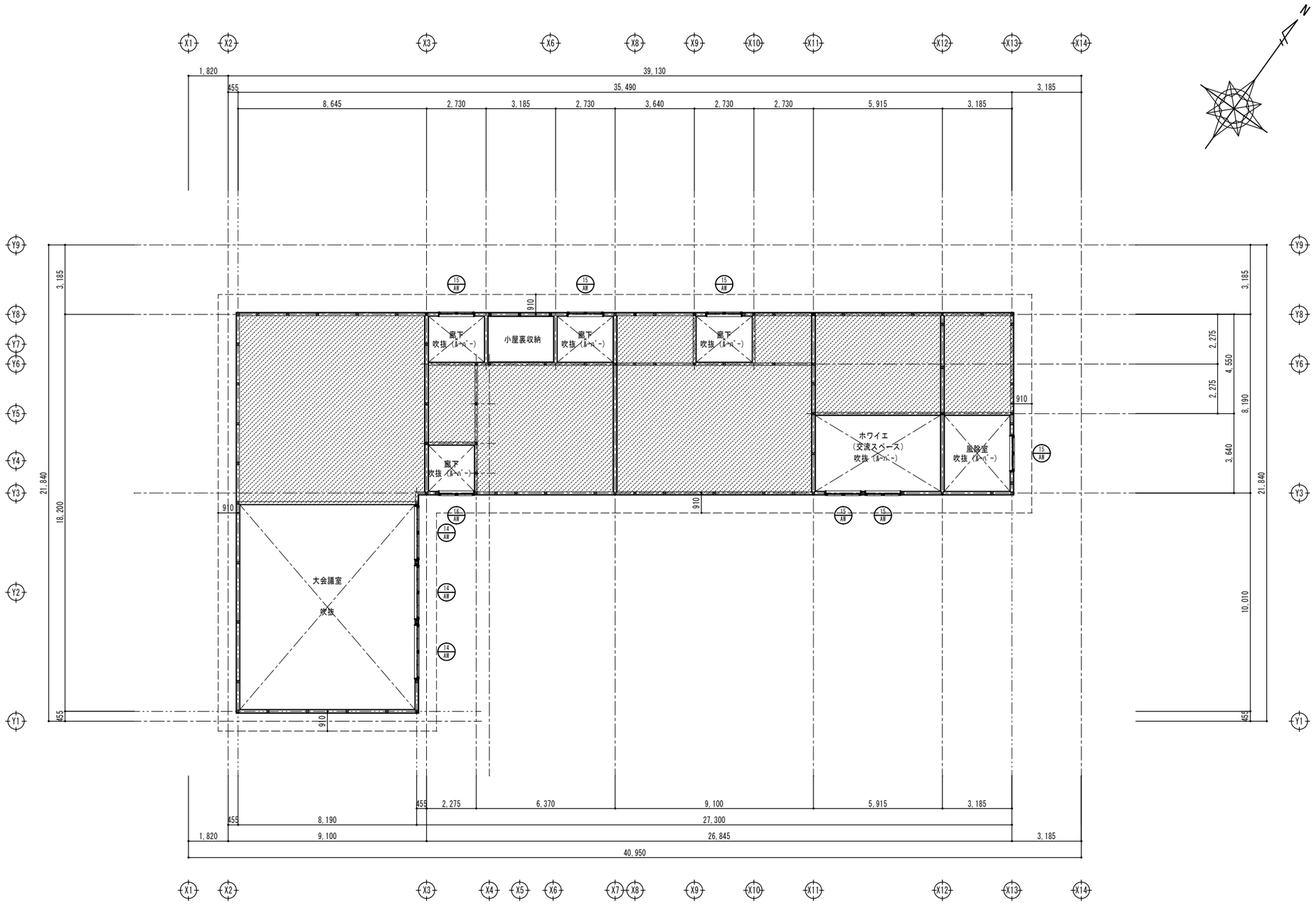
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所　登録第23(1)-1408号
１級建築士　（登録183507号）　構造１級建築士　（登録7233号）　設備１級建築士　（登録2832号）
高橋 啓之

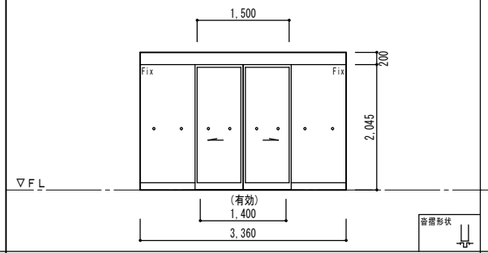
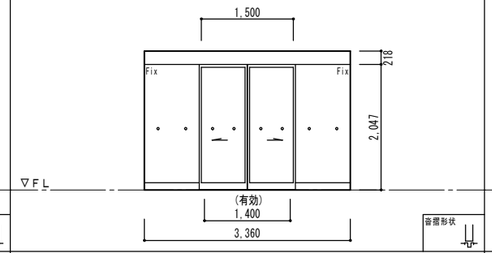
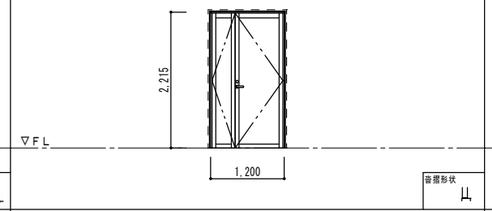
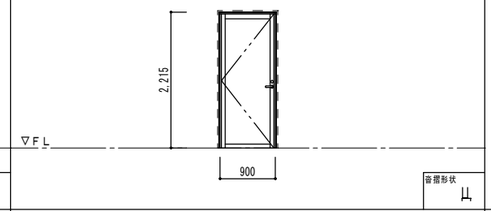
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 建具配置図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-32 |

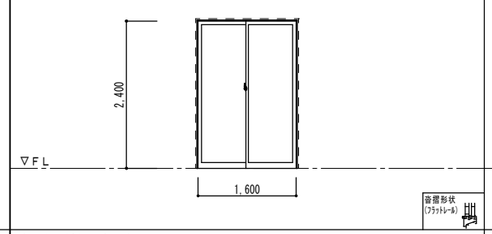
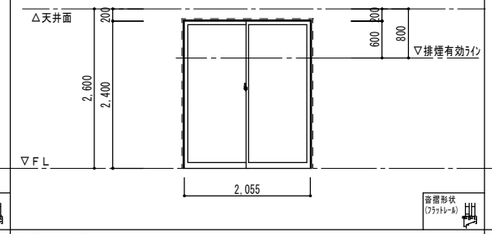
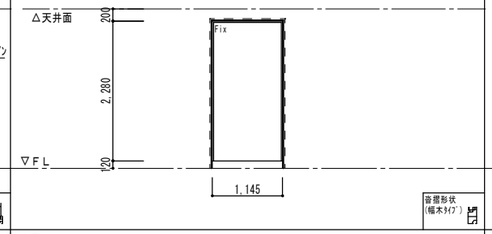
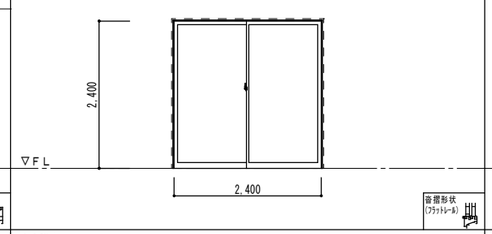
A2版(71%)
A3版(50%)

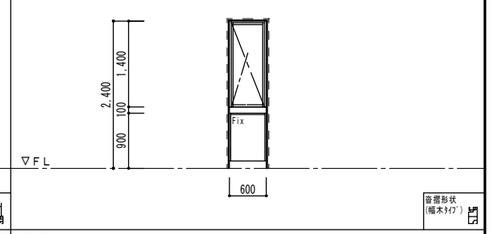
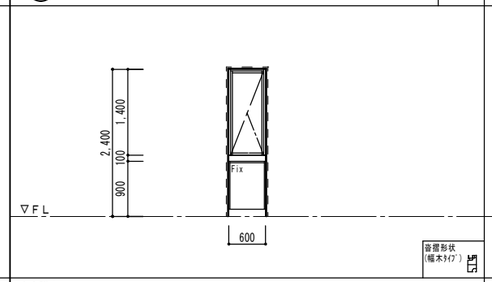
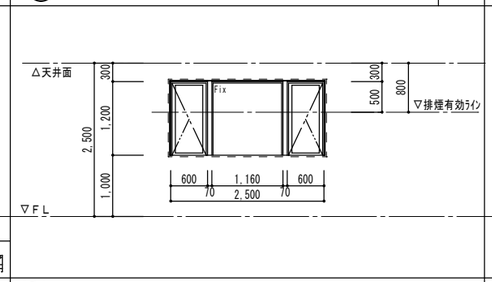
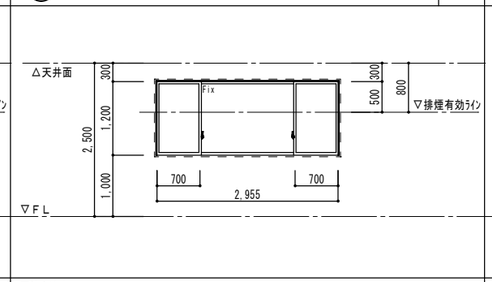


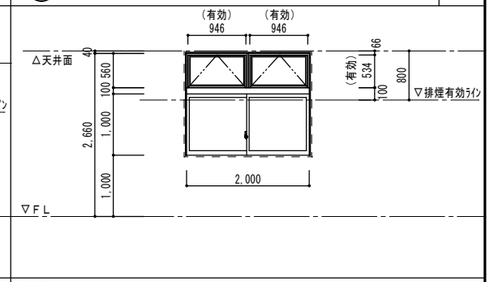
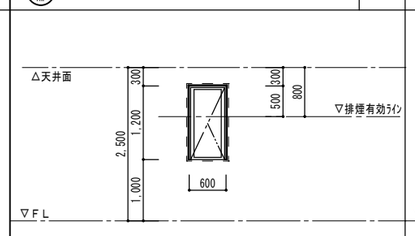
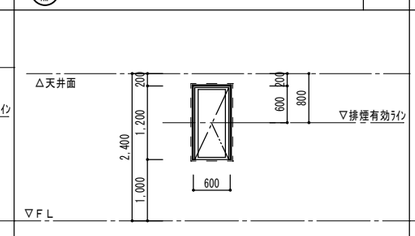

吹抜部分建具配置図　S=1:100

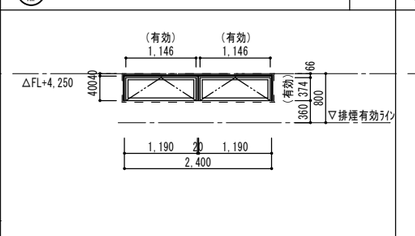
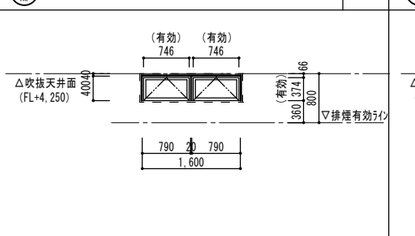
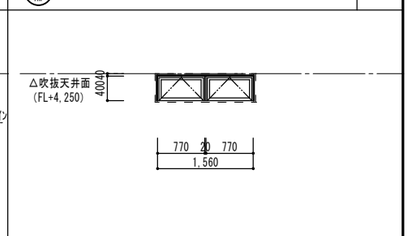
| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士 登録183507号　構造１級建築士 登録7233号　設備１級建築士 登録2832号　高橋 啓之 | 工事名称：福山市光交流館改築工事<br>図面名称：吹抜部分建具配置図<br>縮尺：1：100<br>A2版(71%) A3版(50%)<br>図面番号：A-33<br>設計年月日：2025年 3月 |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (1) AD | 引分け自動ドア | 1 | (2) AD | 引分け自動ドア | 1 | (3) AD | 親子開きドア | 1 | (4) AD | 片開きドア | 1 |
| 姿図 | |  | | |  | | |  | | |  | |
| 室名 | | 風除室 | | | 風除室 | | | 風除室 | | | 廊下 | | |
| 見込 | 仕上 | 100 | アルミ | | 100 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | |
| 硝子 | | 強化ｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | 強化ｶﾞﾗｽ t=5 | | | 強化ｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | |
| 金物 | | 衝突防止ｼｰﾙ30Φ(両面)，ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（内部ｻﾑﾀｰﾝ）<br>標準金物一式，ｱﾙﾐ額縁 | | | 衝突防止ｼｰﾙ30Φ(両面)，ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，ｱﾙﾐ額縁 | | | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠+内部ｻﾑﾀｰﾝ，SUS下枠，ｽﾃﾝﾚｽ丁番<br>標準金物一式，DC，ｱﾙﾐ額縁，ｽﾏｰﾄﾛｯｸ（別途） | | | ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠+内部ｻﾑﾀｰﾝ，SUS下枠，ｽﾃﾝﾚｽ丁番，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，DC | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (1) AW | 引違い窓 | 2 | (2) AW | 引違い窓 | 4 | (3) AW | Fix窓 | 2 | (4) AW | 引違い窓 | 3 |
| 姿図 | |  | | |  | | |  | | |  | | |
| 室名 | | ホワイエ（交流スペース） | | | 実習室・小会議室 | | | 実習室 | | | 大会議室 | | |
| 見込 | 仕上 | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | | | |
| 硝子 | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | |
| 金物 | | ｸﾚｾﾝﾄ，SUS（ﾌﾗｯﾄ仕様）下枠，SUS戸車，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｸﾚｾﾝﾄ，SUS（ﾌﾗｯﾄ仕様）下枠，SUS戸車，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｸﾚｾﾝﾄ，SUS（ﾌﾗｯﾄ仕様）下枠，SUS戸車，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (5) AW | Fix窓付たてすべり出し段窓 | 1 | (6) AW | Fix窓付たてすべり出し段窓 | 1 | (7) AW | Fix窓付両袖たてすべり出し連窓 | 1 | (8) AW | 両袖片引き窓 | 2 |
| 姿図 | |  | | |  | | |  | | |  | | |
| 室名 | | 大会議室 | | | 事務室 | | | 団体交流室 | | | 多目的室 | | |
| 見込 | 仕上 | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | |
| 硝子 | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + 型板ｶﾞﾗｽ t=4 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + 型板ｶﾞﾗｽ t=4 | | |
| 金物 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｸﾚｾﾝﾄ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｸﾚｾﾝﾄ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (9) AW | 引違い窓 | 3 | (10) AW | ランマ 突出し排煙窓（たて骨仕様）付引違い連窓 | 1 | (11) AW | たてすべり出し窓 | 1 | (12) AW | たてすべり出し窓 | 5 |
| 姿図 | |  | | |  | | |  | | |  | | |
| 室名 | | 大会議室 | | | 中会議室 | | | 事務室 | | | 相談室（1）・相談室（2）・印刷室・給湯室（2）・収納（1） | | |
| 見込 | 仕上 | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | |
| 硝子 | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + 型板ｶﾞﾗｽ t=4 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + 型板ｶﾞﾗｽ t=4 | | |
| 金物 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｸﾚｾﾝﾄ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ，ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ装置<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾙﾐ額縁<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (13) AW | たてすべり出し窓 | 4 | (14) AW | 突出し排煙窓（たて骨仕様） | 3 | (15) AW | 突出し排煙窓（たて骨仕様） | 6 | (16) AW | 突出し排煙窓（たて骨仕様） | 1 |
| 姿図 | |  | | |  | | |  | | |  | |
| 室名 | | 事務室 | | | 大会議室 | | | ホワイエ（交流スペース）（吹抜）・風除室（吹抜）・廊下（吹抜） | | | 廊下（吹抜） | | |
| 見込 | 仕上 | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | | 70 | アルミ | |
| 硝子 | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | | LowEｶﾞﾗｽ t=5 + A6 + ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | | |
| 金物 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ，ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ，ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ装置<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | | ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ，ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ装置<br>標準金物一式，網戸（ﾎﾜｲｴ除く），結露排水部品 | | | ｱﾙﾐ水切，ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ，ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ装置<br>標準金物一式，網戸，結露排水部品 | | |

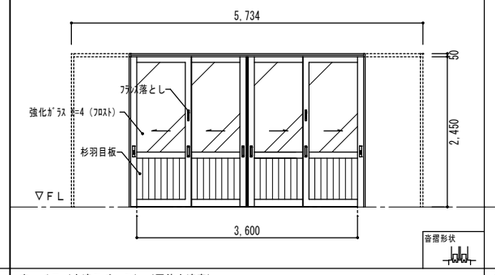
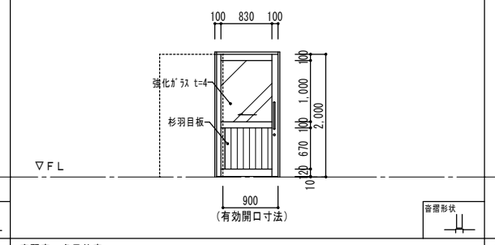
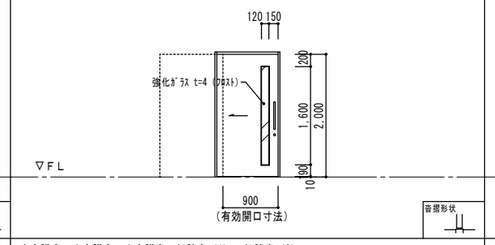
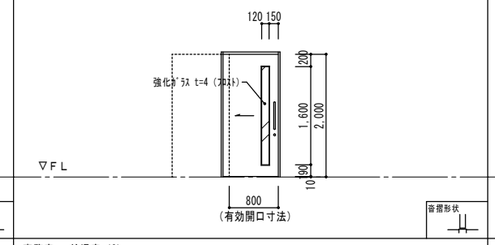
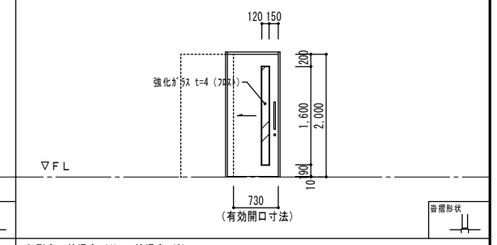
変更年月日・変更事項

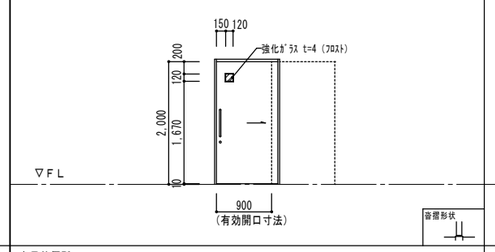
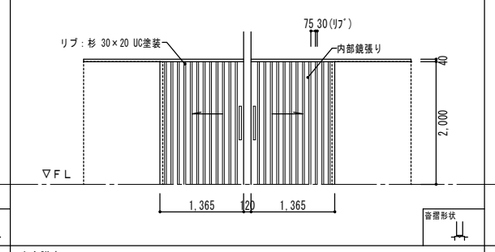
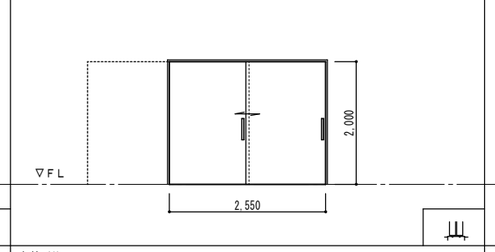
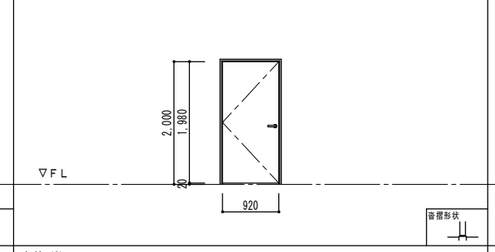
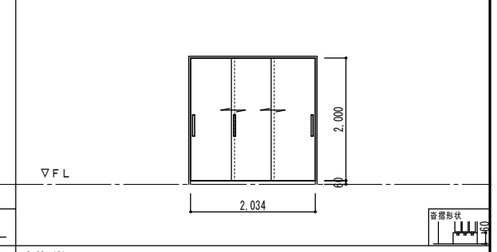
福山市建設局建築部営繕課

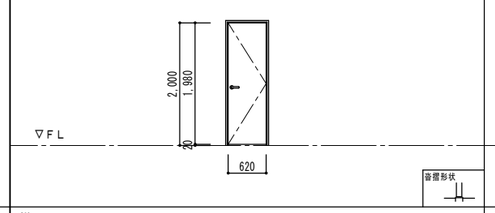
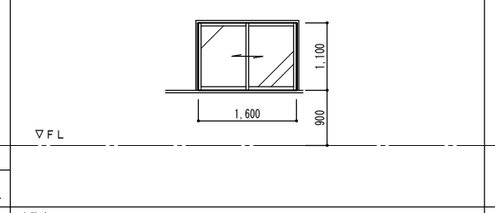
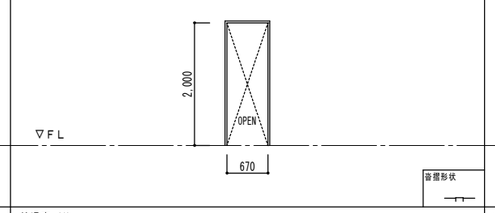
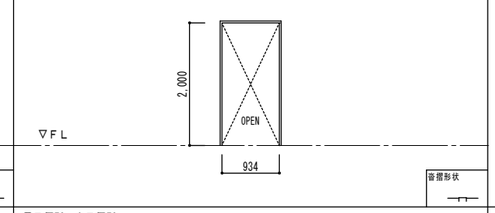
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
1級建築士（登録183507号） 構造1級建築士（登録7233号） 設備1級建築士（登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 建具表（1） |
| 縮尺 | 1：100 |
| 図面番号 | A-34 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (1 WD) 4枚引き違い戸　木製学校間仕切 SPW（三和ｼｬｯﾀｰ工業㈱同等品） | 1 | (2 WD) 上吊り式片引き戸（戸袋納まり） | 2 | (3 WD) 上吊り式片引き戸（戸袋納まり） | 5 | (4 WD) 上吊り式片引き戸（戸袋納まり） | 2 | (5 WD) 上吊り式片引き戸（戸袋納まり） | 4 |
| 姿図 | |  | |  | |  | |  | |  |
| 室名 | | ホワイエ（交流スペース）（団体交流室） | | 実習室，多目的室 | | 大会議室，中会議室，小会議室，相談室（1），相談室（2） | | 事務室，，給湯室（2） | | 印刷室，給湯室（1），給湯室（2） | |
| 見込 | 仕上 | 扉：40，　枠：316.5 | 杉集成材，杉羽目板　UC塗装 | 扉：36，　枠：211 | 杉集成材，杉羽目板　UC塗装 | 扉：36，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：36，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：36，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 |
| 硝子 | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4（フロスト） | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4 | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4（フロスト） | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4（フロスト） | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4（フロスト） | |
| 金物 | | SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ，SUS戸車，引手，錠前（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠＋内部ｻﾑﾀｰﾝ），戸当りｽﾄｯﾊﾟｰ，ﾌﾗｽｽ落とし<br>標準金物一式 | | 引棒，鎌錠（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠＋内部ｻﾑﾀｰﾝ），戸先ｺﾞﾑ，上吊りﾚｰﾙ，ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ，戸袋用ﾄﾘｶﾞｰ<br>下ｶﾞｲﾄﾞ，SUS溝摺，標準金物一式 | | 引棒，鎌錠（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠＋内部ｻﾑﾀｰﾝ），戸先ｺﾞﾑ，上吊りﾚｰﾙ，ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ，戸袋用ﾄﾘｶﾞｰ<br>下ｶﾞｲﾄﾞ，SUS溝摺，標準金物一式 | | 引棒，鎌錠（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠＋内部ｻﾑﾀｰﾝ），戸先ｺﾞﾑ，上吊りﾚｰﾙ，ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ，戸袋用ﾄﾘｶﾞｰ<br>下ｶﾞｲﾄﾞ，SUS溝摺，標準金物一式 | | 引棒，鎌錠（ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠），戸先ｺﾞﾑ，上吊りﾚｰﾙ，ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ，戸袋用ﾄﾘｶﾞｰ，下ｶﾞｲﾄﾞ，SUS溝摺<br>標準金物一式 | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (6 WD) 上吊り式片引き戸（戸袋納まり） | 1 | (7 WD) 引き分け戸（内部 鏡） | 1 | (8 WD) 2枚片引き戸 | 1 | (9 WD) 片開き戸 | 1 | (10 WD) 3枚引違い戸 | 1 |
| 姿図 | |  | |  | |  | |  | |  | |
| 室名 | | 多目的便所 | | 大会議室 | | 収納（1） | | 収納（2） | | 収納（3） | |
| 見込 | 仕上 | 扉：36，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：33，　枠：110（上枠） | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠，リブ：杉 UC塗装 | 扉：30，　枠：300 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：30，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：30，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 |
| 硝子 | | 強化ｶﾞﾗｽ t=4（フロスト） | | | | | | | | | |
| 金物 | | 引棒，大型表示鍵，戸先ｺﾞﾑ，上吊りﾚｰﾙ，ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ，戸袋用ﾄﾘｶﾞｰ，下ｶﾞｲﾄﾞ，SUS溝摺<br>標準金物一式 | | 堀込引手，戸先ゴム，SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ，SUS戸車，指詰防止金物<br>標準金物一式 | | 堀込引手，戸先ゴム，SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ，SUS戸車，指詰防止金物<br>標準金物一式 | | ｼﾘﾝﾀﾞｰ鍵，ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ，SUS丁番，SUS溝摺，戸当たり<br>標準金物一式 | | 堀込引手，戸先ゴム，SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ，SUS戸車，指詰防止金物<br>標準金物一式 | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (11 WD) 片開き戸 | 1 | (1 W) 引違いカウンター窓 | 1 | (1 W) 3方枠 | 1 | (2 W) 3方枠 | 2 | | |
| 姿図 | |  | |  | |  | |  | | | |
| 室名 | | SK | | 事務室 | | 給湯室（1） | | 男子便所，女子便所 | | | |
| 見込 | 仕上 | 扉：30，　枠：211 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板　枠：杉 UC塗装 | 扉：36，　枠：211 | 杉　UC塗装 | 枠：211 | 杉　UC塗装 | 枠：211 | 杉　UC塗装 | | |
| 硝子 | | | | 強化ｶﾞﾗｽ t=5 | | | | | | | |
| 金物 | | ｼﾘﾝﾀﾞｰ鍵，ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ，SUS丁番，SUS溝摺，戸当たり<br>標準金物一式 | | 引手，SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ，SUS戸車，ﾌﾟｯｼｭ錠 | | SUS溝摺 | | SUS溝摺 | | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | |
| 姿図 | | | | | | | | | | | |
| 室名 | | | | | | | | | | | |
| 見込 | 仕上 | | | | | | | | | | |
| 硝子 | | | | | | | | | | | |
| 金物 | | | | | | | | | | | |

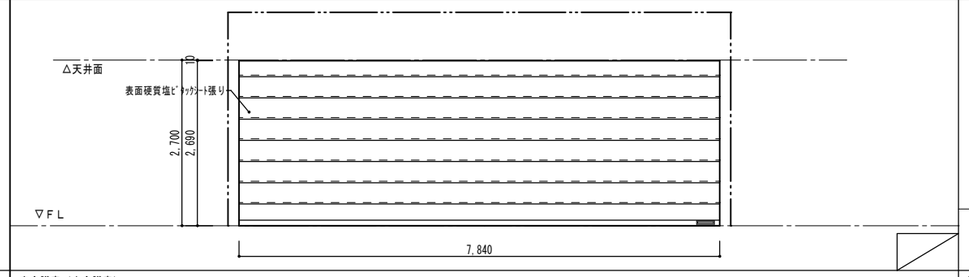
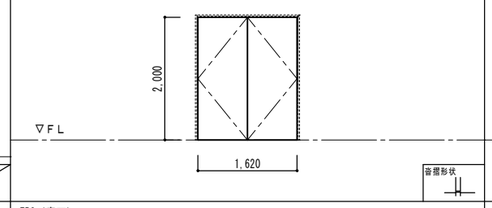
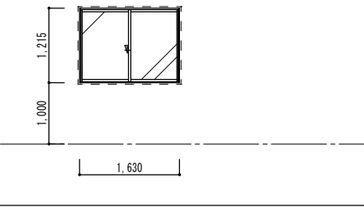
変更年月日・変更事項

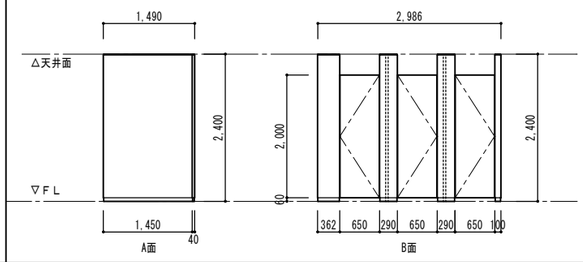
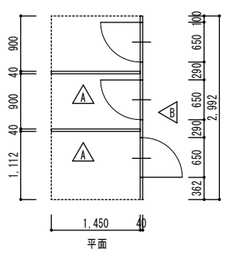
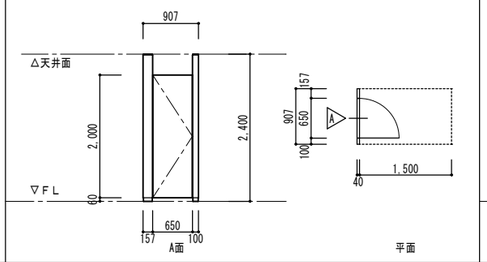
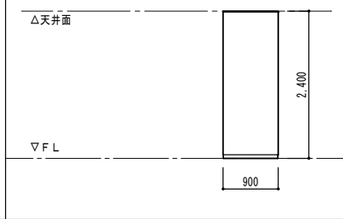
福山市建設局建築部営繕課

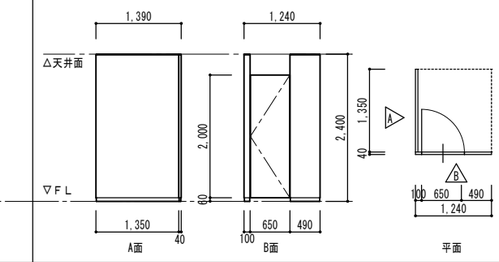
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 建具表（２） |
| 縮尺 | 1：100 |
| 図面番号 | A-35 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)

| 符号 | 数量 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 SP 可動（電動）間仕切壁 | 天井収納型電動間仕切 SUPERWALL40（三和ｼｬｯﾀｰ工業㈱同等品） | 1 | 1 SD 両開き戸（点検口用） | 1 | 1 JM 樹脂製引違い内窓 | 2 |
| 姿図 | |  | | |  | |  | |
| 室名 | | 大会議室（中会議室） | | | EPS（廊下） | | 多目的室（キッズスペース） | |
| 見込 | 仕上 | ｾｸｼｮﾝ材：40 | ｾｸｼｮﾝ材：ｱﾙﾐ押出型材 t=1.4 表面硬質塩ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ張り | | 扉：25、 枠：60 | 溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.6 焼付塗装 | 70 | 樹脂 |
| 硝子 | | | | | | | ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5 | |
| 金物 | | 障害物検知装置，ｱﾙﾐｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ，ｱﾙﾐまぐさ<br>標準金物一式 | | | 平面ﾊﾝﾄﾞﾙ，戸当りｺﾞﾑ，旗丁番，丸落とし，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，SUS沓摺<br>標準金物一式 | | ｸﾚｾﾝﾄ<br>標準金物一式 | |

| 符号 | 数量 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 TB トイレブース | 1 | 2 TB トイレブース | 1 | 3 TB トイレブース | 1 |
| 姿図 | |  <br><br>  | |  | |  | |
| 室名 | | 女子便所 | | 女子便所 | | 女子便所 | |
| 見込 | 仕上 | 40 | 【表面材】高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板 【心材】ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ 【ｴｯｼﾞ・壁ﾚｰﾙ・天井ﾚｰﾙ・床ﾚｰﾙ】ｱﾙﾐ 【巾木】ｽﾃﾝﾚｽHL | 40 | 【表面材】高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板 【心材】ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ | 40 | 【表面材】高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板 【心材】ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ |
| 硝子 | | ――― | | ――― | 【ｴｯｼﾞ・壁ﾚｰﾙ・天井ﾚｰﾙ・床ﾚｰﾙ】ｱﾙﾐ 【巾木】ｽﾃﾝﾚｽHL | ――― | 【ｴｯｼﾞ・壁ﾚｰﾙ・天井ﾚｰﾙ・床ﾚｰﾙ】ｱﾙﾐ 【巾木】ｽﾃﾝﾚｽHL |
| 金物 | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ，ｱｰﾙｴｯｼﾞ，表示付きｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ，戸当り<br>標準金物一式 | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ，ｱｰﾙｴｯｼﾞ，表示付きｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ，戸当り<br>標準金物一式 | | 標準金物一式 | |

| 符号 | 数量 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 4 TB トイレブース | 1 | | | | |
| 姿図 | |  | | | | | |
| 室名 | | 男子便所 | | | | | |
| 見込 | 仕上 | 40 | 【表面材】高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板 【心材】ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ<br>【ｴｯｼﾞ・壁ﾚｰﾙ・天井ﾚｰﾙ・床ﾚｰﾙ】ｱﾙﾐ 【巾木】ｽﾃﾝﾚｽHL | | | | | |
| 硝子 | | ――― | | | | | |
| 金物 | | ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ，ｱｰﾙｴｯｼﾞ，表示付きｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ，戸当り<br>標準金物一式 | | | | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | | | | |
| 室名 | | | | | | | |
| 見込 | 仕上 | | | | | | |
| 硝子 | | | | | | | |
| 金物 | | | | | | | |

| 符号 | 数量 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | | | | |
| 室名 | | | | | | | |
| 見込 | 仕上 | | | | | | |
| 硝子 | | | | | | | |
| 金物 | | | | | | | |

変更年月日・変更事項

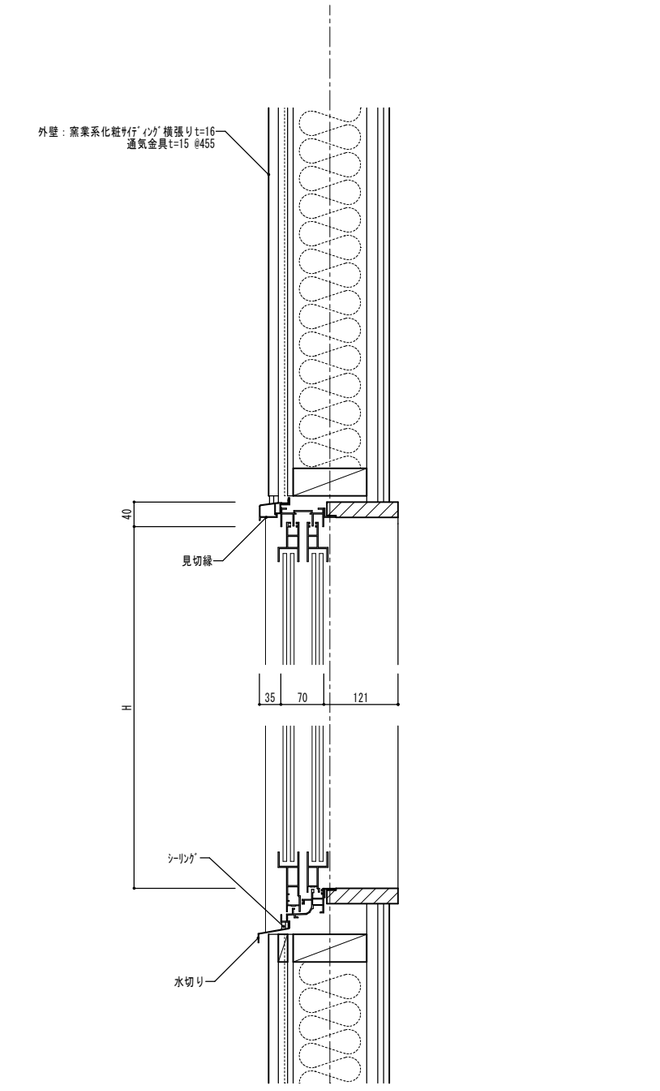
福山市建設局建築部営繕課

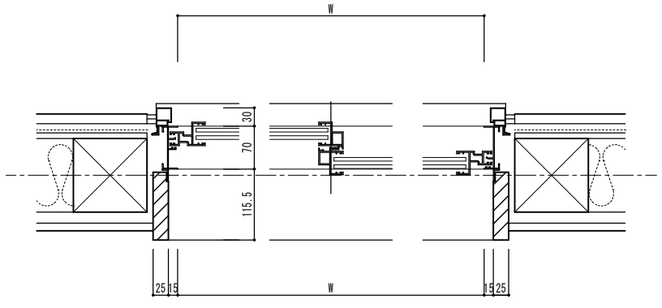

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　１級建築士（登録7233号）　構造１級建築士（登録2832号）　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 建具表（３） |
| 縮尺 | １：１００ |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-36 |

A2版(71%)
A3版(50%)

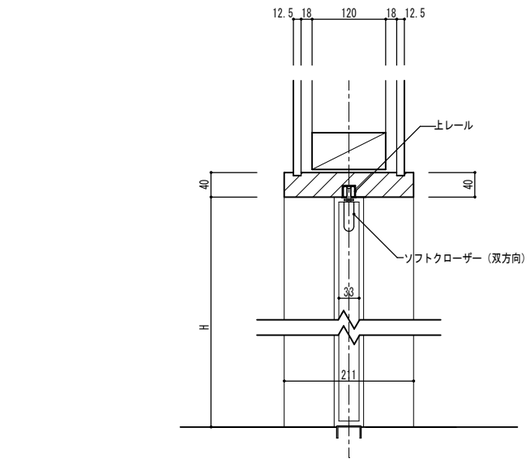
ビル用サッシ納まり詳細図 1/5

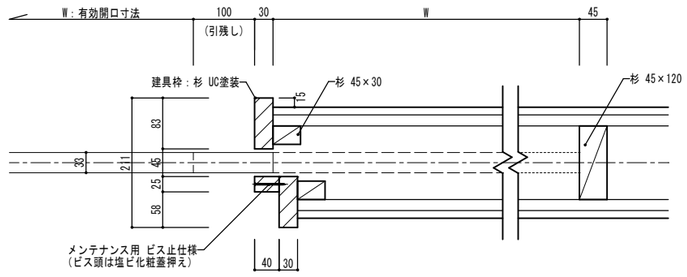


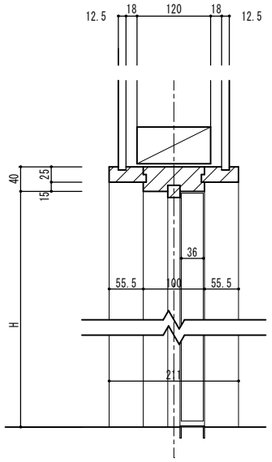

木製建具納まり詳細図 1/5

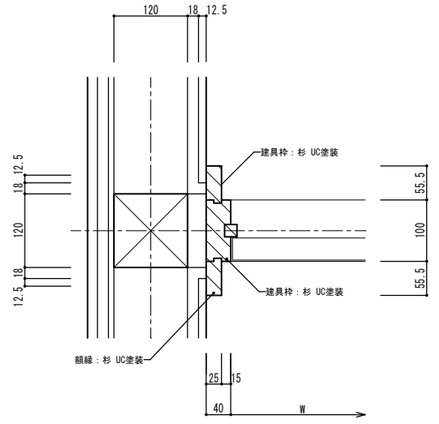
上吊り片引き戸（引込）



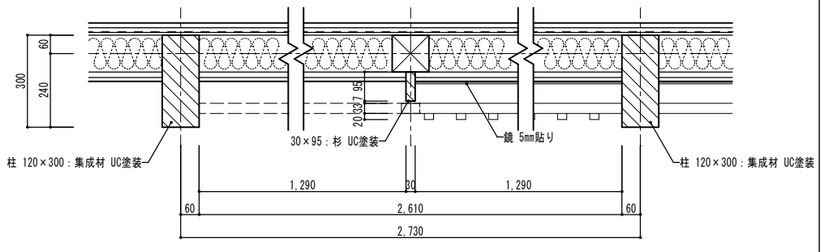

片開き戸

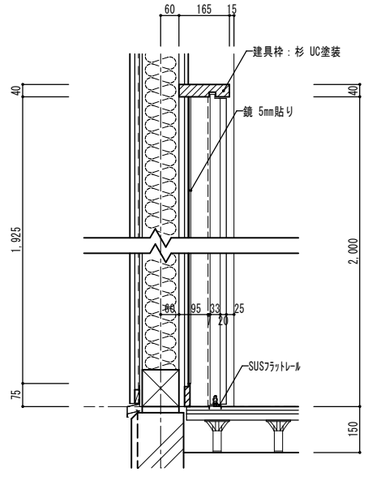


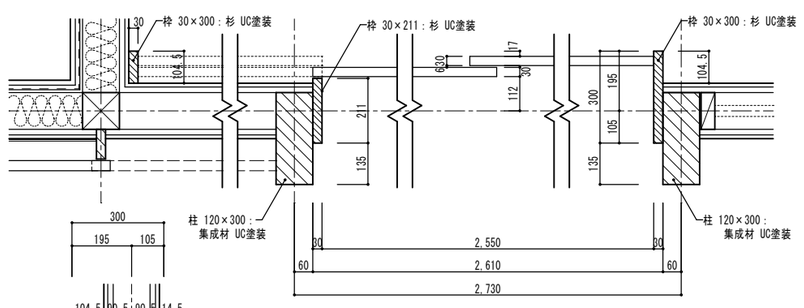

木製建具納まり詳細図 1/5

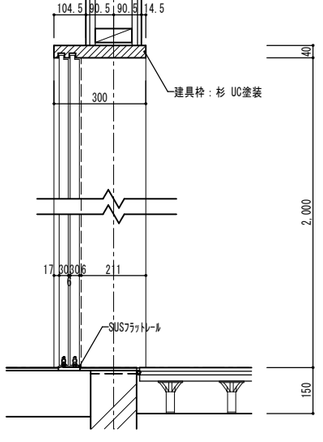
7/WD 引き分け戸（内部 鏡）




8/WD 2枚片開き戸




変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

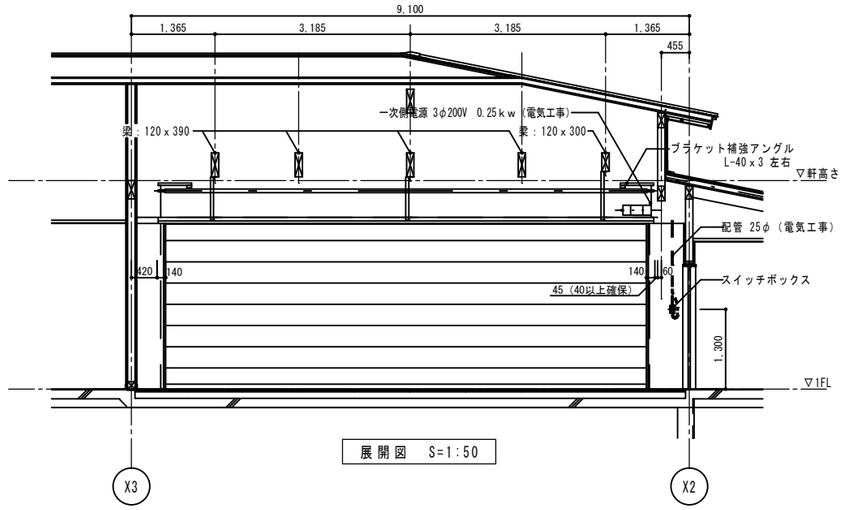
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

工事名称 福山市光交流館改築工事
図面名称 建具詳細図（１）

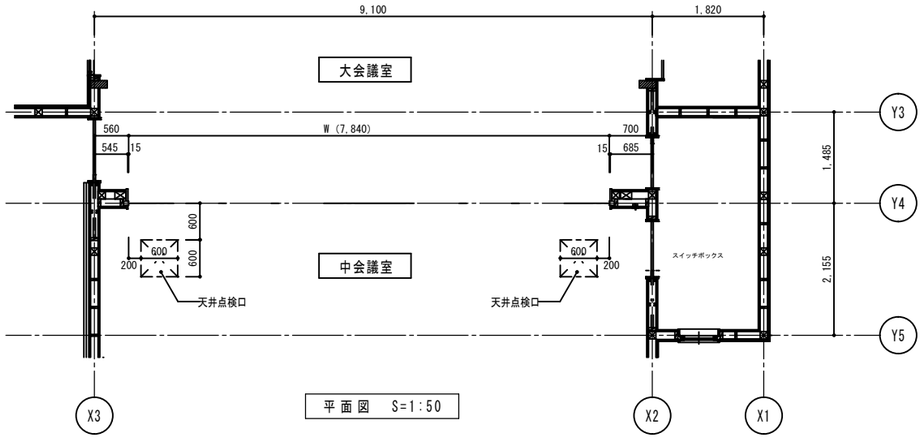
A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-37
縮尺 1：100
設計年月日 2025年 3月

SP-1：スーパーウォール（40タイプ）　三和シャッター工業㈱同等品

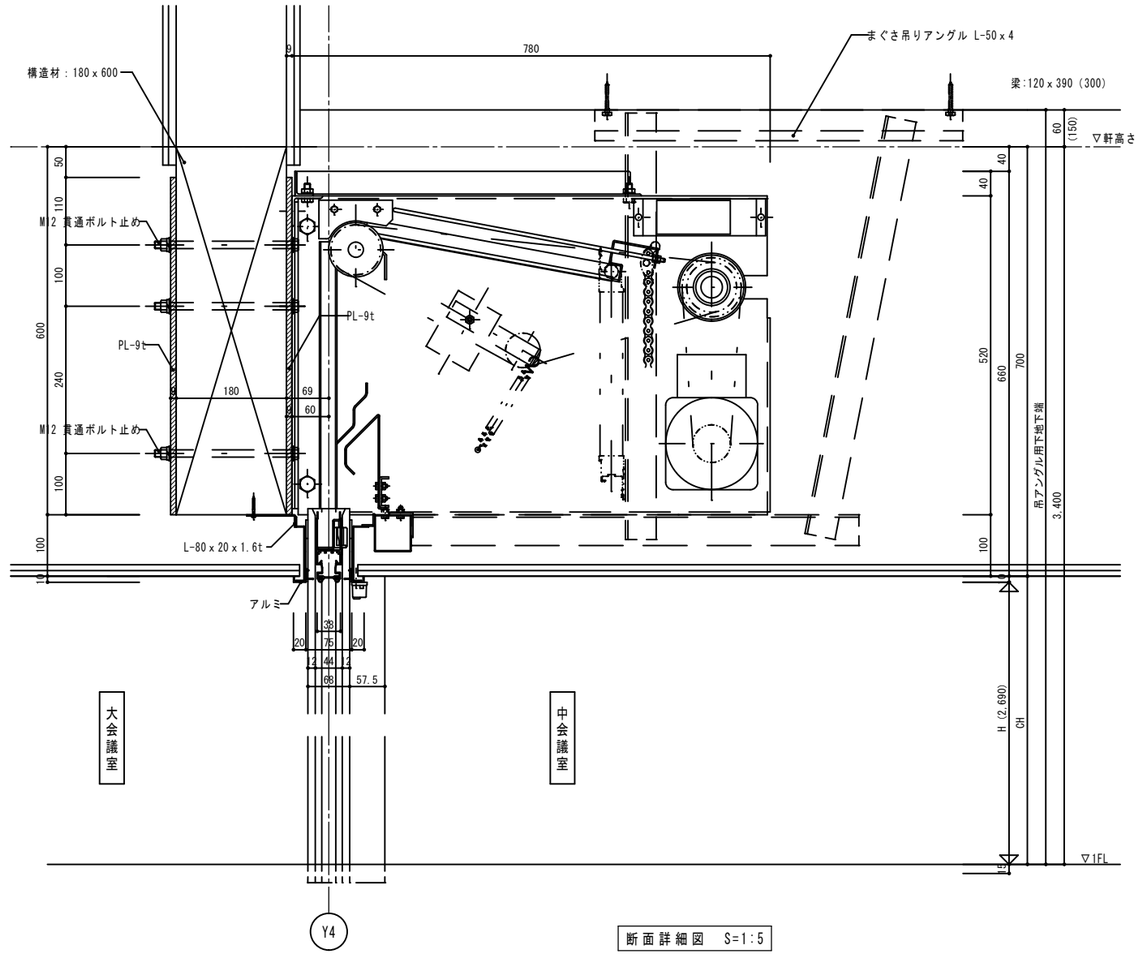
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パネル | | アルミ | 開閉機 | | SG20 | 電源 | 3φ200V 0.25kw 60Hz | |
| 座板 | 障検 | アルミ | 巻取シャフト | | φ114.3 | 押ボタン | 埋込ｼﾘﾝﾀﾞｰ | 備考 |
| ガイドレール | | アルミ | 軸受 | 駆 | 780 | SHOS | | クロス：厚さ　1mm以下 |
| まぐさ | | アルミ | | 従 | 780 | 解放装置 | | 重量　0.5Kg/m2以下 |
| ケース | | | 手動時操作 | | ハンドル式 | | | |

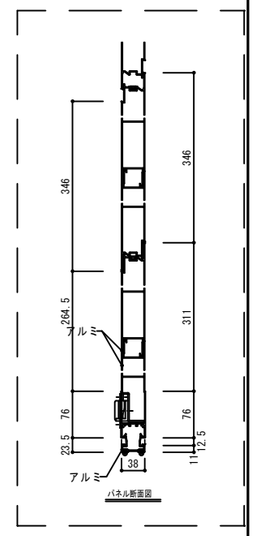



展開図　S=1:50

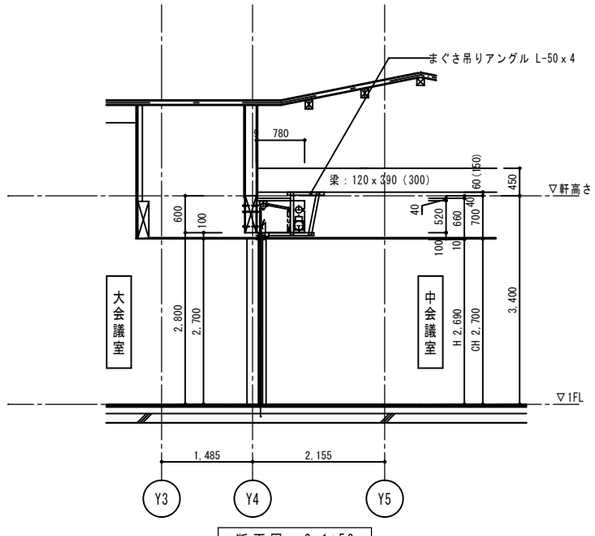



平面図　S=1:50

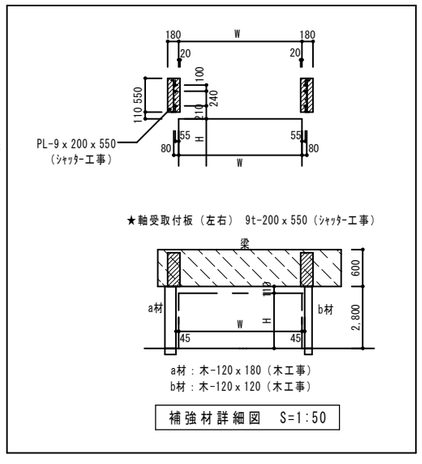


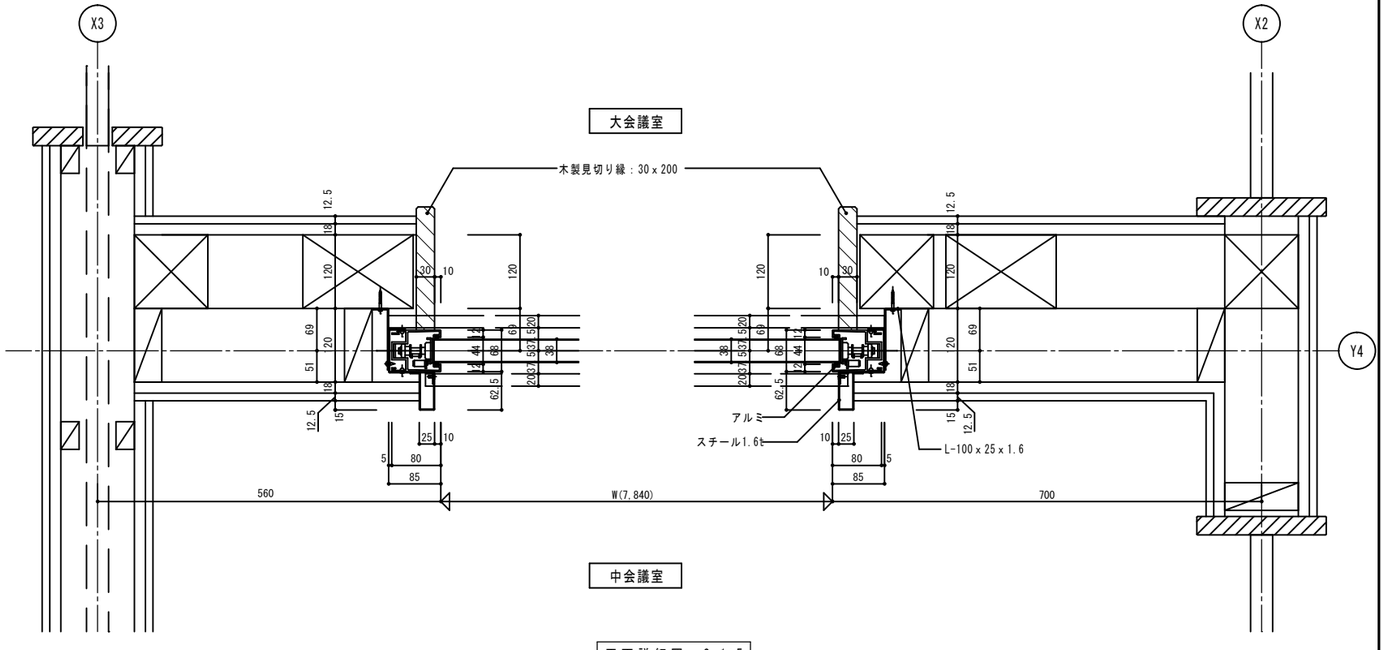

断面詳細図　S=1:5




断面図　S=1:50

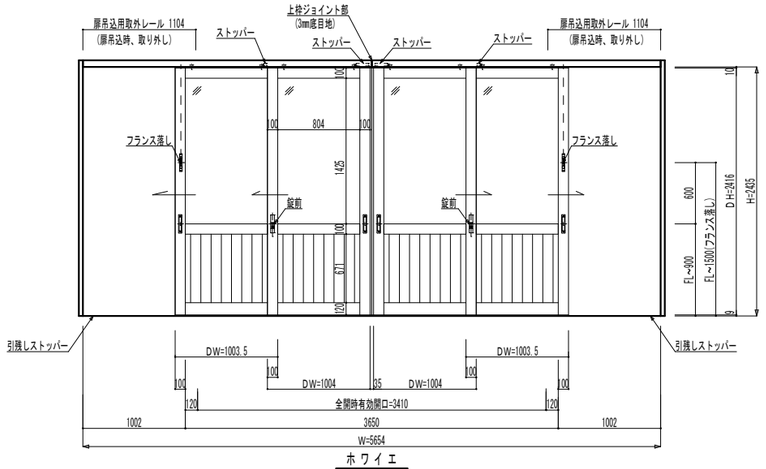



補強材詳細図　S=1:50

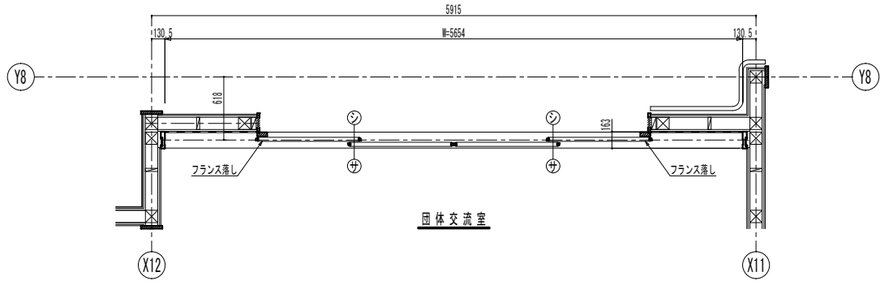



平面詳細図　S=1:5

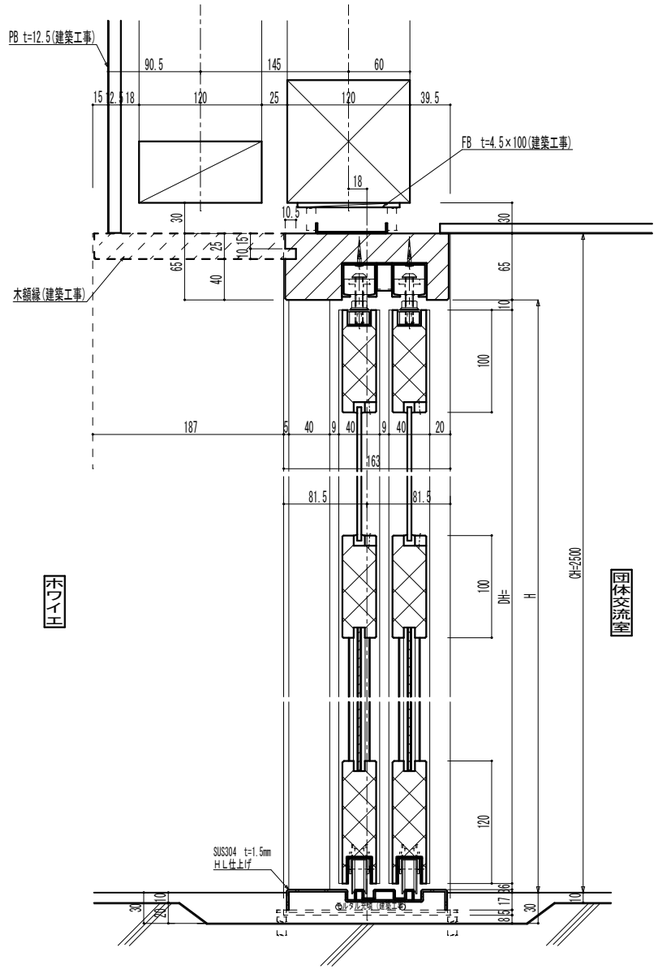
| 変更年月日・変更事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　1級建築士　構造1級建築士　設備1級建築士<br>FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事<br>図面名称　建具詳細図（２） | A2版(71%)<br>A3版(50%)<br>図面番号　A-38<br>縮尺　1：5／50<br>設計年月日　2025年 3月 |

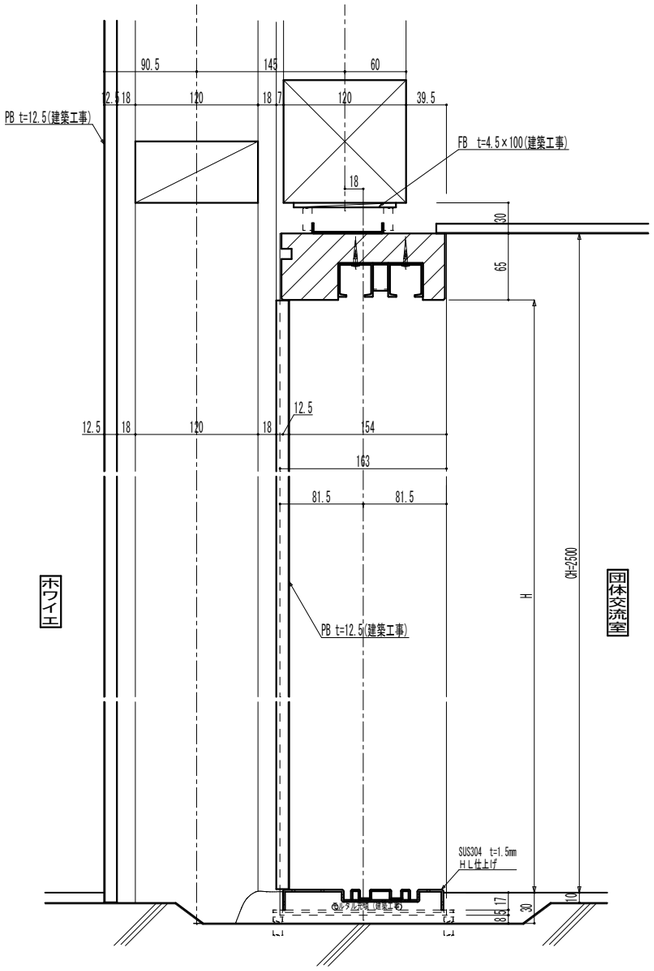



ホワイエ




団体交流室




## WD－１（木製学校間仕切（ＳＰＷ）仕様書）

| 区分 | 部材名 | 見込(mm) | 材料仕様 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 枠 | 上枠 | 160 | 広島県産杉上小節集成材 | 押込ロバスト工法 |
| | 竪　枠 | 163 | 広島県産杉上小節集成材 | |
| | | | | |
| | 上レール | － | アルミ押出型材(ブロンズ色) | |
| | 出入口レール | － | SUS304 t=1.5 | |
| | 出入口下枠 | | SUS304 t=1.5 | |
| 扉 | 竪・召合わせ框 | 40,36 | 広島県産杉上小節集成材 | |
| | 上・下框・中桟 | | 広島県産杉上小節集成材 | |
| | 腰パネル | | 広島県産杉上小節羽目板　t=9 | |
| | | | | |
| | 手話防止パッキン | | ＰＶＣ軟質異種合材 | |
| | 鋼製戸車 | | ベアリング入り | ＺＰ－５０Ｍ |
| | | | | |
| | | | | |
| 仕上げ | 天然植物油脂性塗料 | | バトン | バトンクリア |

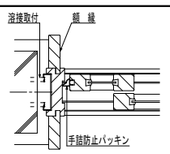
**備　考**

1. ユニット枠の取付は、溶接取付け工法とする。
2. ロバスト工法　枠組強度は100N荷重時、変位量0.3mm以下の強度を有する事。

**取付工法**

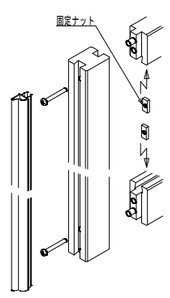
Ｃ 部 詳 細 図

溶接工法
・溶接にて、枠補強材に溶接し固定。



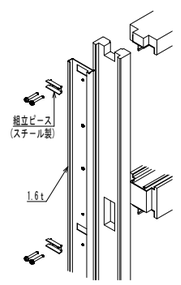

**組立工法**

Ａ 部 詳 細 図



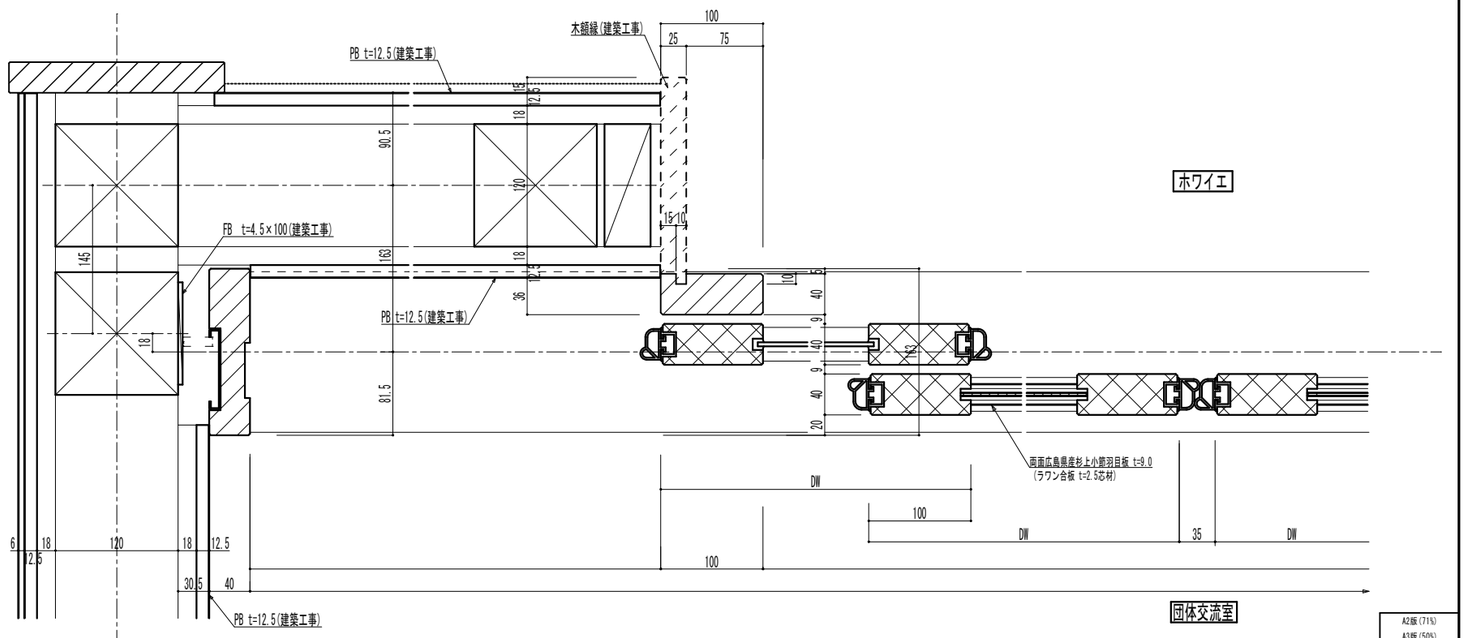

障子組立方法（振ナットロバスト工法）
・固定ナットを、障子横材に設けた角穴に押込み、竪材よりビスにて固定。

Ｂ 部 詳 細 図



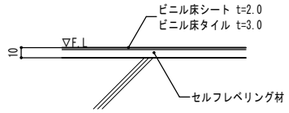

枠組立方法（押込ロバスト工法）

KJ-24+605

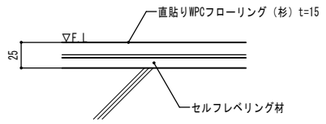



| 変更年月日・変更事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士<br>FAX 084-928-6000　(登録183507号)　(登録7233号)　(登録2832号)　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事 | A2板(71%)<br>A3板(50%)<br>図面番号 A-39 |
| | | | 図面名称　建具詳細図（３） | 縮尺 1：3／30<br>設計年月日 2025年 3月 |

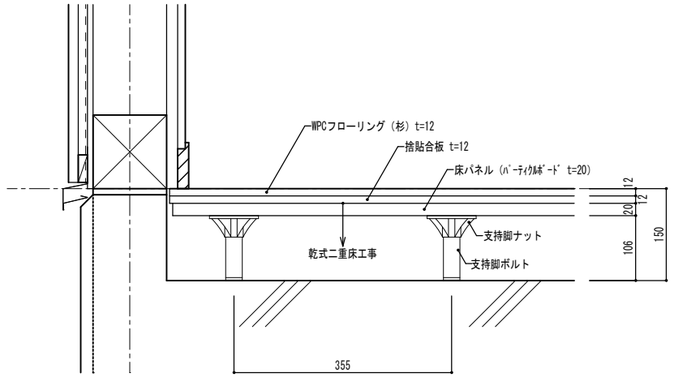
## ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ・ｼｰﾄ貼り　床 詳細図　1/3



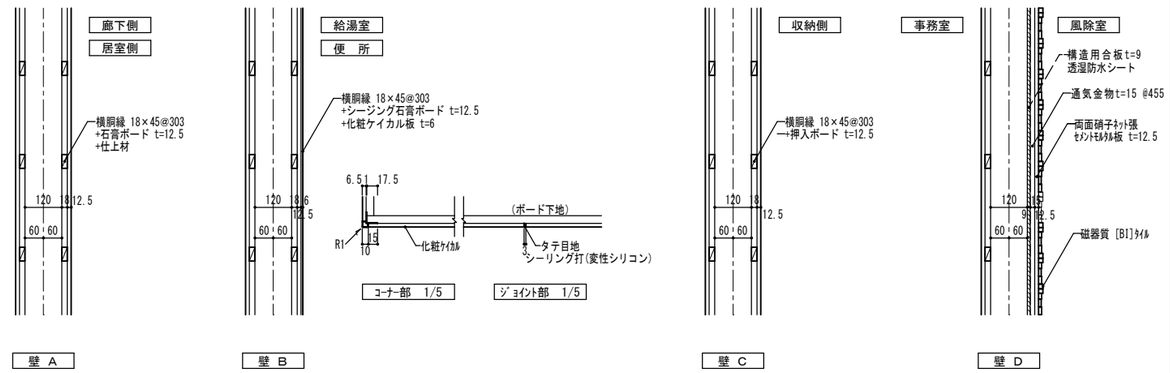

## 直貼りWPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り　床 詳細図　1/3



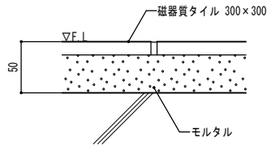

## 乾式二重床工事　（中会議室・大会議室）　1/5



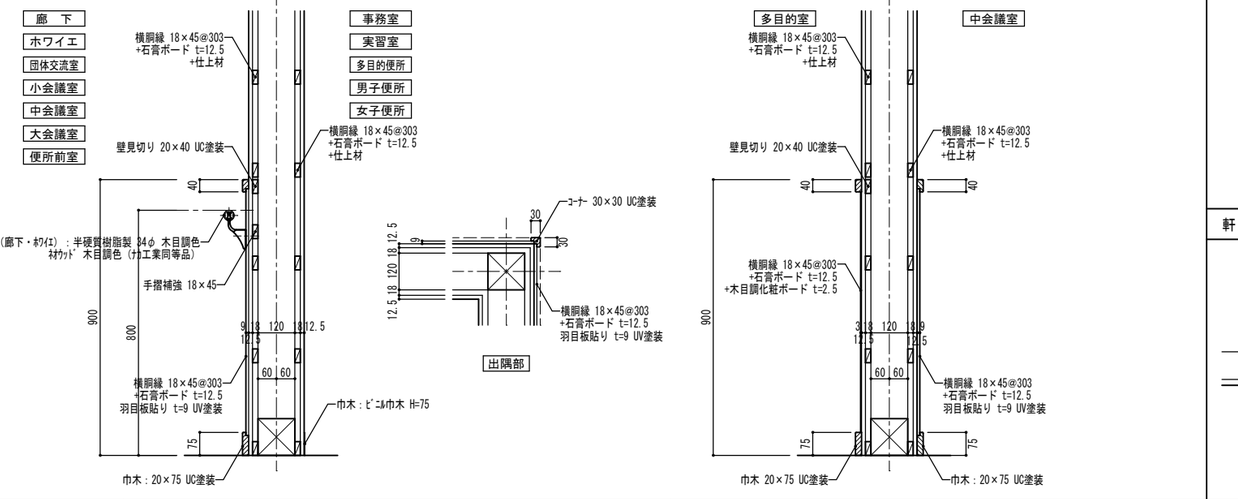

## 内部間仕切詳細図　1/5, 1/10



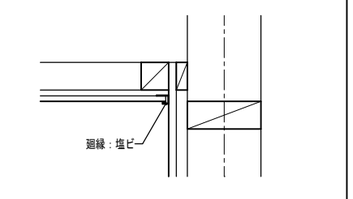

## 磁器質タイル貼り　床 詳細図　1/3



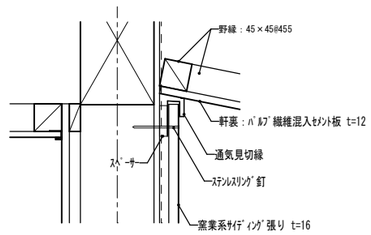

## 腰壁 詳細図　1/10



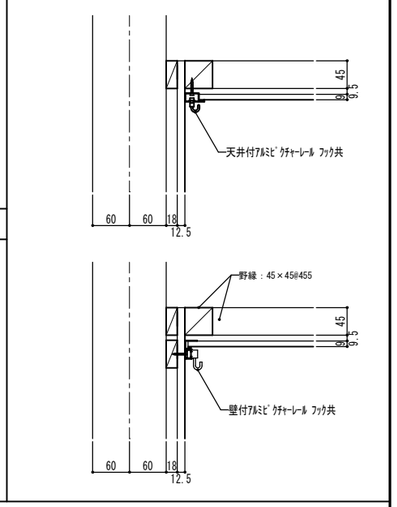

## 廻縁 詳細図　1/5



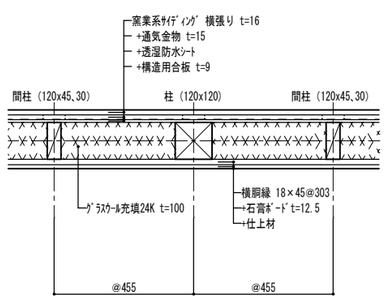

## 軒天部 詳細図　1/5



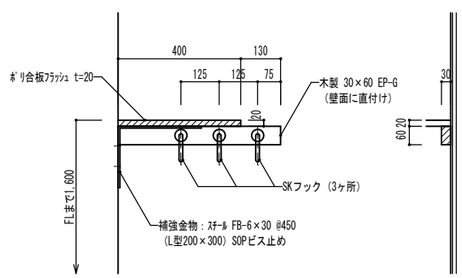

## ピクチャーレール 詳細図　1/5




## 外壁廻り 詳細図　1/10




## SK 棚・フック 詳細図　1/10



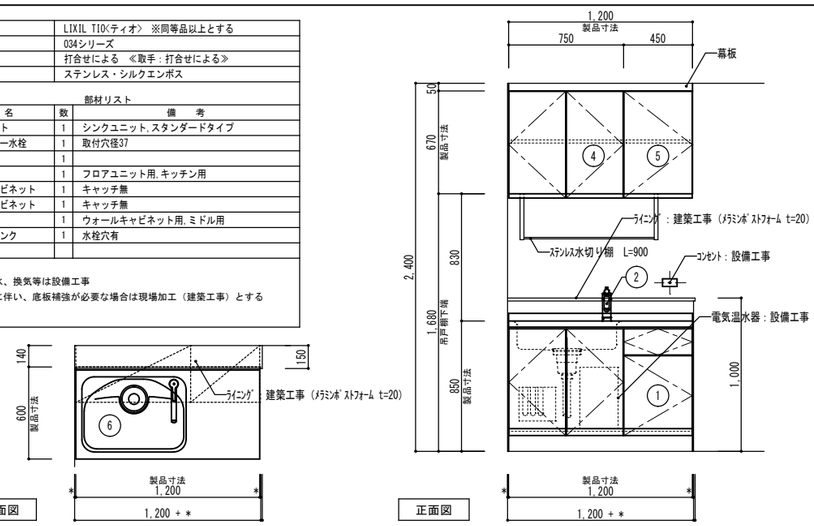

## 流し台 詳細図　1/20

| タイプ | LIXIL TIOC(ティオ) ※同等品以上とする |
|---|---|
| シリーズ | 034シリーズ |
| 扉カラー | 打合せによる ≪取手：打合せによる≫ |
| カウンター | ステンレス・シルクエンボス |

部材リスト

| | 品 名 | 数 | 備 考 |
|---|---|---|---|
| 1 | フロアユニット | 1 | シンクユニット,スタンダードタイプ |
| 2 | シングルレバー水栓 | 1 | 取付穴径37 |
| 3 | 排水セット | 1 | |
| 4 | エンドパネル | 1 | フロアユニット用,キッチン用 |
| 5 | ウォールキャビネット | 1 | キャッチ無 |
| 6 | ウォールキャビネット | 1 | キャッチ無 |
| 7 | エンドパネル | 1 | ウォールキャビネット用,ミドル用 |
| 8 | ラウンド68シンク | 1 | 水栓穴有 |

特記事項
・電気、給排水、換気等は設備工事
・温水器設置に伴い、底板補強が必要な場合は現場加工（建築工事）とする




変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

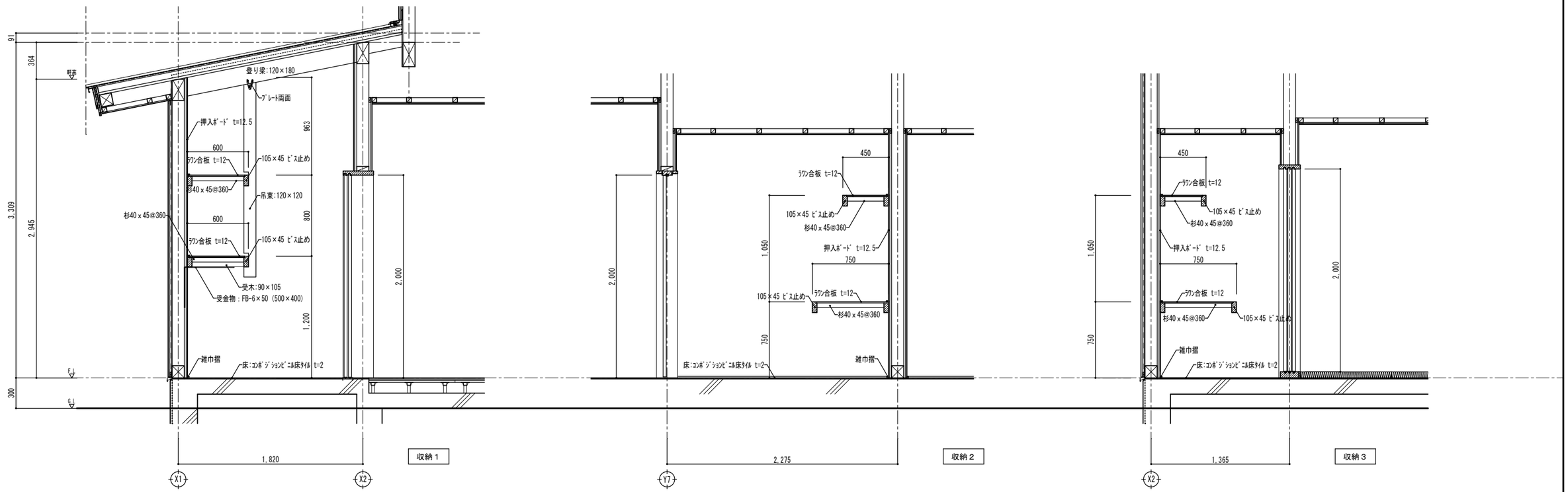
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 部分詳細図（１） |
| 縮尺 | 1：5,1：10,1：20 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-40 |

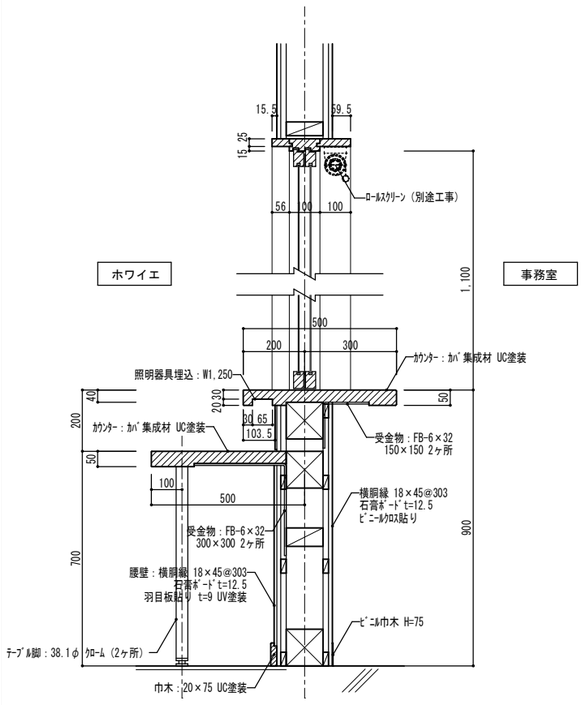
A2版(71%)
A3版(50%)

## 収納：中段，枕棚　詳細図　1/20

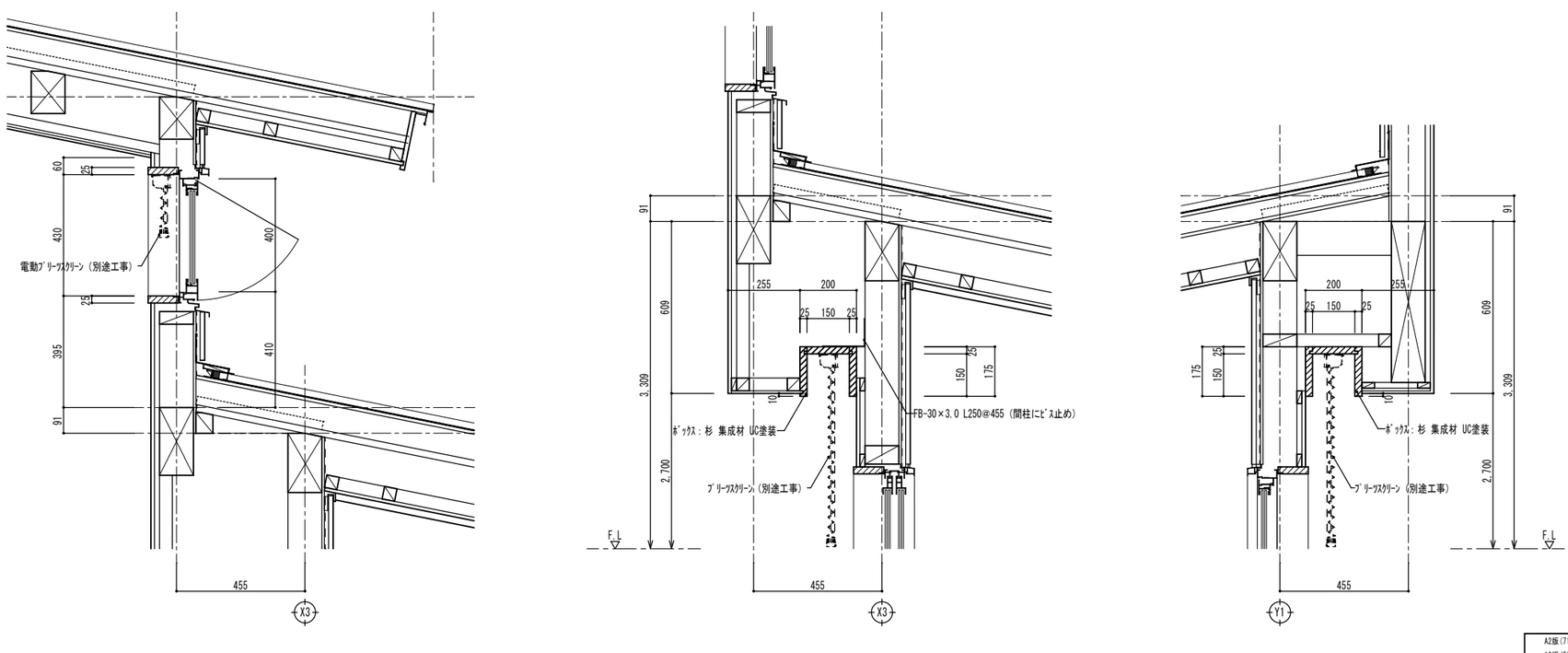
※ 造作材の杉は集成材とする。




## カウンター廻り　詳細図　1/10




## 大会議室 X3通り・Y1通り ブリーツスクリーン　詳細図　1/10



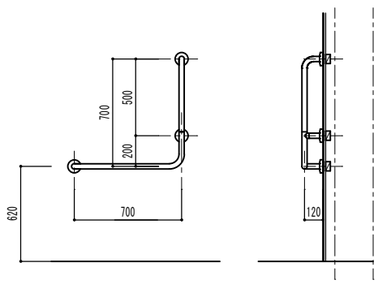

| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | 福山市建設局建築部営繕課 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| | | 図面名称 | 部分詳細図（２） |


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
FAX 084-928-6000　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| A2版(71%) A3版(50%) | |
| 図面番号 | A-41 |
| 縮尺 | 1：10，1：20 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

## L型 詳細図 1/20

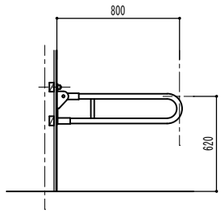
| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 男子便所 | 1 |
| 女子便所 | 3 |
| 多目的便所 | 1 |




※ ﾄｲﾚﾌﾞｰｽに設置の際は下地補強を施すこと
※ TOTO T112CL10 同等品

## 跳上げ手摺 詳細図 1/20

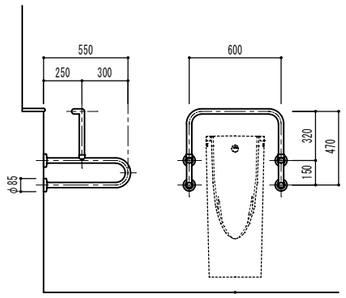
| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 多目的便所 | 1 |
| | |




※ TOTO T112HK8R 同等品

## 小便器用手摺 詳細図 1/20

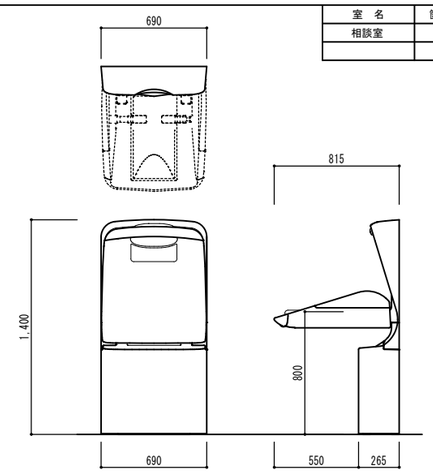
| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 男子便所 | 1 |
| | |




※ TOTO T112CU22 同等品

## ベビーシート 詳細図 1/20

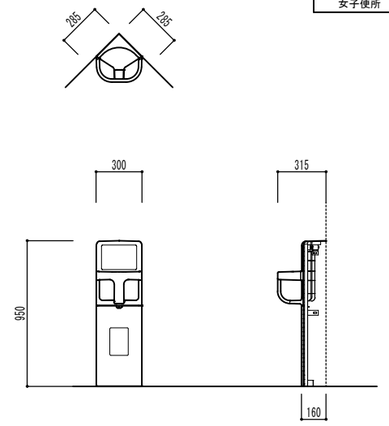
| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 相談室 | 1 |
| | |




TOTO : YKA24S 同等品

## ベビーチェア 詳細図 1/20

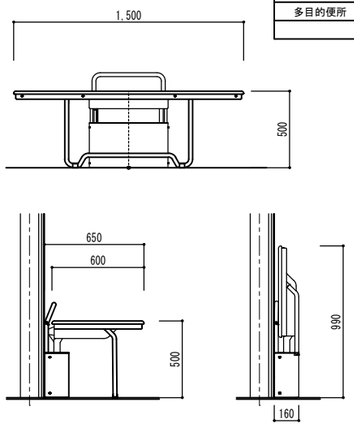
| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 男子便所 | 1 |
| 女子便所 | 1 |




TOTO : YKA16S 同等品

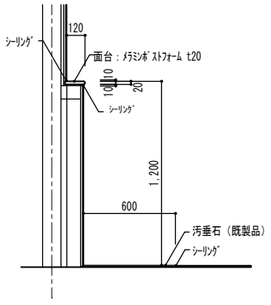
## 収納式多目的シート 詳細図 1/20

| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 多目的便所 | 1 |
| | |




TOTO : EWC520ARS 同等品

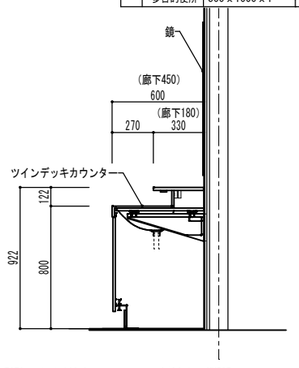
## ライニング 詳細図 1/20




汚垂石 TOTO：ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗﾌﾛｱPU薄型同等

## 洗面カウンター 詳細図 1/20

| | 室 名 | 箇 所 | |
|---|---|---|---|
| 化粧鏡 | 廊 下 | 500 × 1000 × 2 | TOTO MMA1 同等品 |
| | 男子便所 | 500 × 1000 × 2 | TOTO MMA1 同等品 |
| | 女子便所 | 500 × 1000 × 2 | TOTO MMA1 同等品 |
| | 多目的便所 | 500 × 1000 × 1 | TOTO MMA1 同等品 |

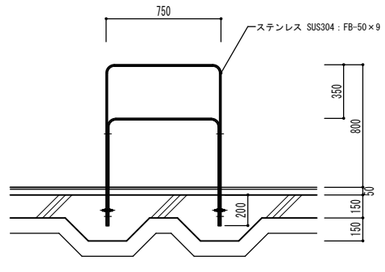



TOTO ﾂｲﾝﾃﾞｯｷｶｳﾝﾀｰ
ｽﾍﾟｰｽｱｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ (W500)
MDWE (D=600) 同等品

水栓ｶﾊﾞｰ：MX597
自動水栓：TENA126A　排水金具：T6SM10
ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ扉式：MFT4 (H800用)

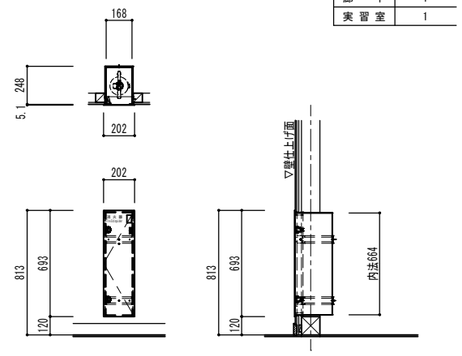
## 防護柵（自動ﾄﾞｱ） 詳細図 1/20

| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| 風除室 | 4 |
| | |



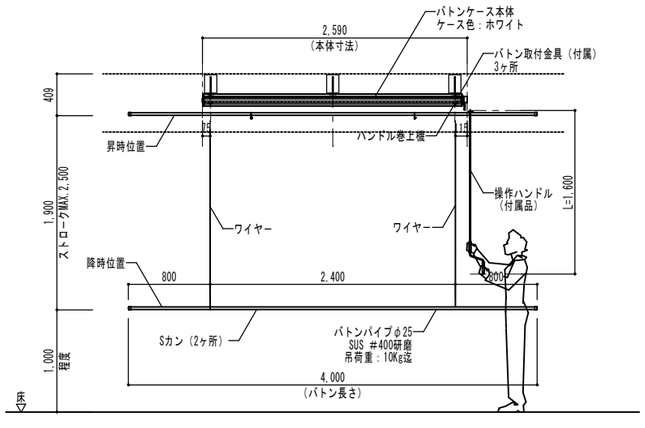

## 消火器ボックス 詳細図 1/20

| 室 名 | 箇 所 |
|---|---|
| ホワイエ | 1 |
| 廊 下 | 1 |
| 実 習 室 | 1 |

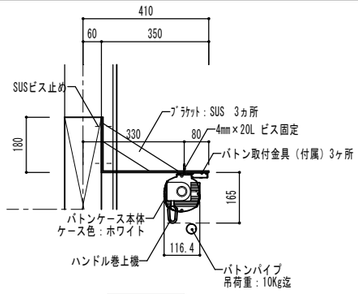



※ ユニオン UFB-1F-3017-PWH 同等品
指定色塗装とする。

## バトン 詳細図 1/10, 1/30



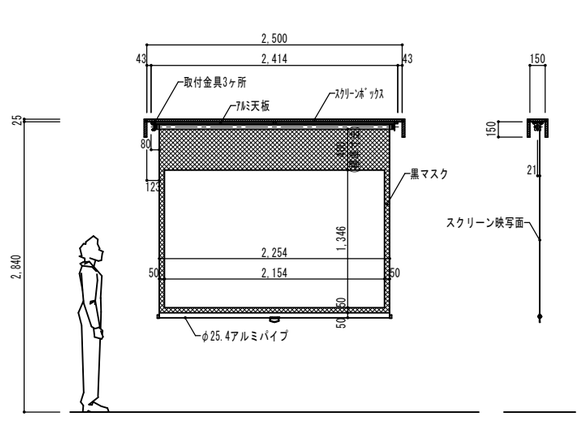

正面図 1/30




詳細図 1/10

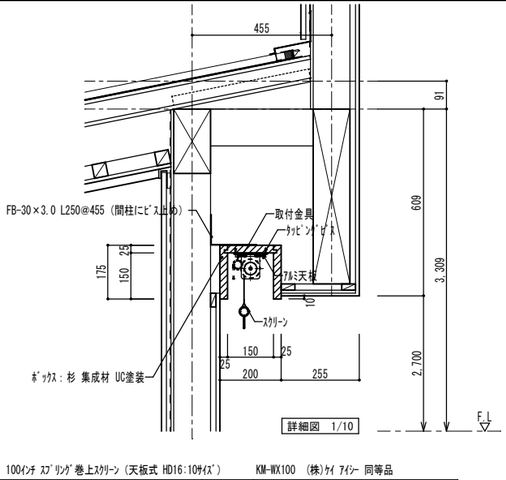
| 仕 様 | 手動昇降ﾊﾞﾄﾝ（ｹｰｽ入り） | KMB-CP4025 （株)ｹｲ ｱｲｼｰ 同等品 |
|---|---|---|
| 吊下荷重 | 10kg | |
| ケース | 材質：ｱﾙﾐ合金押出型材 A6063S-T5<br>ｱﾙﾏｲﾄ_ホワイト電着塗装(N9.3ﾏﾝｾﾙ近似値) | |
| 質 量 | 9.5kg | |
| 付属品 | ﾊﾝﾄﾞﾙ L=1,600<br>取付金具，ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ | |

## 詳細図 1/10, 1/30




正面図 1/30

断面図 1/30




詳細図 1/10

| 仕 様 | 100ｲﾝﾁ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ巻上ｽｸﾘｰﾝ（天板式 HD16:10ｻｲｽﾞ） | KM-WX100 （株)ｹｲ ｱｲｼｰ 同等品 | |
|---|---|---|---|
| 生 地 | ﾎﾜｲﾄ（防煙品） | 付属品 | ﾌｯｸ棒 L=1,500<br>取付金具，ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ |
| 天 板 | 材質：ｱﾙﾐ合金押出型材 A6063S-T5<br>ｱﾙﾏｲﾄ_ｸﾘｱｰ電着塗装（ｼﾙﾊﾞｰ色） | | ﾛｰﾀﾘｰｽﾄｯﾌﾟ，ｽﾋﾟｰﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾗｰ機構標準装備 |
| 質 量 | 9.4kg | | |

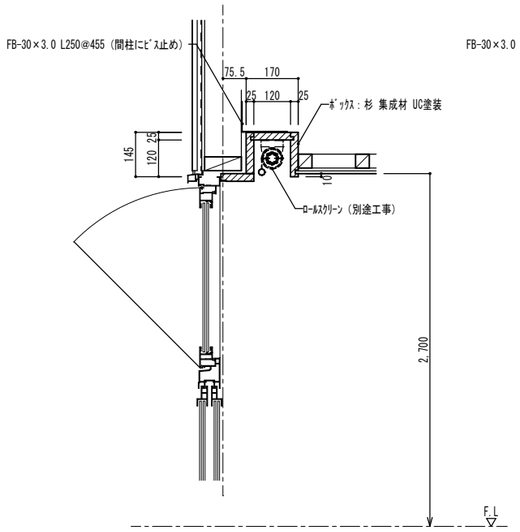
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

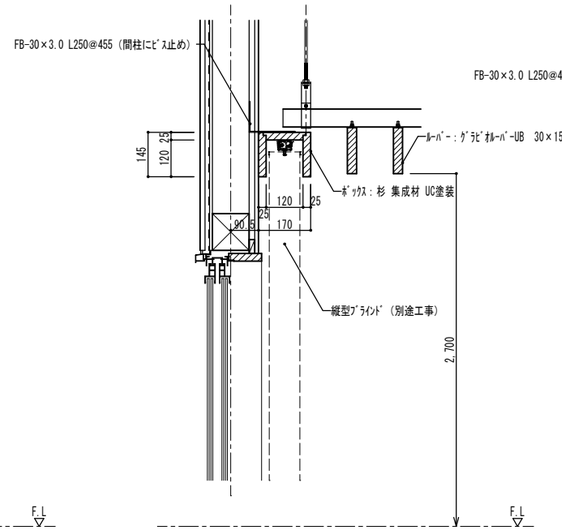

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号） 高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 部分詳細図（３） |
| 縮尺 | 1：10，1：20 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-42 |

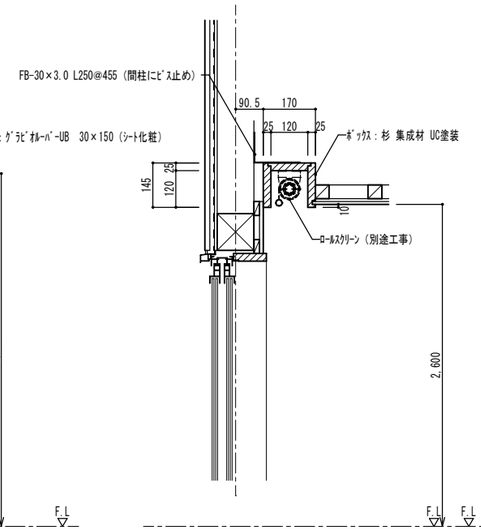
A2版(71%)
A3版(50%)



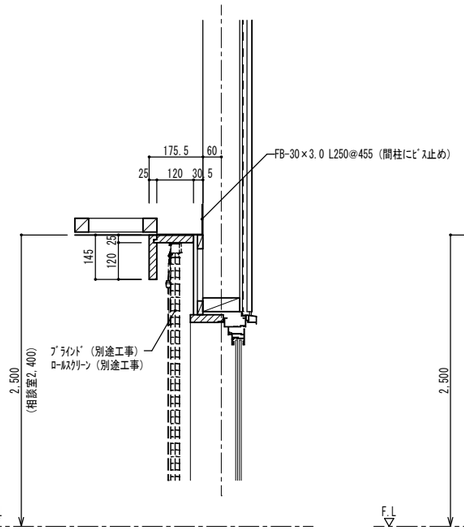

中会議室



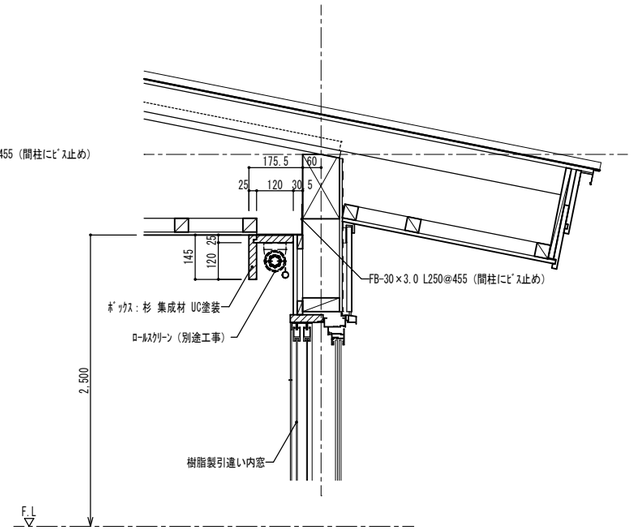

ホワイエ




実習室
小会議室




事務室
団体交流室
相談室(1)(2)




多目的室

| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | | | A2版(71%) A3版(50%) |
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）<br>FAX 084-928-6000　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事<br>図面名称　部分詳細図（４）　縮尺 1：10，1：20 | 図面番号 A-43<br>設計年月日 2025年 3月 |




平面図　S=1:100

| | | | |
|---|---|---|---|
| 変更年月日・変更事項 | | | A2版(71%) A3版(50%) |
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所 広島県福山市明神町２丁目7番35号 TEL 084-920-9123 FAX 084-928-6000 | 1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号 1級建築士 構造1級建築士 設備1級建築士 （登録183507号） （登録7233号） （登録2832号） 高橋 啓之 |
| | | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| | | 図面名称 | 家具配置図 |
| | | 図面番号 | A-44 |
| | | 縮尺 | 1：100 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |

# 家具工事　共通仕様　「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

## 1.家具使用者の安全性に関わる必須事項

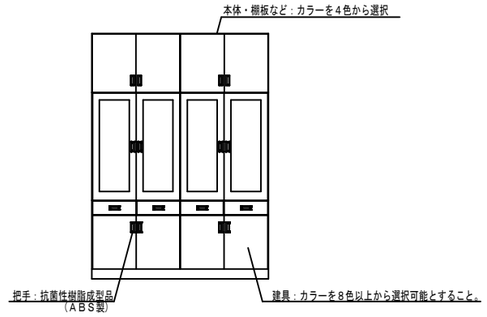
①シックスクール対策として、本体主材料には、光触媒によるVVOC及びVOC低減機能を有する材料を使用すること。（但し、抗菌・抗ウイルス機能も有すること）
但し、光触媒加工は塗膜本来の性能を失わないよう、工場ラインにての加工を行い、証明書を提出すること。
②使用者の怪我防止の観点から、扉・天板等の見えかかり木口は、t3mm以上のセーフティーエッジ木口処理を施すこと。
③地震時の安全性を考慮し、FL+1500mm以上に位置する扉には耐震開き止め金具を使用すること。
また全ての引戸は、耐震倒れ止め機能を持ったスライドガイド仕様とすること。

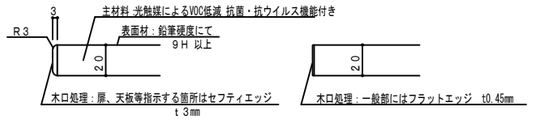
## 2.家具永年使用のための耐久性に関わる必須事項

①表面劣化を防ぐために、表面硬度は鉛筆硬度9H以上とすること。（耐久性に問題のあるコート紙系パーティクルボードは使用不可）
②芯材には20m以上のパーティクルボード（F☆☆☆☆）を使用すること。

## 3.その他必須事項

①ISO9001かつISO14001取得メーカー品であること。
②安全性・耐久性に関わる部分については、事前にサンプル・証明書を全て提出し承認を得ること。

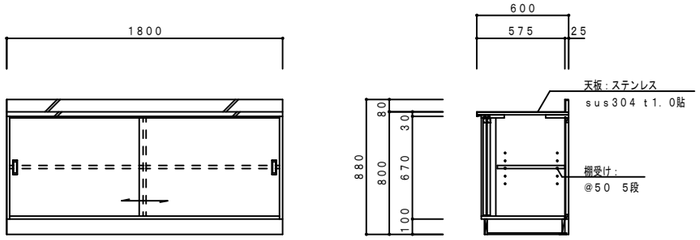



## F-1　収納棚　1ヶ所　給湯室（２）

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 天 板 | ステンレス　ｓｕｓ３０４ ｔ１．０貼 |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | 棚受ダボ：ステンレスφ９ |
| 引 戸 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | 引手：抗菌性樹脂成型品 |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

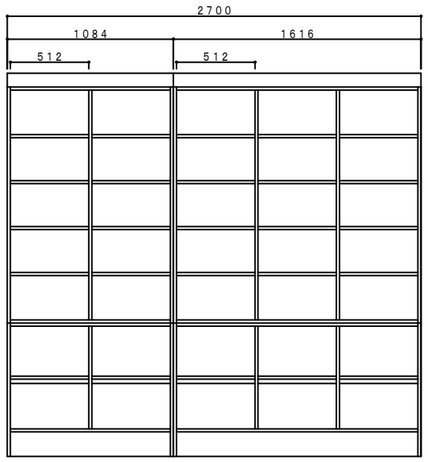
※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること

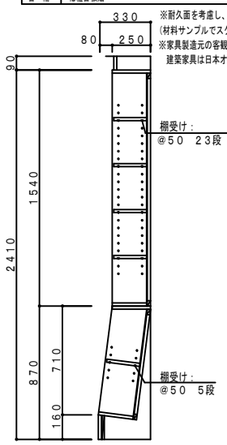



## F-2　傾斜高書架　1ヶ所　多目的室

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること

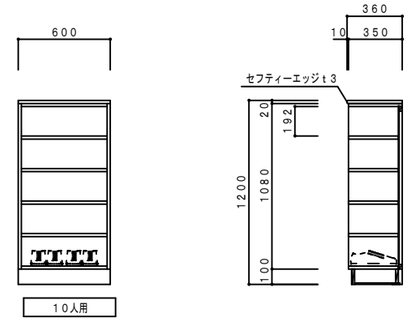



## F-3　下足入れ　1ヶ所　多目的室

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 天 板 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | 木口（前縁）：ABS樹脂3mm厚（セフティエッジ） |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

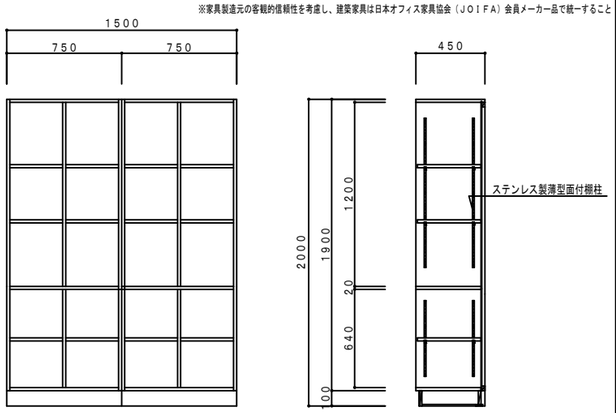
※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること




## F-4　オープン棚　1ヶ所　団体交流室

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | ステンレス製薄型面付棚柱 |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること

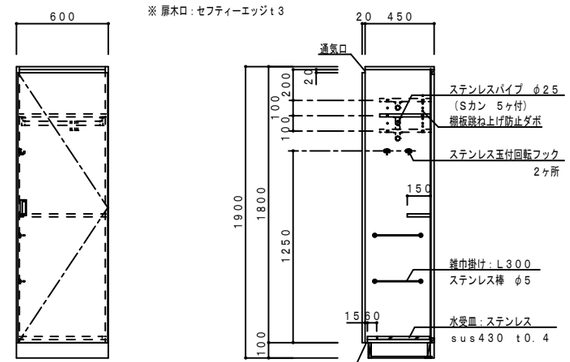



## F-5　掃除用具入れ　1ヶ所　調理室

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 扉 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | 木口：ABS樹脂3mm厚（セフティエッジ） |
| | 把手：抗菌性樹脂成型品 |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること

※扉木口：セフティーエッジｔ３

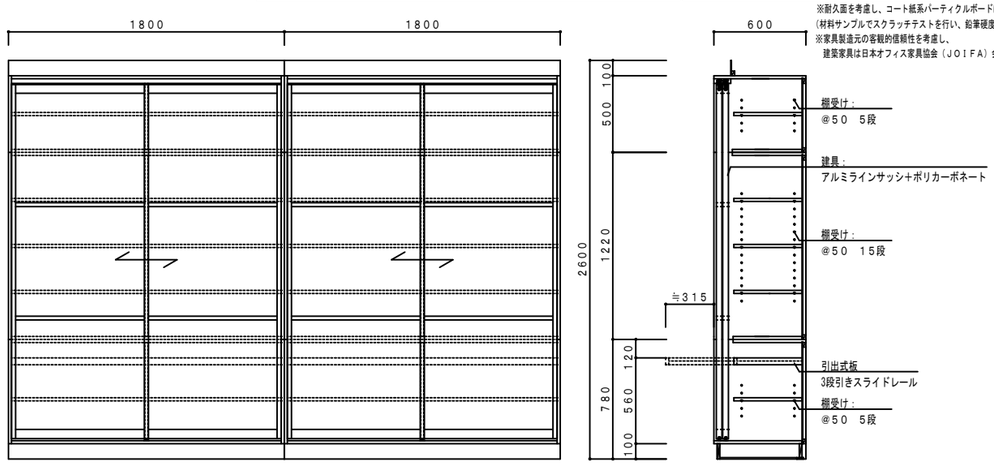



※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。

## F-6　食器棚　1ヶ所　調理室

| | |
|---|---|
| 本 体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| 扉 | アルミラインサッシ |
| | ポリカーボネート t4 |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上） |
| | 棚受ダボ：ステンレスφ９ |
| 台 輪 | 化粧合板貼 |

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること




| 変更年月日・変更事項 |
|---|
| |

福山市建設局建築部営繕課

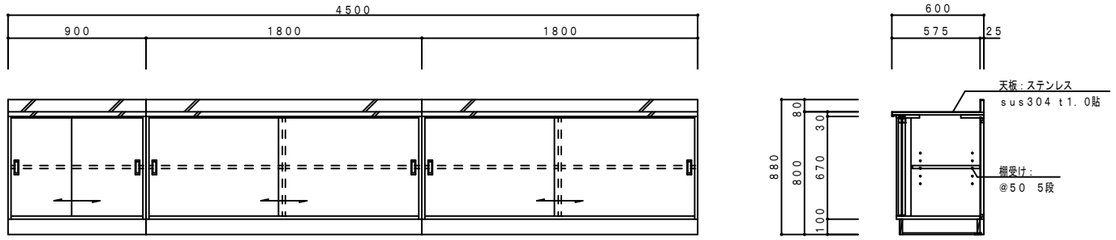

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | A2版(71%) A3版(50%) |
| 図面名称 | 家具詳細図（１） | 縮尺 1：100 | 図面番号 A-45 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |

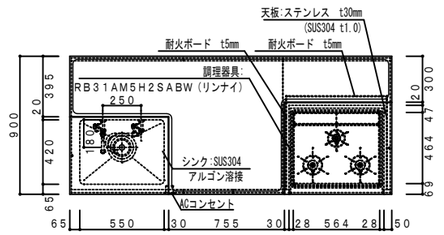
## F-7　作業台　1ヶ所　調理室

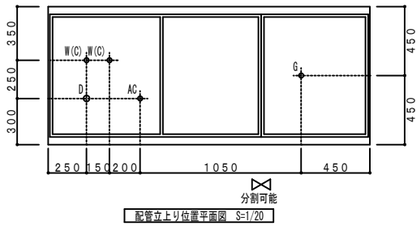
| | |
|---|---|
| 本体 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９H以上） |
| 天板 | ステンレス　sus３０４ t１．０貼 |
| 棚 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９H以上） |
| | 棚受ダボ：ステンレスφ９ |
| 引戸 | 光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９H以上） |
| | 引手：抗菌性樹脂成型品 |
| 台輪 | 化粧合板貼 |

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること




## F-8　教師用調理台　1ヶ所　調理室



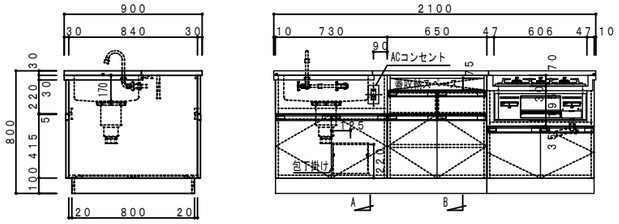
配管立上り位置平面図　S=1/20

| 配管(床上90mm以内) | |
|---|---|
| W | 15A型 |
| D | 40VP |
| G | 15A型 |
| AC | 30A-200V |
| ガス種 | 都市ｶﾞｽ |

| | | | 教師用調理台ST-603 | |
|---|---|---|---|---|
| 把手 | ラインハンドル(ネームプレート付き) | | 寸法 | W2100xD900xH800mm |
| 水栓 | 折畳み式自在栓　水用　LF-121F-13 | 2 | 天板 | ステンレス　SUS304　t1.0mm |
| 排水トラップ | 樹脂製ゴミ収納器付　径180mm　40A型 | 1 | 厚さ | t30mm |
| 調理器具 | ビルトインコンロ RB31AM5H2SABW(リンナイ) | 1 | シンク | ステンレス　SUS304　t1.0mm （アルゴン溶接）防露加工 |
| コンセント | AC:100V　2口アースターミナル付　WN1532K | 1 | 本体 | 両面メラミンパーチクルボードt20mmＦ☆☆☆☆ |
| 包丁掛け | 樹脂成型品 | 1 | エッジ | 樹脂シートt0.45mmホットメルト接着Ｆ☆☆☆☆ |
| 床固定アングル | スチール製 | 2 | 建具類 | 両面メラミンパーチクルボードt20mmＦ☆☆☆☆ |
| | | | エッジ | セフティーエッジ ホットメルト接着 |
| | | | 抽斗箱 | シュブラーゼt12.5mm（スライドレール使用） |
| | | | 台輪 | ポリエステル化粧合板t18mmＦ☆☆☆☆ |
| | | | 蝶番 | 105度開き |

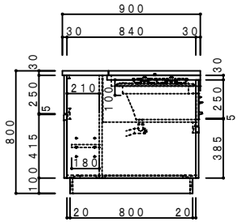
（ガス栓：設備工事）

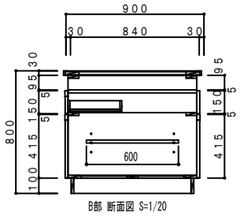
※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること

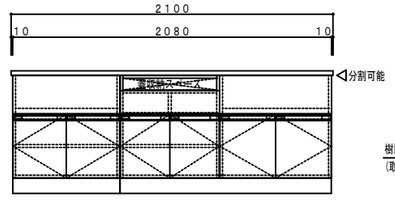


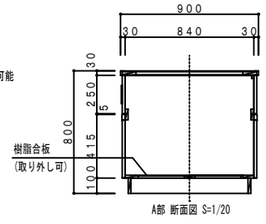




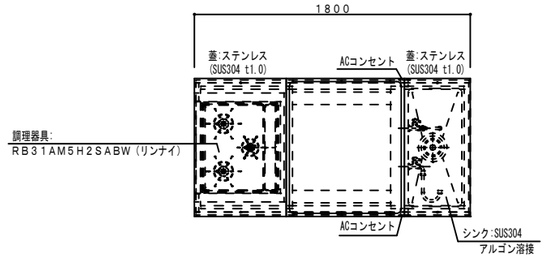


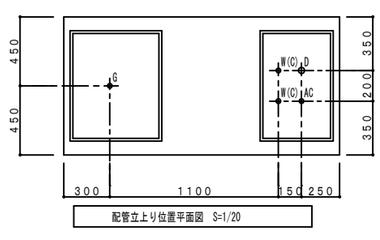




## F-9　生徒用調理台　4ヶ所　調理室



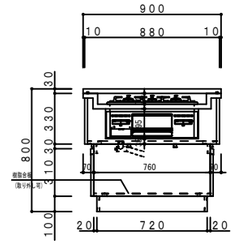
配管立上り位置平面図　S=1/20

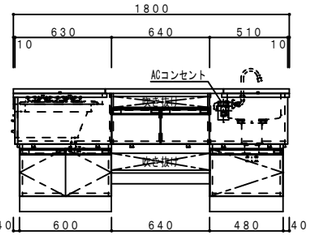
| 配管(床上90mm以内) | |
|---|---|
| W | 15A型 |
| D | 40VP |
| G | 15A型 |
| AC | 15A-100V |
| ガス種 | 都市ｶﾞｽ |

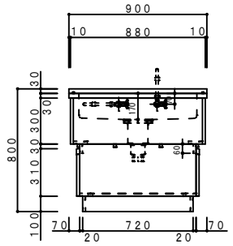
| | | | 生徒用調理台ST-652（改） | |
|---|---|---|---|---|
| 把手 | ラインハンドル(ネームプレート付き) | | 寸法 | W1800xD900xH800mm |
| 水栓 | 折畳み式自在栓　水用　LF-121F-13 | 2 | 天板・蓋 | ステンレス　SUS304　t1.0mm |
| 排水トラップ | 樹脂製ゴミ収納器付　径180mm　40A型 | 1 | 厚さ | t30mm |
| 調理器具 | ビルトインコンロRB31AM5H2SABW(リンナイ) | 1 | 調理器具置き台 | ステンレス　SUS430　t1.0mm （アルゴン溶接） |
| コンセント | AC:100V　2口アースターミナル付　WN1532K | 2 | シンク | ステンレス　SUS304　t1.0mm （アルゴン溶接）防露加工 |
| 床固定アングル | スチール製 | 2 | 本体 | 両面メラミンパーチクルボードt20mmＦ☆☆☆☆ |
| | | | エッジ | 樹脂シートt0.45mmホットメルト接着Ｆ☆☆☆☆ |
| | | | 建具類 | 両面メラミンパーチクルボードt20mmＦ☆☆☆☆ |
| | | | エッジ | セフティーエッジ ホットメルト接着 |
| | | | 抽斗箱 | シュブラーゼt12.5mm（スライドレール使用） |
| | | | 台輪 | ポリエステル化粧合板t18mmＦ☆☆☆☆ |
| | | | 蝶番 | 105度開き |

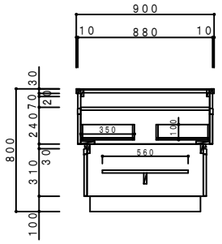
（ガス栓：設備工事）

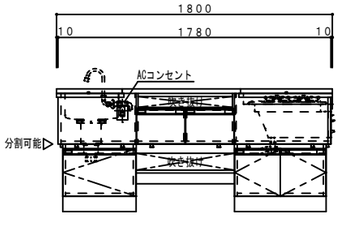
※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※家具製造元の客観的信頼性を考慮し、
建築家具は日本オフィス家具協会（ＪＯＩＦＡ）会員メーカー品で統一すること




変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | |
| 図面名称 | 家具詳細図（２） | 縮尺 | 1：100 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |
| | | 図面番号 | A-46 |

A2版(71%)
A3版(50%)

## F-10　アルミ枠平面白板

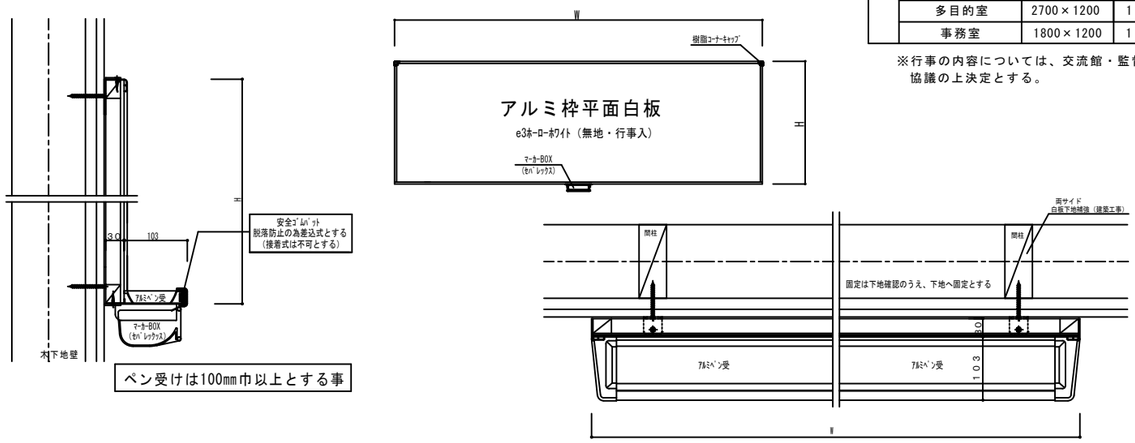
木下地壁の補強は別途建築工事とする。
ホワイトボードは抗菌・抗ウイルス対応ホーローホワイトとする(データシート提出のこと)

アイム　A-AFW-02同等品　　1：5　1：30

①白板は、ISO14001かつISO9001取得企業の生産製品及び監理製品とする。
②白板の製作は、日本工業規格番号　JIS　S　6007　黒板の表示認証を受けた工場にて製作・出荷し、出荷証明書を提出する事

| 階 | 室　名 | 寸法(W×H) | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 実習室 | 2700×1200 | 1 | 無地 |
| | 中会議室 | 2700×1200 | 1 | |
| | 多目的室 | 2700×1200 | 1 | |
| | 事務室 | 1800×1200 | 1 | 行事入 |

※行事の内容については、交流館・監督員と協議の上決定とする。




## F-11　アルミ枠予約掲示白板

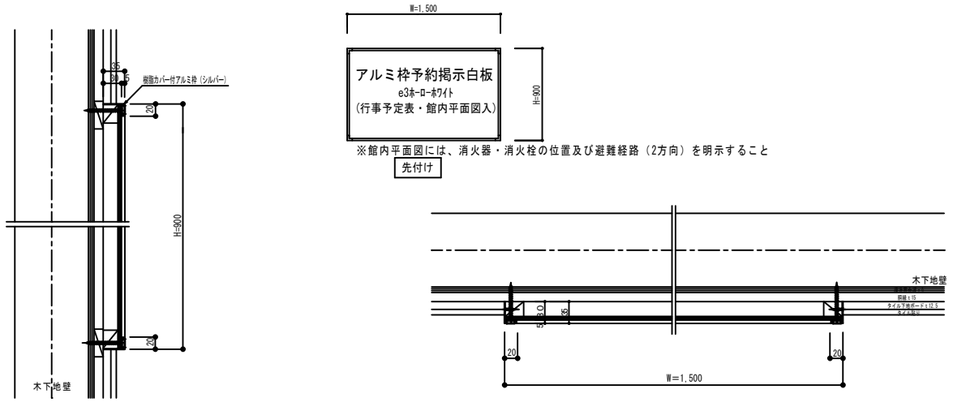
カラー印刷対応とする

アイム　A-MKW-105同等品　　1：5　1：30

①白板は、ISO14001かつISO9001取得企業の生産製品及び監理製品とする。
②白板の製作は、日本工業規格番号　JIS　S　6007　黒板の表示認証を受けた工場にて製作・出荷し、出荷証明書を提出する事

| 階 | 室　名 | 寸法(W×H) | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 風除室 | 1500×900 | 1 | 行事入 |

※行事の内容については、交流館・監督員と協議の上決定とする。



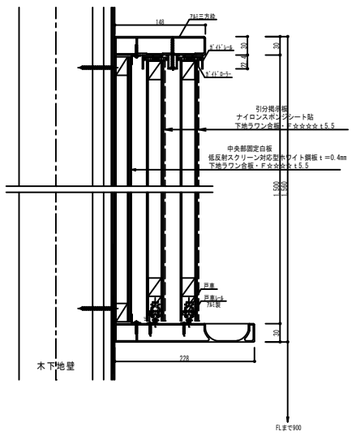

## F-12　アルミ枠引分白板

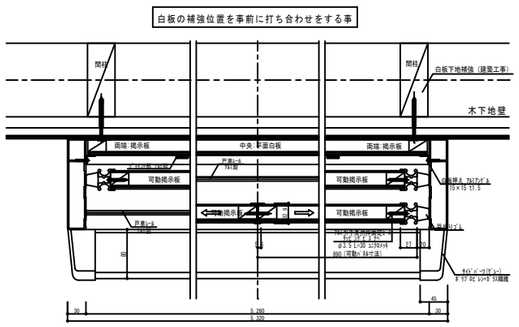
木下地壁の補強は別途建築工事とする。
ホワイトボードは抗菌・抗ウイルス対応ホーローホワイトとする(データシート提出のこと)

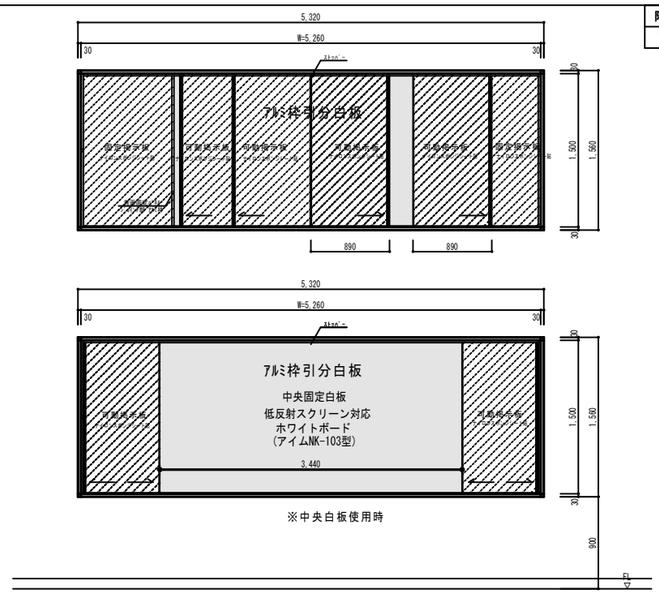
アイム　A-MKW-105同等品　　1：5　1：30

①白板は、ISO14001かつISO9001取得企業の生産製品及び監理製品とする。
②白板の製作は、日本工業規格番号　JIS　S　6007　黒板の表示認証を受けた工場にて製作・出荷し、出荷証明書を提出する事

| 階 | 室　名 | 寸法(W×H) | 数量 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大会議室 | 5260×1500 | 1 | 無地 |




※中央白板使用時

| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

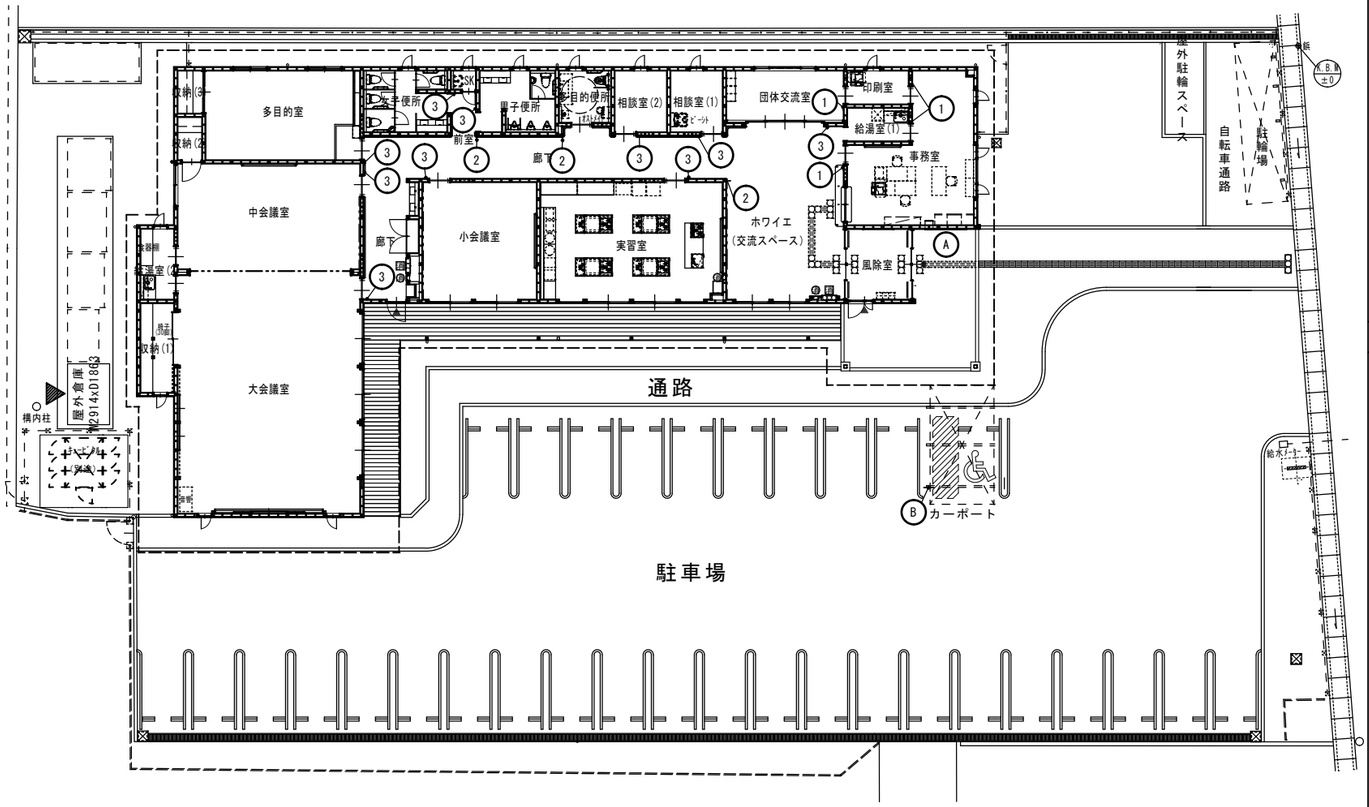
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | |
| 図面名称 | 家具詳細図（３） | 縮尺 | 1：100 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号
A-47

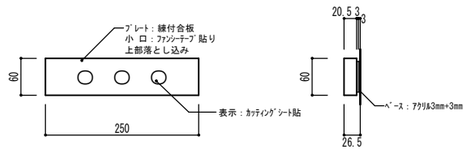
## サイン・室名札　配置図　1/150




## ① 平付型室名札　1/5

4箇所

㈱研創 ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ 同等品



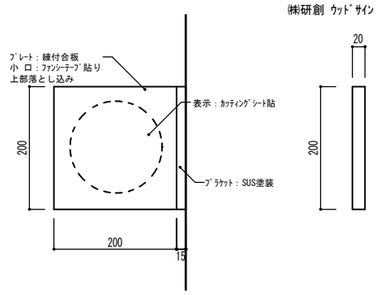

印 刷 室

事 務 室

## ② 突出型室名札　1/5

3箇所

㈱研創 ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ 同等品




## ③ 平付型室名札　1/5

１０箇所

㈱研創 ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ 同等品




実 習 室

大 会 議 室　中 会 議 室　小 会 議 室　多 目 的 室　相 談 室　相 談 室　団体交流室

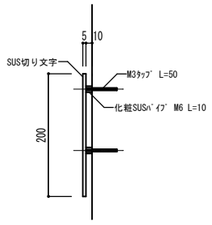
※ ピクトサインは、JIS Z8210 案内用図記号の適合品とし監督員の承諾を受けること。

## Ⓐ 施設名サイン詳細図　1/5・20

１箇所




正面図　1/20

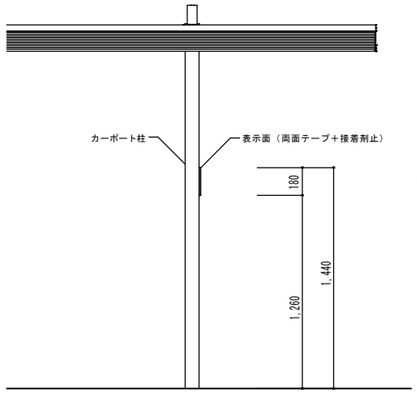



断面図　1/5

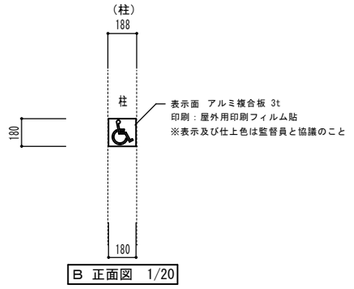
本体：ステンレス（ＳＵＳ３０４）
表面：ＳＵＳステンレス鋼板 t=5　　仕上げ：焼付塗装
仕上：Ｈ．Ｌ仕上げ，焼付塗装
ボルト：Ｍ３ タップ L=５０
浮かせ部：化粧ＳＵＳパイプ Ｍ６ Ｌ＝１０
書体は監督員と協議のこと。

## Ⓑ 身障者駐車場 サイン　1/20

１箇所

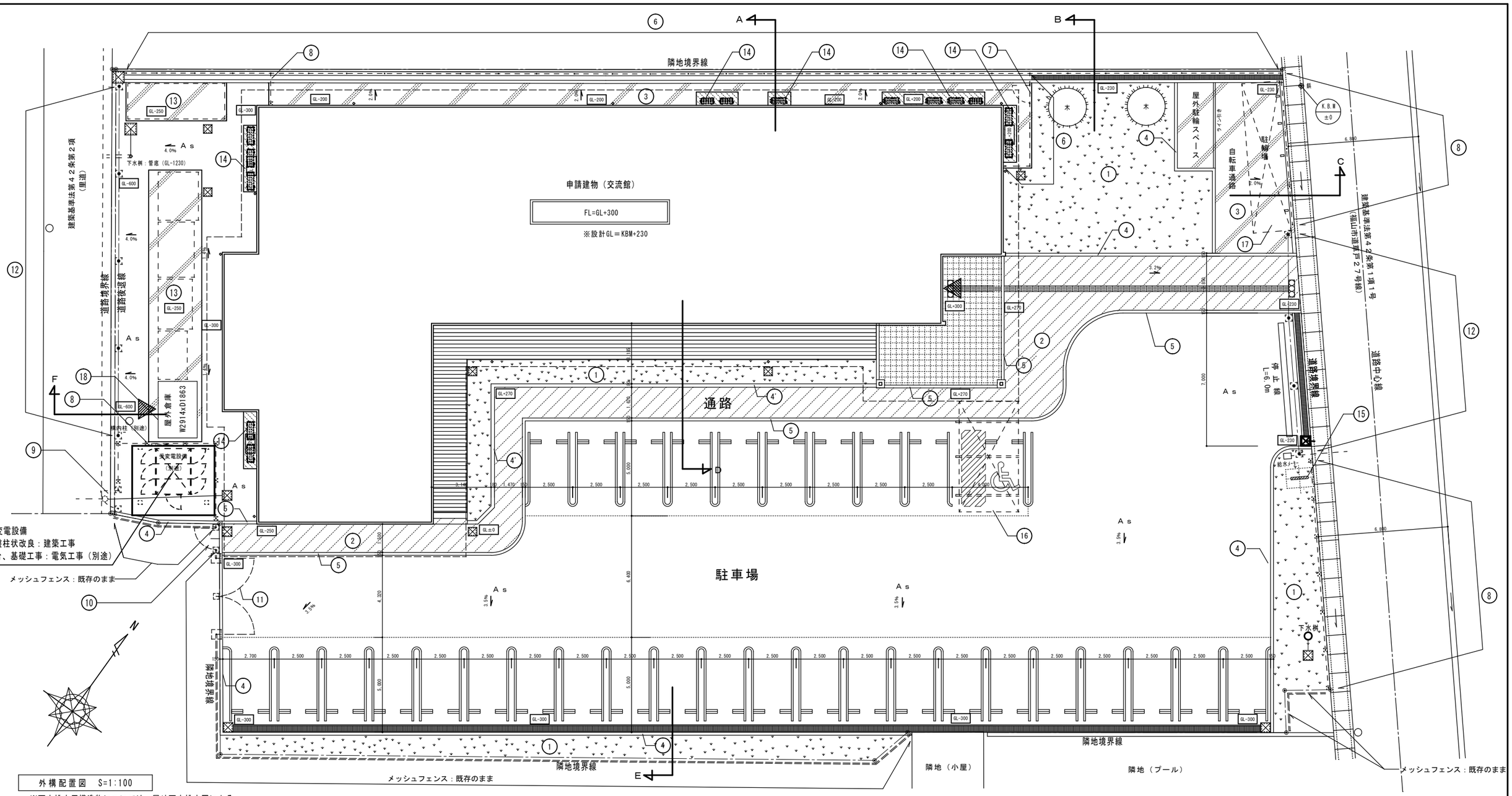



断面図　1/20




B 正面図　1/20

| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | A2版(71%)<br>A3版(50%)<br>図面番号 A-48 |
| | | | 図面名称 | サイン配置図・詳細図 | 縮尺<br>設計年月日 2025年 3月<br>図示 |




外構配置図　S=1:100

※雨水排水用構造物については、屋外雨水排水図による。

| 符号 | 仕　様 | 符号 | 仕　様 | 符号 | 仕　様 | 符号 | 仕　様 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 緑化計画スペース、花壇　A≒200㎡<br>（樹木、地被植物等は別途植栽工事とする） | ⑤ | 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ　C型（JIS 5371 A）W150×H150　L≒81m | ⑩ | 既存ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ一部撤去及びﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉新設　H1200×W1200　1か所<br>（PC基礎　300×300×600）<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　UN片開き門扉　同等品　南京錠共） | ⑮ | 屋外独立看板（基礎共）　W900×D127×H3913（詳細図参照）<br>（㈱ｺﾄﾌﾞｷ　ｱﾙﾌﾞﾗﾝｸ　UC-S712102　同等品） |
| ② | ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 t=60（A=143.6㎡）<br>RC砕石 t=100、ｺﾝｸﾘｰﾄ版基層 t=70、ｸｯｼｮﾝ砂 t=30<br>※視覚障がい者用誘導ﾌﾞﾛｯｸ t=60 300x300 | ⑥ | 目隠しﾌｪﾝｽ　H1500　L≒67m　（RC基礎）<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　XW-1500M（PNﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ）同等品） | ⑪ | 既存ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ一部撤去及びﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉新設　H1200×W4000　1か所<br>（PC基礎　500×500×700、300×300×300）<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　UN両開き門扉　同等品　南京錠共） | ⑯ | ｶｰﾎﾟｰﾄ　ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造　ｱﾙﾐ屋根材　W5810×D3300×H2500（詳細図参照）<br>（YKKap㈱　ﾌﾟﾚｰﾝﾙｰﾌ　600ﾀｲﾌﾟ　H25-58-33M（ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ付）　同等品） |
| ③ | ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　FC18　t=70<br>RC砕石 t=100、ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6-150×150 | ⑦ | 目隠しﾌｪﾝｽ扉　H1500xW1000　（RC基礎）　1か所<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　XW-1500M（PNﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ）同等品） | ⑫ | 上下式ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟﾘｶｰΦ76.3（端部固定式）　H700（SUSｸｻﾘ 6φ　L11.5m・18.5m）<br>（PC基礎　350×350×350）<br>（㈱ｻﾝﾎﾟｰﾙ　LA-8K・LA-8UC-E（端部）　同等品　南京錠共） | ⑰ | ｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ　ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造　ｱﾙﾐ屋根材　W7884×D2000×H2000（詳細図参照）<br>（YKKap㈱　ﾙｼｱｽｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ　750ﾀｲﾌﾟ　J-50-30-20　同等品） |
| ④ | 片面歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ　A型（JIS5371 A）　W150×H200　L≒97m<br>④' 部分：片面歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ　C型（JIS5371 A）　W180×H300　L≒29m | ⑧ | ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　H1200　L≒33m　（基礎：現場打ち）<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　UN-A1200　同等品　南京錠共） | ⑬ | 屋外倉庫用土間ｺﾝｸﾘｰﾄ　t200(FC21)D10@150ﾀﾃﾖｺ共 RC砕石t100下地<br>W15000×D2800　1か所、W5300×D2000　1か所 | ⑱ | 屋外倉庫　鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ造　W2914×D1863×H2359（詳細図参照）<br>（㈱淀川製鋼所　ﾖﾄﾞ物置ｴﾙﾓ　LMD-2918H　同等品） |
| | | ⑨ | ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉　H1200×W1000　（PC基礎：300×300×600）　1か所<br>（朝日ｽﾁｰﾙ工業㈱　UN-A1200　同等品　南京錠共） | ⑭ | 室外機用基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ　t150(FC21)ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ6φ-150×150 RC砕石t100下地<br>W5400・W3500・W2200・W1200　各1か所、W3000　2か所（奥行700共通） | As | アスファルト舗装 t=50（A≒960㎡）<br>車止め：ﾊﾞｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ（W=600）ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ止　64か所<br>駐車ライン、車椅子ﾏｰｸ　W＝100（66.5m）　停止線ﾗｲﾝ W=300×L=6000 |

変更年月日・変更事項

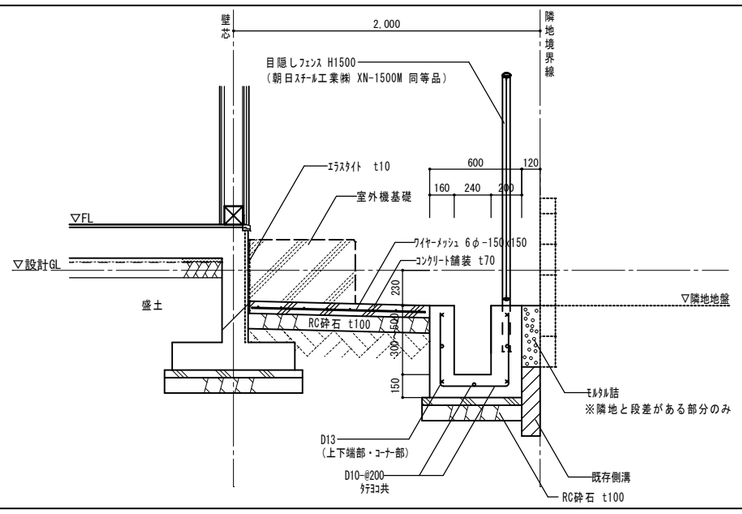
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目７番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

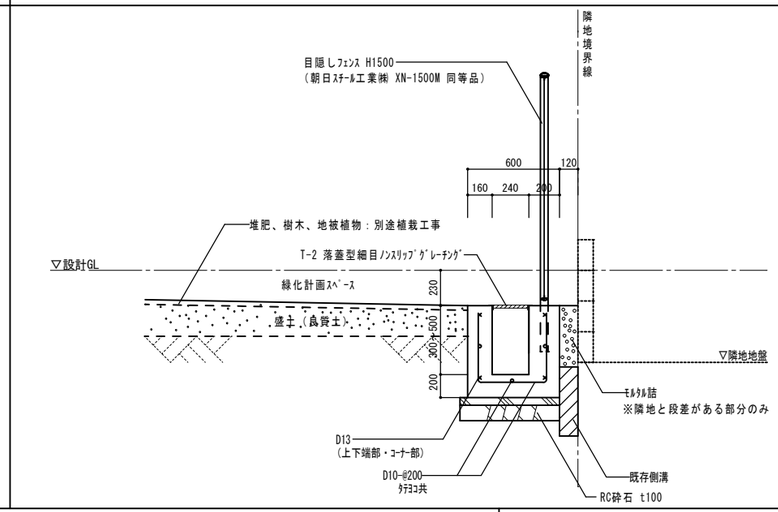
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 外構配置図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-49

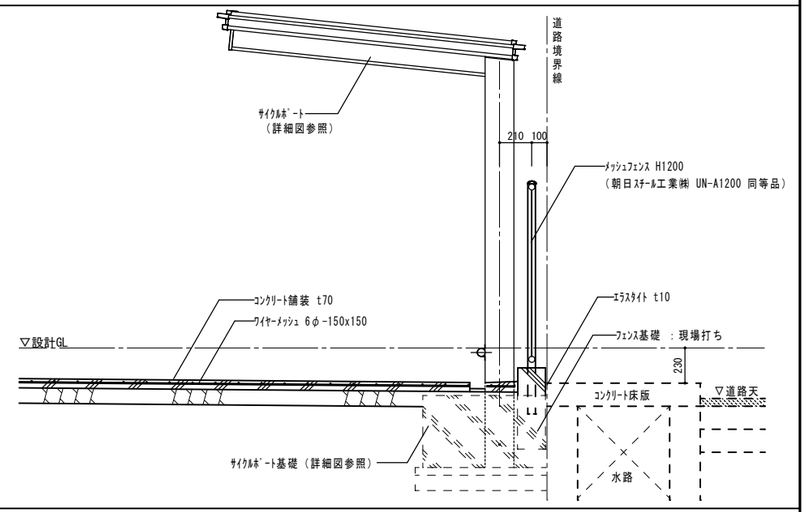
## A　断面図



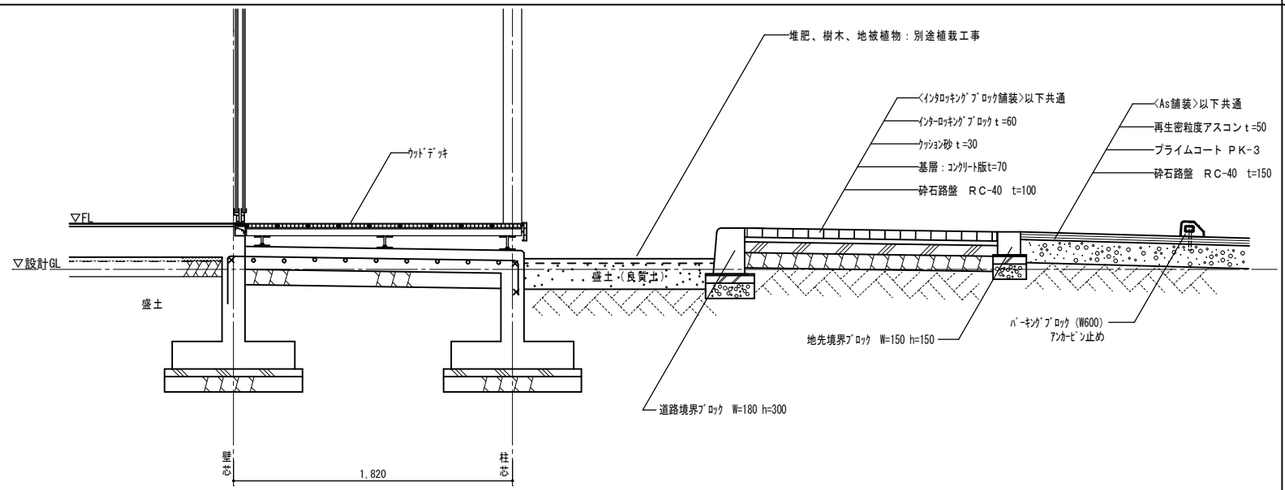

## B　断面図



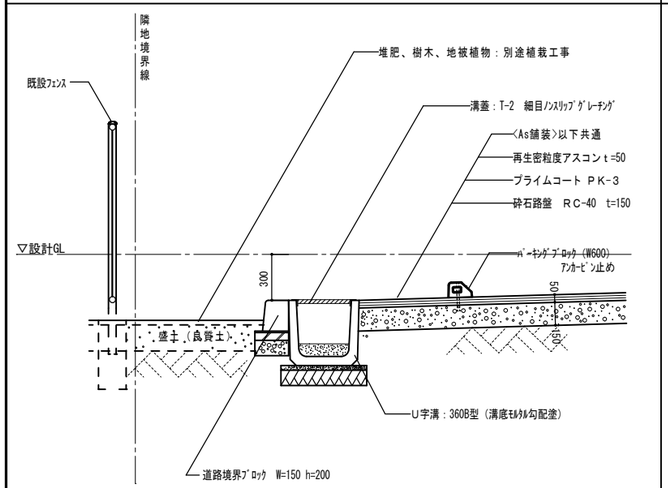

## C　断面図



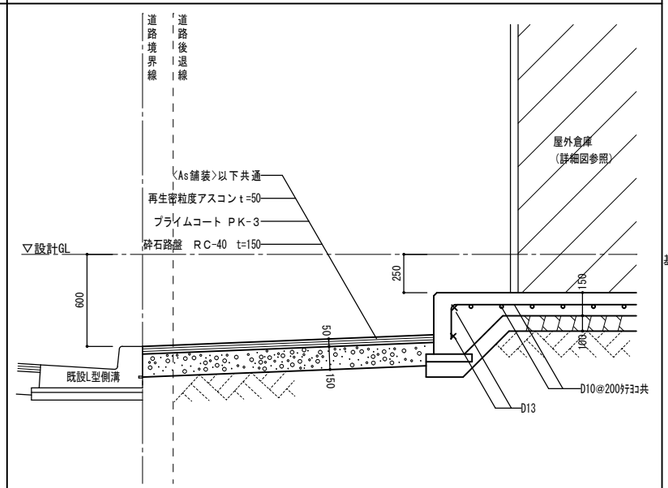

## D　断面図




## E　断面図

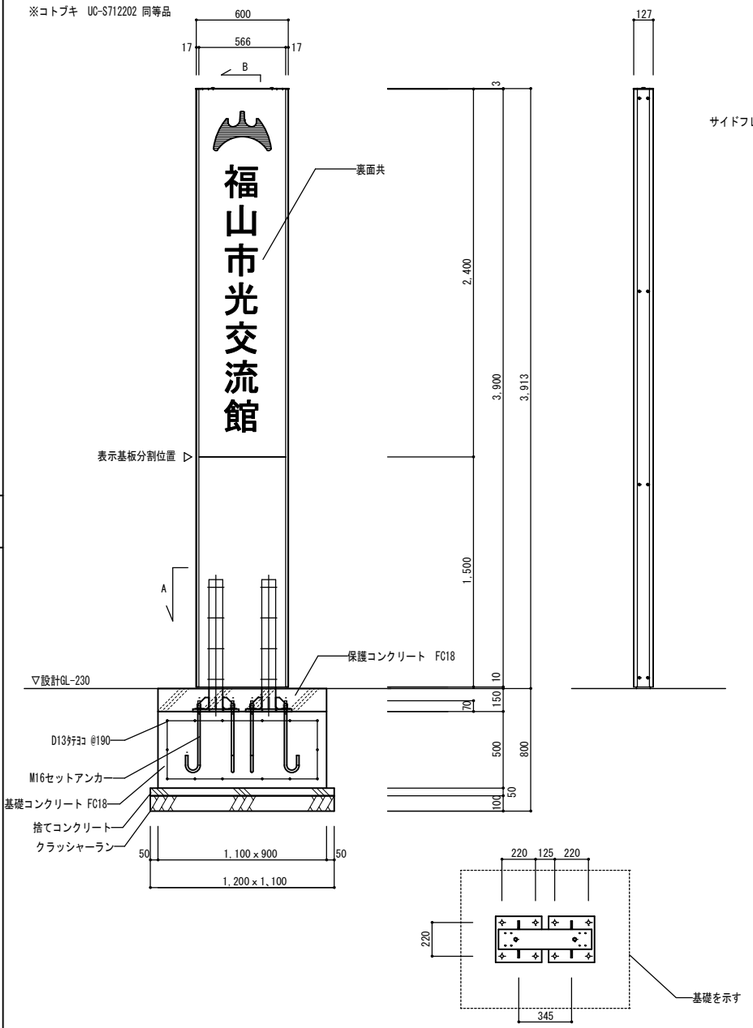



## F　断面図




## ⑬　屋外独立看板詳細図

※コトブキ UC-S712202 同等品




表示基板　：t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装（ダークグレー）
裏パネル　：t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装（ダークグレー）
支柱　：アルミ押出形材、アルマイト（シルバー）クリア塗装
サイドフレーム：アルミ押出形材、アルマイト（シルバー）クリア塗装
トップフレーム：t3.0 アルミ材、アルマイト（シルバー）
ベース　：鋼材加工品、溶融亜鉛メッキ仕上

※アンカー以外のビス類は全てステンレスとする。

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。

※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

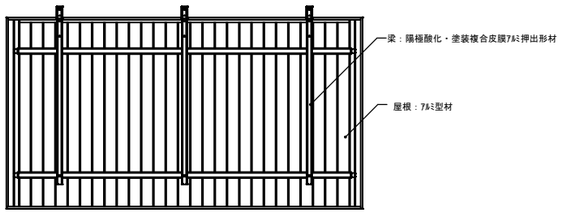
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目７番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 （登録183507号） 構造１級建築士 （登録7233号） 設備１級建築士 （登録2832号）
高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 外構詳細図（１） |
| 縮尺 | １：１００ |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号 A-50

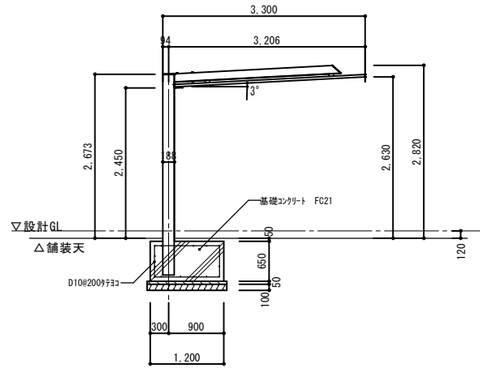
## ⑭ カーポート

※YKKap㈱：ﾌﾟﾚｰﾝﾙｰﾌ　600ﾀｲﾌﾟ　H25-58-33M　同等品
※H14国土交通省告示第410号　仕様規定適合品

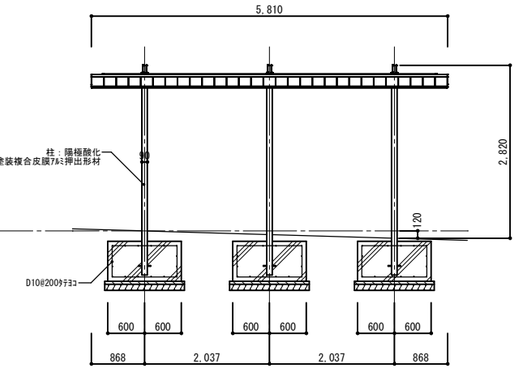



カーポートライト１列３灯（人感ｾﾝｻｰ）
（屋根固定・LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ・AC100V・1.2W）
※一次側配線別途

屋根伏図　S=1:50



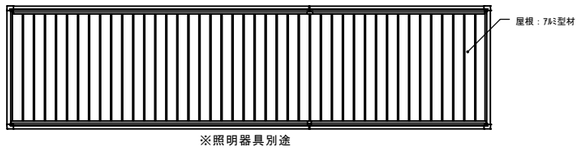

立面図兼断面図　S=1:50




立面図兼断面図　S=1:50

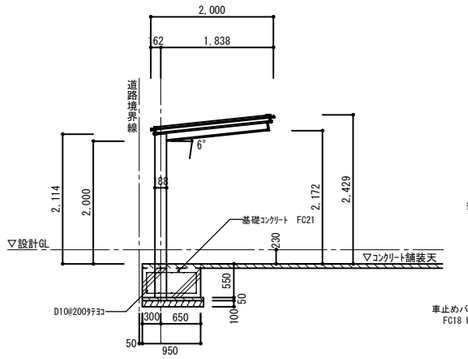
## ⑮ 自転車置場

※YKKap㈱：ﾙｼｱｽｻｲｸﾙﾎﾞｰﾄ　750ﾀｲﾌﾟ　J-50-30-20　同等品
※H14国土交通省告示第410号　仕様規定適合品

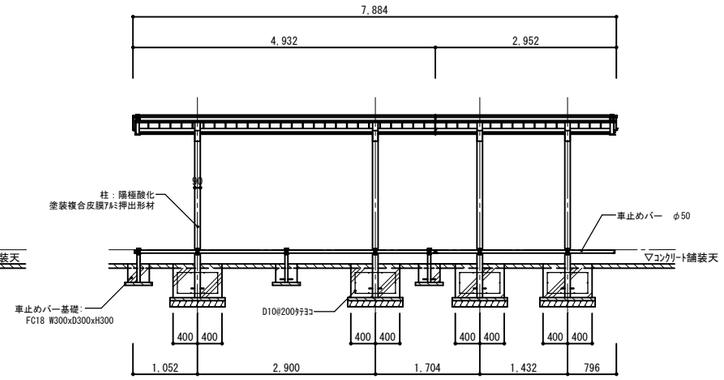



※照明器具別途

屋根伏図　S=1:50



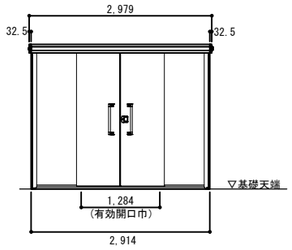

立面図兼断面図　S=1:50



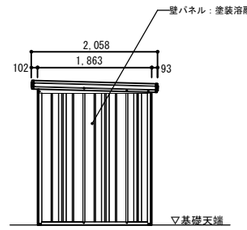

立面図兼断面図　S=1:50

## ⑯ 屋外倉庫

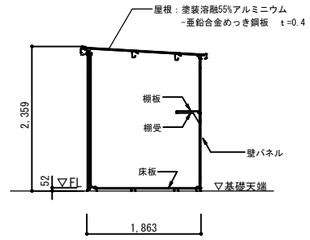
※㈱淀川製造所：ﾖﾄﾞﾐ物置ｴﾙﾓ　LMD-2918H　同等品



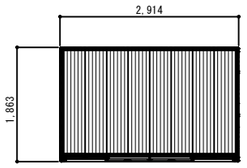

立面図　S=1:50



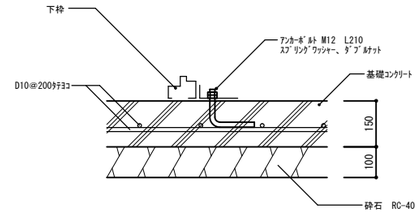

立面図　S=1:50




断面図　S=1:50




平面図　S=1:50



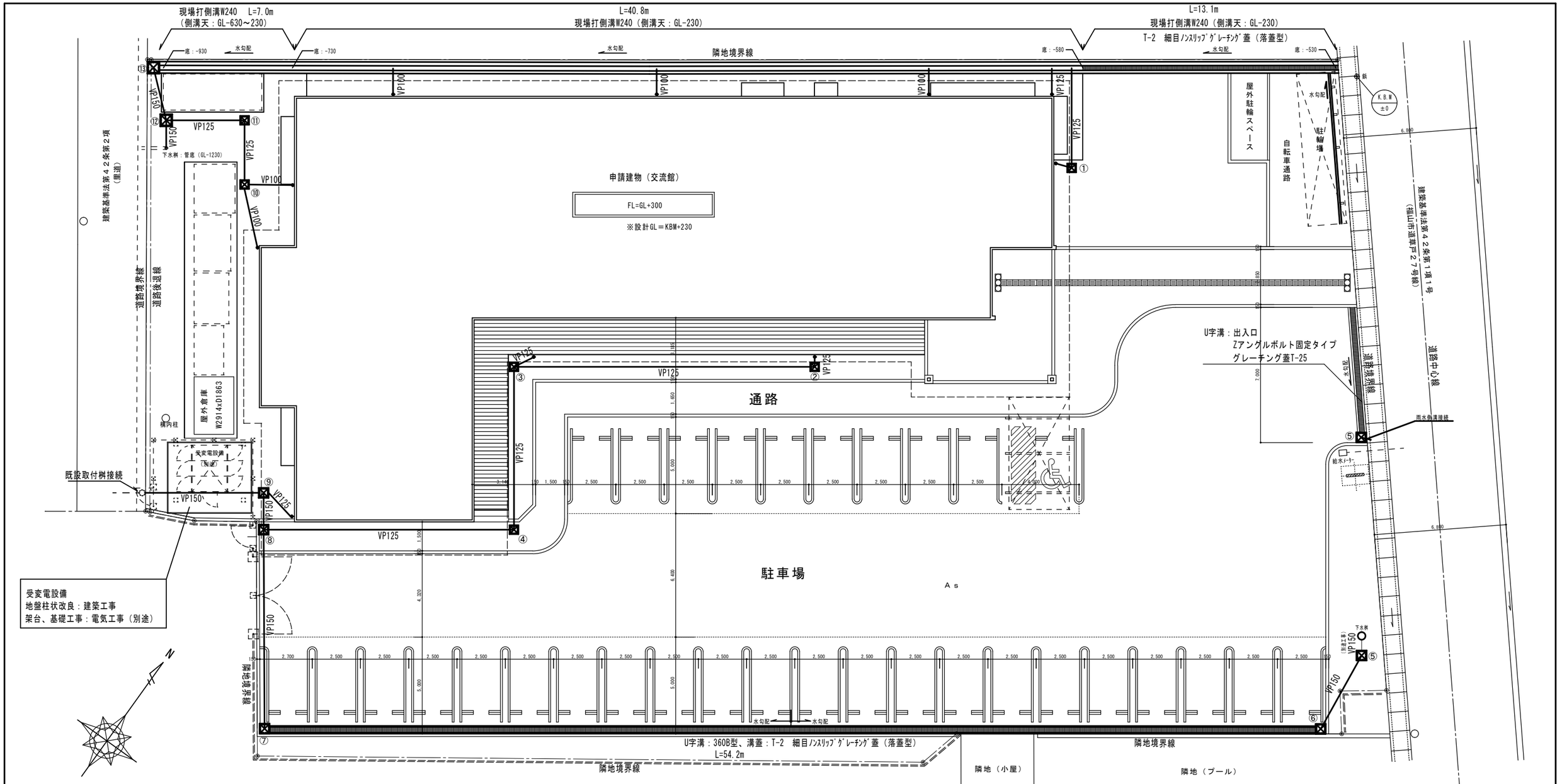

柱脚部詳細図　S=1:10

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

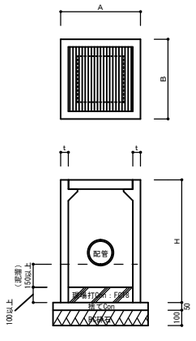
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 外構詳細図（２） |
| 縮尺 | A2版(71%) A3版(50%) |
| 図示 | |
| 図面番号 | A-51 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |




受変電設備
地盤柱状改良：建築工事
架台、基礎工事：電気工事（別途）

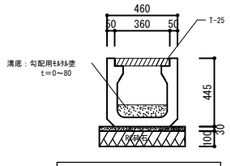
排水桝リスト（PC製）

| 番号 | A × B | 桝天端 | 管底 | H | t | 桝蓋 | 備考 | 参考品番（協和ｺﾝｸﾘｰﾄ㈱同等品） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 460 x 460 | GL+70 | GL-350 | 700 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250B（PU桝） |
| ② | 460 x 460 | GL+100 | GL-350 | 700 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250B（PU桝） |
| ③ | 460 x 460 | GL+100 | GL-500 | 900 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250D（PU桝） |
| ④ | 460 x 460 | GL-130 | GL-600 | 800 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250C（PU桝） |
| ⑤ | 520 x 520 | GL-230 | GL-750 | 800 | 50 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | 防臭ﾄﾗｯﾌﾟ仕様 | 300x300C（PU桝） |
| ⑥ | 520 x 520 | GL-430 | GL-700 | 600 | 50 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 300x300A（PU桝） |
| ⑦ | 520 x 520 | GL-430 | GL-700 | 600 | 50 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 300x300A（PU桝） |
| ⑧ | 520 x 520 | GL-400 | GL-800 | 700 | 50 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 300x300B（PU桝） |
| ⑨ | 520 x 520 | GL-350 | GL-820 | 800 | 50 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | 防臭ﾄﾗｯﾌﾟ仕様 | 300x300C（PU桝） |
| ⑩ | 460 x 460 | GL-300 | GL-900 | 900 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250D（PU桝） |
| ⑪ | 460 x 460 | GL-300 | GL-950 | 900 | 45 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 250x250D（PU桝） |
| ⑫ | 630 x 630 | GL-600 | GL-1050 | 710 | 55 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | 防臭ﾄﾗｯﾌﾟ仕様 | 400x400A（PU桝） |
| ⑬ | 630 x 630 | GL-600 | GL-1000 | 710 | 55 | T-25 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | | 400x400A（PU桝） |



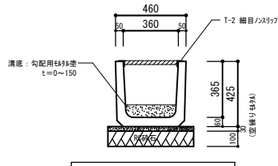

排水桝詳細図　S=1:20

屋外雨水排水図　S=1:100



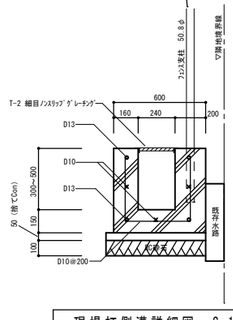

U字溝詳細図　S=1:20

出入口　Zアングルボルト固定タイプ




U字溝詳細図　S=1:20

360B型　※JIS A 5372




現場打側溝詳細図　S=1:20

※ｺﾝｸﾘｰﾄ強度：FC21
フェンス支柱部配筋補強を行うこと

特記事項

- 排水勾配は　１／１００～１／１５０程度とする。
- 現地測量を十分に行い　排水勾配確保のこと
- 配置図内記入のレベルは、ＧＬからの高さを示す。

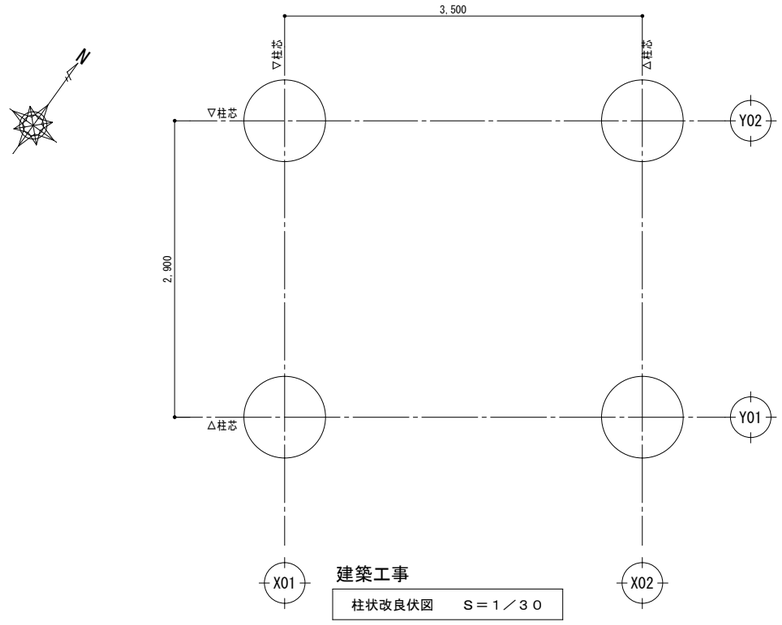
| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 （登録183507号）　構造１級建築士 （登録7233号）　設備１級建築士 （登録2832号）　高橋 啓之

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | | |
| 図面名称 | 屋外雨水排水図 | 縮尺 | 1：100 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |

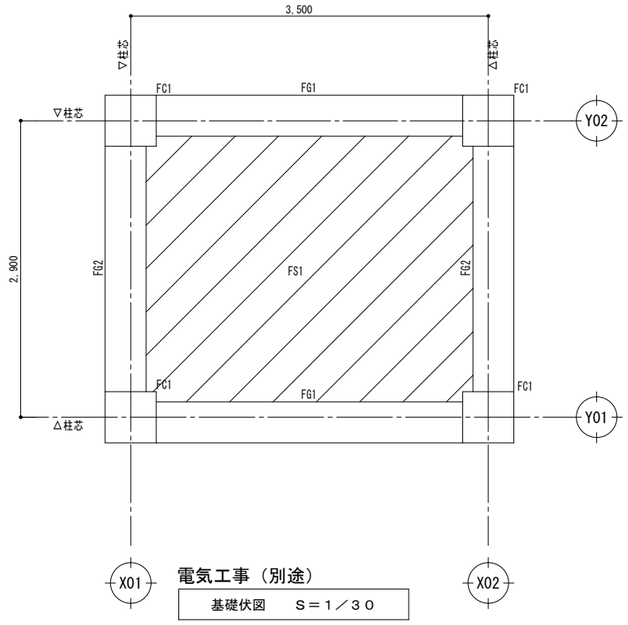
A2版(71%)
A3版(50%)
図面番号
A-52




建築工事

柱状改良伏図　　S＝1／30

| ◯ | 工法名：スリーエスG工法（GBRC性能証明　第07-21号　改2） |
|---|---|
| 改良径 | φ800mm |
| 改良長 | 12.40m |
| 空堀深 | 0.70m |
| 改良天端高さ | 設計GL-0.7m |
| 先端深度 | 設計GL-13.10m |
| 本数 | 4本 |

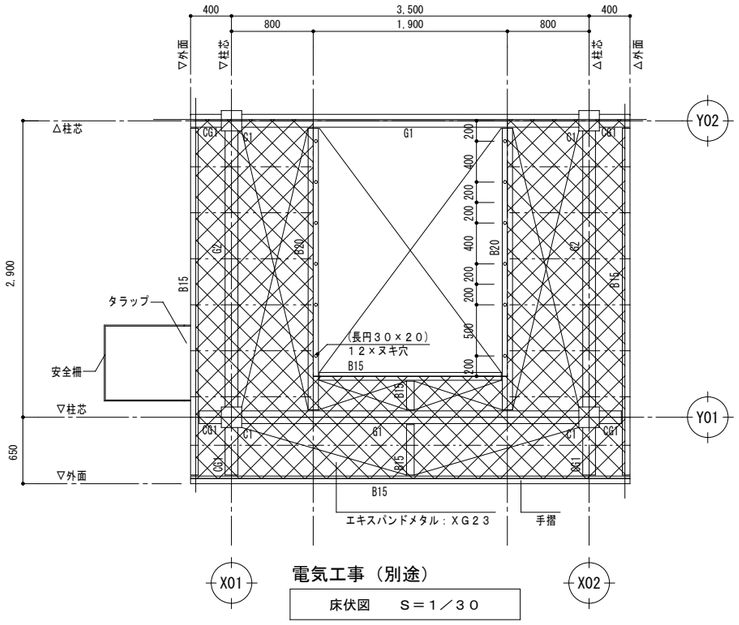



電気工事（別途）

基礎伏図　　S＝1／30

共通事項　特記なき限り下記による。

1. 基礎梁天端＝GL+-0とする。
2. 基礎下端はGL-400とする。



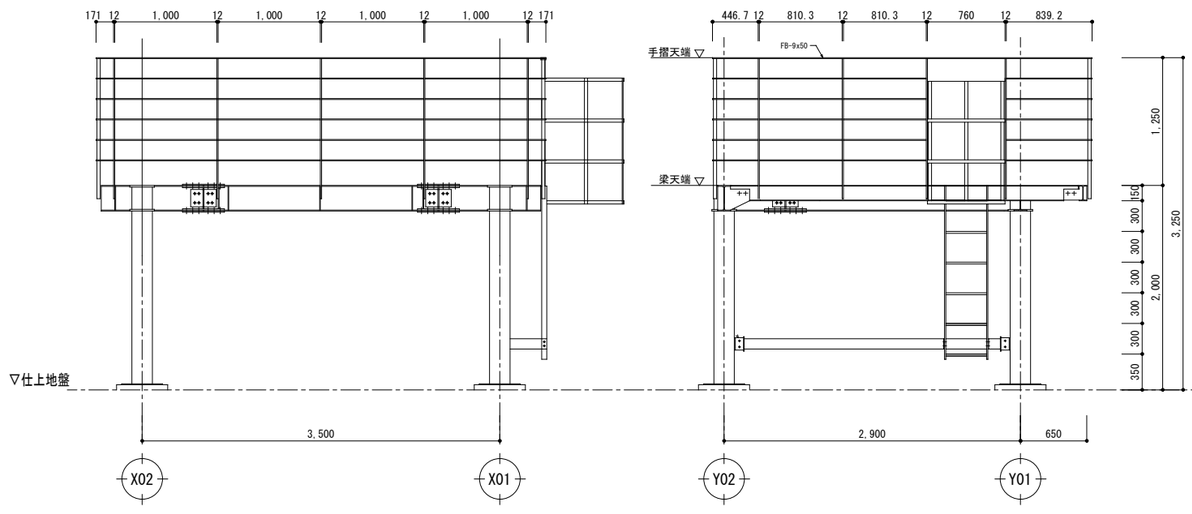

電気工事（別途）

床伏図　　S＝1／30

共通事項　特記なき限り下記による。

1. ー･ー･ー は、根太L-65x65x6@450を示す。
2. 水平ブレース符号は、RB-M16とする。

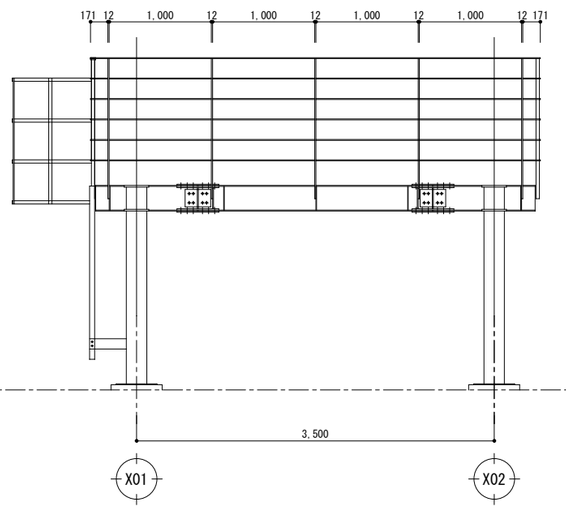
## 各立面図　電気工事（別途）



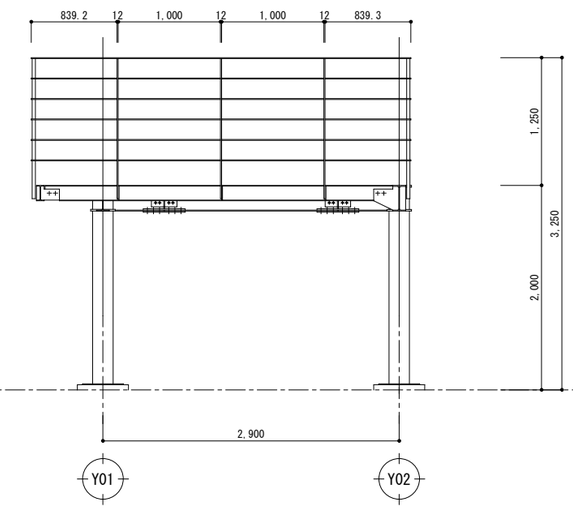

北立面図　　S＝1／30




西立面図　　S＝1／30




南立面図　　S＝1／30




東立面図　　S＝1／30

| 変更年月日・変更事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>1級建築士（登録183507号）　構造1級建築士（登録7233号）　設備1級建築士（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| | | | 図面名称 | 受変電設備架台図（参考図） |

| | |
|---|---|
| A2版(71%) A3版(50%) | |
| 図面番号 | A-53 |
| 縮尺 | 設計年月日 |
| 図示 | 2025年 3月 |

隣地境界線　61.456

延焼のおそれのある部分

申請建物１（交流館）

FL=GL+300

※設計GL＝KBM+230

最高高さ：５．８０ｍ

最高軒高：４．８０ｍ

設計ＧＬ＝ＫＢＭ＋２３０

申請建物４（屋外倉庫）W2914xD1863

構内柱

下水桝：管底（GL-1230）

道路中心線

建築基準法第４２条第２項（里道）

道路境界線　23.390

道路後退線　23.433

雨水排水

0.197

0.226

2.341

3.218

通路

カーポートの雨水排水は集水桝へ接続

延焼のおそれのある部分

建物中心線

申請建物３（カーポート）

駐車場

延焼のおそれのある部分

隣地境界線　12.136

隣地境界線　34.483

隣地境界線　19.951

2.278

申請建物２（自転車置場）

屋外駐輪スペース

自転車通路

K.B.M ±0

建築基準法第４２条第１項１号（福山市道東戸２７号線）

道路境界線　32.712

キャスターゲート　W6.0m×H1.8m

道路中心線

給水ﾒｰﾀｰ

屋外看板　H=3.9m

下水桝

2.411

2.225

配置図　S=1:100

凡　例

| | |
|---|---|
| | 敷地周囲　仮囲い（成形鋼板）　H=2.0m |
| | ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ　W6.0m×H1.8m　（1ヶ所） |
| | 騒音、振動計（2箇所）ｸﾞﾗﾌ（折線形式）　参考：日本ｾｲﾌﾃｨｰ LED表示-100型 |
| | |

仮設工事特記事項

- 工事車両出入口は、原則として北門とする。
- 工事車両出入口：キャスターゲート程度とする。
- 仮設計画は、関係部署及び監督員と十分協議し承諾を得ること。
- 仮設図に記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- 隣接する光小学校の児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は、重機・資材の搬入を避ける。
- 騒音、振動計を２台設置し、騒音は85dB（時間率騒音レベルL5）未満、振動は70dB（時間率振動レベルL10）未満になるよう管理を行う。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 仮設計画図 |
| 縮尺 | 1：100/150 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | A-54 |

A2版(71%)
A3版(50%)

# 構造設計標準仕様

## 1．建築物の概要

(1) 工事名称　　福山市光交流館改築工事
　　建築場所　　福山市草戸町四丁目　地内
(2) 工事種別　　■新　築　　□増　築　　□増改築　　□改　築
(3) 構造種別　　木造（W）
(4) 階数　　地上　平屋建
(5) 主要用途　　交流館
(6) 屋上附属物　　なし
(7) 特別な荷重　　なし
(8) 付帯工事　　なし
(9) 増築計画　　なし
(10) 構造計算ルート　　X方向　ルート　1
　　Y方向　ルート　1

令第39条の規定（屋根ふき材等）

■ 屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これらに類する建築物の部分及び広告塔、装飾等その他建築物の屋外に取り付けるものは、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃によって脱落しないものとすること。

■ 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の構造は、構造耐力上安全なものとすること。

令第129条の2の3の事項

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■ 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋上水槽等」という。)は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備 を除く。）は、

■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等地震その他の震動及び衝撃の緩和のための有効な措置を講ずること。

□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全のものとすること。

□ 給湯設備 は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

□ 昇降機については、

□ 昇降機の荷重を建築物本体へ考慮した設計を行う。

□ 昇降機の受け材が直接取り付く梁、小梁、床等の安全性等の設計を行う。

## 2．仕様材料

(1) コンクリート　※品質基準強度に温度補正値を加えた呼び強度が39N/mm2の場合40N/mm2（JIS規格品）とする

| 棟 | 適用箇所 | 種類 | 設計基準強度 Fc=N/mm² | 品質基準強度 Fq=N/mm² | スランプ cm | 比重 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通 | 捨コンクリート | 普通 | 18 | 18 | 15 | 2.3 | |
| | 土間コンクリート | 普通 | 21 | 21 | 15 | 2.3 | |
| | 基礎、基礎梁<br>柱、梁、床、壁 | 普通 | 21 | 21 | 15 | 2.3 | |
| | | | | | | | |
| | 外　構 | | | | | | |
| | 押えコンクリート | | | | | | |
| | 混和剤 | ＪＩＳ規格品 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

※設計基準強度が３６を超えるコンクリートについては、着工前に生コン工場の材料認定書を確認検査機関に提出すること

(2) コンクリートブロック（CB）

□A種　□B種　□C種　厚さ　□１００、　□１２０、　□１５０、　□１９０

(3) 鉄　筋

| 種　類 | 径 | 使用箇所 | 継手工法 |
|---|---|---|---|
| 異形鉄筋 SD295 | D16 以下 | 基礎・スラブ等 | ■ 重ね継手 |
| 異形鉄筋 SD345 | D19～D25 | | □ ガス圧接継手(D22以上) |
| | | | □ 特殊継手 |
| | | | |
| 高強度せん断補強筋 | | | |

(4) 鉄　骨

| 種　類 | 径 | 使用箇所 | 現場溶接 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 鋼　材 | | | □ 有 □ 無 | |
| | | | □ 有 □ 無 | |
| | | | □ 有 □ 無 | |

(5) ボルト

□ 高力ボルト　□ 普通：F10T　□ 特殊：S10T　□ 亜鉛ﾒｯｷ：F8T　認定品（ □M16、□M20）
□ 中ボルト　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　□ 否
高力ボルト導入張力確認試験　□ 要　□ 否

■ アンカーボルト　M１２、M１６　ＳＳ４００
□ 頭付スタッドボルト　φ　H=　mm　使用箇所　（　柱　大梁　小梁）
φ　H=　mm　使用箇所　（　柱　大梁　小梁）

## 3．地　盤

(1) 地盤調査資料

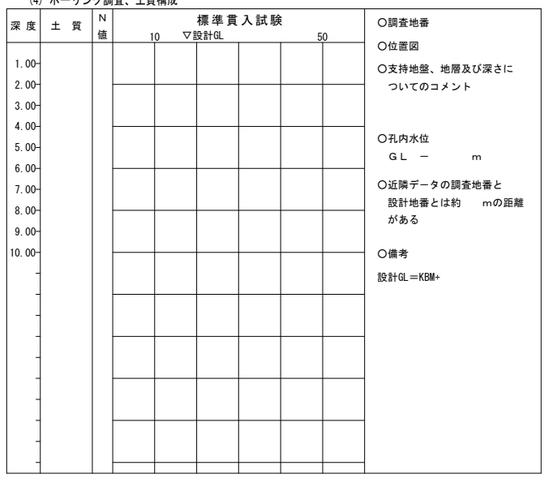
□有（□敷地内　□近隣）□ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定
□スクリューウエイト貫入試験　□現場透水試験　□土質試験　□液状化判定
追加地盤調査　□有　□無

(2) 地盤調査計画

□ボーリング調査　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定　□液状化の検討
□土質試験　□物理検査　□平板載荷試験　□試験掘（支持層の確認）

(3) 地盤調査及び試験の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。（基礎・杭の位置を明記すること）

(4) ボーリング調査、土質構成




## 4．地業工事

(1) 地盤調査資料

□ベタ基礎　■布基礎　□独立基礎　□試験掘　□有□無
深さGL－0.65m　支持層－　長期許容支持力度　50KN/m²　載荷試験□有■無

(2) 表層改良工法

| 工　法 | 材　料 | 施 工 方 法 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | | | |

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有□無）（□打ち込み・□載荷）　本

| 杭径（mm） | 設計支持力（ｋN） | 杭先端深さ（m） | 本数 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | （ ）内の数値は隣地低減された支持力を示す |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

## 5．鉄筋コンクリート工事

(1) 鉄筋コンクリート工事

■ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5(2022)による。
■ 耐久設計基準強度　Ｆｄ＝□一般、■標準、□長期、□超長期とする。
■ セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 水セメント比は５５%以下とする。また、単位水量は１８５kg/m3以下、空気量は４．５%、単位セメント量は２７０kg/m3以上とする。
■ 地中壁の水セメント比は５５%以下とする。また、単位水量は２００kg/m3以下、空気量は４．５%、単位セメント量は３６０kg/m3以上とする。
□ 設計基準強度が３６Ｎを超える場合の水セメント比は５５%以下とする。また単位水量は１７５kg/m3以下、空気量は４．５%、単位セメント量はできるだけ小さい値とする。塩化物イオン０．３kg/m3以下。
■ 調合計画は工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打込み工区ごと、打込み日ごとをとする。また、打込み量が１５０m３を超える場合は１５０m３ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。※高強度コンクリートの場合は１５０m３を１００m３と読替える。また、圧縮強度の１回の検査は一台につき３個づつ採取した９個の供試体で行う。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。
■ コンクリートの打込み及び締固の方法についてはＪＡＳＳ５（２００９）７節7．5、7．6による。
■ コンクリートの打継処理はＪＡＳＳ５（２００９）７節7．3による。
■ コンクリートの養生についてはＪＡＳＳ５（２００９）８節による。
□ ３６Ｎを超える高強度コンクリートについてはＪＡＳＳ５（２００９）１９節による。ただし、調合強度決定の材齢は５６日、強度管理材齢は６３日とする。

(2) 鉄　筋

■ 鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。施工はＪＡＳＳ５（２００９）による。
□ 高強度せん断補強筋はＪＩＳ　Ｇ３１３７に規定されるＤ種１号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、加工形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「配筋要領図」による。
■ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
□ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときは、２００箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。
外観検査 □有 □無、引張試験 □有 □無、超音波探傷試験 □有 □無
□ ＳＤ４９０においては必ず施工前試験を圧接に従事する全ての圧接技量資格者に対して行うこと。
また、ＳＤ４９０の圧接部は超音波探傷試験を全数において行うこと。
■ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、■Ｈ型（タガ型）□Ｗ型（溶接型）□Ｓ型（スパイラル型）とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は第４条の試験機関で行うこと。

試験機関名　工事監理者の指定による
代行業者名
代行業者とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3) 型　枠

■ 材料　合板厚12m/mを標準とする。　■ 施工はＪＡＳＳ５による。
■ 型枠存置期間

| 種類 部位 | せき板 基礎、はり側、柱、壁 | | せき板 スラブ下、はり下 | | 支柱 スラブ下 | | 支柱 はり下 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セメントの種類 / 存置期間の平均気温 | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント<br>高炉セメントA種<br>シリカセメントA種 | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント<br>高炉セメントA種<br>シリカセメントA種 | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント<br>高炉セメントA種<br>シリカセメントA種 | 早強ポルトランドセメント<br>普通ポルトランドセメント<br>高炉セメントA種<br>シリカセメントA種 |
| 15℃以上 | 2 | 3 | 4 | 6 | 8 | 17 | 28 |
| 5～15℃ | 3 | 5 | 6 | 10 | 12 | 25 | 28 |
| 5℃未満 | 5 | 8 | 10 | 16 | 15 | 28 | 28 |
| コンクリートの圧縮強度 | 5N/mm²<br>高強度は8N/mm² | | 設計基準強度の５０% | | 設計基準強度の１００% | | |

注）1　片持ばり、庇、スパン９．０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材、または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛りかえをしてはならない。
注）6　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

## 6．鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

□ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□ （社）鉄骨建設業界「突合せ継手の食違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2)工事監理者の承認を必要とするもの

□ 製作工場　□ 製作要領書　□ 工作図　□ 施工計画書
□ 材料規格証明書又は試験成績書
□ 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ 取付スタッド
□ 社内検査表

(2)工事監理者の承認を必要とするもの

■（ 印以外の項目の検査については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査
□ 建方検査

(4)接合部の溶接は下記によること

□ 東京都アーク溶接工事管理規準（建築構造設計指針第１２章）
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第１２章）
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5)接合部の検査

□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

| 検査箇所 | 検査方法 | 検査単又は検査数 社内 | 第三者 | 工事監理者 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| □ 突合せ溶接部 | 超音波探傷試験 | %<br>個 | %<br>個 | %<br>個 | 国土交通省告示第１４６４号に関する溶接部の検査 |
| | 外観（ 目視 ）検査 | % | % | % | |
| | マクロ試験　・その他 | 個 | 個 | 個 | |
| 第三者検査機関名 | | | | | |
| 第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。 | | | | | |

注１）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
注２）現場溶接は超音波探傷試験を１００%行うこと。

□ 高力ボルトは「ＪＩＳＢ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
□ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

(6)防錆塗装

□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、ＪＩＳ　Ｋ５６７４、２回塗りを標準とする。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

(7)耐火被覆の材料

□

## 7．設備関係

■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
■ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を５cm以上とする。
■ 給湯設備は風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする事。
満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

## 8．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所　登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


工事名称　福山市光交流館改築工事
図面名称　構造設計標準仕様

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20
図面番号　S-01
縮尺　－
設計年月日　2025年 3月

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 （1）

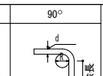
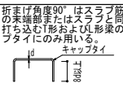
## 1．一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用し、特記無き事項は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事共通仕様書」平成（　）年度版に準ずる。
住宅瑕疵担保履行法による設計施工基準に準拠する必要がある場合はこれを優先する。

(2) 記号
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　$d_o$･･･異形棒鋼の最外径　D･･･部材の成　R･･･直径
@･･･間隔　r･･･半径　℄･･･中心線　$l_o$部材の内寸法距離　$h_o$･･･部材間の内法高さ
ST･･･あばら筋　HOOP･･･帯筋　S.HOOP･･･補強帯筋　φ･･･直径又は丸鋼

## 2．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

| 折曲げ角度 | 180° | 135° | 90° | 折まげ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む「形および L形梁のキャップタイにのみ用いる。 |
|---|---|---|---|---|
| 図 |  |  |  |  |
| 鉄筋の余長 | 4d以上 | 6d以上（※4d以上） | 8d以上（※4d以上） | |
| 折曲げ内法寸法R | SR235 ： R≧3d<br>SD295A･SD295B･SD345 ： （D16以下）R≧3d、（D19以上）R≧4d<br>SD390 ： R≧5d | | | |

※片持スラブ、L配筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋折り曲げ角度90°以下

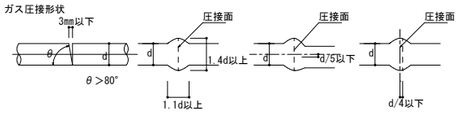
| 図 | 鉄筋の使用箇所による呼称 | 鉄筋の種類 | 鉄筋の径による区分 | 鉄筋の折曲げ内法寸法(R) |
|---|---|---|---|---|
|  | 帯筋<br>あばら筋<br>スパイラル筋 | SR235、SD295A | 16φ D16 以下 | 3d以上 |
| | | SD295B、SD345 | 19φ D19 以上 | 4d以上 |
|  | 上記以外の鉄筋 | SR235、SD295A<br>SD295B、SD345<br>（ ）内はSD390 | 16φ D16 以下 | 4d以上　(5d以上) |
| | | | 19φ～25φ D19～D25 | 6d以上　(6d以上) |
| | | | 28φ～32φ D29～D38 | 8d以上　(8d以上) |

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ（定着長さは設計図書による。特記の無い場合は下記による）

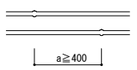
| 鉄筋の種類 | 普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 ($N/mm^2$) | 定着の長さ 一般 ($L_2$) | 定着の長さ 下ば筋 ($L_2$) 小梁 | 定着の長さ 下ば筋 ($L_2$) スラブ | 定着及び重ね継手の長さ ($L_1$) |
|---|---|---|---|---|---|
| SR235 | 21 ～ 27 | 35d フックつき | 25d フックつき | 15d フックつき | 35d フックつき |
| | 18 | 45d フックつき | | | 45d フックつき |
| SD295A<br>SD295B<br>SD345<br>（ ）内はSD390 | 21 ～ 27 | 35d または 25d フックつき<br>(40d または 30d フックつき) | 25d または 15d フックつき | 10d かつ 15cm以上 | 40d または 30d フックつき<br>(45d または 35d フックつき) |
| | 18 | 40d または 30d フックつき | | | 45d または 35d フックつき |

継　　手
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない

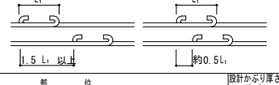
ガス圧接形状




圧接継手

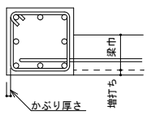



重ね継手（下図のいずれかとする）




(4) かぶり厚さ（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所に付いても最小かぶり厚さを確保する。




柱かぶり厚さ

| 部位 | | | 設計かぶり厚さ (mm) | 最小かぶり厚さ (mm) |
|---|---|---|---|---|
| 土に接しない部分 | 屋根スラブ<br>床スラブ<br>非耐力壁<br>はり<br>柱<br>耐力壁 | 屋　内 | 30 | 20 |
| | | 屋　外 | 40 (1) | 30 (20) |
| | | 屋　内 | 40 | 30 |
| | | 屋　外 | 50 (2) | 40 (2) (30) |
| | 擁　壁 | | 50 (3) | 40 |
| 土に接する部分 | 柱・はり・スラブ・耐力壁 | | 50 | 40 (4) |
| | 基　礎　・　擁　壁 | | 70 | 60 (4) |

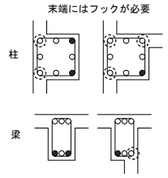
(注)
1. 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
2. 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
3. コンクリートの品質及び施工法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
4. 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
5. （ ）内は仕上げがある場合。
6. 鉄筋加工時の被り厚さは、設計かぶり厚さを採用し、最小かぶり厚さを下回ることのないようにする。

(5) 鉄筋のあき
丸鋼では径、異型鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上




(6) 鉄筋のフック　(a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)
a. 丸鋼　　b. あばら筋、帯筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

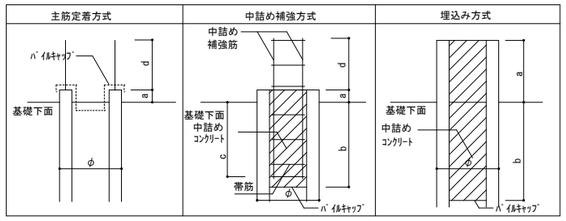
図の ●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



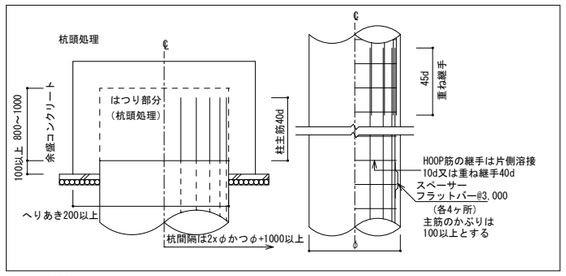

点線部は壁の改修を考慮しフックが望ましい

## 3．杭　（採用する杭種別を明記し、詳細および下記寸法 a～d は設計図書の特記による。）

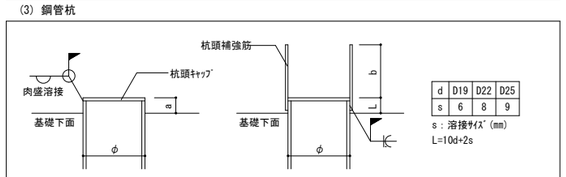
(1) PC杭、又はPHC杭全てに補強を行う




(2) 現場打ちコンクリート杭




(3) 鋼管杭

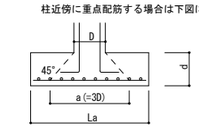



| d | D19 | D22 | D25 |
|---|---|---|---|
| s | 6 | 8 | 9 |

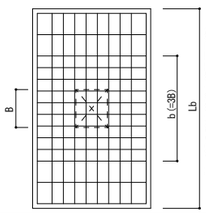
s：溶接ｻｲｽﾞ(mm)
L=10d+2s

## 4．基　礎

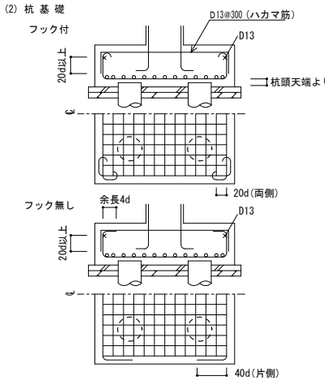
(1) 直接基礎
柱近傍に重点配筋する場合は下図による



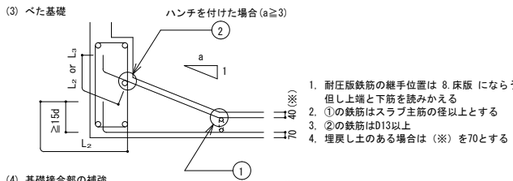

(La＜3Dの時は基礎内等間隔配筋)



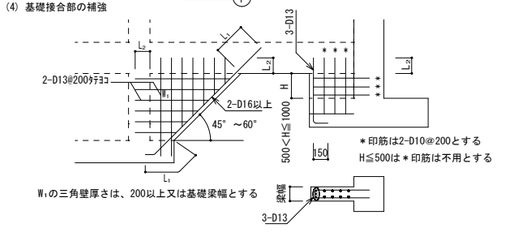

(2) 杭基礎




(3) べた基礎

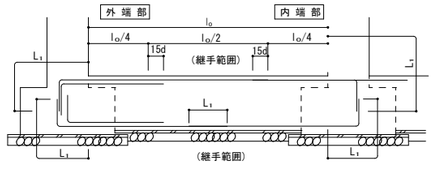



(4) 基礎接合部の補強

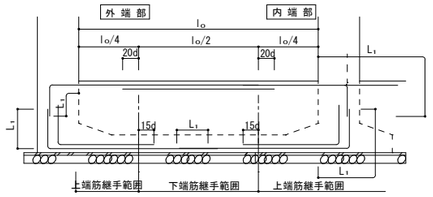



## 5．基礎梁　（梁主筋カットオフ位置は設計図書の特記による。特記のない場合は下図による。）

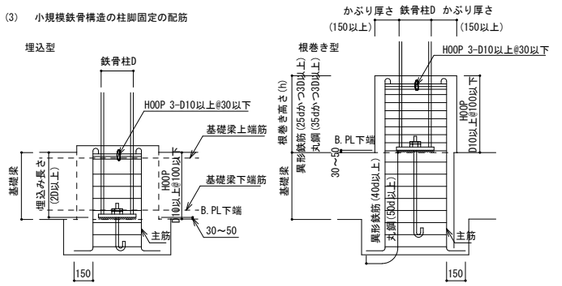
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



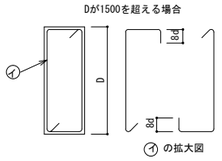

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



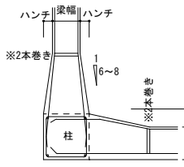

(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋




(4) せいの高い梁のあばら筋
加工要領図

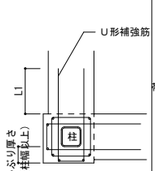



(5) 水平ハンチの場合のあばら筋
加工要領図



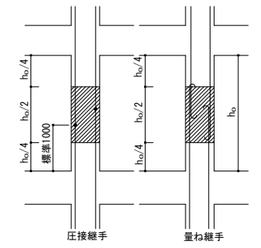

※ 一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

(6) 側柱柱脚の補強

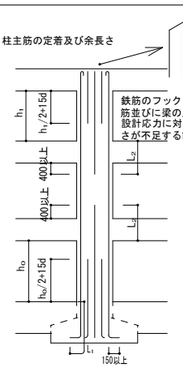



## 6．柱

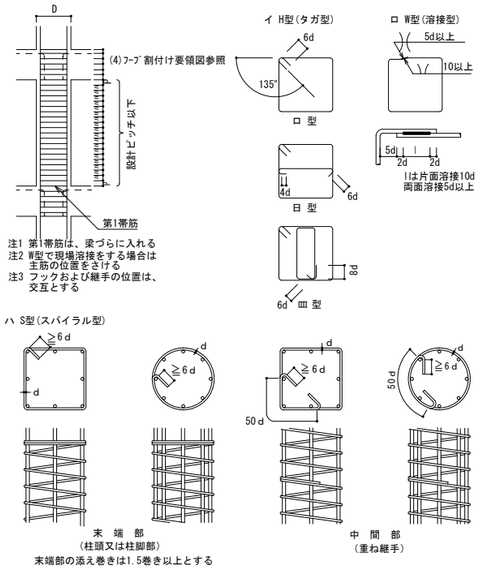
(1) 柱主筋の継手




(2) 柱主筋の定着及び余長さ




(3) 帯筋




(4)フープ割付け要領図

(P)：パネルゾーン(両方向共にパネル内の部分)
形　状：ロ-100#
Hoop径：柱リスト参照

Hoop

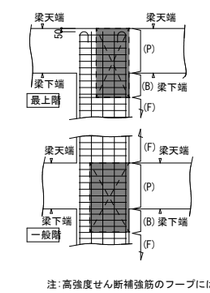
(B)：境界ゾーン(一方向が梁内法間で他方向がパネル内の部分)

Hoop材：各方向ごとに梁内のり間は柱リストに示されたHoopとし、右図の場合、紙面直交方向については中子筋不要。
形　状：柱リスト参照

中子筋
加工品
溶接閉鎖Hoop

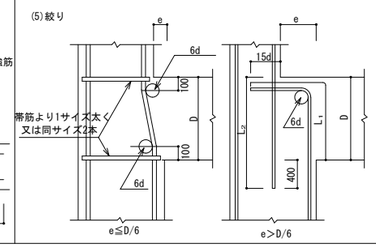
(F)：可とうゾーン(両方向共梁内法間の部分)
Hoop材：柱リストに示されたHoop
形　状：柱リスト参照

中子筋
加工品
溶接閉鎖Hoop

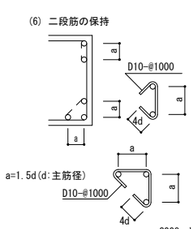



注：高強度せん断補強筋のフープには、いかなる現場溶接も行ってはならない。

(5)絞り




(6) 二段筋の保持




2009. Ver1.01

| 変更年月日・変更事項 | |
|---|---|
| | |

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-02 |

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 （２）

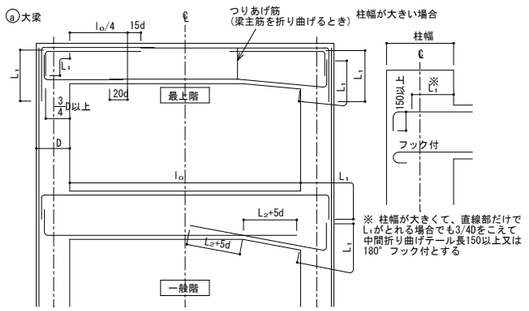
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

## 7. 大梁、小梁、片持梁

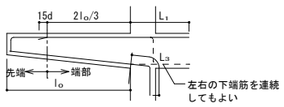
（大梁主筋定着およびカットオフ位置は設計図書の特記による。特記のない場合は下図による。）

(1) 定着

ⓐ大梁

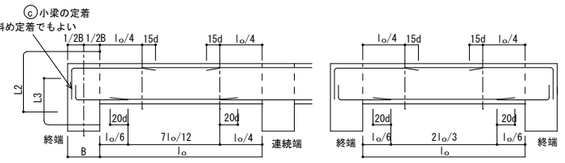


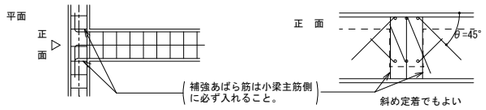

ⓑ片持梁の定着



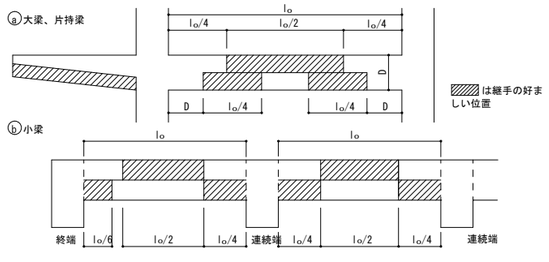

ⓒ小梁の定着

斜め定着でもよい

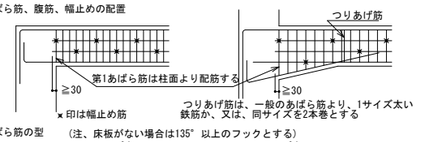


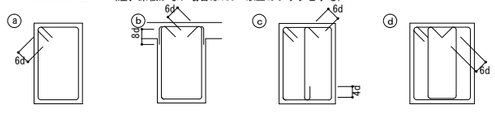

(2) 大梁、片持梁、小梁主筋の継手




(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置




(4) あばら筋の型 （注、床板がない場合は135° 以上のフックとする）

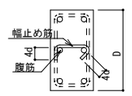



（イ） 原則として ⓐ のフック先曲げとする。 両側床版付(T 型) 梁で ⓑ とすることができる。

（ロ） フックの位置は ⓐ にあっては交互とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

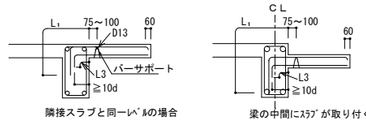
| | |
|---|---|
| 腹　筋 | D＜600 不要<br>600≦D＜ 900　2-D10(9φ) 1段<br>900≦D＜1200　4-D10(9φ) 2段<br>1200≦D　D10(9φ) @300以内 |
| 幅止め筋 | D10(9φ)@1000位内で割り付ける |



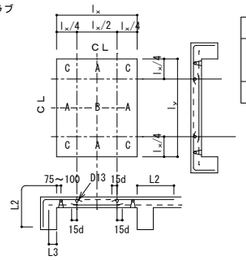

## 8. 床版

(1) 定着および継手

ⓐ片持ち床スラブ

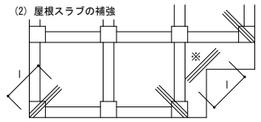



ⓑ一般床スラブ




| 継手位置 | | 標準継手位置 |
|---|---|---|
| 上端筋 | 端辺方向 | B |
| | 長辺方向 | B |
| 下端筋 | 短辺・長辺方向 | A C |

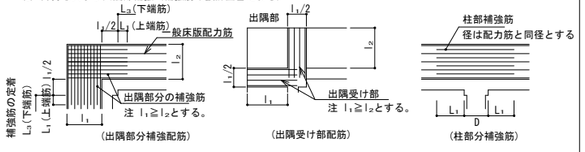
(2) 屋根スラブの補強



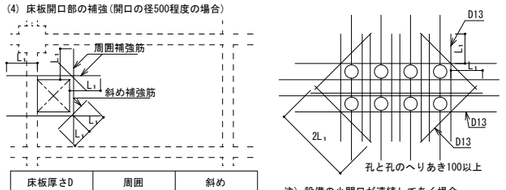

ⓐ補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径でl=1,500とし、上端筋の下に配筋する

ⓑ※の箇所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強（補強筋は設計図書による）




(4) 床板開口部の補強（開口の径500程度の場合）

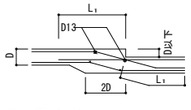



| 床板厚さD | 周囲 | 斜め |
|---|---|---|
| D≦150 | 各2－D13 | 各1－D13 |
| 150＜D≦200 | 各2－D13 | 各2－D13 |
| 200＜D≦300 | 各2－D19 | 各2－D16 |

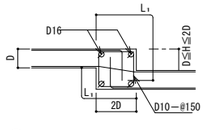
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

ⓐ段差が小さい場合

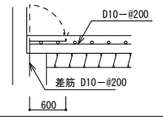



ⓑ段差が大きい場合

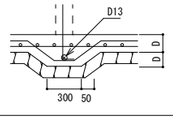



(6) 土間コンクリート

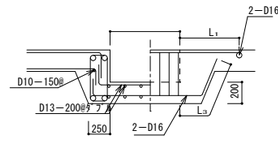
ⓐ軽作業の土間




ⓑ間仕切壁との交差部

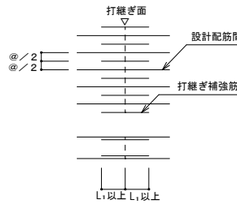



(7) 釜場

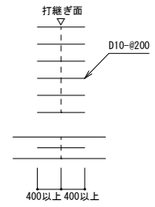



(8) 打継ぎ補強（ダメ穴打継面について）

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上



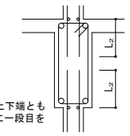

・無筋部分D10-@200 長さ800以上

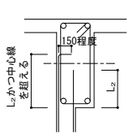



## 9. 壁

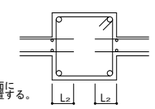
(1) 定着

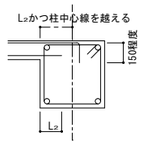
ⓐ梁への定着



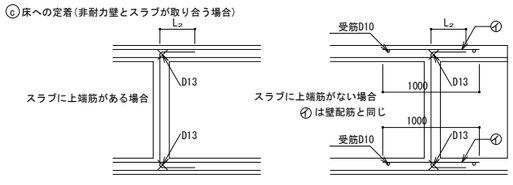




ⓑ柱への定着

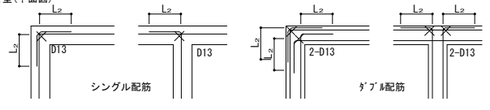



ⓒ床への定着（非耐力壁とスラブが取り合う場合）

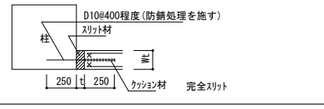



ⓓ壁と壁（平面図）




(2) スリット部(設計図に記入のあるとき)

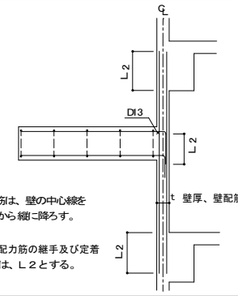
スリット部の鉄筋の被り厚さは2-(4)がかぶり厚さの表、最小かぶり厚さ以上とする。




## 10. 階段

片持ちスラブ形基準配筋

| 配筋種別 | KA1 | KA2 |
|---|---|---|
| 配筋図 | D13<br>D13<br>D10@200<br>D10@200<br>t =120 | 2-D13<br>D13<br>D10@200<br>D10@200<br>t =150 |
| 配筋種別 | KA3 | KA4 |
| 配筋図 | t =120<br>t =120<br>D13<br>D13<br>D10@200 | t =150<br>t =120<br>2-D13<br>D13<br>D10@200 |

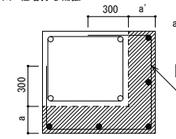


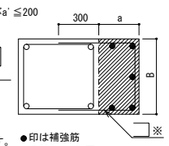

（注） 1． 階段主筋は、壁の中心線を越えてから緩に降ろす。

2． スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、L2とする。

## 11. 柱、梁増打コンクリート補強 （増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと）

(1) 柱増打ち補強



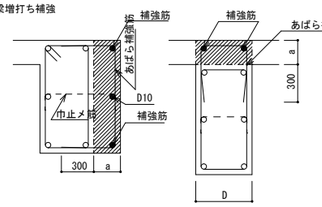

柱の打増し補強は、打増し幅が70mm以上かつ200mm以下の場合に適用する。200mmを越える場合は、特記による。

なお梁及び耐力壁の鉄筋の定着長さは、増し打ち部分を除いて計算する。

※帯筋と同径同ピッチ

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。 ●印は補強筋 @300mm以下

(2) 梁増打ち補強

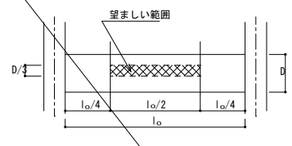


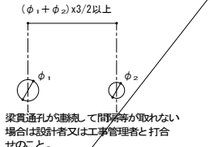

- 補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋及びD10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100～200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

## 12. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

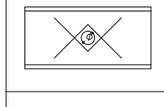
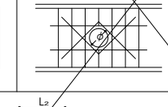
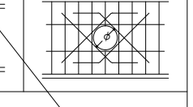
梁端部(スパンl/10以内かつ2D以内）は避ける



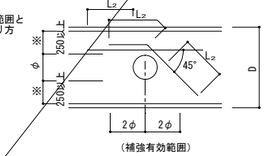




梁貫通孔が隣接して間隔等が取れない場合は設計者又は工事管理者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋　但し、φ≦D/3とする

| 80≦φ≦100 | 100＜φ≦150 | 150＜φ≦250 |
|---|---|---|
| 折　筋　2-(2-D13) | 折　筋　2-(2-D13)<br>縦　筋　ST2-D13@100<br>横　筋　2-(2-D13) | 斜　筋　4-(2-D13)<br>縦　筋　ST2-D13@100<br>横　筋　2-(2-D13)<br>中縦筋　ST2-D13 |
|  |  |  |

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方




（補強有効範囲）

- 梁幅が400を超える場合は補強筋でD13はD16又は、2-D13は3-D13と、各々読みかえる
- ※ 部分については計算で確認された場合は図の位置、寸法によらなくて良い。

(3) 既製品 （使用する場合は、設計者又は工事管理者と打合せのこと）

（既製品の適用範囲を準拠し、承認を得ること）

□ リング型　□ パイプ型　□ 金網型　□ プレート型

2009. Ver1.01

| 変更年月日・変更事項 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之<br>FAX 084-928-6000 | 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | A2版(71%) S=1/14<br>A3版(50%) S=1/20<br>図面番号 S-03 |
| | | | 図面名称 | 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) | 縮尺 -<br>設計年月日 2025年 3月 |

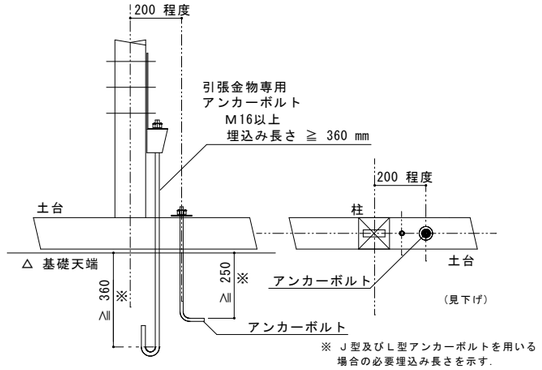
# 木　造　軸　組　標　準　仕　様　書（1）

## 1．アンカーボルト

※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

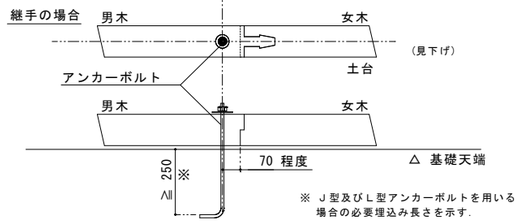
（1）土台固定用アンカーボルト
a).アンカーボルトの埋設位置；　アンカーボルトの埋設位置は以下による。

1）耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部；
耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。

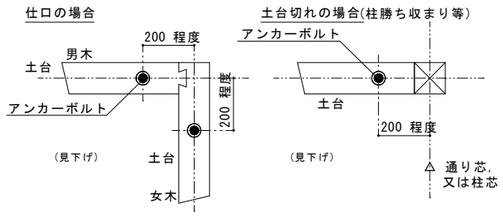



※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.

2）土台切れの端部及び、土台の継手仕口；
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。
当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。




※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.




3）その他；　上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

（2）引張金物専用アンカーボルト

a).引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

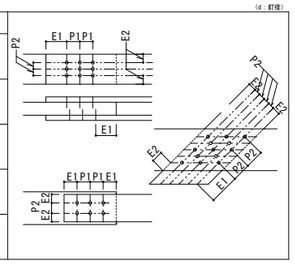
b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、
J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他の
アンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満た埋込み長さとする。

## 2．接合具

（1）釘接合
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

釘の最少間隔及び最小端あき距離　(d：釘径)

| | | 加力方向 | |
|---|---|---|---|
| | | 繊維方向 | 繊維直交方向 |
| 繊維方向 | E1 | 15d | 10d |
| | P1 | 12d | 10d |
| 繊維直交方向 | E2 | 5d | 8d |
| | P2 | 5d | 8d |

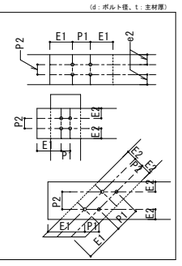



（2）木質構造用ビス接合
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。

（3）ボルト接合
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。

ボルトの最少間隔及び最小端あき距離　(d：ボルト径、t：主材厚)

| | | 加力方向 | |
|---|---|---|---|
| | | 繊維方向 | 繊維直交方向 |
| 繊維方向 | E1 | 7d（荷重負担側）<br>4d（荷重非負担側） | 7d |
| | P1 | 7d | t/d=2　3d<br>2≦t/d<6　3d～5d<br>t/d>6　5d |
| 繊維直交方向 | E2 | t/d≦6　1.5d<br>t/d>6<br>1.5dかつP2/2 | 4d（荷重負担側）<br>1.5d（荷重非負担側） |
| | P2 | 3d | 4d |




（4）ラグスクリュー接合
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。
・呼び径 M12以下；＋1.0mm
・呼び径 M16以上；＋1.5mm

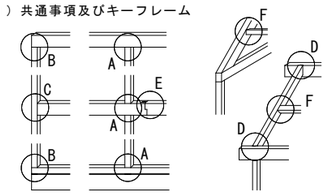
（5）ドリフトピン接合
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・ドリフトピンは、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、孔に対しテーパーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。

（6）木栓接合
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・木栓は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

（7）グルードインロッド接合
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

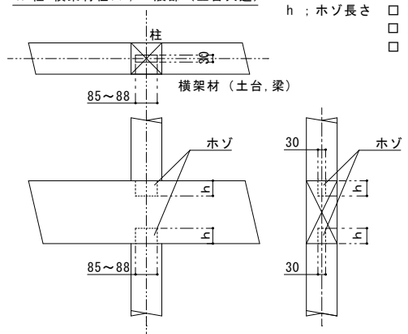
## 3．標準接合部

（1）共通事項及びキーフレーム

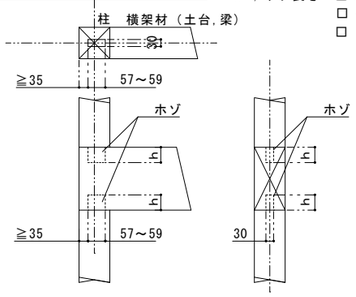



（2）標準的な継手仕口　(mm)

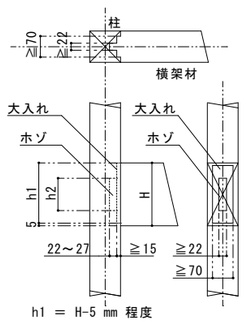
A 柱-横架材仕口；一般部（土台共通）　h ；ホゾ長さ　□ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（　）mm




B 柱-横架材仕口；出隅部（土台共通）　h ；ホゾ長さ　□ 短ホゾ 45～60 mm　□ 長ホゾ 90 mm　□ 上記以外（　）mm



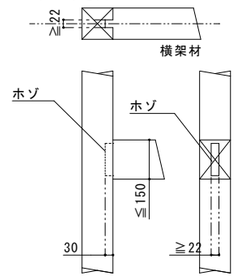

C 通柱—横架材仕口；胴差し




h1 ＝ H-5 mm 程度

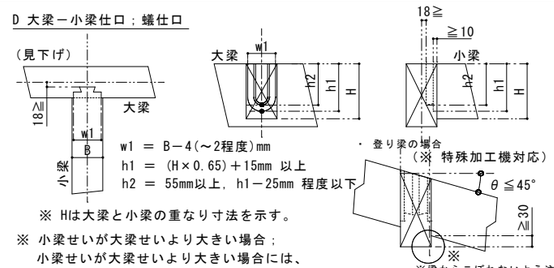
C 通柱—横架材仕口；桁差し

※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。



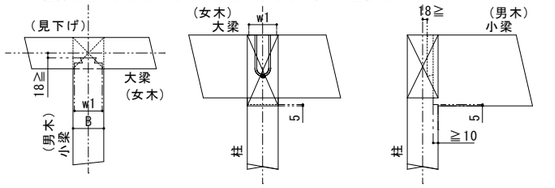

※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、２方向までとする。

D 大梁－小梁仕口；蟻仕口



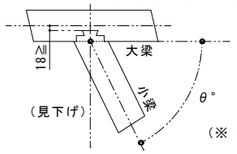

※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

※ 小梁せいが大梁せいより大きい場合；
小梁せいが大梁せいより大きい場合には、柱持たせのおさまりとしなければならない。（下図参照）

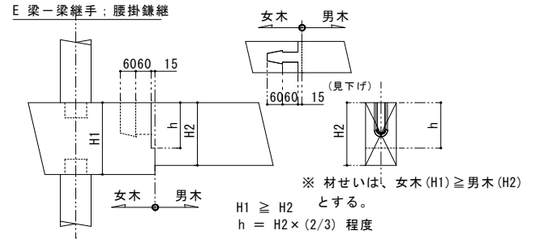



※ 柱持たせの柱幅は、大梁の幅と同寸以上とする。

※ 斜め蟻の場合；

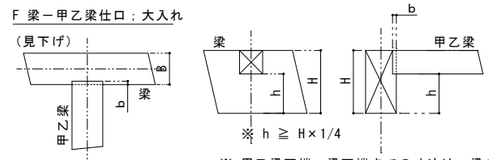



E 梁－梁継手；腰掛鎌継




※ 材せいは、女木(H1)≧男木(H2)とする。
H1 ≧ H2
h ＝ H2×(2/3) 程度

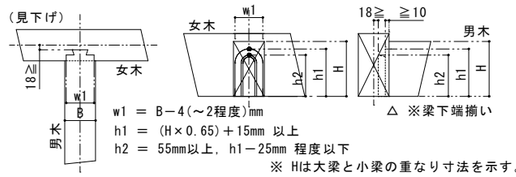
F 梁－甲乙梁仕口；大入れ




b＝15mm～（B×1/4）※最大　※ h ≧ H×1/4

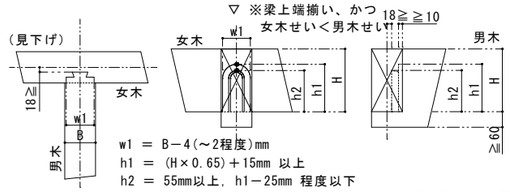
※ 甲乙梁下端～梁下端までの寸法は、梁せいの1/4以上確保すること。　(h≧H×1/4)

G 梁－梁仕口；逆蟻仕口　※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。




w1 ＝ B－4(～2程度)mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1－25mm 程度以下
△ ※梁下端揃い
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

H 梁－梁仕口；茶臼仕口　※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。
▽ ※梁上端揃い、かつ女木せいく男木せい




w1 ＝ B－4(～2程度)mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1－25mm 程度以下
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

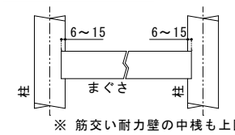

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 木造軸組標準仕様書（1） |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-04 |

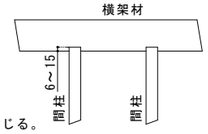
A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# 木　造　軸　組　標　準　仕　様　書（2）

I　その他；まぐさ欠き

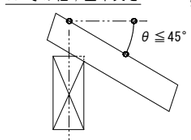



J　その他；間柱欠き

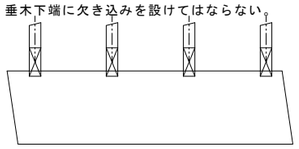



※ 筋交い耐力壁の中桟も上図に準じる。

K　その他；垂木欠き



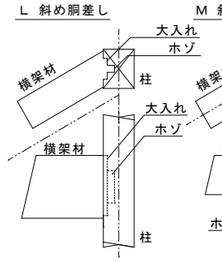

※ 垂木下端に欠き込みを設けてはならない。



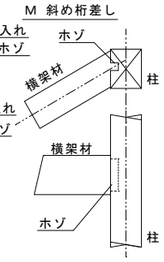
（3）特殊加工機を用いた標準的な継手仕口　(mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
**特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。**
**特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。**

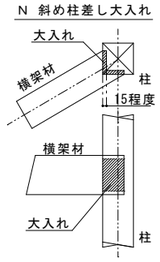
L　斜め胴差し




M　斜め桁差し




N　斜め柱差し大入れ

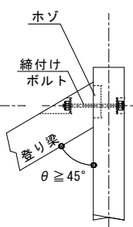



※ L,Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L,Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

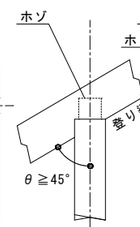
O　登り胴差し



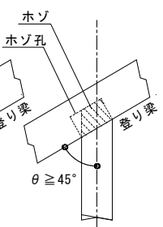

P　登り桁差し




Q　登り斜めホゾ

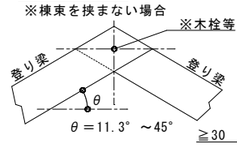



R　登り座付きホゾ

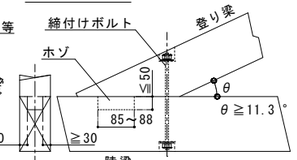


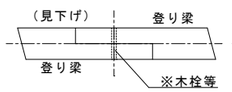

S　登り梁合掌部

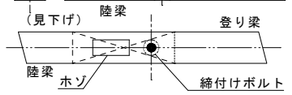
※棟束を挟まない場合



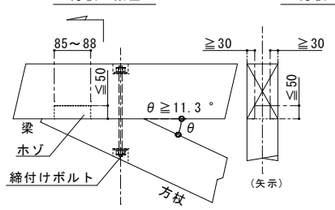

T　登り梁合掌尻



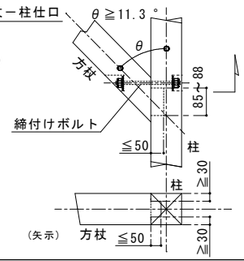



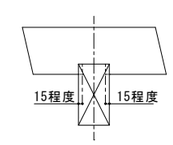

U　方杖－梁仕口



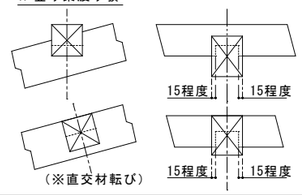

V　方杖－柱仕口




W　渡り顎



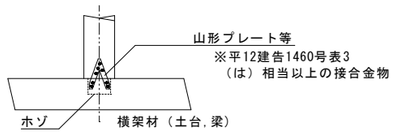

X　登り梁渡り顎




## 4．継手・仕口の補強金物

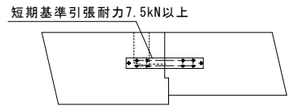
（1）柱脚柱頭　接合部

・耐力壁端部柱の柱脚・柱頭においては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。但し計算結果に限らず、必要金物（平12建告1460号表３に対応する表符号の”は”相当以上)を使用すること。
・上記以外の柱脚柱頭接合部には、必要金物(”い”相当以上)を使用すること。



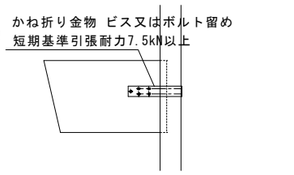

（2）梁-梁　接合部

・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5KN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。（右図参照）



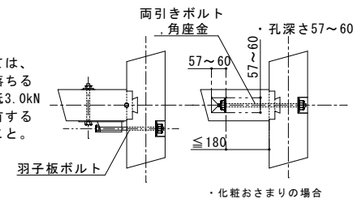

（3）柱-梁　接合部

・水平構面の外周部柱-横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5KN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。（右図参照）




（4）小梁端部接合部

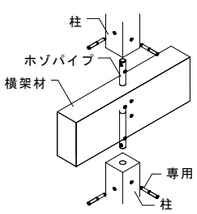
・小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。

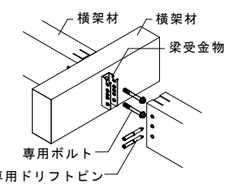



（5）在来軸組用金物工法

従来の接合方法でなく、接合部の断面欠損を少なくし、加工施工の合理化を図る場合には、在来軸組用金物工法を用いても良い。
なお、在来接合と金物接合はひとつの建物で混用して構わない。

・木材加工と補強金物による在来仕口に代わり、ホゾパイプ式等による柱金物を用いる場合は金物メーカーの標準仕様を遵守すること。
・木材加工と補強金物による在来仕口に代わり、薄鋼板式等による梁受金物を用いる場合は金物メーカーの標準仕様を遵守すること。
・適用樹種と強度、使用アンカーボルト等の仕様に注意すること。




## 5．水平構面

（注）（単位)mm

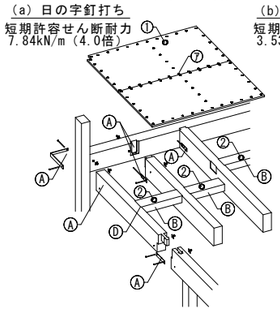
5.1共通事項

・各部仕口形状は、（３）高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図（1）3.軸組標準接合部に準ずる。
・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計（2008年）の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

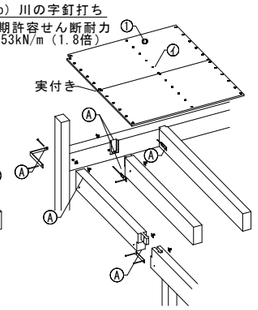
5.2水平構面の仕様

（１）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

（a）日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m（4.0倍）



（b）川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m（1.8倍）




1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼 |
| ② | 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下 |

2)各部仕口形状及び性能

| | |
|---|---|
| Ⓐ | 各仕口部分：<br>水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する |
| Ⓑ | 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける |
| Ⓒ | 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成 |
| Ⓓ | 甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ　N75　1本斜め打ち |

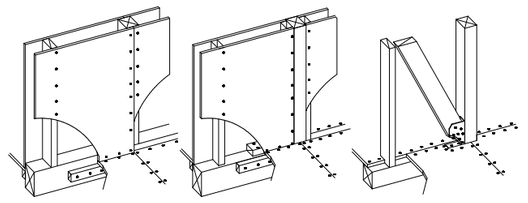
3)各部への釘打及びビス止め

| | |
|---|---|
| ⑦ | 構造用合板はN75@150mm日の字釘打ちで横架材,甲乙梁,床受材に留め付ける |
| ④ | 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材,甲乙梁,床受材に留め付ける |

注意事項：構造用合板に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。
2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板は実付きとする。

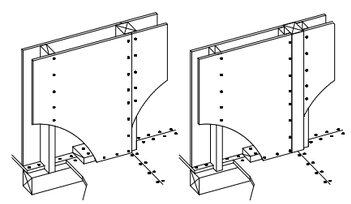
告示耐力壁-床納まり

大壁合板耐力壁-床構面（壁勝）　真壁合板耐力壁-床構面（壁勝）　筋違耐力壁-床構面（筋違勝）



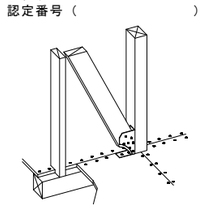
認定仕様例示）日合連（JPMA）仕様耐力壁-床勝納まり

大壁合板耐力壁-床勝　認定番号：FRM-0296
真壁合板耐力壁-床勝　認定番号：FRM-0298



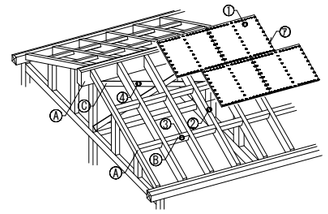
筋違金物による床勝ち納まり

筋違耐力壁-床構面
（床勝:大臣認定仕様）
会社名（　　）
認定番号（　　）



（２）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

（a）登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m（4.0倍-勾配面に対して）



1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼 |
| ② | 登梁：幅105mm以上×せい105mm以上　間隔1000mm以下 |
| ③ | 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上　間隔1000mm以下 |
| ④ | 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上<br>（端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合） |

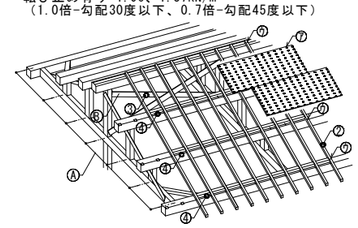
2)各部仕口形状及び性能

| | |
|---|---|
| Ⓐ | 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する |
| Ⓑ | 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける |
| Ⓒ | 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事 |

3)各部への釘打及びビス止め

| | |
|---|---|
| ⑦ | 構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける |

（b）垂木-合板
短期許容せん断耐力
転び止め有り-1.96、1.37kN/m
（1.0倍-勾配30度以下、0.7倍-勾配45度以下）



1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 面材：構造用合板t=9mm～15mm（横置） |
| ② | 垂木：幅45mm以上×せい45mm～90mm@500mm以下 |
| ③ | 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上<br>（端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合） |
| ④ | 転び止め：45mm×60mm程度 |

2)各部仕口形状及び性能

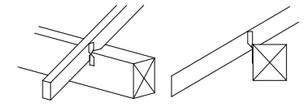
| | |
|---|---|
| Ⓐ | 母屋ピッチ:1000mm以下 |
| Ⓑ | 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事 |

3)各部への釘打及びビス止め

| | |
|---|---|
| ⑦ | 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける |
| ④ | 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め |
| ⑦ | 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対して75釘2本打ち |

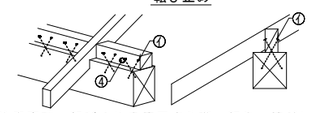
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

ひねり金物

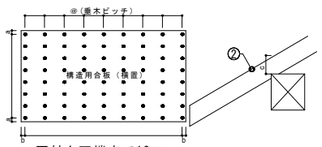


注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する

転び止め



注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
N75釘4本（表2本と裏2本を千鳥配置）
斜め打ち




a:面材上下端まで10mm
b:面材左右端まで10mm
c:軸材端まで（最小値）12.5mm

5.3その他の水平構面

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）の詳細計算法による面材張り水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。
・大臣認定を取得した水平構面については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 木造軸組標準仕様書（2） |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-05 |

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# 木躯体工事　標準仕様書（１）

## Ⅰ．材料

### Ⅰ－１．木材の品質

１．構造用製材及び構造用集成材は、日本農林規格（ＪＡＳ）に適合するものとする。

### Ⅰ－２．木材の樹種

１．構造材の樹種は下表による。

| 場所 | 部位 | 樹種 | 等級・強度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 軸組 | 土台 | ひのき | 構造用製材 | E90 |
| | 管柱 | すぎ | 構造用製材 | E70 |
| | | 欧州赤松 | E105-F300 | |
| | はり | すぎ | 構造用製材 | E70 |
| | | 欧州赤松 | E105-F300 | |
| | | べいまつ | E135-F375 | |
| | トラス梁 | 欧州赤松 | E105-F300 | |
| | 方杖 | すぎ | 構造用製材 | |
| 床組 | 大引 | | | |
| | 根太 | | | |
| | 火打ばり | | | |
| | その他 | | | |
| | | | | |
| 小屋組 | 棟木 | すぎ | 構造用製材 | |
| | 母屋 | すぎ | 構造用製材 | |
| | 小屋束 | すぎ | 構造用製材 | |
| | タル木 | すぎ | 構造用製材 | |
| | 隅木 | すぎ | 構造用製材 | |
| 各種ボード類 | 普通合板 | | | |
| | 耐水合板 | | | |
| | 構造用合板 | 針葉樹合板 | 2級 | ＪＡＳ規格品 |
| | パーティクルボード | | | ＪＩＳ Ａ 5908 |
| | ハードボード | | | ＪＩＳ Ａ 5905 |
| | 硬質木毛セメント板 | | | ＪＩＳ Ａ 5404 |
| | せっこうボード | | | ＪＩＳ Ａ 6901 |
| | シージングボード | | | ＪＩＳ Ａ 5905 |
| | ラスシート | | | ＪＩＳ Ａ 5524 |

### Ⅰ－３．木材の含水率

１．構造材及び下張材の工事現場搬入時の含水率は２０％以下とする。

### Ⅰ－４．接合金物等

１．接合金物の材質は、日本工業規格（ＪＩＳ）に適合するものとする。

２．特記なき場合、接合金物は下記による。

１）（財）日本住宅・木材技術センター「接合金物規格（Ｚマーク表示金物）」による。

２）（財）日本住宅・木材技術センター「枠組壁工法用金物規格（Ｃマーク表示金物）」による。

３）（株）タツミ　クレテック金物工法による。

## Ⅱ．指定寸法・仕上げ・養生

### Ⅱ－１．指定寸法

１．木材の断面を表示する寸法で、製材品はひき立寸法、その他の材料にあっては仕上がり寸法とする。

### Ⅱ－２．仕上げ

１．丸太はすべて、皮はぎ材とする。

２．見えがかりは、すべてカンナ削り仕上げとする。

３．土台・けた等で継ぎ伸ばしの都合上、やむを得ず短材を使用する場合の長さは、土台にあっては１ｍ内外、その他の材にあっては２ｍ内外とする。

４．継手及び仕口を明示していない場合は、一般慣用の工法による。

### Ⅱ－３．養生

１．工事中に汚染や損傷などの恐れのある場合は、紙張り・板当て等適当な方法により養生する。

## Ⅲ．防腐・防蟻処理

### Ⅲ－１．適用

１．防腐・防蟻措置は、ひのき・ひば等の耐腐朽性及び耐蟻性の大きな樹種の心材若しくは芯持材を用いるか、又は薬剤による防腐・防蟻処理をおこなうこととする。

### Ⅲ－２．防腐・防蟻措置を講ずる部分

１．防腐・防蟻措置を講ずる木部は次による。

１）土台、外壁部の柱・間柱、筋かい及び下地材のうち、地盤面から１ｍ以内の部分。ただし柱にあっては、室内の見えがかり部分を除く。又それぞれの接合部の木口、ほぞ及びほぞ孔を含む。

２）浴室（浴室ユニットを除く）にあっては、軸組・天井・床組部材で下地材も含むものとする。

３）台所及び洗面所等の水掛かりのおそれのある箇所の軸組・天井・床組部材で下地材も含むものとする。

２．防蟻のための土壌処理をおこなう場合は特記による。

### Ⅲ－３．薬剤による現場処理

１．薬剤の品質は、次による。

１）木部の防腐処理に使用する薬剤の品質は、ＪＩＳＫ１５７０（木材防腐剤）に適合するクレオソート油の規格品とする。

２）木材の防蟻措置に使用する薬剤の品質は、（社）日本しろあり対策協会又は（社）日本木材保存協会認定の防蟻剤とする。

３）土壌の防蟻措置に使用する薬剤の品質は、（社）日本しろあり対策協会又は（社）日本木材保存協会認定の土壌処理剤とする。

２．薬剤を使用する場合の木材処理方法は、次による。

１）塗布、吹付、浸漬に使用する薬剤の量は、木材及び合板の表面積１㎡につき３００ｍｌを標準とする。

２）処理にむらが生じないように、上記１）の範囲内での量で、２回以上処理すること。

３）木材の木口・仕口・継手の接合箇所、亀裂部分、コンクリート及び石などに接する部分は特に入念な処理を行う。

### Ⅲ－４．薬剤による工場処理

１．工場処理による防腐・防蟻処理材は、次による。

１）製材のＪＡＳの保存処理（Ｋ１を除く）の規格に適合するものとする。

２）ＪＩＳＡ９１０８（土台用加圧式防腐処理木材）の規格に適合するものとする。

３）ＪＩＳＫ１５７０に定める加圧注入用防腐剤を用いて、ＪＩＳＡ９００２による加圧式防腐処理をおこなった木材とする。

４）（社）日本木材保存協会認定の加圧注入用木材防腐剤を用いてＪＩＳＡ９００２による加圧式防腐処理をおこなった木材とする。

２．現場での加工・切断・穿孔箇所等は、Ⅲ－３－２に準じて、塗布あるいは吹きつけ処理をおこなう。

## Ⅳ．軸組

### Ⅳ－１．土台

１．断面寸法は、柱と同寸以上とし１０５ｍｍ×１０５ｍｍを標準とする。ただし多雪地域においては特記による。

２．継手は、柱及び床下換気口の位置を避け、腰掛けあり継ぎ又は腰掛けかま継ぎとする。

３．仕口は次による。

１）隅部取合部は、大入れこねほぞ差し割りくさび締め又は片あり掛けとする。

２）Ｔ字取合部及び十字取合部は、大入れあり掛けとする。

４．金物による継手・仕口は、金物メーカーの仕様による。

### Ⅳ－２．火打土台

１．木材の火打土台とする場合は、次による。

１）断面寸法は、４５ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。

２）見つけ平使いとし、土台との仕口は、かたぎ大入れとし、Ｎ９０釘２本平打ちとする。

２．鋼製火打とする場合は、金物メーカーの仕様による。

### Ⅳ－３．柱

１．柱の断面寸法は、次による。

１）管柱の断面寸法は、１０５ｍｍ×１０５ｍｍ以上とする。ただし多雪区域においては特記による。

２）通し柱の断面寸法は、１２０ｍｍ×１２０ｍｍ以上とする。

２．柱端部と土台及び横架材の仕口は、国土交通省告示第１４６０号による。

３．筋かい及び面材耐力壁が取り付く柱の端部と土台及び横架材の仕口は、国土交通省告示第１４６０号による。

### Ⅳ－４．間柱

１．横架材との仕口は、大入れとし、Ｎ７５釘２本を斜め打ちする。

２．筋かい当たりは、間柱を切り欠きＮ７５釘２本を平打ちする。

３．通し貫当たりは、添え付けて、Ｎ６５釘２本を平打ちする。

### Ⅳ－５．横架材

１．断面寸法は、荷重の状態及びスパンを勘案して適切なものとして特記する。

２．継手は、はり及び筋かいを受ける柱間を避け、柱より持ち出し、追掛け大せん継ぎ又は腰掛かま継ぎとし、継手用金物(ﾋﾞｽ止め)を使用する。

３．通し柱との仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差しとし、金物の補強は次のいづれかによる。

１）短ざく金物当てＭ１２六角ボルト締め、スクリュー釘打ちとする。

２）かね折り金物当てＭ１２六角ボルト締め、スクリュー釘打ちとする。

３）Ｍ１２羽子板ボルト締めとする。

４．金物による継手又は仕口は、金物メーカーの仕様による。

５．耐力壁内で継手を設ける場合の補強金物は、係員の指示による。

### Ⅳ－６．通し貫

１．柱に差し通し、両面からクサビ締め釘打ちとする。

## Ⅴ．耐力壁

### Ⅴ－１．筋かい

１．筋かいの耐力倍率による仕様は、次による。

１）壁倍率１．０

・断面寸法が１５ｍｍ×９０ｍｍ以上の木材を使用する。

・径９ｍｍ以上の鉄筋を使用する。

２）壁倍率１．５

・断面寸法が３０ｍｍ×９０ｍｍ以上の木材を使用する。

３）壁倍率２．０

・断面寸法が４５ｍｍ×９０ｍｍ以上の木材を使用する。

４）壁倍率３．０

・断面寸法が９０ｍｍ×９０ｍｍ以上の木材を使用する。

２．筋かい端部の仕口は、国土交通省告示第１４６０号による。

３．筋かいが取り付く柱端部の仕口は、国土交通省告示第１４６０号による。

### Ⅴ－２．木ずり

１．断面寸法は、１２ｍｍ×７５ｍｍ以上とする。

２．継手は、柱・間柱心で突付け、５枚以上毎に乱継ぎとする。

３．柱・間柱等への留め付けは、板そば２０ｍｍ程度に目透し張りとし、それぞれＮ５０釘２本を平打ちする。

### Ⅴ－３．面材耐力壁

１．面材耐力壁の仕様は、次による。

１）構造用合板はＪＡＳに適合するもので、接着の程度は特類とし、厚さは７．５ｍｍ以上とする。

２）パーティクルボードはＪＩＳＡ５９０８に適合するもので、種類は曲げ強さの区分が８タイプ以外のものとし厚さは１２ｍｍ以上とする。

３）構造パネルは、ＪＡＳに適合するものとする。

４）ハードボードは、ＪＩＳＡ５９０５に適合するもので、曲げ強さの種類は３５タイプ又は４５タイプとし厚さは５ｍｍ以上とする。

５）硬質木片セメント板はＪＩＳＡ５４１７に適合するもので、厚さは１２ｍｍ以上とする。

６）せっこうボードはＪＩＳＡ６９０１に適合するもので、厚さは１２ｍｍ以上とする。

７）シージングボードはＪＩＳＡ５９０５に適合するもので、種類はシージングインシュレーションボードとし厚さは１２ｍｍ以上とする。

８）ラスシートはＪＩＳＡ５５２４に適合するもので、種類はＬＳ４とする。

２．面材耐力壁の張り付け釘種類及び間隔は、国土交通省告示第１５４１号による。

３．面材耐力壁の張り付け方法は、次による。

１）構造用面材は、柱・間柱及び土台・はり・けた・その他の横架材に確実に釘で留め付ける。

２）建物の２層にわたり上下同位置に構造用面材壁を設ける場合は、胴差し部において構造用面材相互間に原則として６ｍｍ以上の隙間を設ける。

３）柱・梁以外の場所でやむをえず構造用面材を継ぐ場合は、間柱及び胴差等の断面は４５ｍｍ×６５ｍｍ以上とする。

４）構造用面材は原則として縦張りとする。

４．構造用面材の下地に受け材を用いる場合は、次による。（真壁造の面材耐力壁仕様）

１）受け材の断面寸法は、４０ｍｍ×６０ｍｍ以上とする。

２）受け材は、柱及びはり・けた・土台又はその他の横架材に、Ｎ９０釘で３００ｍｍ以下の間隔で平打ちする。

## Ⅵ．小屋組

### Ⅵ－１．小屋ばり

１．断面寸法は、荷重の状態、スパン及びはり間隔等を勘案して適切なものとし特記による。

２．末口１３５ｍｍ以上の丸太の継手は、受け材上で台持ち継ぎとし、下木にだぼ２本を植込みかすがい両面打ちとするか又はＭ１２六角ボルト２本締めとする。受材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。

３．末口１３５ｍｍ未満の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、Ｍ１２六角ボルト２本締めとする。受材当たりは渡りあごとし手違いかすがい打ちとする。

４．軒げた又は敷げたとの仕口は、かぶとあり掛け又は渡りあごとし、いずれもＭ１２羽子板ボルト締めとする。

### Ⅵ－２．小屋づか

１．断面寸法は、９０ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。ただし多雪地域においては特記による。

２．端部仕口は、短ほぞ差しとし、かすがい両面打ち又はひら金物当て釘打ちとする。

### Ⅵ－３．むな木・母屋

１．断面寸法は、次による。

１）母屋の断面寸法は、９０ｍｍ×９０ｍｍ以上とし、たる木当たりの欠き込み等がある場合は正味断面として確保する。ただし多雪地域においては特記による。

２）むな木の断面寸法は、母屋の断面寸法以上とし、たる木当たりの欠き込み等を考慮して、特記する。

３）継手は、つかの位置を避け、つかより持ち出して、腰掛かま継ぎ又は腰掛あり継ぎとし、Ｎ７５釘２本打ちとする。

４）Ｔ字部の仕口は、大入れあり掛けとし、上部よりかすがい打ちとする。

### Ⅵ－４．雲筋かい振れ止め

１．断面寸法は、１５ｍｍ×６０ｍｍ以上とする。

２．留めつけは、つかに添えつけ、Ｎ５０釘２本を平打ちとする。

### Ⅵ－５．たる木

１．断面寸法は、荷重の状態、軒の出等を勘案し適切なものとして特記による。

２．継手は、乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、Ｎ７５釘２本打ちとする。

３．軒先以外の留めつけは、受け材当たりＮ７５釘で両面から斜め打ちとする。ただし、たる木のせいが４５ｍｍ以下の場合はＮ９０釘を脳天打ちとすることができる。

４．軒先部の留めつけは、けたにひねり金物、・折り曲げ金物又はくら金物を当て釘打ちとする。

### Ⅵ－６．ころび止め

１．垂木と同断面の転び止め材を載せ、転び止め材の側面から軒桁・母屋・棟木の上面にN75釘4本（表2本と裏2本を千鳥配置）を斜め打ち

### Ⅵ－７．火打ちばり

１．木材の火打ちばりとする場合は、次による。

１）断面寸法は、９０ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。

２）横架材との仕口は、かたぎ大入れとし、Ｍ１２六角ボルト引きとする。

２．鋼製の火打ちばりとする場合は、金物メーカーの仕様による。

## Ⅶ．床組

### Ⅶ－１．大引

１．断面寸法は、９０ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。

２．継手は、床づか心から１５０ｍｍ程度持ち出し、相欠き継ぎのうえＮ７５釘２本打ちとするか、腰掛あり継ぎとする。

３．土台との仕口は、大入れあり掛け、腰掛け又は乗せ掛けとし、いづれもＮ７５釘２本斜め打ちとする。

### Ⅶ－２．床づか

１．断面寸法は、９０ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。

２．大引との仕口は、突付けとしＮ７５釘を斜め打ちのうえ、ひら金物を当て釘打ち又はかすがい打ちとする。

３．下部は、つかむ石・土間コンクリートに突付けとし、根がらみを添えつけ釘打ちとする。又床づかが浮き上がらないような措置を講ずること。

４．鋼製床づかを使用する場合は、金物メーカーの仕様による。

### Ⅶ－３．根太掛け

１．断面寸法は、２４ｍｍ×９０ｍｍ以上とする。

２．継ぎ手は、柱心で突付け継ぎとしＮ７５釘２本を平打ちとする。

３．留めつけは、柱・間柱当たりにＮ７５釘２本を平打ちする。

### Ⅶ－４．根太

１．断面寸法は、４５ｍｍ×６０ｍｍ以上とする。ただし下地大引間隔が９００ｍｍを超えるときは４５ｍｍ×１０５ｍｍ以上とする。ただし下地大引間隔は１，８００ｍｍを最大とする。

２．根太間隔は、畳床の場合は４５０ｍｍ内外とし、その他の場合は３００ｍｍ内外とする。

３．継手は、受材心で突付け継ぎとしＮ９０釘打ちとする。

４．はり又は大引との仕口は、掛渡しとしＮ７５釘２本斜め打ちとする。ただし、根太のせいが９０ｍｍ以上の場合は大入れ渡りあご掛けとし、Ｎ７５釘２本斜め打ちとする。

### Ⅶ－５．床ばり

１．断面寸法は、荷重の状態、スパン、はり間隔等を勘案して適切なものとし、特記による。

２．継手は、次のいずれかによる。

１）受材上で大材を下にして台持ち継ぎとしてＭ１２六角ボルト２本締めとする。

２）受材より１５０ｍｍ内外持出し、追掛け大せん継ぎとする。

３）はりせいが１２０ｍｍ程度のものは、大材を受材より１５０ｍｍ内外持出し上端をそろえ、腰掛けかま継ぎ又は腰掛けあり継ぎとし、短ざく金物両面当てＭ１２六角ボルト締め釘打ちとする。

３．仕口は、次のいずれかによる。

１）柱との仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差しとし、羽子板ボルト締め又は箱金物ボルト締めとする。

２）Ｔ字取合いは、大入れあり掛けとし、羽子板ボルト締めとする。

３）受材が横架材の場合は、渡りあご掛けとする。

４．継手及び仕口に既製品の金物を使用する場合は、金物メーカーの仕様による。

### Ⅶ－６．火打ちばり

１．火打ちばりは前項　Ⅵ．小屋組　Ⅵ－６．火打ちばりに準ずる。

## Ⅷ．基礎

### Ⅷ－１．一般事項

１．基礎は、１階の外周部及び内部耐力壁の直下に設ける。

２．基礎の構造は、次のいずれかとする。

１）布基礎

２）腰壁と一体となった布基礎

３）ベタ基礎

３．構造体は、一体の鉄筋コンクリート造とする。

４．基礎の深さは、設計地耐力の地盤で掘り下げるとともに、建設地域の凍結深度より深くする。

５．~~立上り部分の高さは、地盤面より３００ｍｍ以上高くする。~~

６．立上り部分の巾は、１２０ｍｍ以上でかつ土台幅より大きくする。

７．基礎の寸法及び配筋は特記による。

### Ⅷ－２．鉄筋材料及び加工

１．鉄筋は、ＪＩＳＧ３１１２又はＪＩＳＧ３１１７のＪＩＳマーク表示品とし、その種類及び径は特記による。

２．鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。

３．鉄筋の継手は、Ｄ１６以下では重ね継手、Ｄ１９以上はガス圧接継手とする。

４．有害な曲がり、ひび割れ、ささくれ等の損傷のある鉄筋を使用してはならない。

５．鉄筋の最小かぶり厚さは、基礎の立上り部分においては５０ｍｍ以上、底盤においては７０ｍｍ以上とする。

### Ⅷ－３．アンカーボルト

１．アンカーボルト及び座金は、Ｚマーク表示金物のＭ１２アンカーボルト、座金とする。

２．アンカーボルトの埋設位置は、次による。

１）構造耐力壁の部分は、その両端の柱心から２００ｍｍ内外の位置に埋設する。

２）土台の切れ目所、土台の継手及び仕口箇所の土台端部

３）上記以外の部分においては、間隔２．０ｍ以内の位置に埋設する。

３．アンカーボルトのコンクリートへの定着長さは２４０ｍｍ以上とし、ボルトネジ部の先端は、土台の上端において ナットの外にネジ山が３山以上出るようにする。

４．アンカーボルトの保持及び埋込み工法は、特記が無ければアンカーボルトを鉄筋等を用いて組み立て、適切な補助材で型枠に固定しコンクリートの打込みを行うものとする。

### Ⅷ－４．ホールダウン専用アンカーボルト

１．ホールダウン専用アンカーボルト及び座金は、Ｚマーク表示金物のＭ１６アンカーボルト、座金とする。

２．ホールダウン専用アンカーボルトの埋設位置は設計図書の特記による。

３．ホールダウン専用アンカーボルトのコンクリートへの定着長さは３６０ｍｍ以上とする。

４．ホールダウン専用アンカーボルトの埋設方法は、取り付く柱の位置に専用治具を用い正確に埋め込むこと。

---

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 木躯体工事　標準仕様書(1) |
| 図面番号 | S-06 |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

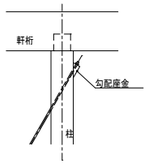
# 木躯体工事　標準仕様書（２）

国土交通省告示
第１４６０号

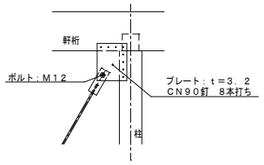
壁筋かい端部仕口例

・１号－イ
９mm以上の鉄筋

①勾配座金を使用する場合

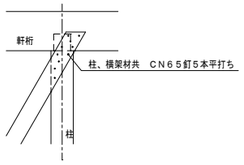



②仕口プレートを使用する場合



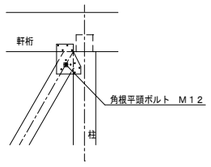

・１号－ロ
１．５×９．０ｃｍ
以上の木材

①釘を平打ちする場合

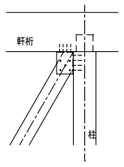



・１号－ハ
３．０×９．０ｃｍ
以上の木材

①BPプレートを使用する場合

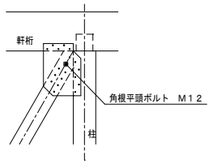



②BOX金物を使用する場合

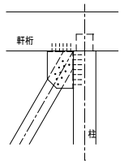



・１号－ニ
４．５×９．０ｃｍ
以上の木材

①BP－２プレートを使用する場合

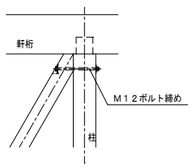



②BOX金物を使用する場合




・１号－ホ
９．０×９．０ｃｍ
以上の木材

①M12ボルトを使用する場合

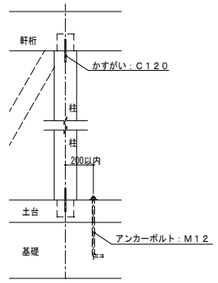



国土交通省告示
第１４６０号

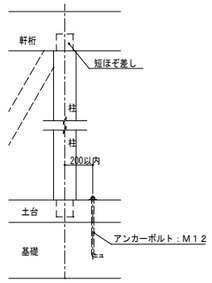
柱と横架材との仕口

・表三－イ

①かすがいを使用する場合

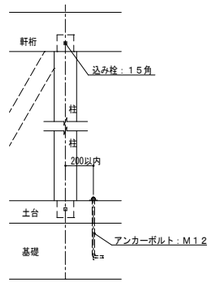



②短ほぞ差しを使用する場合

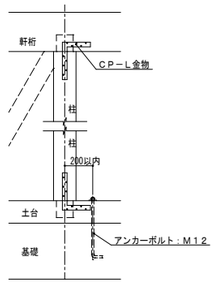



・表三－ロ

①短ほぞ差し込み栓打ちの場合

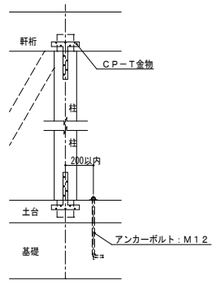



②CP－L金物を使用する場合

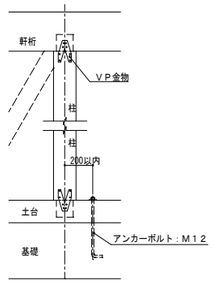



・表三－ハ

①CP－T金物を使用する場合



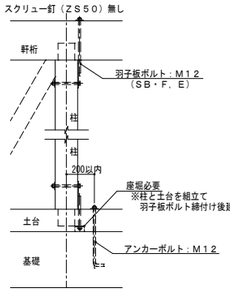

②山形プレート（VP）金物を使用する場合



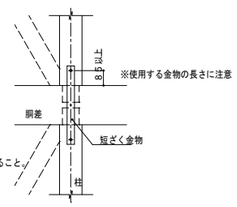

柱と横架材との仕口

・表三－ニ

①羽子板ボルトを使用する場合
スクリュー釘（ZS50）無し



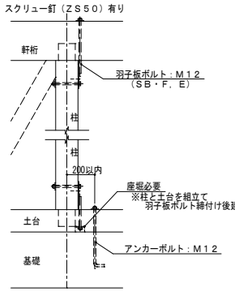

②短ざく金物を使用する場合
（※2、3階胴差仕口ノミ使用可）
スクリュー釘（ZS50）無し



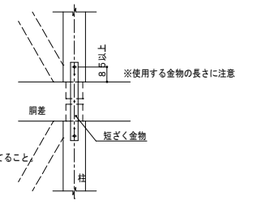

国土交通省告示
第１４６０号

・表三－ホ

①羽子板ボルトを使用する場合
スクリュー釘（ZS50）有り

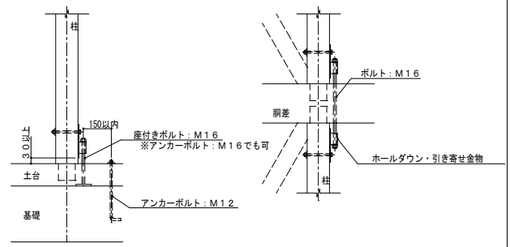



②短ざく金物を使用する場合
（※2、3階胴差仕口ノミ使用可）
スクリュー釘（ZS50）有り



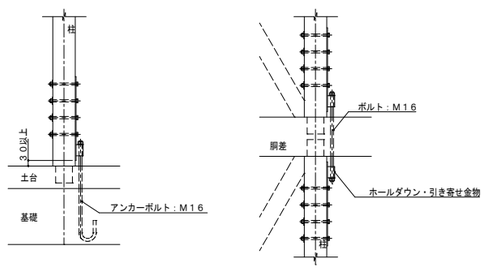

・表三－ヘ

①ホールダウン・引き寄せ金物（10KN用）を使用する場合
※ホールダウン・引き寄せ金物は製造メーカーの仕様を確認して使用すること。



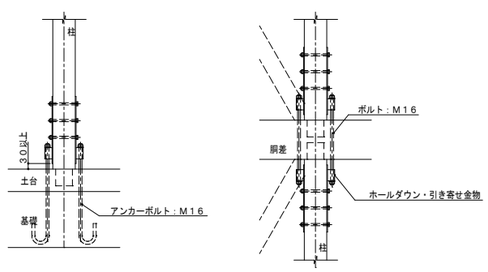

・表三－ト（15KN用）
・表三－チ（20KN用）
・表三－リ（25KN用）

①ホールダウン・引き寄せ金物を使用する場合
※ホールダウン・引き寄せ金物は製造メーカーの仕様を確認して使用すること。




・表三－ヌ

①ホールダウン・引き寄せ金物（2ヶ所－15KN）を使用する場合
※ホールダウン・引き寄せ金物は製造メーカーの仕様を確認して使用すること。




変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課


有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
FAX 084-928-6000　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 木躯体工事　標準仕様書(2) |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-07 |

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# 木躯体工事　標準仕様書（３）

## 3-1 耐力壁

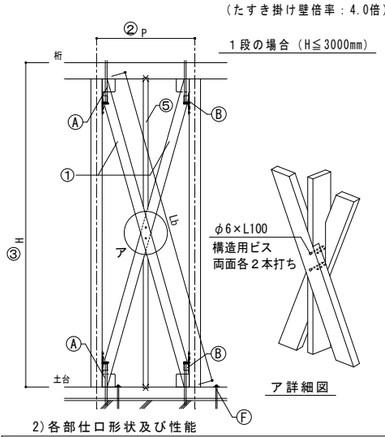
（注）（単位）mm

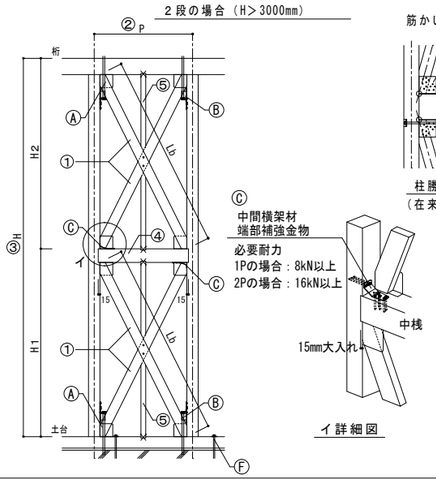
1共通事項

各部仕口形状は、（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図（２）5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比（断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比）は、150以下とすること。

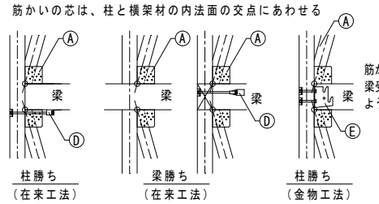
2耐力壁の仕様　　（１）施行令46条に準じた耐力壁

a．筋かい耐力壁：45×90以上※　（片筋かい壁倍率　：2.0倍）
（たすき掛け壁倍率：4.0倍）




筋かいの芯は、柱と横架材の内法面の交点にあわせる




筋かいプレートのビスと梁受け金物が干渉しないように注意すること。

1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 筋かい：45mm×90mm以上※（節，目切れ等軽微なもの） |
| ② | 柱間隔：900mm≦P≦2000mm |
| ③ | 高さH≦3000mm：１段、　H＞3000mm：２段<br>２段の場合：H＞3000mm<br>H１及びH２は、H／2内外 |
| ④ | 中間横架材：　幅：柱と同寸、せい≧柱幅 |
| ⑤ | 間柱：幅45mm以上、間隔500mm以下　端部は上下横架材の間柱欠きに6～15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち |

※ 筋かい断面は、内法対角長さLbに応じて、以下の断面寸法以上とする。
Lb≦2700 → 45×90以上
Lb≦2850 → 45×105以上
Lb≦3000 → 45×120以上

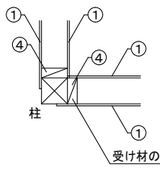
2)各部仕口形状及び性能

| | |
|---|---|
| Ⓐ | 筋かい端部：突き付けの上 筋かいプレート（２倍用）を使用　在来工法及び金物工法とも柱梁ビスどめタイプを基本とする |
| Ⓑ | 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する |
| Ⓒ | 中間横架材端部：15mm大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用　必要耐力：1Pの場合→8kN以上、2Pの場合→16kN以上 |
| Ⓓ | 梁端部在来仕口部補強金物：耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする　Ⓔ 梁端部金物工法梁受け金物：耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする |
| Ⓕ | 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける |

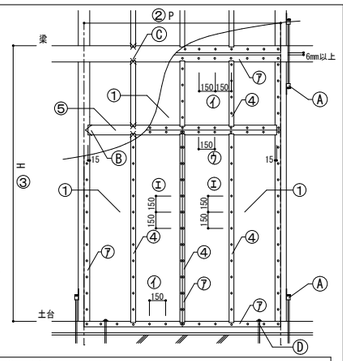
（２）昭56建告1100号に準じた耐力壁

a．面材張り大壁仕様耐力壁

（片面張り壁倍率：2.5倍）
（両面張り壁倍率：5.0倍）




両面張り耐力壁出隅部要領図




1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 面材：構造用合板　t=9mm以上又はOSB t=9mm以上 |
| ② | 柱間隔：600mm≦P≦2000mm |
| ③ | 高さ：一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下 |
| ④ | 間柱：幅45以上、間隔500mm以下 |
| ⑤ | 中桟：幅90mm以上 |

2)各部仕口形状及び性能

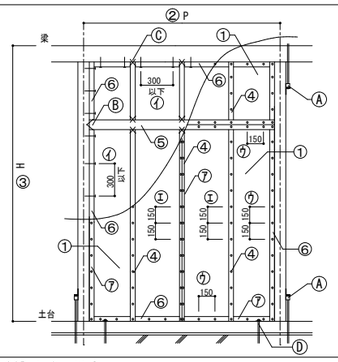
| | |
|---|---|
| Ⓐ | 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する |
| Ⓑ | 中桟端部：まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち |
| Ⓒ | 間柱端部：間柱欠きに6～15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち |
| Ⓓ | 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける |

3)構造用合板の釘打ち方法

| | |
|---|---|
| | 構造用合板（又はOSB）の４周を釘打ちする |
| ⑦ | 柱及びはりに対するかかり寸法：22.5mm以上<br>合板に対するへり空き：10mm以上<br>柱はりのへり空き：12.5mm以上<br>金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする |
| ㋑ | 横架材・柱：N50@150mm以下 |
| ㋖ | 中桟：N50@150mm以下　　㋭ 間柱：N50@150mm以下 |

b．受け材付き真壁仕様耐力壁

（片面張り壁倍率：2.5倍）
（両面張り壁倍率：5.0倍）




1)各部材料および寸法

| | |
|---|---|
| ① | 面材：構造用合板　t=9mm以上又はOSB t=9mm以上 |
| ② | 柱間隔：600mm≦P≦2000mm |
| ③ | 高さ：一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下 |
| ④ | 間柱：幅45以上、間隔500mm以下 |
| ⑤ | 中桟：幅90mm以上　　⑥ 受け材：幅45mm以上 |

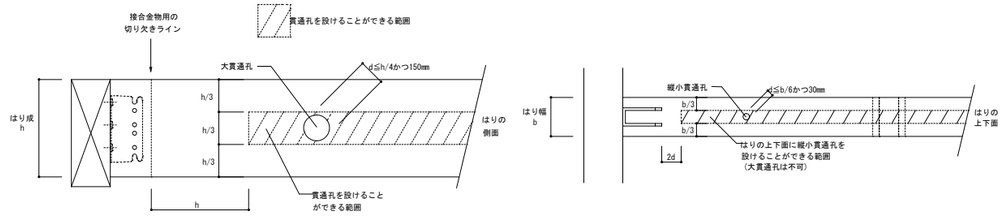
2)各部仕口形状及び性能

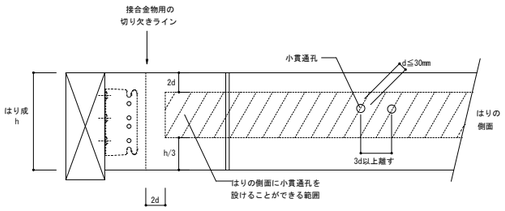
| | |
|---|---|
| Ⓐ | 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する |
| Ⓑ | 中桟端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち |
| Ⓒ | 間柱端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち |
| Ⓓ | 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける |

3)構造用合板の釘打ち方法

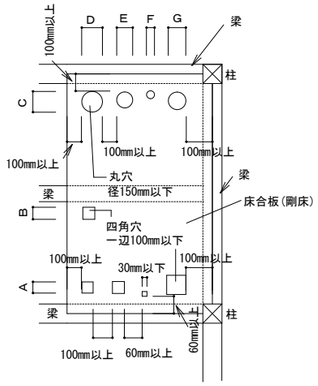
| | |
|---|---|
| | 構造用合板（又はOSB）の４周を釘打ちする |
| ⑦ | 受け材に対するかかり寸法：22.5mm以上<br>合板に対するへり空き：10mm以上<br>受け材のへり空き：12.5mm以上<br>金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする |
| ㋑ | 受け材と柱梁：N90@300mm以下（両面構造用合板（又はOSB）張りの場合は@150以下） |
| ㋖ | 受け材、中桟：N50@150mm以下　　㋭ 間柱：N50@150mm以下 |

## 3-2 梁の貫通穴の基準




## 3-3 剛床の開口補強




①開口の最大寸法は四角形で一辺が100mm以下丸穴で直径が100mm以下とする。

②1枚の合板に空けられる開口部の合計面積は、その合板全体面積の20%以内とする。

③直線上に開口部が並ぶ場合は、その開口部幅の合計が長辺方向では600mm以下、短辺方向では300mm以下とする。

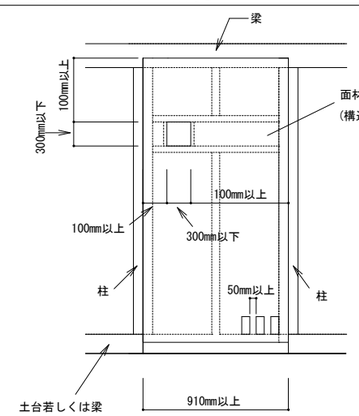
Ａ＋Ｂ＋Ｃ≦600mm以下

Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ≦300mm以下

④各開口の間隔は100mm以上とし、四角形で一辺が30mm以下、丸穴で直径が30mm以下の場合は30mm以上とすることができる。

⑤各開口の合板端部からの位置は100mm以上とし4角形で一辺が30mm以下、丸穴で直径が30mm以下の場合は、合板端部からの位置を60mmとすることができる。

## 3-4 耐力壁の開口補強




①開口の最大寸法は300mm以下とする。

②開口の位置は面材耐力壁端部より100mm以上離して設ける事。但しコンセントによる開口は50mmとする。

③開口部は上下両端とも補強材を設け、上下補強材は柱まで伸ばす事。

④開口部の上下補強材は、面材耐力壁外周部と同様の釘ピッチで留めつける事。

⑤補強材を必要とする開口は、耐力壁910mmに1ヶ所までとする。

⑥補強材を要しない開口はコンセント穴程度（50×100）とし、耐力壁910mmに3ヶ所までとする。

⑦開口部の位置が100mm以下の場合は、開口部に接する面材耐力壁外周部に必要な釘の本数分を、開口部を避ける面材耐力壁外周部に増打ちする事。


変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 木躯体工事　標準仕様書(3) |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-08 |

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# 構造用集成材躯体木工事仕様書

## 1　共通事項

1.1
本仕様書は構造用集成材を主要構造部に用いた木工事に適用する。

1.2 一般事項
ａ．　集成材や接合金物等の部材の製作にあたっては製作要領書を提出し、係員の承認を受けるものとする。

1.3 準拠規準
ａ．　大断面木造建築物設計施工マニュアル（日本建築センター）1988 年版
ｂ．　木質構造設計規準・同解説（日本建築学会）2006 年版
ｃ．　農林水産省　「構造用集成材の日本農林規格」第683号

## 2　材料一般

2.1 集成材
ａ．　集成材はISO認証取得工場の製造品と同等のものとする。
ｂ．　集成材の品質は、「構造用集成材の日本農林規格」（農林水産省告示683号）とする。
ｃ．　ラミナの縦継ぎは、フィンガージョイント（フィンガー長さ１５mm以上）とし、ラミナ厚は４０mm以下を標準とする。
ｄ．　樹種
■　ベイマツ
■　オウシュウアカマツ
□　スギ
ｅ．　等級　（対称異等級構成構造用集成材）
■　Ｅ135 － Ｆ375
■　Ｅ105 － Ｆ300　（施行令第４６条２項適合材料）
□　Ｅ 95 － Ｆ270
□　Ｅ 85 － Ｆ255
□　Ｅ 75 － Ｆ240
□　ＬＶＬ　120Ｅ－385Ｆ　55Ｖ－47Ｈ　（施行令第４６条２項適合材料）

2.2 製材
■　製材（ヒノキ　一等材以上　）
■　製材（スギ　　一等材以上　）

2.3 接合金物
ａ．　接合金物の品質は、ＪＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧廷鋼材）等を準用し、材質はＳＳ400 または、これと同等品とする。
ｂ．　使用する鋼材の品質については、規格証明書を提出する。

2.4 ボルトおよびナット
ａ．　規格
ボルトおよびナットの規格は特記なき限り下記による。
・ＪＩＳ　Ｂ　１１８０　（六角ボルト）
・ＪＩＳ　Ｂ　１１８１　（六角ナット）
・ＪＩＳ　Ｂ　０２０５　（メートル並目ねじ）
ｂ．　品質
ボルトおよびナットの品質は、ＪＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧廷鋼材）等を準用し、材質はＳＳ４００ または、これと同等品とする。

2.5 ドリフトピン・ラグスクリューボルト
形状および品質に関しては、ＪＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧廷鋼材）等を準用し材質はＳＳ４００ または、これと同等品とする。

2.6 丸座金
・ボルトに使用する座金の寸法・厚さは下記による。

（単位：mm）

| ボルト径 | 12 | 16 | 20 | 22 | 24 |
|---|---|---|---|---|---|
| 座金の厚さ | 3.2 | 4.5 | 6 | 6 | 6 |
| 丸座金の直径 | 40 | 60 | 70 | 80 | 80 |

・引張りボルトに使用される座金の寸法および厚さは、別途計算する。
・計算によって安全を確保できた場合はこの限りではない。

2.7 アンカーボルト
ａ．　規格・形状
アンカーボルトの形状および寸法は特記による。
特記がない場合は、ＪＩＳ　Ｂ１１７８（基礎ボルト）によるＬ型またはＪ型とし、ねじの特級は２級以上とする。
ｂ．　品質
アンカーボルトの品質は特記による。
特記がない場合、ＪＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧廷鋼材）による。材質はＳＳ４００ または、これと同等品とする。

## 3　工作一般

3.1 施工図（承認図）
施工図は設計図書をもとに、全体の納まりや詳細などについて十分検討した上で作成し、係員の承認をうける。

3.2 現寸図
ａ．　加工図及びＣＡＤ寸法図を原則とする。
ｂ．　部材製作が著しく困難な場合は、必要に応じて現寸図模型を製作する。

3.3 鋼製巻尺の確認
ａ．　鋼製巻尺は、ＪＩＳ　Ｂ７５１２（鋼製巻尺）による１級品を用いる。
同一工事に用いる巻尺は、それら相互の誤差の少ないものを使用する。
ｂ．　工場製作用巻尺と現場作業用巻尺とを照合して、その誤差を確認する。
照合に関して、巻尺に対する張力は50Ｎとする。

3.4 墨付け
墨付けは加工図にしたがって、定規・型板および鋼製巻尺を用いておこなう。

3.5 集成材部材の寸法精度
製品の寸法精度は下記による。
ａ．　せ　　い　　±1.5%以内または±2.0mm以内
ｂ．　幅　　±1.5%以内または±2.0mm以内
ｃ．　長　　さ　　±3.0mm以内
ｄ．　断 面 直 角 度　　±1/100以内 かつ ±2.0mm以内

3.6 ボルト穴
ａ．　穴径
ボルトの公称軸径ｄに対する穴径は下記による。
・ボルト　　ｄ＋1.0mm以内（M16未満）ｄ＋2.0mm以内（M16以上）
・ドリフトピン　　ｄ±0mm
ｂ．　精度
穴あけの許容差は下記による。
・穴の心ずれ　　±2.0mm以内
・穴間隔のずれ　　±2.0mm以内
ｃ．　スリット加工
スリット加工の巾は下記による。
・挿入鋼板　4.5mmの場合　　6mm
・挿入鋼板　6mmの場合　　8mm
・挿入鋼板　9mmの場合　　11mm
・挿入鋼板　12mmの場合　　14mm

3.7 表面仕上げ
面取り形状，表面仕上げの程度は、要求に応じた仕様とする。

3.8 集成材部材の工場塗装
ａ．　素地調整
塗装前に塗装面のよごれ、付着物等を撤去する。
ｂ．　養生塗装として、バトンＬＶＬ(大谷塗料)Ｆ☆☆☆☆同等品以上の木材保護塗料を１回塗りとし、塗装膜に十分乾燥するまで養生する。

3.9 接合金物の寸法
ａ．　製品の寸法精度
・幅、長さ　　±2mm以内
・ボルト穴径及び穴心距離　　±1mm以内
ｂ．　ボルト穴
・ボルト、ドリフトピン、ラグスクリュー
M12：D+1.0mm、M16以上：D+1.5mm

3.10 接合金物の溶接
ａ．　溶接工は下記による技量を有する者とする。
・手　溶　接　　ＪＩＳ　Ｚ３８０１（溶接技術検定試験における試験方法および判定基準）
・半自動溶接　　ＪＩＳ　Ｚ３８４１（半自動溶接技術検定試験における試験方法および判定基準）

3.11 接合金物の防錆処理（塗装については、工場塗装範囲を記す）
ａ．　屋内
■　ＪＩＳ　K5621　（一般錆止めペイント）１種　　１回
□　ＪＩＳ　H8641　（溶融亜鉛メッキ）2種
ｂ．　屋外
□　ＪＩＳ　K5621　（一般錆止めペイント）１種　　１回
■　ＪＩＳ　H8641　（溶融亜鉛メッキ）2種
ｃ．　ボルト・ナット・座金
■　ＪＩＳ　H8610　（電気亜鉛メッキ）
□　ＪＩＳ　H8641　（溶融亜鉛メッキ）2種　　※屋外のみ

## 4　製品検査

4.1 一般事項
ａ．　製品は、工場製作完了後部材の検査をおこない検査記録を提出して、係員の確認を受ける。
ｂ．　製品検査の検査項目および検査要領は、あらかじめ定められた方法によりおこなう。

4.2 検査の項目
ａ．　形状、寸法
部材長さ、断面寸法、曲り、ねじれ、湾曲の角度、断面直角度などの基本寸法を計測する。
ｂ．　取合い部
現場建方に支障がないよう、接合部の角度、ボルト穴径、ボルト穴相互位置、接合金物の取付け具合などを計測または確認する。
ｃ．　外傷
部材表面のきず、接合金物の外傷などを計測または確認する。

## 5　搬入及び運搬時養生

5.1 輸送計画
製品の輸送にあたっては、建方計画に支障の生じないように道路状況、現場の作業の手順などを考慮し、十分な検討をおこなう。

5.2 組立て符号
部材はすべて、加工図（部材番号、取合い符号などを記入）により符号をつける。

5.3 輸送
積込み、荷降ろしまたは輸送中に製品がひずみ・変形などを生じないように荷台を調整し、長尺物、異形物などは適切な養生方法を講ずる。

## 6　建　方

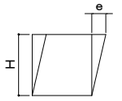
6.1 一般事項
ａ．　現場建方については、予め建方計画書を提出し係員の承認を受けるものとする。
ｂ．　建方計画にあたっては、建方精度に規定する諸寸法を保持するよう部材の組立て順序を立案し、あわせて作業期間中の安全を考慮する。
ｃ．　建方に用いる機械は、最大吊荷重、作業半径および建物の規模・形状により最適機種を選定しその機械の特性に適した使用法を計画するとともに、不慮の衝撃などに対しても安全であるようにする。
ｄ．　建方中における仮設用の機械、資材の仮置きおよび強風時に、各部材・接合部に生ずる応力に対しては、短期許容応力度を超えないようにし、倒壊防止に有効な措置をほどこす。

6.2 搬入および仕分け
ａ．　製品の受入れにあたっては、工場からの送り状と照合し、数量を確認する。
ｂ．　製品は、建方順序に従い仕分けして集積する。
ｃ．　集積の際、部材は適当な受台の上に置き、材に曲がり・ねじれなどの損傷を与えないよう注意する。
ｄ．　部材の曲がり・ねじれなどを発見した場合は、建方に先立ちこれを修正する。

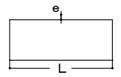
6.3 地組
建方に先立って地組をおこなう場合は、寸法精度を保持するために有効な架台・治具などを用いておこなう。

6.4 建方
ａ．　建方計画にもとづき、順次建方をおこなう。この際原則として、筋かい、方づえなどの斜材を同時に取付けながら進める。
ｂ．　必要に応じて仮設支柱を立てて架構を保持する。この仮設支柱は本接合が完了するまで保持する。
ｃ．　建方完了後または定められた工程の建方が完了した場合は、建方の検査を行う。ただし、検査記録により、その一部または全部を省略することがある。
ｄ．　本接合は、建入れひずみを修正したのち、あらかじめ定められた順序、工法にもとづいておこなう。
ｅ．　建て方の作業中、風圧力その他の荷重に対しては、必要に応じ臨時の筋かいその他の支持材で補強する。
ｆ．　トラス、その他の吊上げまたは建方にあたっては、適切な補強をおこなう。
ｇ．　建方の作業中、横架材上に材料または機械などの重量物を積載し、あるいは柱に大きな引張力を与える場合は、係員の承認をうけ、かつ必要な補強をおこなう。
ｈ．　建方の精度基準は特記による。特記がない場合は下記による。

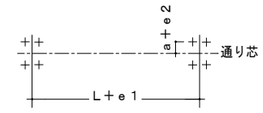
① 建物の倒れ
ｅ≦Ｈ/2,500 ＋10mm
かつ
ｅ≦30mm



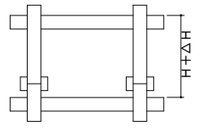

② 建物の湾曲
ｅ≦Ｌ/2,500
かつ
ｅ≦25mm



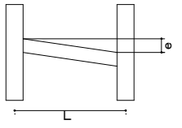

③ 柱据付け面の高さおよびアンカーボルトの位置
・柱据付け面の基準高さからの誤差は±3mm以下
・柱隣接間中心距離の誤差　　e1≦±1mm
・通り芯からの誤差　　e2≦±3mm



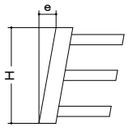

④ 階高
－5mm≦ΔＨ≦＋5mm




⑤ はりの水平度
ｅ≦Ｌ/1,000＋3mm
かつ
ｅ≦10mm




⑥ 柱の倒れ
ｅ≦Ｈ/1,000
かつ
ｅ≦10mm




## 7　防腐・防蟻処理

GL+1.0mまでの木材の部分には、防腐防蟻処理を行う。

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 構造用集成材躯体木工事仕様書 |
| 縮尺 | - |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-09 |

A2版(71%) S=1/14
A3版(50%) S=1/20

# スリーエスG工法特記仕様書 [GBRC性能証明 第07-21号改2]

## 1．工事概要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
このエ法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

## 2．一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（以下指針という）及び
スリーエスG工法　品質・施工マニュアルによる工事を行う。

## 3．特記事項

(1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
(2) コラム設計基準強度はFc=1000kN/㎡、設計時に想定するF検定結果は既往の調査結果から変動係数の推定値を25%以下、不良率10%とする。
(3) 施工法は改良体の変動係数が25%以下であることが、公的機関で証明されている工法とする。
(4) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
(5) セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。
(6) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所における性能証明を有する工法を選定する。
(7) 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

## 4. 施工計画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

(1) 地盤概要
(2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度）
(3) 工事期間及び工程
(4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等）
(5) 施工機器及び仮設設備と配置
(6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法
(7) 建築技術性能証明書
(8) その他、必要事項

## 5．施工機械

(1) 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
(2) 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
(3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
(4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
(5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

## 6．配合試験

(1) 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

| 試験名 | 室内配合試験 |
|---|---|
| 試料箇所数 | 1箇所 |

## 7．配合管理

(1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント又はセメント系固化材とする。
(2) 配合強度
配合管理目標変動係数を想定し、「8.品質検査」に規定する抜き取り箇所数Nから表１を用いて$\alpha_t$を決め、配合強度$X_f$を設定する。

$X_f = Fc \times \alpha_t$

$X_f$：配合強度
Fc：設計基準強度
$\alpha_t$：割増係数

表1. 割増係数（L(p)=80%,Vd=25%の場合）

| 配合管理目標Vd | 抜取箇所数(N) | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25% | 割増係数$\alpha_t$ | 2.163 | 1.918 | 1.815 | 1.719 | 1.651 | 1.594 |

(3) 配合量（固化材量とW/C）
室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$X_l = X_f / \alpha_{fl}$

$X_l$：室内配合強度
$X_f$：配合強度
$\alpha_{fl}$：現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

暫定配合量300(kg/m$^3$)、W/C＝70%　【最終的には配合試験により決定する。】

## 8．品質検査

(1) 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数。
① 検査対象群は概ねコラム300本を１単位とする。（※検査対象層は50cm以上の土層を対象とする。）
② 検査対象層（砂質粘土、粘土質中砂、シルト質中砂）であり設計対象層を（砂質粘土）とする。
③ 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。その場合は、選定工法による改良体の強度のバラツキデータを添付すること。
④ 調査箇所数（検査対象群に対して）

表２．調査箇所数

| | | | |
|---|---|---|---|
| 検査手法A | 頭部モールドコア試験試験 | | 2箇所 |
| | 深部コア試験 | 全長ボーリングコア | 1箇所 |
| | | モールドコア | 1箇所 |

注記）深部コア採取の内、最低1箇所については機械ボーリングによる全長コア採取を行い、下記(2)コア採取率を調査する。
他の箇所については、モールドコアで行ってもよい。

(2) コア採取率による調査
コアボーリング調査の内、検査対象群に1箇所の割合でコア採取率を調査する。
コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%、深さ１ｍごとに粘性土で85%、砂質土で90%以上であることを確認する。

(3) 合否の判定
① 設計対象層についての抜き取り１箇所に対して３個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は、公的機関、第三者機関または検査員立会いのもとに行うものとする。
③ 検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aとする。
④ 検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるN箇所(抜き取り箇所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$\overline{X_N} \geqq X_L = Fc + ka \cdot \sigma d$

$\overline{X_N}$：N箇所の一軸圧縮強度の平均値（kN/㎡）
$X_L$：合格判定値（kN/㎡）
Fc：設計基準強度（kN/㎡）
ka：合格判定係数
$\sigma d$：標準偏差（kN/㎡）　（$\sigma d = Vd \cdot \overline{qud}$）
Vd：想定した強度の変動係数
$\overline{qud}$：想定した平均一軸圧縮強さ（kN/㎡）

| 抜取箇所数N | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9～ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合格判定係数Ka | 1.9 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | 1.3 |

(4) 六価クロム溶出試験
配合計画段階に、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。なお、試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。
（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
検査検体数、検査対象層、基準値は下記のものとする。
検体数：1検体
対象層：設計対象層（砂質粘土）
基準値：0.05（mg/L）以下

## 9．工事報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

① コラム伏図及び番号
② コラムの施工日
③ コラムの径及び改良長
④ 掘削深度
⑤ 固化材の配合と使用量
⑥ コア圧縮強度試験結果
⑦ 合格判定結果

## １０．その他

# ボーリング柱状図

調　査　名　福山市光交流館改築工事に伴う地質調査委託

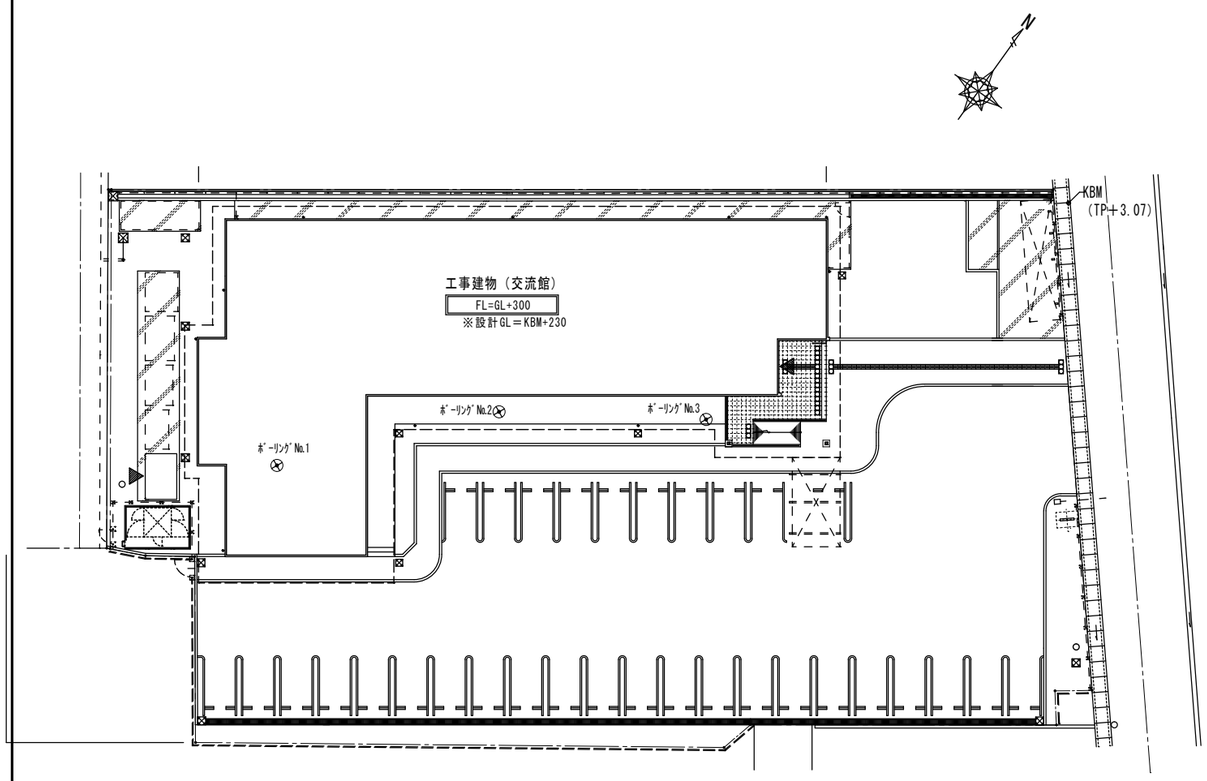
ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo.

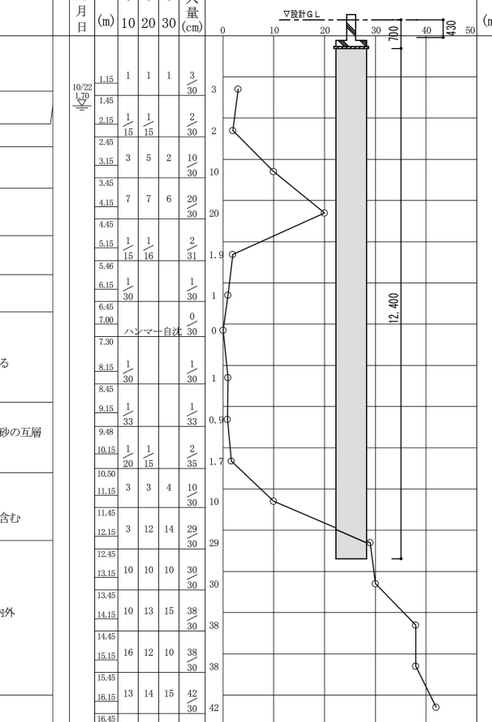
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボーリング名 | No.1 | 調査位置 | 広島県福山市草戸町四丁目地内 | | | 北緯 | 34° 28’ 25.0″ |
| 発注機関 | 広島県福山市建設局建築部営繕課 | | | 調査期間 | 2024年 10月 22日 ～ 2024年 10月 24日 | 東経 | 133° 21’ 33.3″ |
| 調査業者名 | 協同組合地質調査技士同友会 電話（084-978-0980） | 主任技師 | 升谷健治郎 | 現場代理人 | 升谷健治郎 | コア鑑定者 | 升谷健治郎 | ボーリング責任者 | 升谷健治郎 |
| 孔口標高 | TP +2.87m | 角度 | 上 180° 90° 下 0° | 方向 | 北 0° 東 90° 南 180° 西 270° | 地盤勾配 | 水平 0° 鉛直 90° | 使用機種 | 試錐機 | 東邦D1-B58 | ハンマー落下用具 | 半自動落下装置 |
| 総掘進長 | 16.00m | | | | | | | | エンジン | ヤンマーNFD-13E | ポンプ | 東邦BG-3B |

| 標尺 (m) | 標高 (m) | 層厚 (m) | 深度 (m) | 柱状図 | 土質区分 | 色調 | 相対密度 | 相対稠度 | 記事 | 孔内水位(m)／測定月日 | 標準貫入試験 深度 (m) | 10cmごとの打撃回数 0～10 | 10～20 | 20～30 | 打撃回数／貫入量(cm) | N値 | 原位置試験 深度 (m) | 試験名および結果 | 試料採取 深度 (m) | 試料番号 | 採取方法 | 室内試験（ ） | 掘進月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1.52 | 1.35 | 1.35 | | 中砂 | 淡褐 | 非常に緩い | | 粒径均一<br>粗、中砂主体、中砂優勢 | 10/22 12:00 | 1.15 | 1 | 1 | 1 | 3/30 | 3 | | | | | | | |
| | 1.17 | 0.35 | 1.70 | | 粘土質中砂 | 褐 | 非常に緩い | | 中砂主体 | | 1.45 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 0.17 | 1.00 | 2.70 | | 砂質粘土 | 暗褐灰 | | 軟らかい | 粘土質、砂質粘土の互層<br>若干砂質粘土優勢 | | 2.15 | 1/15 | 1/15 | | 2/30 | 2 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2.45 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | -0.83 | 1.00 | 3.70 | | 礫混り粗砂 | 淡暗灰 | 中ぐらい | | 礫φ2～7mm亜角礫10%<br>粗、中砂主体 | | 3.15 | 3 | 5 | 2 | 10/30 | 10 | | | 3.15 | P1-1 | ○ | 粒度 | |
| | | | | | | | | | | | 3.45 | | | | | | | | 3.45 | | | | |
| 4 | -1.98 | 1.15 | 4.85 | | 礫混り中砂 | 淡暗灰 | 中ぐらい | | 礫φ2～6mm亜角礫5～8%<br>粒径均一 | | 4.15 | 7 | 7 | 6 | 20/30 | 20 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 4.45 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | -2.93 | 0.95 | 5.80 | | 中砂 | 暗青灰 | 非常に緩い | | 粒径均一<br>極少量シルト分含む | | 5.15 | 1/15 | 1/16 | | 2/31 | 1.9 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 5.46 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | -3.83 | 0.90 | 6.70 | | シルト混り中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 粒径均一<br>シルト分10% | | 6.15 | 1/30 | | | 1/30 | 1 | | | 6.15 | P1-2 | ○ | 粒度 | |
| | | | | | | | | | | | 6.45 | | | | | | | | 6.45 | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | 7.00 | ハンマー自沈 | | | 0/30 | 0 | | | | | | | |
| 8 | -6.03 | 2.20 | 8.90 | | 砂質粘土 | 暗灰 | | 非常に軟らかい | 粘土主体<br>所々、砂の薄層がみられる | | 7.30<br>8.15 | 1/30 | | | 1/30 | 1 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 8.45 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | 9.15 | 1/33 | | | 1/33 | 0.9 | | | 9.15 | P1-3 | ○ | 粒度 | 10/25 |
| 10 | -7.73 | 1.70 | 10.60 | | シルト質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 砂質シルトとシルト質中砂の互層<br>若干シルト質中砂優勢 | | 9.48<br>10.15 | 1/20 | 1/15 | | 2/35 | 1.7 | | | 9.48 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 10.50 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | 中砂 | 暗灰 | 中ぐらい | | 粒径均一<br>極少量、細礫混入<br>下層に従いシルト分多く含む | | 11.15 | 3 | 3 | 4 | 10/30 | 10 | | | 11.15 | P1-4 | ○ | 粒度 | |
| 12 | -9.38 | 1.65 | 12.25 | | | | | | | | 11.45 | | | | | | | | 11.45 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 12.15 | 3 | 12 | 14 | 29/30 | 29 | | | | | | | |
| 13 | | | | | 砂礫 | 暗黄灰 | 密な | | 礫φ10～40mm亜円礫60%内外<br>所々礫密集 | | 12.45<br>13.15 | 10 | 10 | 10 | 30/30 | 30 | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | 13.45<br>14.15 | 10 | 13 | 15 | 38/30 | 38 | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | 14.45<br>15.15 | 16 | 12 | 10 | 38/30 | 38 | | | | | | | |
| 16 | -13.13 | 3.75 | 16.00 | | | | | | | | 15.45<br>16.15 | 13 | 14 | 15 | 42/30 | 42 | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | 16.45 | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |




ボーリング位置図　S＝1：200

※設計GL＝TP＋3.30




A2版(71%) S=1/350
A3版(50%) S=1/500

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之
FAX 084-928-6000

| | | |
|---|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | 図面番号 S-11 |
| 図面名称 | ボーリング柱状図（１） | 縮尺 1：200 / 設計年月日 2025年 3月 |

# ボーリング柱状図

調　査　名　福山市光交流館改築工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo. 2

事業・工事名

シートNo.

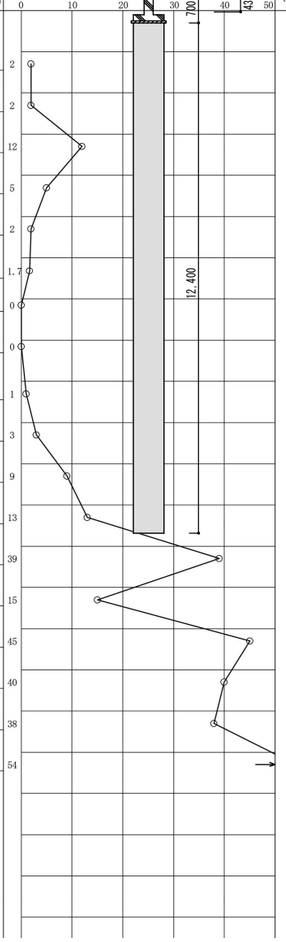
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボーリング名 | No.2 | 調査位置 | 広島県福山市草戸町四丁目地内 | | | 北緯 | 34° 28’ 25.5″ |
| 発注機関 | 広島県福山市建設局建築部営繕課 | | | 調査期間 | 2024年 10月 26日 ～ 2024年 10月 30日 | 東経 | 133° 21’ 33.7″ |
| 調査業者名 | 協同組合地質調査技士同友会 電話（084-978-0980） | 主任技師 | 升谷健治郎 | 現場代理人 | 升谷健治郎 | コア鑑定者 | 升谷健治郎 | ボーリング責任者 | 升谷健治郎 |
| 孔口標高 | TP +2.87m | 角度 | 上180° 下0° 90° | 方向 | 北0° 西270° 東90° 南180° | 地盤勾配 | 鉛直90° 水平0° | 使用機種 | |
| 総掘進長 | 18.00m | | | | | 試錐機 | 東邦D1-B58 | ハンマー落下用具 | 半自動落下装置 |
| | | | | | | エンジン | ヤンマーNFD-13E | ポンプ | 東邦BG-3B |

| 標尺(m) | 標高(m) | 層厚(m) | 深度(m) | 柱状図 | 土質区分 | 色調 | 相対密度 | 相対稠度 | 記事 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1.42 | 1.45 | 1.45 | | 中砂 | 淡褐 | 非常に緩い | | 粒径均一<br>若干細砂を含む<br>0.85mより暗灰に移行 |
| 2 | -0.83 | 2.25 | 3.70 | | 粘土質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い～やや中らい | | 極少量細礫を含む<br>粘土混り中砂を所々挟む |
| 4 | -1.93 | 1.10 | 4.80 | | 礫混り粗砂 | 暗灰 | 緩い | | 礫φ5～7mm亜角礫20%内外 |
| 5 | -2.83 | 0.90 | 5.70 | | シルト混り中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 細礫少量混入<br>粗砂若干混入 |
| 6 | -3.93 | 1.10 | 6.80 | | シルト質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 含水比大<br>砂は中砂主体 |
| 8 | -5.93 | 2.00 | 8.80 | | 砂質粘土 | 暗灰 | | 非常に軟らかい | 粘土質砂の互層状<br>若干、砂質粘土優勢<br>8.00m付近よりシルト分多い |
| 9 | -6.73 | 0.80 | 9.60 | | シルト質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 所々シルト分多い<br>砂～中砂 |
| 10 | -7.73 | 1.00 | 10.60 | | シルト混り中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | シルト質中砂の互層状<br>シルト混り中砂優勢 |
| 11 | -8.83 | 1.10 | 11.70 | | 中砂 | 暗灰 | 緩い | | 粒径均一<br>少量細砂含有 |
| 12 | -9.63 | 0.80 | 12.50 | | 礫混り粗砂 | 暗灰 | 中ぐらい | | 礫φ2～7mm亜角礫15%内外<br>粗、中砂主体 |
| 13 | | | | | 砂礫 | 暗灰 | 密な | | 礫φ10～30mm亜円礫60%内外 |
| 14 | -11.23 | 1.60 | 14.10 | | | | | | |
| | -11.63 | 0.40 | 14.50 | | 細砂 | 淡暗灰 | 中ぐらい | | 細砂主体 |
| 15 | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | 砂礫 | 暗黄灰 | 密な | | 礫φ30～40mm亜円礫60%<br>17.50mより密度を増す<br>所々、礫混り砂を挟む |
| 17 | | | | | | | | | |
| 18 | -15.13 | 3.50 | 18.00 | | | | | | |

孔内水位(m)／測定月日：10/28 1.20

標準貫入試験

| 深度(m) | 10cmごとの打撃回数 0～10 | 10～20 | 20～30 | 打撃回数／貫入量(cm) | N値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.15 | 1 | 1/20 | | 2/30 | 2 |
| 1.45 | 1/20 | 1 | | 2/30 | 2 |
| 2.15 | | | | | |
| 2.45 | 4 | 4 | 4 | 12/30 | 12 |
| 3.15 | | | | | |
| 3.45 | 1 | 2 | 2 | 5/30 | 5 |
| 4.15 | | | | | |
| 4.45 | 1/15 | 1/15 | | 2/30 | 2 |
| 5.15 | | | | | |
| 5.45 | 1/20 | 1/15 | | 2/35 | 1.7 |
| 6.15 | | | | | |
| 6.50 | ハンマー自沈 | | | 0/30 | 0 |
| 7.00 | | | | | |
| 7.30 | ハンマー自沈 | | | 0/31 | 0 |
| 8.00 | | | | | |
| 8.31 | 1/30 | | | 1/30 | 1 |
| 9.15 | | | | | |
| 9.45 | 1 | 1 | 1 | 3/30 | 3 |
| 10.15 | | | | | |
| 10.45 | 1 | 4 | 4 | 9/30 | 9 |
| 11.15 | | | | | |
| 11.45 | 5 | 4 | 4 | 13/30 | 13 |
| 12.15 | | | | | |
| 12.45 | 13 | 15 | 11 | 39/30 | 39 |
| 13.15 | | | | | |
| 13.45 | 4 | 5 | 6 | 15/30 | 15 |
| 14.15 | | | | | |
| 14.45 | 11 | 20 | 14 | 45/30 | 45 |
| 15.15 | | | | | |
| 15.45 | 12 | 14 | 14 | 40/30 | 40 |
| 16.15 | | | | | |
| 16.45 | 12 | 14 | 12 | 38/30 | 38 |
| 17.15 | | | | | |
| 17.45 | 17 | 16 | 21 | 54/30 | 54 |
| 18.15 | | | | | |
| 18.45 | | | | | |




原位置試験：深度(m)／試験名および結果

試料採取：深度(m)／試料番号／採取方法／室内試験（ ）

掘進月日：10/26 10/28 10/29 10/30

# ボーリング柱状図

調　査　名　福山市光交流館改築工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo. 3

事業・工事名

シートNo.

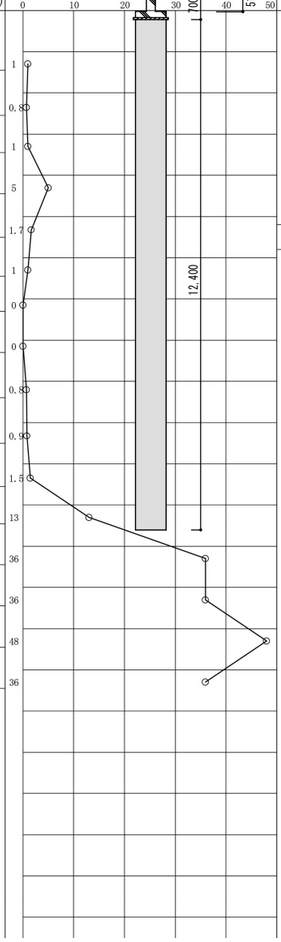
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボーリング名 | No.3 | 調査位置 | 広島県福山市草戸町四丁目地内 | | | 北緯 | 34° 28’ 25.7″ |
| 発注機関 | 広島県福山市建設局建築部営繕課 | | | 調査期間 | 2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 7日 | 東経 | 133° 21’ 34.2″ |
| 調査業者名 | 協同組合地質調査技士同友会 電話（084-978-0980） | 主任技師 | 升谷健治郎 | 現場代理人 | 升谷健治郎 | コア鑑定者 | 升谷健治郎 | ボーリング責任者 | 升谷健治郎 |
| 孔口標高 | TP +2.79m | 角度 | 上180° 下0° 90° | 方向 | 北0° 西270° 東90° 南180° | 地盤勾配 | 鉛直90° 水平0° | 使用機種 | |
| 総掘進長 | 16.00m | | | | | 試錐機 | 東邦D1-B58 | ハンマー落下用具 | 半自動落下装置 |
| | | | | | | エンジン | ヤンマーNFD-13E | ポンプ | 東邦BG-3B |

| 標尺(m) | 標高(m) | 層厚(m) | 深度(m) | 柱状図 | 土質区分 | 色調 | 相対密度 | 相対稠度 | 記事 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1.14 | 1.65 | 1.65 | | 中砂 | 褐灰～暗灰 | 非常に緩い | | 粗砂若干含む<br>細、中砂主体<br>中砂優勢 |
| 2 | -0.96 | 2.10 | 3.75 | | 砂質粘土 | 暗青灰 | | 非常に軟らかい | 粘土主体<br>所々粘土質砂を挟む |
| 4 | -1.86 | 0.90 | 4.65 | | 礫混り粗砂 | 暗灰 | 緩い | | 礫φ5～8mm亜角礫20%内外 |
| 5 | -3.01 | 1.15 | 5.80 | | シルト混り中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 細、中砂主体<br>若干中砂優勢 |
| 6 | -3.96 | 0.95 | 6.75 | | シルト質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 所々シルト分の多い部分が見られる |
| 8 | -6.01 | 2.05 | 8.80 | | 砂質粘土 | 暗灰 | | 非常に軟らかい | 粘土質砂の互層状<br>若干、砂質粘土優勢 |
| 9 | -7.71 | 1.70 | 10.50 | | シルト質中砂 | 暗灰 | 非常に緩い | | 所々シルト分が多い<br>細、中砂主体 |
| 10 | -8.26 | 0.55 | 11.05 | | シルト混り中砂 | 暗灰 | | | 細、中砂主体<br>中砂優勢 |
| 11 | -8.91 | 0.65 | 11.70 | | 砂質粘土 | 暗灰 | | 非常に軟らかい | 粘土主体<br>粘着力大 |
| 12 | -9.71 | 0.80 | 12.50 | | 中砂 | 暗灰 | 中ぐらい | | 粒度分布、良好<br>粗砂、少量含む |
| 13 | | | | | 砂礫 | 暗黄灰 | 密な | | 礫φ10～40mm亜円礫主体60%内外<br>所々、礫密集している |
| 16 | -13.21 | 3.50 | 16.00 | | | | | | |

孔内水位(m)／測定月日：11/5 1.80

標準貫入試験

| 深度(m) | 10cmごとの打撃回数 0～10 | 10～20 | 20～30 | 打撃回数／貫入量(cm) | N値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.15 | 1/30 | | | 1/30 | 1 |
| 1.45 | 1/40 | | | 1/40 | 0.8 |
| 2.15 | | | | | |
| 2.55 | 1/30 | | | 1/30 | 1 |
| 3.15 | | | | | |
| 3.45 | 1 | 2 | 2 | 5/30 | 5 |
| 4.15 | | | | | |
| 4.45 | 1/20 | 1/15 | | 2/35 | 1.7 |
| 5.15 | | | | | |
| 5.20 | 孔内水平載荷試験 Em=1,995MN/m2 | | | | |
| 5.80 | | | | | |
| 5.50 | 1/30 | | | 1/30 | 1 |
| 6.15 | | | | | |
| 6.45 | ハンマー自沈 | | | 0/30 | 0 |
| 7.00 | | | | | |
| 7.30 | ハンマー自沈 | | | 0/30 | 0 |
| 8.00 | | | | | |
| 8.30 | 0/20 | 1/20 | | 1/40 | 0.8 |
| 9.00 | | | | | |
| 9.40 | 1/35 | | | 1/35 | 0.9 |
| 10.15 | | | | | |
| 10.50 | 1/20 | 1/20 | | 2/40 | 1.5 |
| 11.15 | | | | | |
| 11.55 | 3 | 5 | 5 | 13/30 | 13 |
| 12.15 | | | | | |
| 12.45 | 11 | 13 | 12 | 36/30 | 36 |
| 13.15 | | | | | |
| 13.45 | 11 | 11 | 14 | 36/30 | 36 |
| 14.15 | | | | | |
| 14.45 | 18 | 17 | 13 | 48/30 | 48 |
| 15.15 | | | | | |
| 15.45 | 12 | 13 | 11 | 36/30 | 36 |
| 16.15 | | | | | |
| 16.45 | | | | | |




原位置試験：深度(m)／試験名および結果

試料採取：深度(m)／試料番号／採取方法／室内試験（ ）

掘進月日：11/5 11/6 11/7

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
1級建築士（登録183507号） 構造1級建築士（登録7233号） 設備1級建築士（登録2832号）
高橋 啓之

A2版(71%)
A3版(50%)

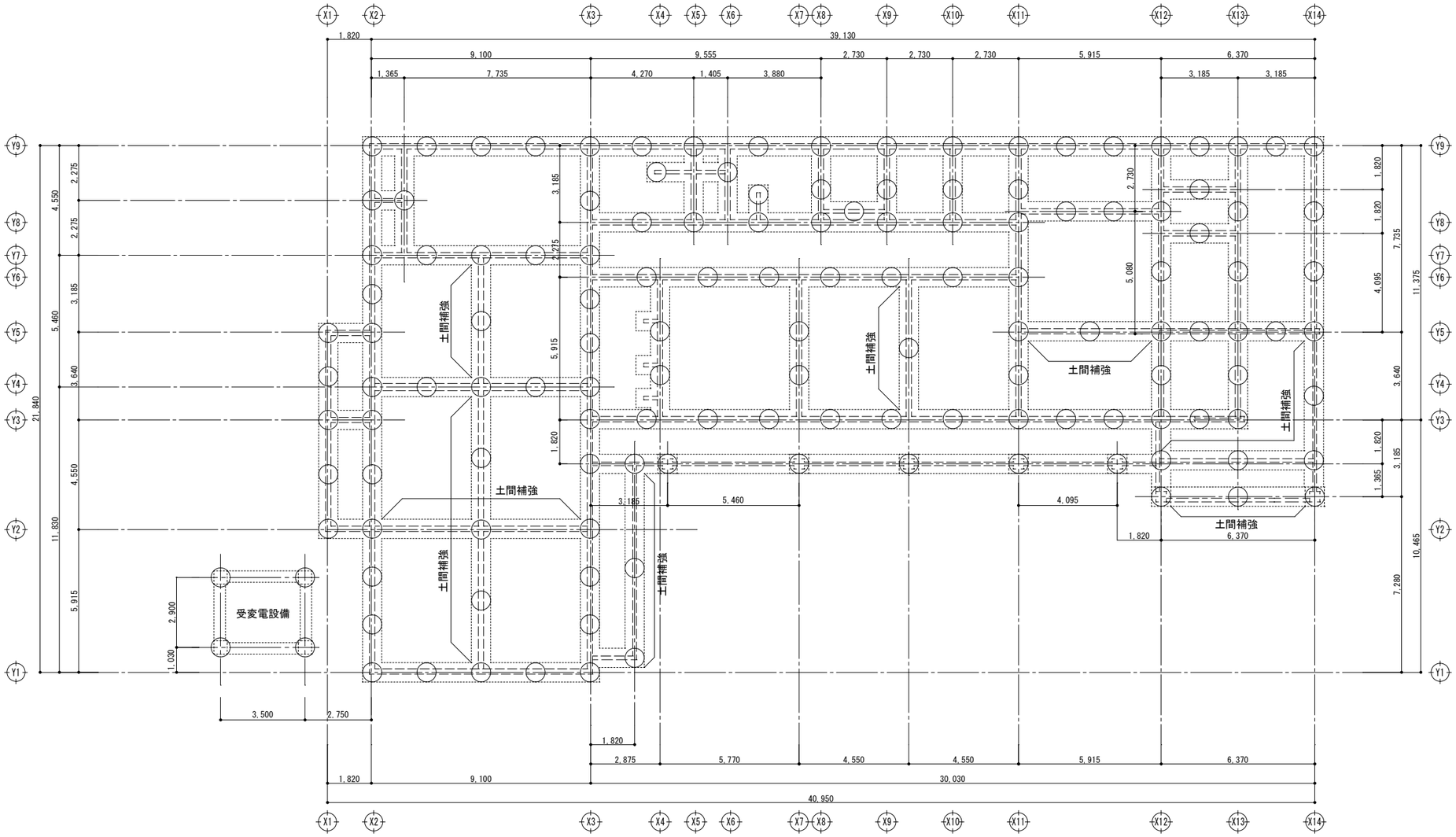
工事名称　福山市光交流館改築工事

図面名称　ボーリング柱状図（２）

図面番号　S-12

縮尺

設計年月日　2025年 3月




湿式柱状改良工法設計概要（受変電設備）

| ◯ 工法名：スリーエスＧ工法（GBRC性能証明　第07-21号　改2） | |
|---|---|
| 改良径 | φ800mm |
| 改良長 | 12.40m |
| 空堀深 | 0.70m |
| 改良天端高さ | 設計GL-0.7m |
| 先端深度 | 設計GL-13.10m |
| 本数 | 4本 |
| 設計基準強度 | Fc=1000kN/㎡ |
| 長期地耐力度 | Lfe=30kN/㎡ |

湿式柱状改良工法設計概要（本体建物）

| ◯ 工法名：スリーエスＧ工法（GBRC性能証明　第07-21号　改2） | |
|---|---|
| 改良径 | φ800mm |
| 改良長 | 12.40m |
| 空堀深 | 0.70m |
| 改良天端高さ | 設計GL-0.7m |
| 先端深度 | 設計GL-13.10m |
| 本数 | 134本 |
| 設計基準強度 | Fc=1000kN/㎡ |
| 長期地耐力度 | Lfe=50kN/㎡ |

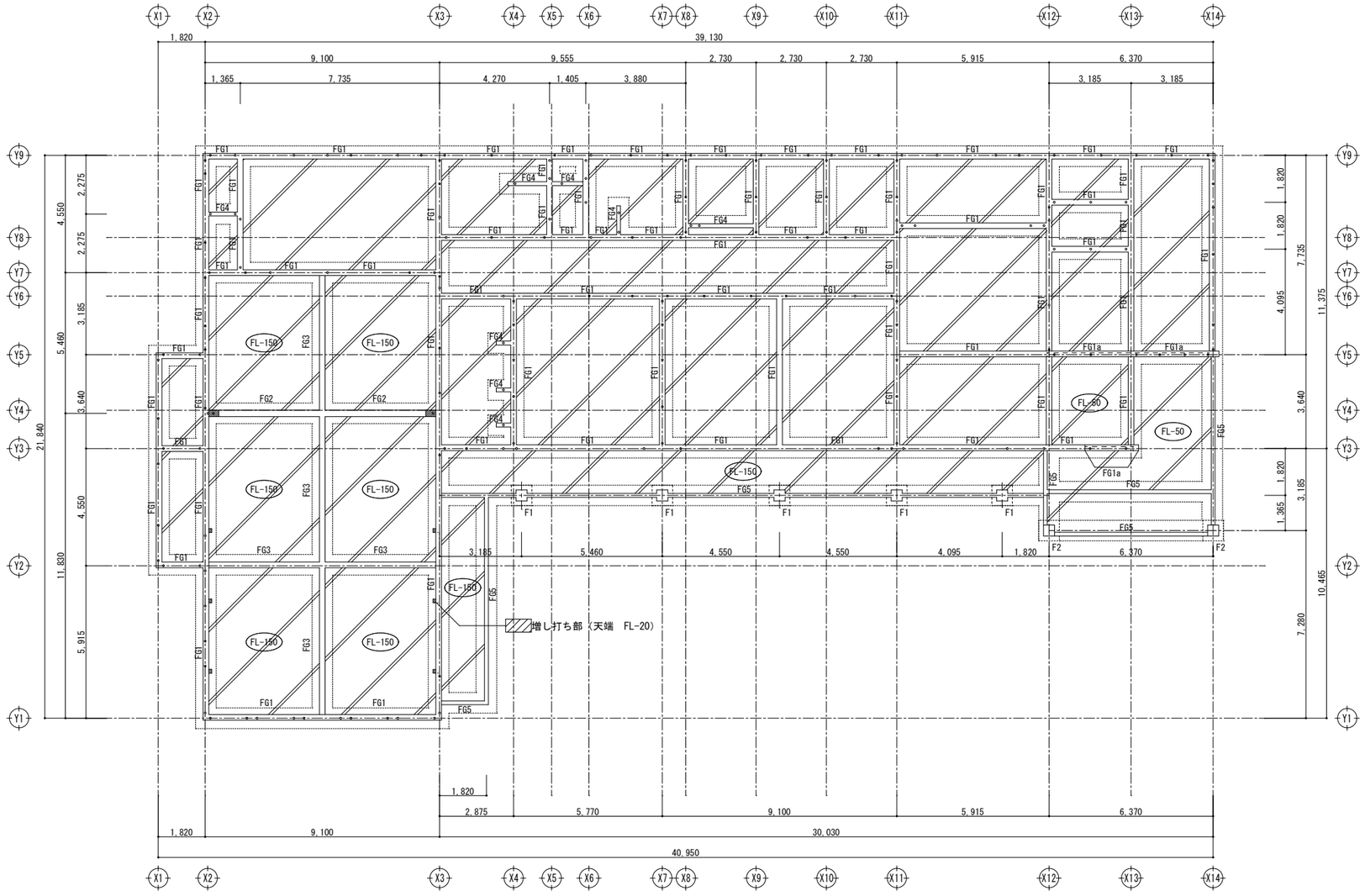
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）　高橋 啓之
FAX 084-928-6000

| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 | 図面番号 | S-13 |
|---|---|---|---|
| 図面名称 | 柱状改良伏図 | 縮尺 | 1：100 |
| | | 設計年月日 | 2025年 3月 |




| 材料強度 | |
|---|---|
| 捨コンクリート | Fc=18N/mm² S15 |
| 基礎コンクリート | Fc=21N/mm² S15 |
| 土間コンクリート | Fc=21N/mm² S15 |
| 鉄筋 | D16以下：SD295 D19以上：SD345 |
| 地盤 | |
| 地業 | - |
| 地耐力 | 50kN/㎡（長期） |
| 部材リスト | |

| 土間コンクリート | |
|---|---|
|  | t=150 土間コンクリート天 特記なき限りGL+280（±5mm） |
| | 配筋：D10@150（短辺）ﾀﾞﾌﾞﾙ、D10@200（長辺）ﾀﾞﾌﾞﾙ |
| | 埋め戻し土は、30cm毎に転圧し締め固めを行うこと |



＜凡例＞

○○ ：スラブ天端

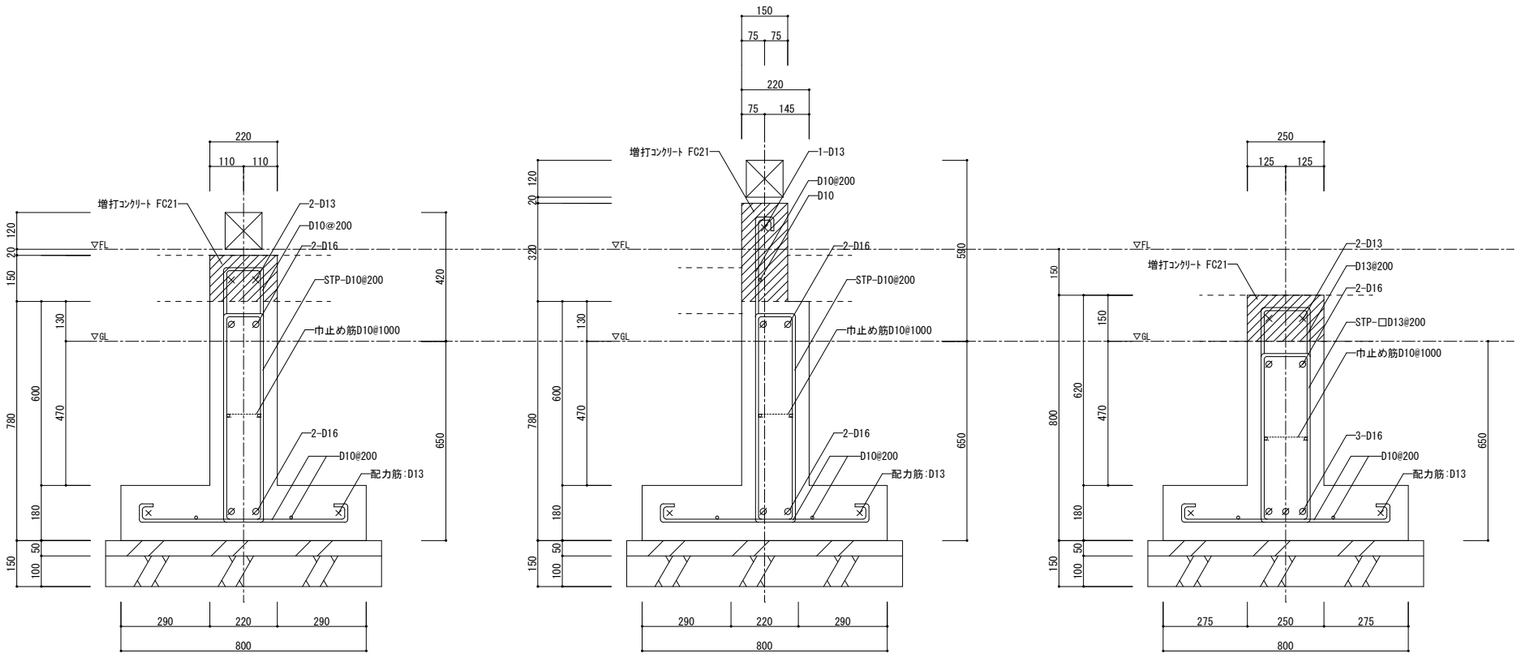
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士 構造１級建築士 設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号） （登録2832号） 高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 基礎伏図 |
| 縮尺 | 1：100 |
| 図面番号 | S-14 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

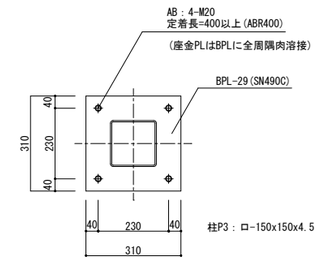
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200



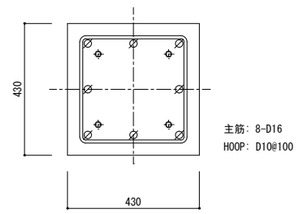

FG1基礎詳細図　1/10

FG1a基礎詳細図　1/10

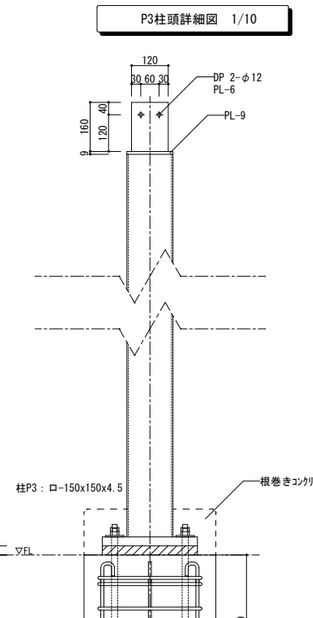
FG2基礎詳細図　1/10



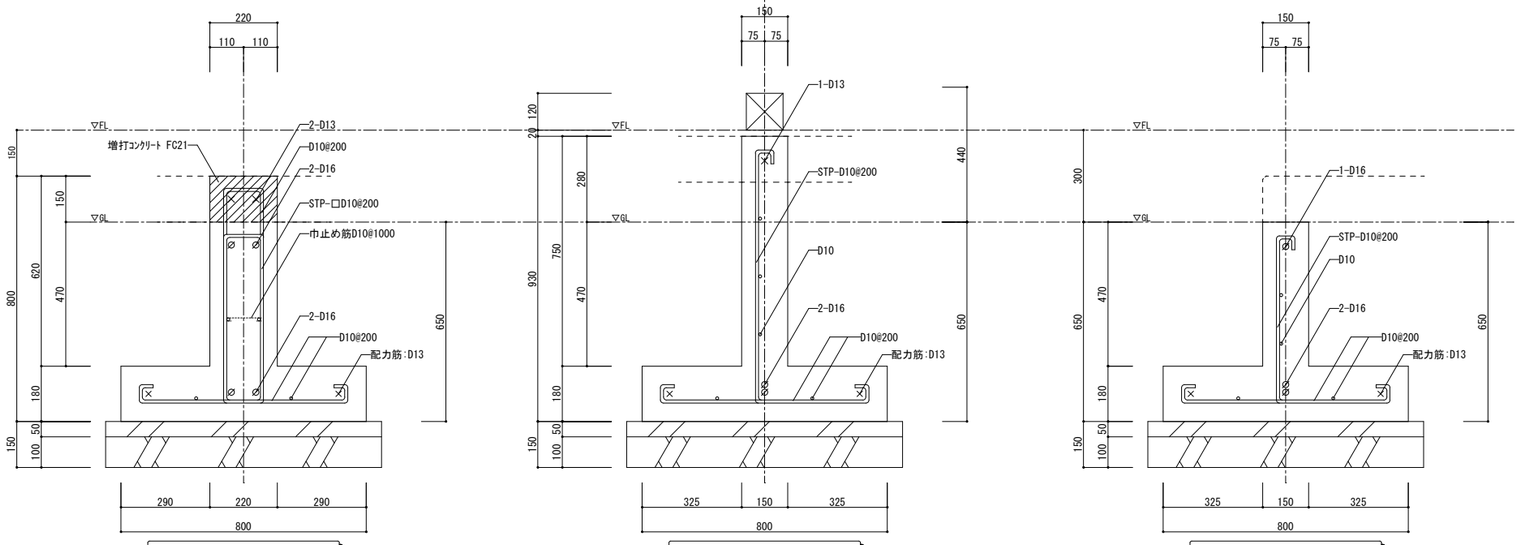

P3柱脚ベースPL詳細図　1/10




F1,F2柱型配筋図　1/10



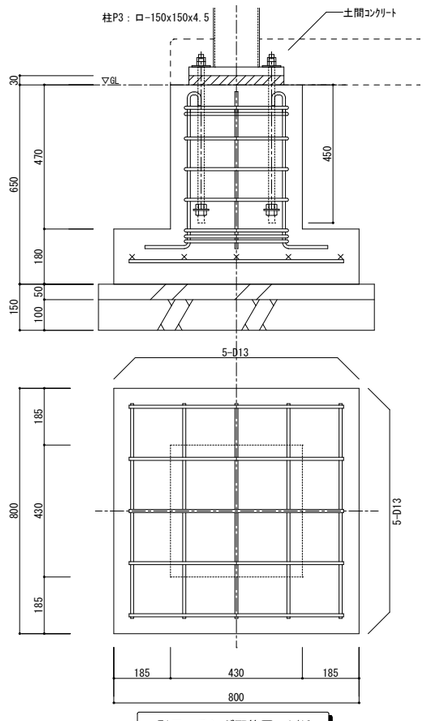

P3柱頭詳細図　1/10



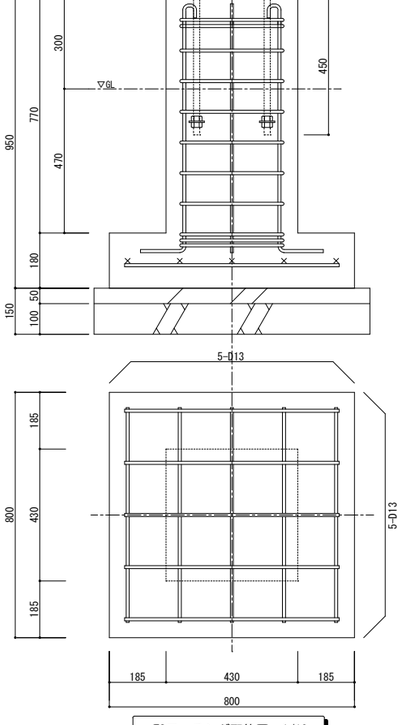

FG3基礎詳細図　1/10

FG4基礎詳細図　1/10

FG5基礎詳細図　1/10




F1フーチング配筋図　1/10




F2フーチング配筋図　1/10

※土台据付部分はセルフレベリング材を用いて天端ならしを行うこと

※鉄骨BPL下は、無収縮ﾓﾙﾀﾙを充填すること

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

工事名称　福山市光交流館改築工事

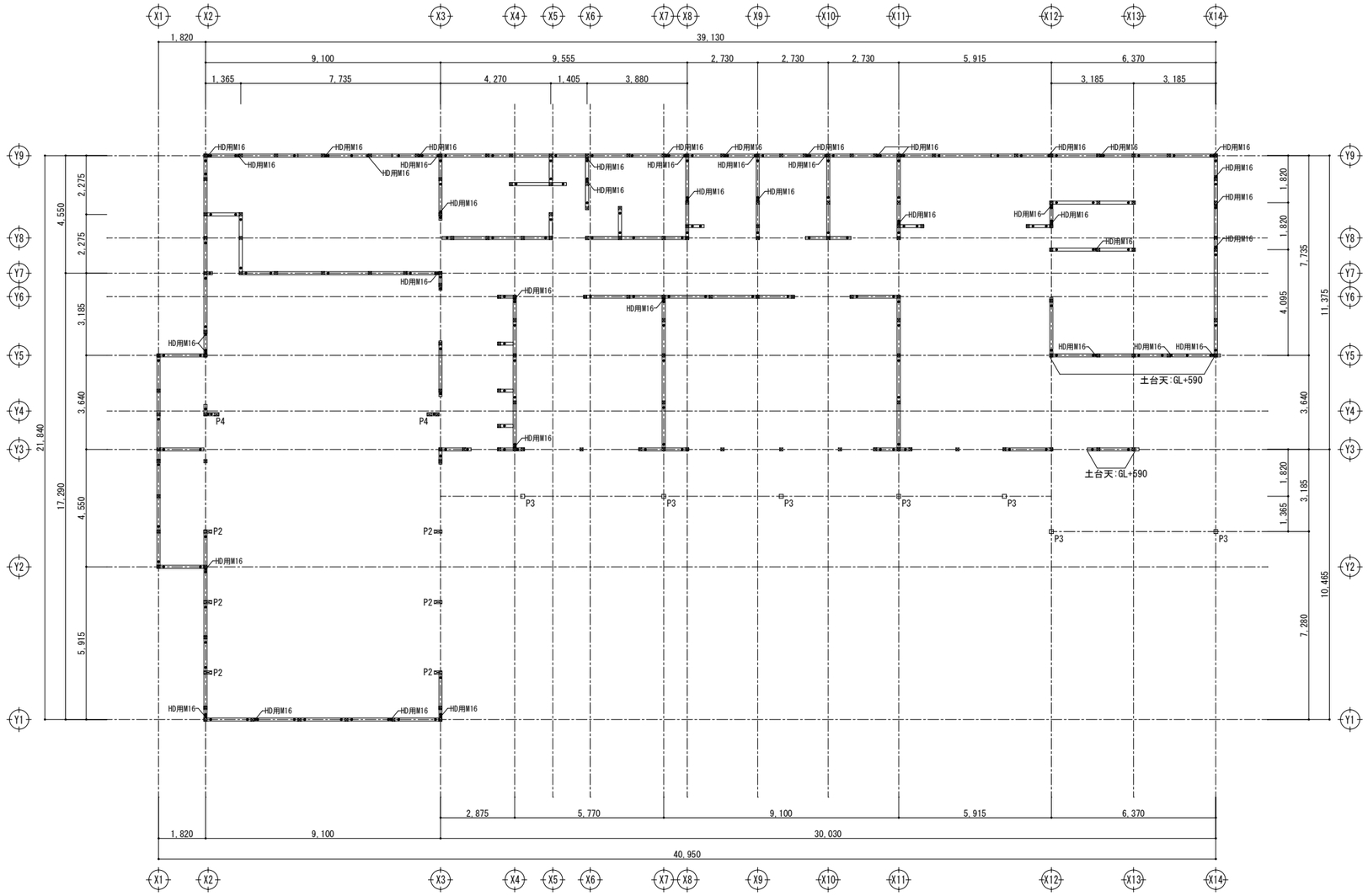
図面名称　基礎詳細図

縮尺　1：10

A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200

図面番号　S-15

設計年月日　2025年 3月




| 部　位 | 記　号 | 寸　法 | 樹　種 | 構 造 材 | 強　度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 土台 | ═══ | 120×120 | ひのき | 構造用製材 | E90 | |
| | | | | | | |
| 柱 | P1 | 120×120 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | P2 | 120×300 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | P3 | ロ-150x150x4.5 | STKR400 | | | |
| | P4 | 120×180 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 土台用<br>アンカーボルト | | ● M12 埋込み長さ＝250mm以上<br>土台端部、土台継ぎ手、耐力壁端部に配置　その他@2000mm以内 | | | | |
| 柱脚用<br>アンカーボルト | | ⊠ M16 埋込み長さ＝360mm以上<br>HD金物15～25kN用　その他メーカー仕様による | | | | |

※特記なき柱はP1とする。
※土台標準天端高さは設計GL+420とする。
※HD用アンカーボルトは、金物耐力を考慮し適切な耐力の金物とすること。

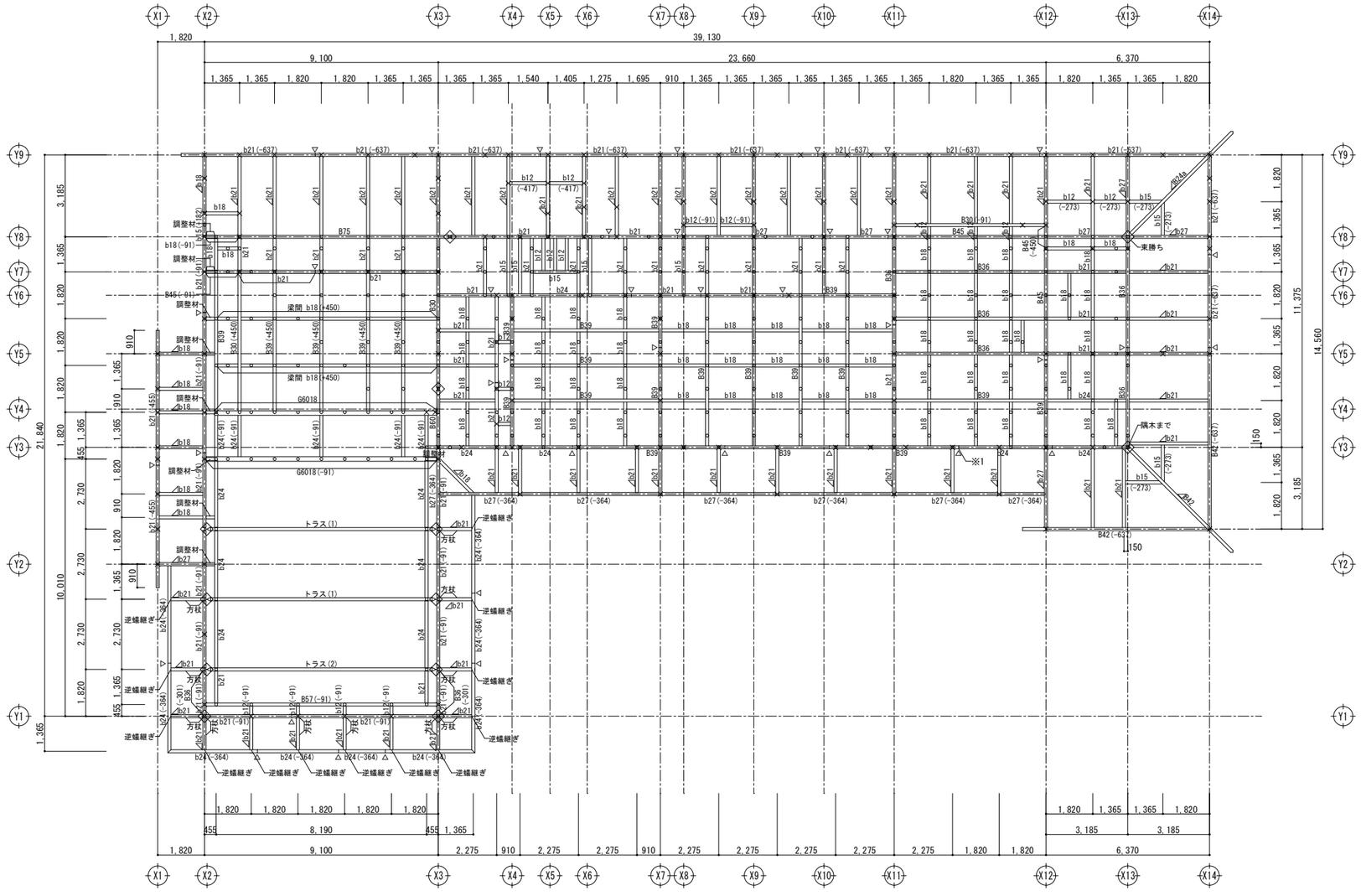
＜凡例＞
⊠　：当階柱

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）
FAX 084-928-6000　高橋 啓之

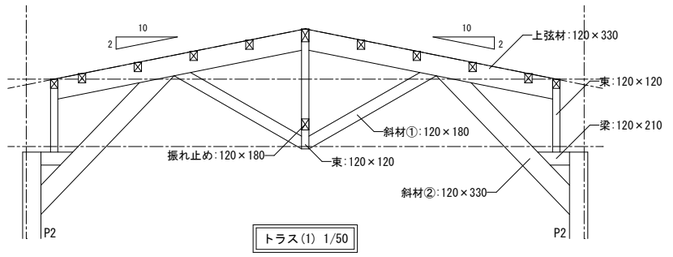
工事名称　福山市光交流館改築工事
図面名称　土台伏図
縮尺　1：100
設計年月日　2025年 3月
図面番号　S-16
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200



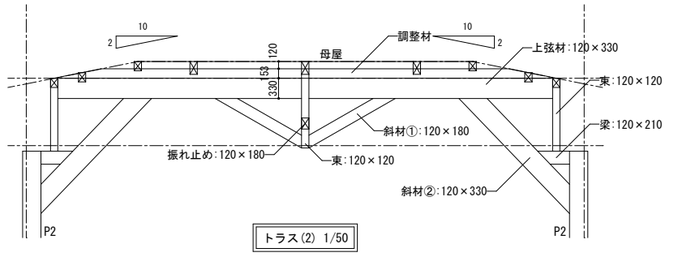

| 部　位 | 記　号 | 寸　法 | 樹　種 | 構 造 材 | 強　度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 梁 | b12 | 120×120 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | b15 | 120×150 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | b18 | 120×180 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | b21 | 120×210 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | b24 | 120×240 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | b27 | 120×270 | すぎ | 構造用製材 | E70 | |
| | B30 | 120×300 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B36 | 120×360 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B39 | 120×390 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B42 | 120×420 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B45 | 120×450 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B57 | 120×570 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B60 | 120×600 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B75 | 120×750 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | B24a | 120×240 | べいまつ | 構造用集成材 | E135-F375 | |
| | G6018 | 180×600 | べいまつ | 構造用集成材 | E135-F375 | |
| 調整材 | | | すぎ | 構造用製材 | | |
| 方杖 | | 120×150 | すぎ | 構造用製材 | | |
| トラス | | 詳細図参照 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 小屋束 | ○ | 120×120 | すぎ | 構造用製材 | | |

※特記なき梁天端はGL+3700とする。(基準梁天端)
※( )内数値は基準梁天端からの高さを示す。
※小屋裏にはXY方向共くも筋かいを設けること。
　≒13x90@3000以内　釘50-2本止め
※小屋束は、かすがい2本打ちとする。
※梁仕口、継手部は羽子板ボルト又は短冊金物で補強すること。
　梁せい300未満-1本引き、300以上-2本引き
※梁に継ぎ手を設ける場合は極力耐力壁内を避けること。
　否応なく耐力壁内に設ける場合は、短冊金物等の引き寄せ金物を両側2段に設けること。

＜凡例＞
×　：梁下柱
—◁　：横架材継ぎ手
◿○○：勾配梁
◇　：柱勝ち
※1　：30kN引張金物

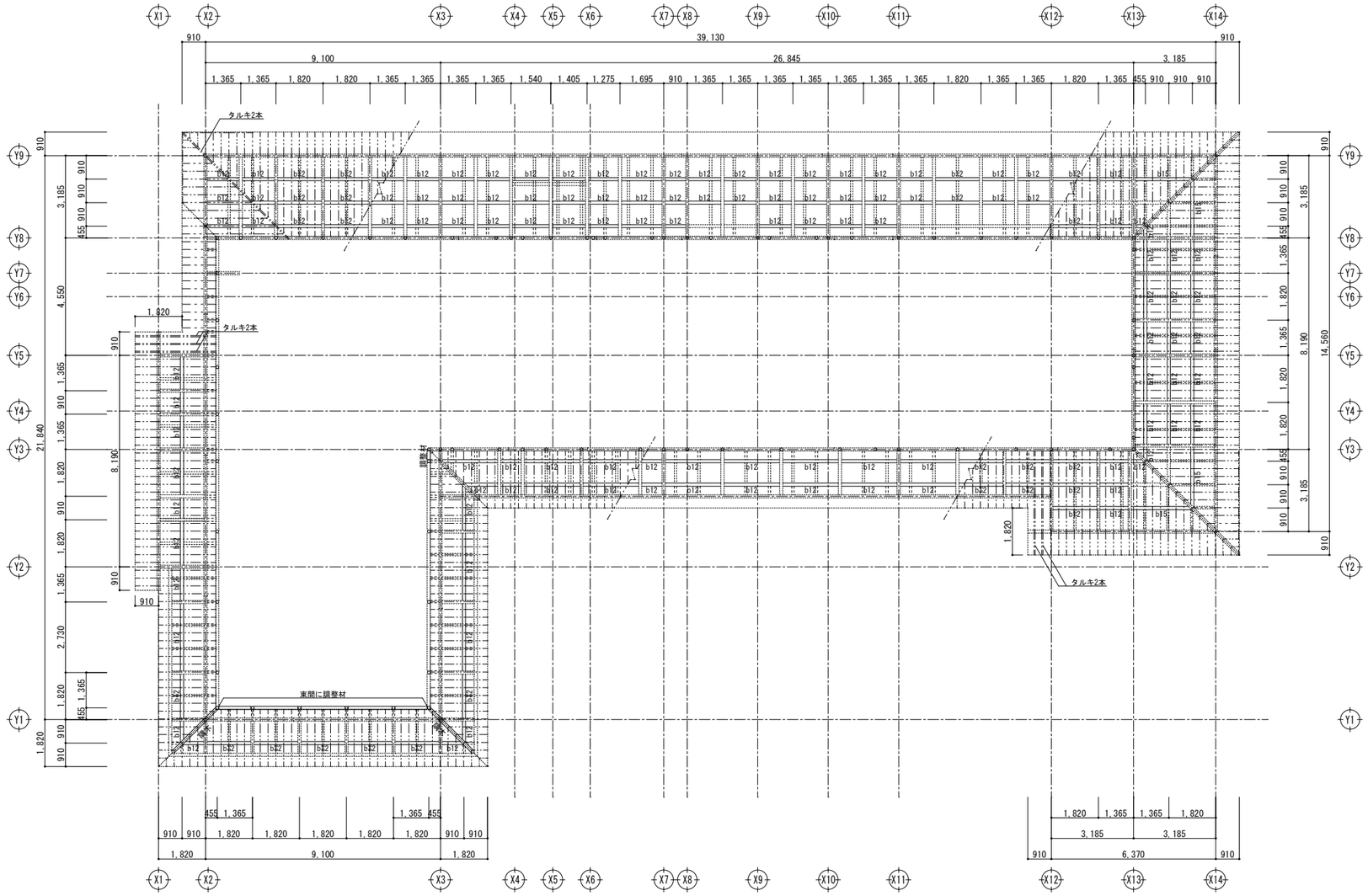



トラス(1) 1/50




トラス(2) 1/50

| 変更年月日・変更事項 | | | | | A2版(71%) S=1/140<br>A3版(50%) S=1/200 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社<br>高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号<br>TEL 084-920-9123<br>FAX 084-928-6000<br>１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>１級建築士（登録183507号）　構造１級建築士（登録7233号）　設備１級建築士（登録2832号）<br>高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事 | 図面番号　S-17 | |
| | | | 図面名称　小屋伏図 | 縮尺　1：100 | 設計年月日　2025年 3月 |




| 部　位 | 記　号 | 寸　法 | 樹　種 | 構 造 材 | 強　度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 母屋 | b12 | 120×120 | すぎ | 構造用製材 | | |
| | b15 | 120×150 | すぎ | 構造用製材 | | |
| 隅木 | | 120×180 | すぎ | 構造用製材 | | |
| | | | | | | |
| 調整材 | | | すぎ | 構造用製材 | | |
| 合板受け | ＝＝＝ | 90×90 | すぎ | 構造用製材 | | |
| 垂木 | ー‐‐ー | 45×90 | すぎ | 構造用製材 | | @303 |
| 野地板 | 構造用合板　t=12　釘N50@150 | | | | | |

※小屋東は、かすがい2本打ちとする。
※垂木取り付け金物ST-12を使用

＜凡例＞
○　：東

＜屋根構面＞　倍率4.0倍仕様
・構造用合板　t=24　面材の四周を釘N75@150で
梁組および合板継目部分の受材に対し打ち付け
合板受材は梁の側面に受材と同断面の掘り込み加工を
して受材を落とし込み受材上端から梁の掘り込みに
N75釘1本を斜め打ち

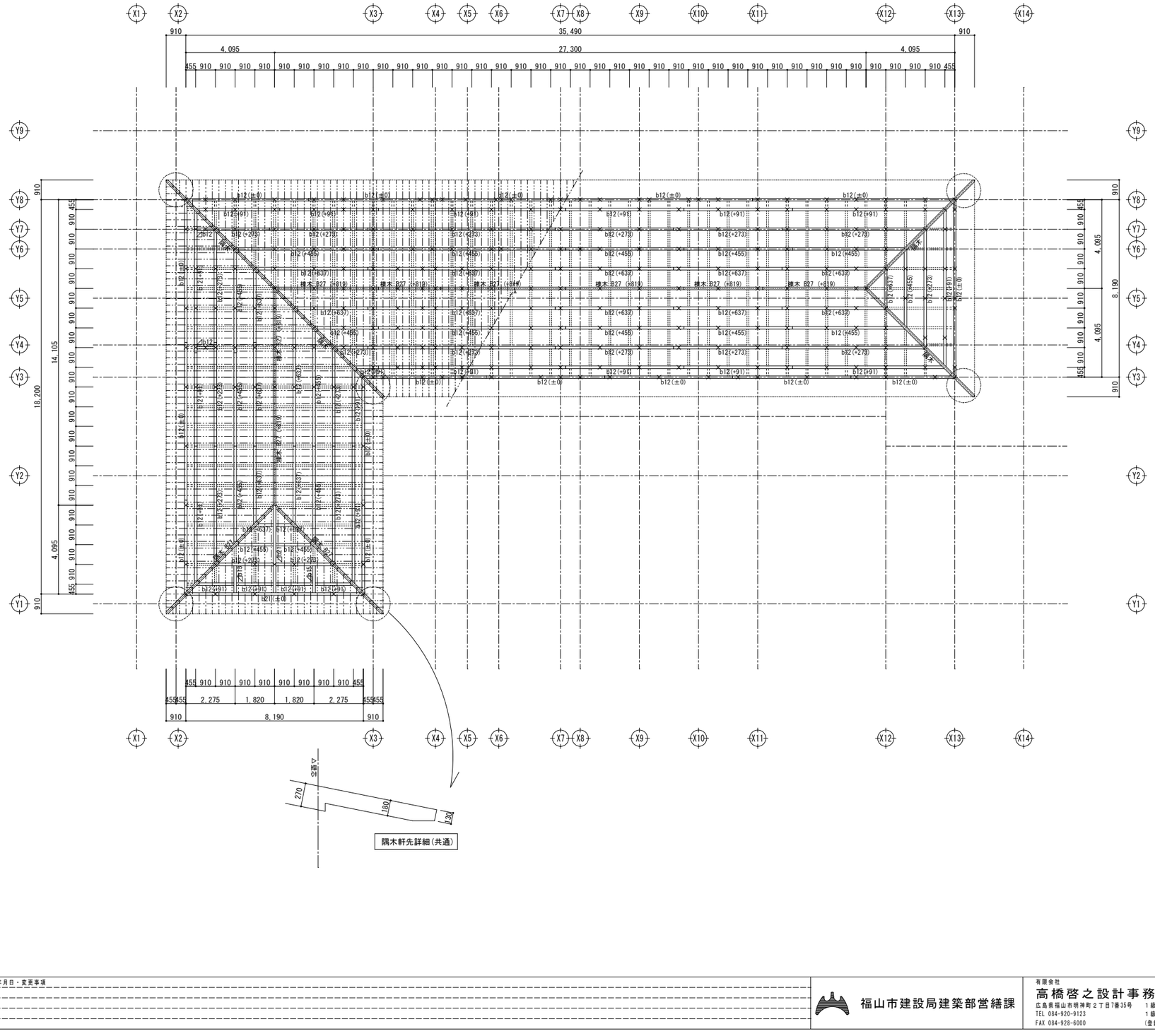
変更年月日・変更事項

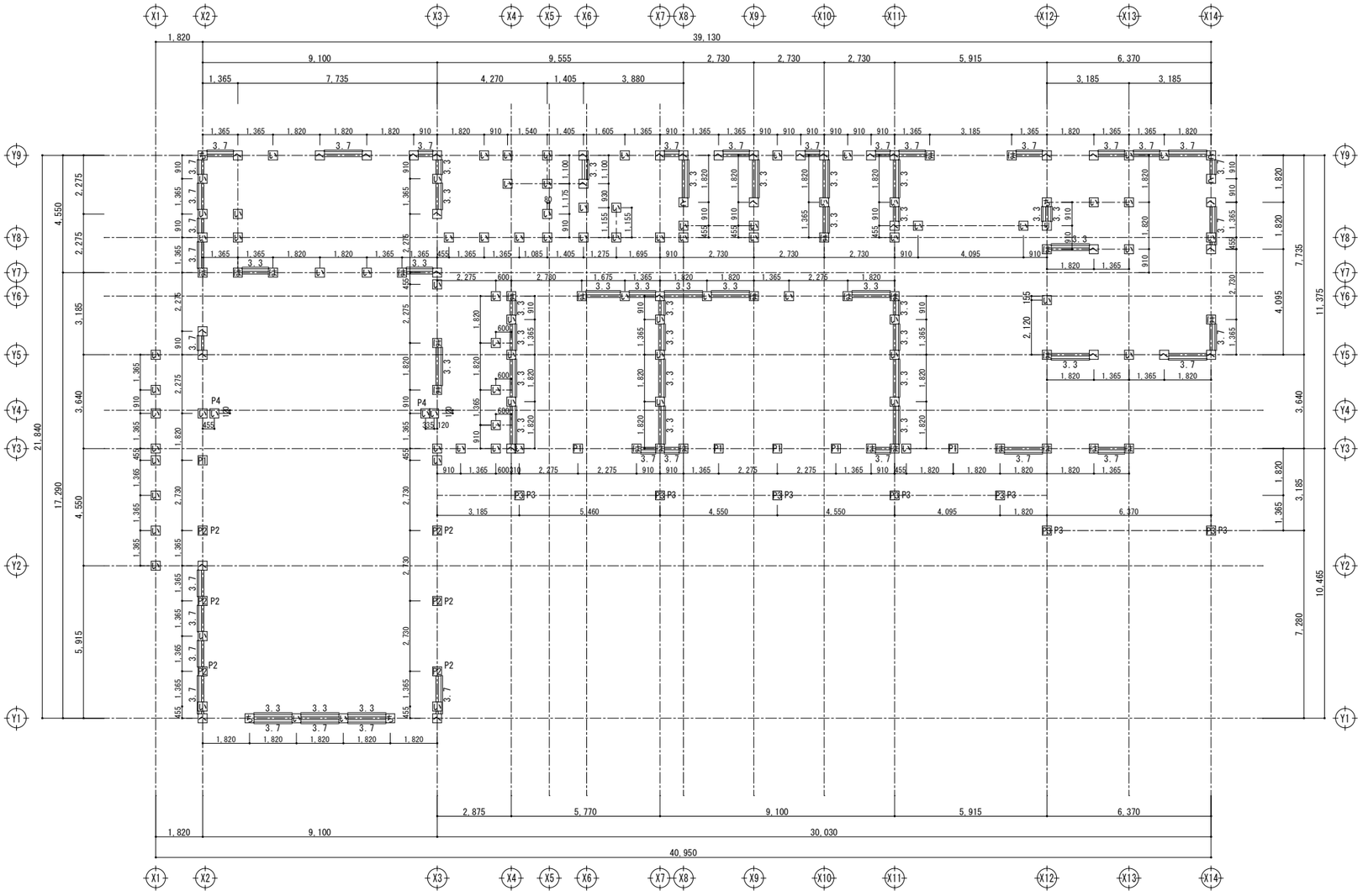
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 屋根伏図（1） |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-18 |

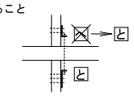
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200


X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
X13
X14
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
910
35,490
4,095
27,300
4,095
455 910 910 910

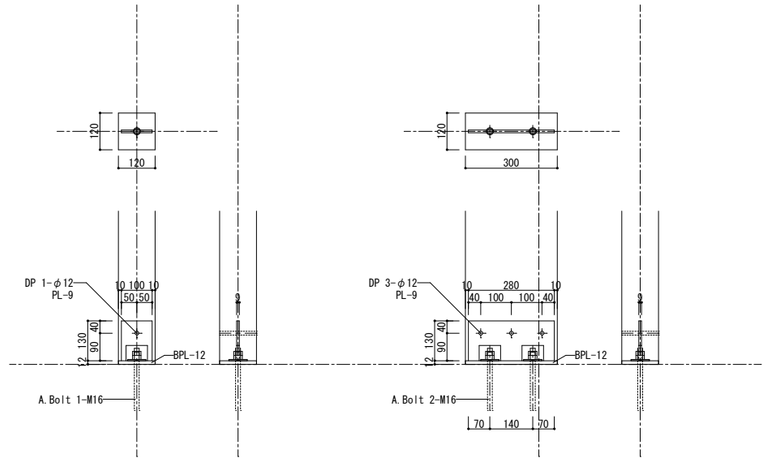



| 部　位 | 記　号 | 寸　法 | 樹　種 | 構 造 材 | 強　度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 柱 | P1 | 120×120 | すぎ | 構造用製材 | E70 |
| | P2 | 120×300 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 |
| | P3 | ロ-150x150x4.5 | STKR400 | | |
| | P4 | 120×180 | 欧州赤松 | 構造用集成材 | E105-F300 |
| 柱脚・柱頭金物 い | | 通し柱：柱脚又は柱頭金物記号　柱勝ち管柱：柱脚金物記号 ※仕口は全てホゾ差し<br>管柱　：柱脚及び柱頭金物記号　※金物記号は建設省告示1460号に準ずる | | | |
| い | かすがい打ち　又は　込み栓打込み | | | | |
| は | 山形金物　同等品 | | | | |
| へ | 10kN用引寄せ金物(柱脚10kN用HD金物) | | | | |
| と | 15kN用引寄せ金物(柱脚15kN用HD金物) | | | | |
| ち | 20kN用引寄せ金物(柱脚20kN用HD金物) | | | | |
| り | 25kN用引寄せ金物(柱脚25kN用HD金物) | | | | |
| 耐力壁 | | | | | |
| 3.3 | 構造用合板　t=9　面材張り真壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150　受材：釘N50@200 | | | | 壁倍率3.3倍 |
| 3.7 | 構造用合板　t=9　面材張り大壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150 | | | | 壁倍率3.7倍 |
| 3.3 / 3.3 | | | | | 壁倍率3.3倍＋3.3倍＝6.6倍 |
| 3.3 / 3.7 / 3.3 | | | | | 壁倍率3.3倍＋3.7倍＝7.0倍 |

※特記なき柱はP1とする。
※小屋東端部金物は（い）-かすがい-2本を使用
※（へ）による柱脚土台引き金物とする場合は、周囲の土台アンカーボルトの座金は60角とする。
※へ～か金物において梁の上下で引き合う場合は強度の高い方に合わせること
※非耐力壁部分の釘@は耐力壁とならないように@300以上とする事




・柱の有効細長比
328.0cm/(12.0/√12)≒108.08 ＜ 150　∴OK




P1柱脚金物詳細図　1/10

P2柱脚金物詳細図　1/10

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号　１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
TEL 084-920-9123　１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
FAX 084-928-6000　（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

工事名称　福山市光交流館改築工事

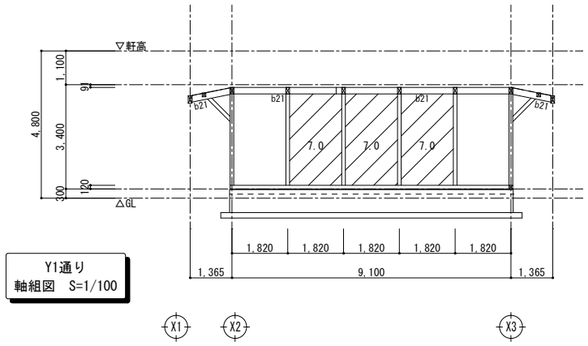
図面名称　柱 壁 伏 図

縮尺　1：100

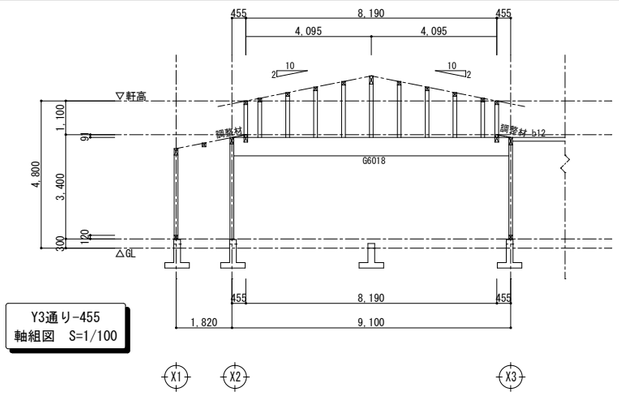
設計年月日　2025年 3月

図面番号　S-20

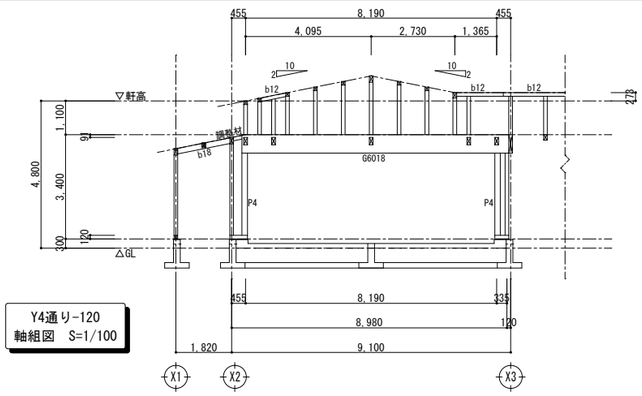
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200



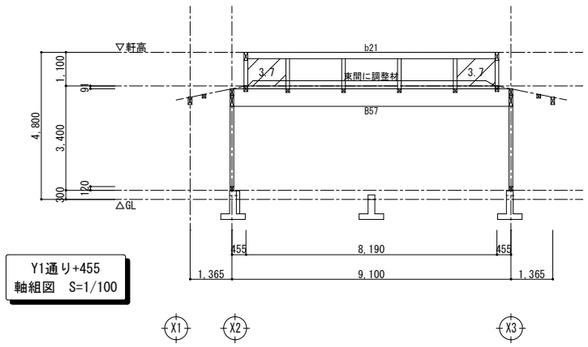

Y1通り
軸組図　S=1/100



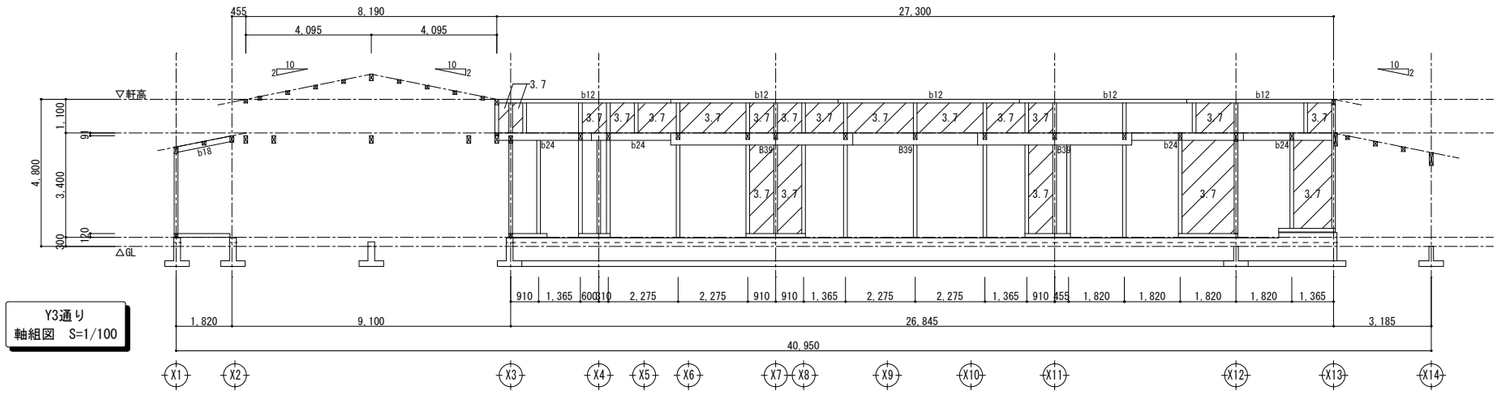

Y3通り-455
軸組図　S=1/100



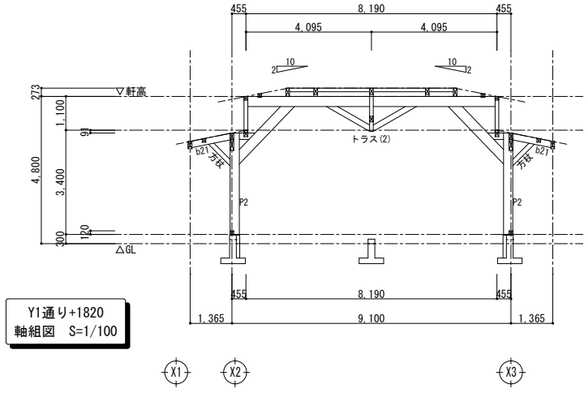

Y4通り-120
軸組図　S=1/100



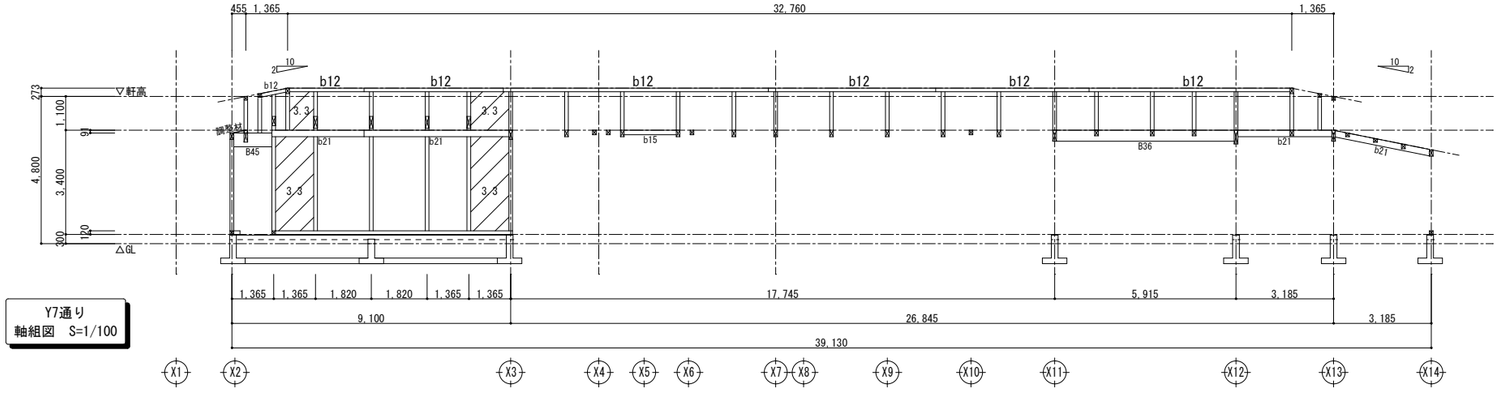

Y1通り+455
軸組図　S=1/100



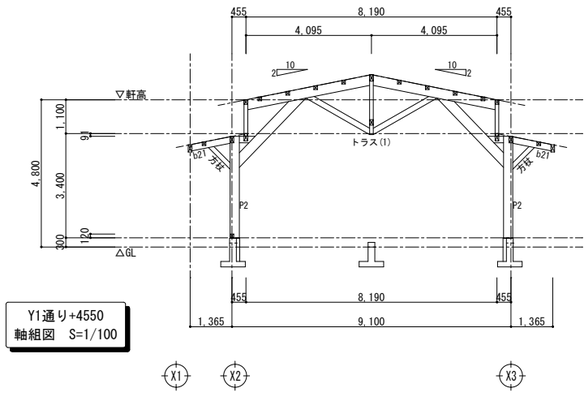

Y3通り
軸組図　S=1/100




Y1通り+1820
軸組図　S=1/100




Y7通り
軸組図　S=1/100




Y1通り+4550
軸組図　S=1/100

※耐力壁上部と外周部には面材を設けること。（開口部は除く）

| 耐力壁 | |
|---|---|
| 3.3 | 構造用合板　t=9　面材張り真壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150　受材：釘N50@200　壁倍率3.3倍 |
| 3.7 | 構造用合板　t=9　面材張り大壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150　壁倍率3.7倍 |
| 6.6 | 壁倍率3.3倍＋3.3倍＝6.6倍 |
| 7.0 | 壁倍率3.3倍＋3.7倍＝7.0倍 |

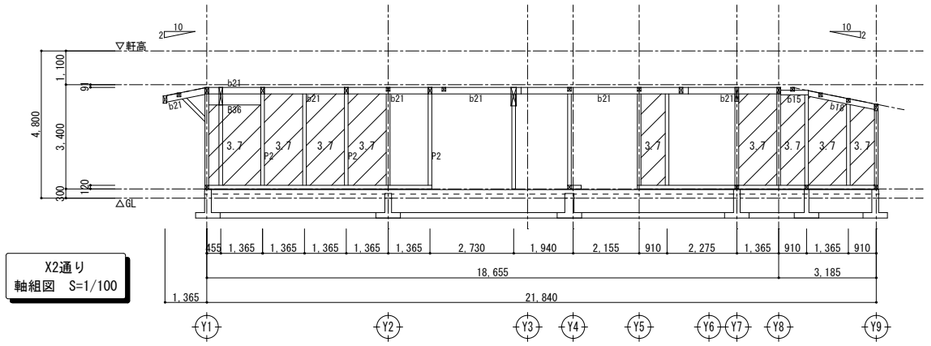
変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

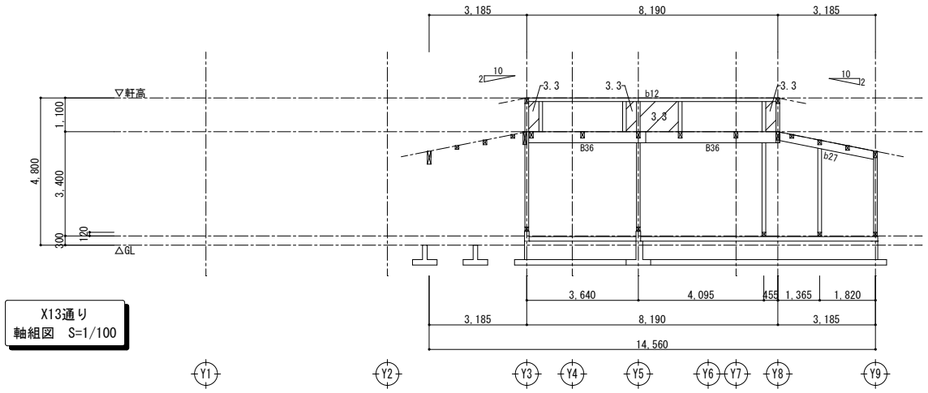
有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 軸組図（1） |
| 縮尺 | 1：100 |
| 図面番号 | S-21 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

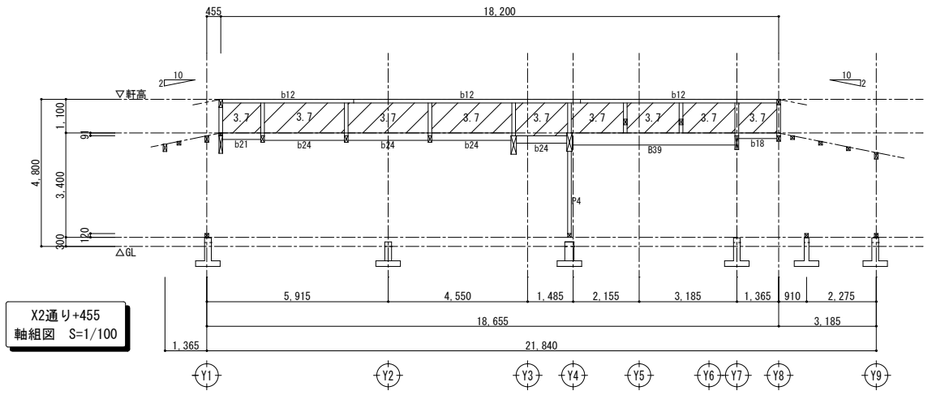
A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200



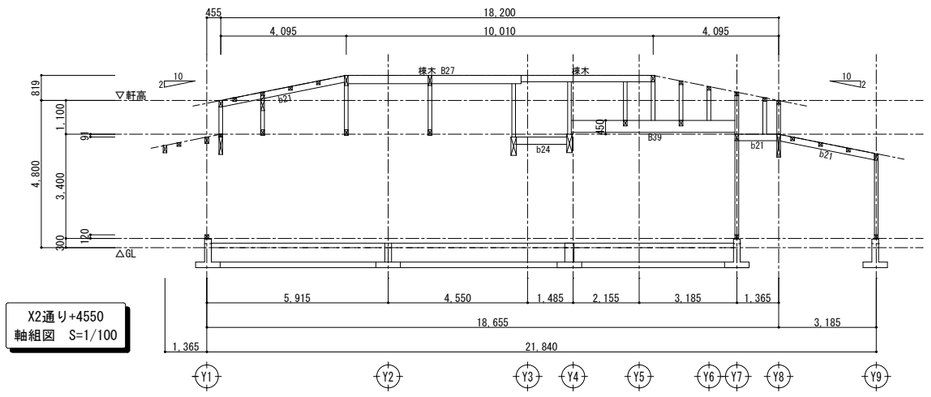

X2通り
軸組図　S=1/100



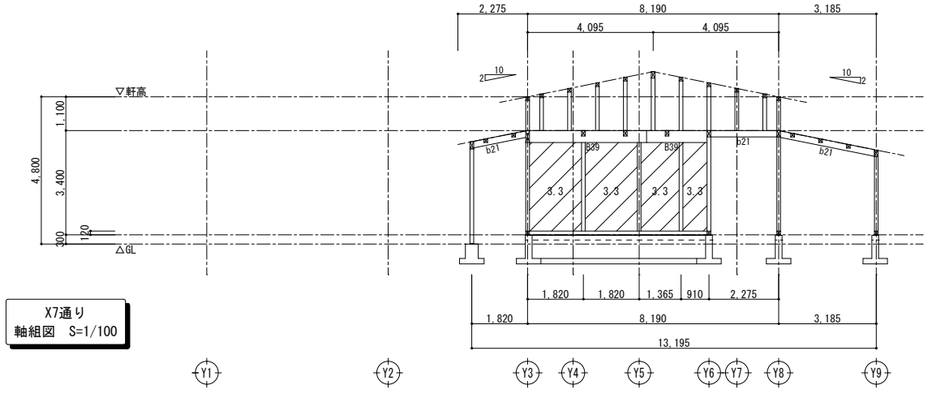

X13通り
軸組図　S=1/100




X2通り+455
軸組図　S=1/100




X2通り+4550
軸組図　S=1/100




X7通り
軸組図　S=1/100

※耐力壁上部と外周部には面材を設けること。（開口部は除く）

| 耐力壁 | | |
|---|---|---|
| 3.3 | 構造用合板　t=9　面材張り真壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150　　受材：釘N50@200 | 壁倍率3.3倍 |
| 3.7 | 構造用合板　t=9　面材張り大壁仕様<br>釘CN50　外周@75　中通り@150 | 壁倍率3.7倍 |
| 6.6 | 壁倍率3.3倍＋3.3倍＝6.6倍 | |
| 7.0 | 壁倍率3.3倍＋3.7倍＝7.0倍 | |

A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200

変更年月日・変更事項

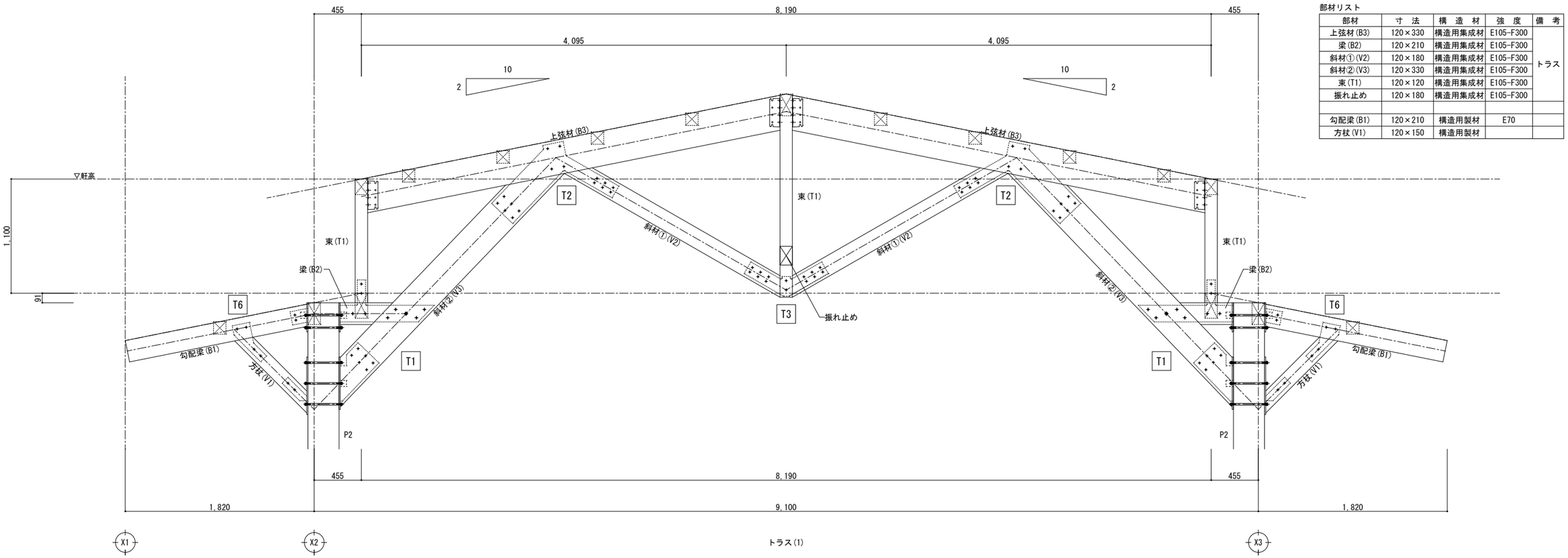
福山市建設局建築部営繕課

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | 軸組図（2） |
| 縮尺 | 1：100 |
| 図面番号 | S-22 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |

部材リスト

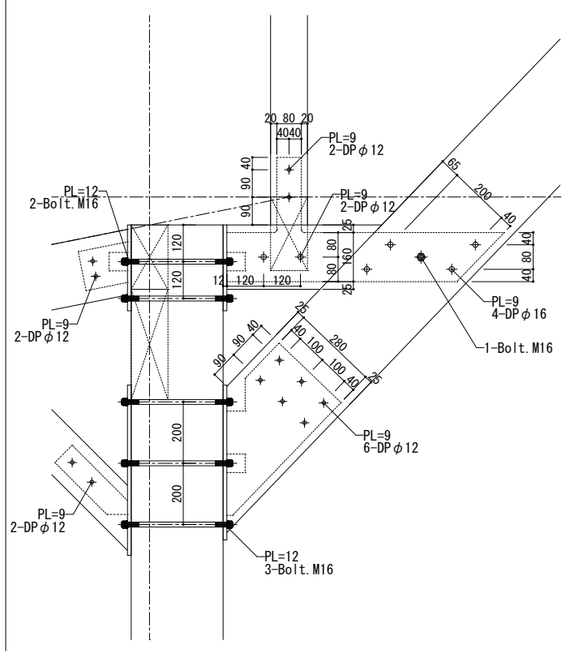
| 部材 | 寸　法 | 構　造　材 | 強　度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 上弦材(B3) | 120×330 | 構造用集成材 | E105-F300 | トラス |
| 梁(B2) | 120×210 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 斜材①(V2) | 120×180 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 斜材②(V3) | 120×330 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 束(T1) | 120×120 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 振れ止め | 120×180 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | | | | |
| 勾配梁(B1) | 120×210 | 構造用製材 | E70 | |
| 方杖(V1) | 120×150 | 構造用製材 | | |



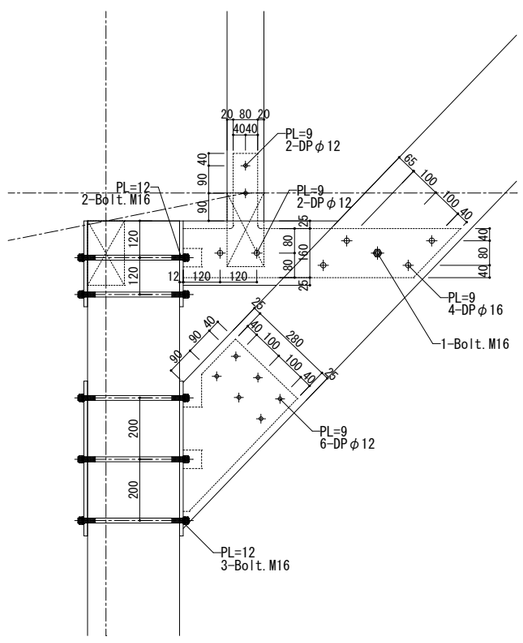

トラス(1)

## T1　詳細図

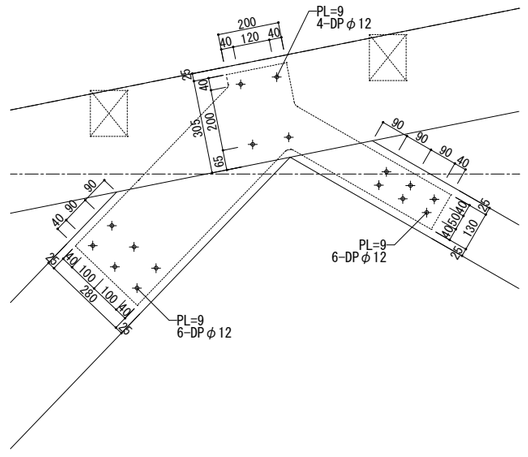
（方杖有り）



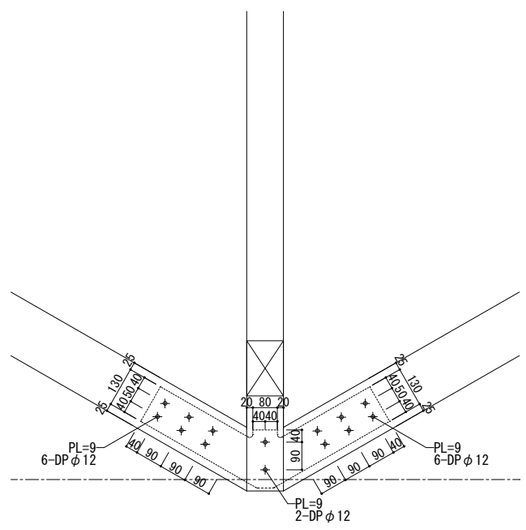

（方杖無し）




## T2　詳細図




## T3　詳細図




変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部営繕課

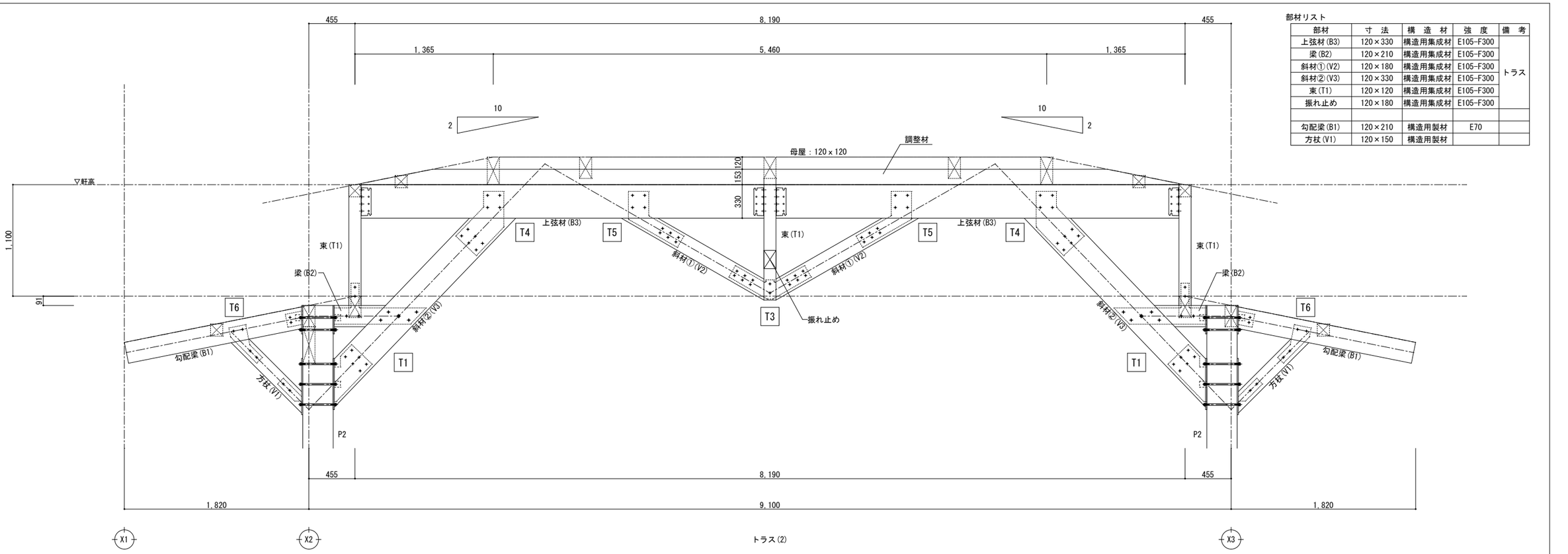

有限会社
高橋啓之設計事務所
広島県福山市明神町２丁目7番35号
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
１級建築士事務所 登録第23(1)-1408号
１級建築士　構造１級建築士　設備１級建築士
（登録183507号）（登録7233号）（登録2832号）　高橋 啓之


| | |
|---|---|
| 工事名称 | 福山市光交流館改築工事 |
| 図面名称 | トラス詳細図(1) |
| 縮尺 | 1：100 |
| 設計年月日 | 2025年 3月 |
| 図面番号 | S-23 |

A2版(71%) S=1/140
A3版(50%) S=1/200

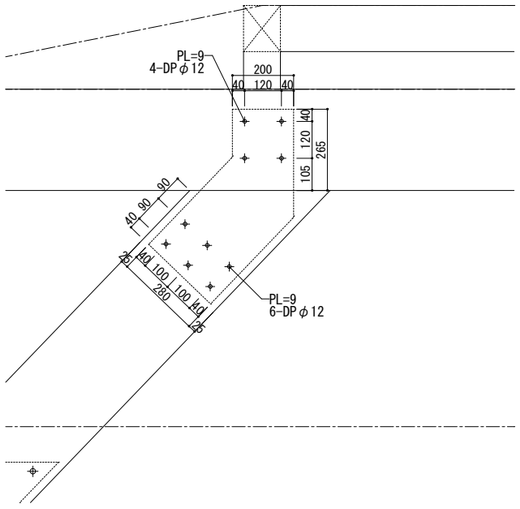
部材リスト

| 部材 | 寸　法 | 構　造　材 | 強　度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 上弦材(B3) | 120×330 | 構造用集成材 | E105-F300 | トラス |
| 梁(B2) | 120×210 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 斜材①(V2) | 120×180 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 斜材②(V3) | 120×330 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 束(T1) | 120×120 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| 振れ止め | 120×180 | 構造用集成材 | E105-F300 | |
| | | | | |
| 勾配梁(B1) | 120×210 | 構造用製材 | E70 | |
| 方杖(V1) | 120×150 | 構造用製材 | | |

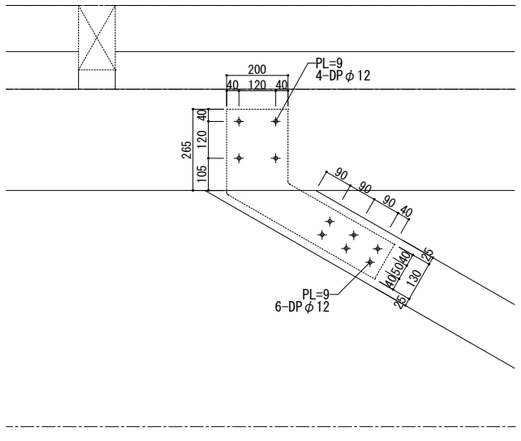



トラス(2)

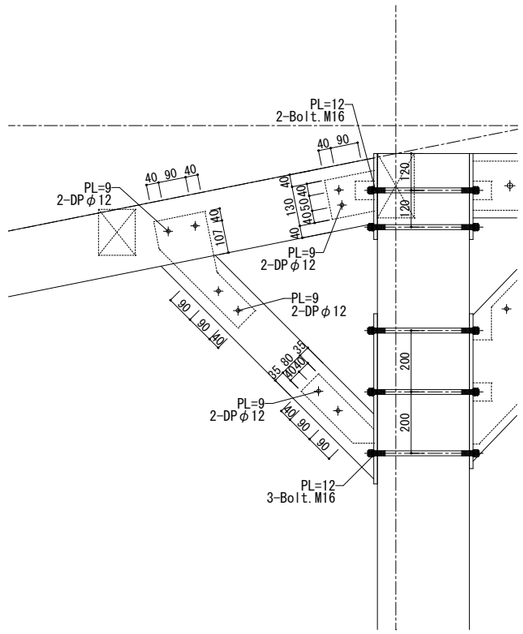
T4　詳細図




T5　詳細図




T6　詳細図




| 変更年月日・変更事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 福山市建設局建築部営繕課 | 有限会社 高橋啓之設計事務所<br>広島県福山市明神町２丁目7番35号　TEL 084-920-9123　FAX 084-928-6000<br>1級建築士事務所 登録第23(1)-1408号<br>1級建築士（登録183507号）　構造1級建築士（登録7233号）　設備1級建築士（登録2832号）　高橋 啓之 | 工事名称　福山市光交流館改築工事 | A2版(71%) S=1/140<br>A3版(50%) S=1/200<br>図面番号 S-24 |
| | | | 図面名称　トラス詳細図(2)　縮尺 1：100 | 設計年月日 2025年 3月 |

# 参考数量書

§工事名称　　福山市光交流館改築工事

§工事場所　　福山市草戸町四丁目14番2号

## 特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事積算研究会制定）

# 設　計　書

工事名称　　福山市光交流館改築工事

工事場所　　福山市草戸町四丁目14番2号

【工事概要】
構　　造：木造 平家建
規　　模：延べ面積　　５４３．６５㎡

附属建物：延べ面積
自転車置場　　７．８９㎡
カーポート　　１２．８２㎡
屋外倉庫　　５．４３㎡

【別途工事】
電気設備工事
給排水衛生設備工事
空気調和設備工事
ガス設備工事
カーテン取付工事
植栽工事

| 名　　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 直接工事費 | | | | |
| 建築工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| 共通費 | | | | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| 工事価格 | 1 | 式 | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | 消費税率 10 % |
| 工事費 | 1 | 式 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 名　　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 建築工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

福　山　市

| 名　　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 交流館 | 1 | 式 | | |
| 屋外施設等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

交流館

| 名　　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 直接仮設 | 1 | 式 | | |
| 土工 | 1 | 式 | | |
| 地業 | 1 | 式 | | |
| 鉄筋 | 1 | 式 | | |
| コンクリート | 1 | 式 | | |
| 型枠 | 1 | 式 | | |
| 鉄骨 | 1 | 式 | | |
| 防水 | 1 | 式 | | |
| タイル | 1 | 式 | | |
| 木工 | 1 | 式 | | |
| 屋根及びとい | 1 | 式 | | |
| 金属 | 1 | 式 | | |
| 左官 | 1 | 式 | | |
| 建具 | 1 | 式 | | |
| 塗装 | 1 | 式 | | |
| 内外装 | 1 | 式 | | |
| ユニット及びその他 | 1 | 式 | | |
| 発生材処理 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |

屋外施設等

| 名　　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 囲障 | 1 | 式 | | |
| 構内舗装 | 1 | 式 | | |
| 屋外排水 | 1 | 式 | | |
| 工作物・その他 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

交流館

| 科目名称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 直接仮設 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 土工 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 地業 | 一般地業 | 1 | 式 | | |
| 地業 | 地盤改良 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 鉄筋 | 躯体 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| コンクリート | 躯体 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 型枠 | 躯体 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 鉄骨 | 付帯鉄骨等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 防水 | 外部 | 1 | 式 | | |
| 防水 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| タイル | 外部 | 1 | 式 | | |
| タイル | 内部 | 1 | 式 | | |

交流館

| 科目名称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | | | | |
| 木工 | 構造 | 1 | 式 | | |
| 木工 | 造作（外部） | 1 | 式 | | |
| 木工 | 造作（内部） | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 屋根及びとい | 板金 | 1 | 式 | | |
| 屋根及びとい | とい | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 金属 | 外部 | 1 | 式 | | |
| 金属 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 左官 | 外部 | 1 | 式 | | |
| 左官 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 建具 | アルミニウム製建具 | 1 | 式 | | |
| 建具 | 樹脂製建具 | 1 | 式 | | |
| 建具 | 鋼製建具 | 1 | 式 | | |
| 建具 | 電動式天井収納間仕切り | 1 | 式 | | |
| 建具 | 木製学校間仕切り | 1 | 式 | | |
| 建具 | 木製建具 | 1 | 式 | | |

交流館

| 科目名称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 建具 | ガラス | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 塗装 | 外部 | 1 | 式 | | |
| 塗装 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 内外装 | 外部 | 1 | 式 | | |
| 内外装 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| ユニット及びその他 | 外部 | 1 | 式 | | |
| ユニット及びその他 | 内部 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 発生材処理 | 運搬 | 1 | 式 | | |
| 発生材処理 | 処分 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

屋外施設等

| 科目名称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 囲障 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 構内舗装 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 屋外排水 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 工作物・その他 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

交流館　直接仮設

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 遣方 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 |
| 墨出し | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0002 |
| 養生 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0003 |
| 整理清掃<br>後片付け | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0004 |
| 外部足場 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0005 |
| 内部足場 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0006 |
| 災害防止 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0007 |
| 仮設材運搬 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0008 |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

交流館　土工

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 根切り | つぼ,布掘り<br>深さ2.5m程度 | 232 | m3 | | | |
| 発生土処理 | 場内仮置土 | 232 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 349 | ㎡ | | | |
| 埋戻し（B種） | 場内仮置土 | 232 | m3 | | | |
| 土工機械運搬 | 根切り、埋戻し<br>- | 2 | 往復 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 地業 | | | 一般地業 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 砂利地業 | 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ<br>基礎下 | 34.9 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ<br>土間下 | 55.6 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ | 94 | m3 | | | |
| 床下防湿層敷き | ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15 | 466 | ㎡ | | | |
| 土間下断熱材敷き | 2種bA 厚さ25mm | 466 | ㎡ | | | |
| 床下防湿層敷き | ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15<br>立下り | 138 | ㎡ | | | |
| 土間下断熱材敷き | 2種bA 厚さ25mm<br>立下り | 138 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 地業 | | | 地盤改良 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 地盤改良 | 深層混合処理 ｽﾘｰｴｽG工法<br>φ800　GL-13.1m<br>交流館 | 134 | 本 | | | |
| 地盤改良 | 深層混合処理 ｽﾘｰｴｽG工法<br>φ800　GL-13.1m<br>受変電設備 | 4 | 本 | | | |
| ｾﾒﾝﾄ系固化材 | 300kg/m3添加予定 | 285 | t | | | |
| 杭頭処理費 | | 138 | 本 | | | |
| 機械運搬費 | GI-130 | 1 | 台 | | | |
| 機械組立解体費 | | 1 | 台 | | | |
| 試験用土採取 | | 1 | 式 | | | |
| 事前配合・六価ｸﾛﾑ溶出 | | 1 | か所 | | | |
| 管理試験費 | 頭部ﾓｰﾙﾄﾞｺｱ | 2 | か所 | | | |
| 管理試験費 | 深部ﾓｰﾙﾄﾞｺｱ | 1 | か所 | | | |
| 全長ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞｺｱ | | 1 | 式 | | | |
| 法定福利費 | | 1 | 式 | | | |
| 現場管理費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 鉄筋 | 躯体 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D10 | 14.8 | t | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D13 | 2.1 | t | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D16 | 2.9 | t | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物<br>-　　- | 19.8 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | 4ｔ車　30km程度 | 19.8 | t | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

交流館　コンクリート　躯体

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=18　S15<br>粗骨材20 | 17.4 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20<br>基礎部 | 84.5 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20<br>土間部 | 110 | m3 | | | |
| 構造体温度補正 | 補正値6N/mm2 | 195 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設<br>30m3/回程度　S15～S18<br>-　圧送費､基本料別途 | 17.4 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設<br>50～100m3/回　S15～S18<br>-　圧送費､基本料別途 | 84.5 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設<br>50m3/回程度　S15～S18<br>-　圧送費､基本料別途 | 110 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 | 30m3以上 50m3/回未満<br>基本料金別途加算 | 17.4 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 | 50m3以上100m3/回未満<br>基本料金別途加算 | 84.5 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 | 100m3/回以上<br>基本料金別途加算 | 110 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金 | 30m3以上 50m3/回未満 | 1 | 回 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金 | 50m3以上100m3/回未満 | 1 | 回 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金 | 100m3/回以上 | 1 | 回 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 型枠 | | | 躯体 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 型枠 | 普通合板型枠<br>-　基礎部<br>- | 562 | ㎡ | | | |
| 型枠 | 打放合板型枠B種<br>壁式構造　基礎部<br>- | 40.1 | ㎡ | | | |
| 面木 | | 160 | m | | | |
| 目地 | 打継目地、誘発目地 | 141 | m | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 602 | ㎡ | | | |
| 金物取付費 | 手間のみ<br>柱脚金物、土台金物 | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 鉄骨 | | | 付帯鉄骨等 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 角形鋼管 | STKR400　□-150*150*4.5 | 419 | kg | | | |
| 鋼板 | SN490　PL-25 | 135 | kg | | | |
| 鋼板 | SS400　PL-9 | 16.7 | kg | | | |
| 鋼板 | SS400　PL-6 | 6.3 | kg | | | |
| ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ | ABR400 M20 L=400 | 28 | 本 | | | |
| 工場加工費 | 柱7本(552kg) | 1 | 式 | | | |
| 溶融亜鉛ﾒｯｷ費 | | 1 | 式 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 現場取付費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 防水 | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ｼｰﾘﾝｸﾞ | 一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)<br>10×10 | 306 | m | | | |
| ｼｰﾘﾝｸﾞ | 一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)<br>20×10 | 141 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 防水 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ｼｰﾘﾝｸﾞ | 一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)<br>10×10 | 68.8 | m | | | |
| 化粧ｹｲｶﾙｼﾞｮｲﾝﾄ目地 | 一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)<br>6× 6 | 141 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

福　山　市

| 交流館 | タイル | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 床ﾀｲﾙ張り | 磁器質 無ゆう 300mm角<br>下地ﾓﾙﾀﾙ別途<br>LIXIL:ﾋﾟｱｯﾂｱOXｼﾘｰｽﾞ同等 | 31.4 | m2 | | | |
| 視覚障がい者用床ﾀｲﾙ張り | 磁器質 無ゆう 300mm角<br>下地ﾓﾙﾀﾙ別途 | 1.1 | m2 | | | |
| 石調外装ﾀｲﾙ張り | LIXIL:ﾙﾐﾉｽ(はるかべ工法) | 11 | m2 | | | |
| 出隅役物 | | 7.2 | m | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | タイル | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 床ﾀｲﾙ張り | 磁器質 無ゆう 300mm角<br>下地ﾓﾙﾀﾙ別途<br>LIXIL:ﾋﾟｱｯﾂｱOXｼﾘｰｽﾞ同等 | 9.9 | m2 | | | |
| 幅木ﾀｲﾙ張り | 磁器質 無ゆう 300mm角<br>LIXIL:ﾋﾟｱｯﾂｱOXｼﾘｰｽﾞ同等 | 0.8 | m2 | | | |
| 視覚障がい者用床ﾀｲﾙ張り | 磁器質 無ゆう 300mm角<br>下地ﾓﾙﾀﾙ別途 | 0.5 | m2 | | | |
| 石調外装ﾀｲﾙ張り | LIXIL:ﾙﾐﾉｽ(はるかべ工法) | 9.1 | m2 | | | |
| 汚垂れ石 | W600*L2400<br>TOTO:ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗﾌﾛｱPU薄型同等 | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ﾌﾟﾚｶｯﾄ加工料金 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0017 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 柱材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019 |
| 羽柄材 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0020 |
| 金物費用 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0021 |
| 建方費 | ｸﾚｰﾝ費用除く | 1 | 式 | | | |
| 防腐・防蟻処理費 | | 553 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 造作（外部） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 天井下地 | 野縁45*45@455 | 267 | m2 | | | |
| 破風・鼻隠し下地合板張 | 18*180 | 115 | m | | | |
| 破風・鼻隠し下地合板張 | 16*100 | 139 | m | | | |
| 破風・鼻隠し下地合板張 | 18*270 | 139 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 造作（内部） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 床合板張り | 厚12.0 捨貼 | 152 | m2 | | | |
| 床合板張り | 構造用合板 厚24 | 5.5 | m2 | | | |
| WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | WPC加工､UV抗菌耐摩耗塗装<br>杉 厚15.0 直貼(地域産材対応突板)<br>大建工業同等 | 32.1 | m2 | | | |
| WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | WPC加工､UV抗菌耐摩耗塗装<br>杉 厚12.0 (地域産材対応突板)<br>大建工業同等 | 152 | m2 | | | |
| 幅 木 | 杉（上小） 20*75 | 120 | m | | | |
| 雑巾摺 | H=15 | 27.9 | m | | | |
| 畳寄 | 杉（上小） 20*75 | 17.9 | m | | | |
| 多目的室<br>置框 | ﾀﾓ集成材 75*60 | 2.6 | m | | | |
| 壁見切り | 杉（上小）30*60 | 12.9 | m | | | |
| 下り壁見切縁 | 杉（上小） 30*30 | 60 | m | | | |
| 壁付け手摺補強 | 集成 18*45 | 21.8 | m | | | |
| 腰壁 羽目板貼り | 厚9.0 UV塗装品 | 99.9 | m2 | | | |
| 腰壁 見切り | 杉（上小） 20*40 | 120 | m | | | |
| 腰壁 出隅見切り | 杉（上小） 30*30 | 8.7 | m | | | |
| 腰壁 見切り | 杉（上小） 20*20 | 18 | m | | | |
| 横胴縁 | 18*45@303 | 1,165 | m2 | | | |
| 窓額縁 | 杉集成 25*110 | 173 | m | | | |
| 窓額縁 | 杉集成 25*50 | 37.6 | m | | | |
| 建具枠 | 杉（上小）30*110 | 9.2 | m | | | |
| 建具枠 | 杉（上小）30*125 | 8.6 | m | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 造作（内部） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 建具枠 | 杉（上小）30*200 | 21.8 | m | | | |
| 建具枠 | 杉（上小）30*211<br>W-1、W-2共 | 95.6 | m | | | |
| 建具枠 | 杉（上小）30*300 | 7.9 | m | | | |
| 建具枠 | 杉（上小）40*150 | 10.7 | m | | | |
| ﾗｲﾆﾝｸﾞ | ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt=20<br>W=150 | 6.9 | m | | | |
| ﾗｲﾆﾝｸﾞ | ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt=20<br>W=120 | 11.7 | m | | | |
| ﾗｲﾆﾝｸﾞ下地組 | 60*45 | 22.3 | ㎡ | | | |
| ﾗｲﾆﾝｸﾞ下地組 | ﾍﾞﾆﾔt=12 | 22.3 | ㎡ | | | |
| 天井下地 | 45*45@303　吊木共 | 505 | m2 | | | |
| 天井開口部補強 | ｴｱｺﾝ<br>890×　890mm程度 | 4 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | ｴｱｺﾝ<br>1150×　680mm程度 | 5 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | 換気扇<br>350×　350mm程度 | 9 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | 換気扇<br>750×　750mm程度 | 6 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | ｸﾞﾘﾙ<br>450×　450mm程度 | 10 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | ｸﾞﾘﾙ<br>550×　550mm程度 | 3 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | 450×　450mm程度 | 28 | か所 | | | |
| 天井開口部補強 | 600×　600mm程度 | 2 | か所 | | | |
| ﾙｰﾊﾞｰ取付格子 | 杉集成（上小）60*60@1000 | 50.8 | m2 | | | |
| 小屋裏収納<br>転落防止柵 | 手摺杉修正（上小）H800*60*60<br>小手摺杉修正（上小）H800*30*60 | 2.5 | m | | | |
| 小屋裏収納<br>木製階段 | ｔ30*230*700　3段 | 1 | か所 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 造作（内部） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ・ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ | 杉集成材t=25 W120*H120 | 55.7 | m | | | |
| ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ・ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ | 天井埋込型<br>杉集成材t=25 W120*H120 | 30.8 | m | | | |
| ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ | 天井埋込型<br>杉集成材t=25 W150*H150 | 2.5 | m | | | |
| 受付ｶｳﾝﾀｰ | ｶﾊﾞ集成材t=50 UC塗装<br>L1730*D500 | 1 | か所 | | | |
| 受付ｶｳﾝﾀｰﾃｰﾌﾞﾙ | ｶﾊﾞ集成材t=50 L1730*D460 UC塗装<br>ﾃｰﾌﾞﾙ脚:38.1φｸﾛｰﾑ 2本共 | 1 | か所 | | | |
| ﾆｯﾁｶｳﾝﾀｰ | ｶﾊﾞ集成材t=30 UC塗装<br>W600*D450　間接照明加工共 | 1 | か所 | | | |
| 収納(1)<br>吊下げ式中棚､枕棚 | W4370*D600 2段､吊束共<br><A-41> | 1 | か所 | | | |
| 収納(2)<br>中棚､枕棚 | 枕棚:W1184*D450<br>中棚:W1184*D750<br><A-41> | 1 | か所 | | | |
| 収納(3)<br>中棚､枕棚 | 枕棚:W2094*D450<br>中棚:W2094*D750<br><A-41> | 1 | か所 | | | |
| SK棚 | ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭt20 W910*D400<br>補強金物:FB-6*30@450<br>ﾌｯｸ受:木製30*60*L530共 | 1 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 屋根及びとい | | | 板金 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 縦平葺き金属屋根 | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5 立平葺き<br>発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝt=4裏貼り共<br>日鉄鋼板:SGL鋼板同等 | 854 | m2 | | | |
| ﾌｪﾉｰﾙ断熱材 | 厚30挿入 継ぎ目機密ﾃｰﾌﾟ貼り<br>旭化成建材:ﾈｵﾏﾌｫｰﾑ同等 | 567 | m2 | | | |
| ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ | 940 | 854 | m2 | | | |
| 棟包み | 屋根同材､換気棟@4.5m | 37.3 | m | | | |
| 登り棟包み | 屋根同材､換気棟@4.5m | 62.4 | m | | | |
| ｴﾌﾟﾛﾝ面戸 | 屋根同材 | 270 | m | | | |
| 水上立ち上げ加工 | | 270 | m | | | |
| 軒先伸縮唐草 | 屋根同材 | 246 | m | | | |
| 軒先面戸 | 屋根同材 | 246 | m | | | |
| 軒先水切り | 屋根同材 | 246 | m | | | |
| けらば水切り | 屋根同材 | 7.4 | m | | | |
| 水上壁取合水切 | 屋根同材<br>下地共 | 108 | m | | | |
| エプロン面戸 | 屋根同材 | 108 | m | | | |
| 屋根立上り | 屋根同材 | 108 | m | | | |
| 登り谷 | 屋根同材 | 10.3 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

交流館　屋根及びとい　とい

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 軒樋 | ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製<br>TANITA:HACO HIGH FRONT-GH15号同等 | 77 | m | | | |
| 落し口 | ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製<br>φ114用 | 5 | か所 | | | |
| 竪樋 | ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製φ114<br>TANITA*大型たてとい同等 | 15.8 | m | | | |
| 排水ｶﾊﾞｰ | | 5 | か所 | | | |
| 軒樋 | 樹脂製前高ﾀｲﾌﾟ 165W型 | 56 | m | | | |
| 落し口 | 100φ | 5 | か所 | | | |
| 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管とい(ｶﾗｰ) | 径100 | 19.4 | m | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 金属 | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 郵便受け | 前入後出 口金･防滴ﾀｲﾌﾟ<br>W390*H390<br>ﾅｽﾀ:KS-MAB2-05LK同等 | 1 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 金属 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| くつずり | ｽﾃﾝﾚｽ製 厚さ2.0 幅40 | 12.9 | m | | | |
| SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ | ｼﾝｸﾞﾙ | 10.5 | m | | | |
| SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ | ﾀﾞﾌﾞﾙ | 7.8 | m | | | |
| SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ | 埋込用Vﾚｰﾙ　12 x 12 | 15.5 | m | | | |
| 天井点検口 | 一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁<br>450角 | 28 | か所 | | | |
| 天井点検口 | 一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁<br>600角 | 2 | か所 | | | |
| 自動ﾄﾞｱ防護柵 | ｽﾃﾝﾚｽ製 FB-50*9 W750*H800<br><A-42> | 4 | か所 | | | |
| SKﾌｯｸ | | 3 | か所 | | | |
| ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ | 壁付ｱﾙﾐ製､ﾌｯｸ共 | 21 | m | | | |
| ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ | 天井付ｱﾙﾐ製､ﾌｯｸ共 | 11.8 | m | | | |
| 壁付け手摺 | 半硬質樹脂84φ 木目調色<br>ﾌﾞﾗｹｯﾄ共<br>ﾅｶ工業:ﾈｵｳｯﾄﾞ 木目調色同等 | 21.8 | m | | | |
| ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ用<br>ﾌﾞﾗｹｯﾄ | ｽﾁｰﾙFB-3x30 L型 100 x 150 | 60 | か所 | | | |
| 掃除具入<br>棚板用ﾌﾞﾗｹｯﾄ | ｽﾁｰﾙFB-6x30 L型 200 x 300 | 4 | か所 | | | |
| 事務室ｶｳﾝﾀｰ用<br>ﾌﾞﾗｹｯﾄ | ｽﾁｰﾙFB-6x32 L型 150 x 150 | 3 | か所 | | | |
| 事務室ｶｳﾝﾀｰ用<br>ﾌﾞﾗｹｯﾄ | ｽﾁｰﾙFB-6x32 L型 300 x 300 | 3 | か所 | | | |
| 事務室ｶｳﾝﾀｰﾎﾟｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽHL 32A H=670 x 2 | 1 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 左官 | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | 金ごて 直均し仕上げ | 57.1 | ㎡ | | | |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し | ﾓﾙﾀﾙ下地 | 31.4 | ㎡ | | | |
| 床ﾓﾙﾀﾙ塗り | 木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　厚37 | 31.4 | ㎡ | | | |
| 笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | 金ごて 幅300 | 12.1 | m | | | |
| 天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | | 0.2 | m2 | | | |
| 建具周囲防水ﾓﾙﾀﾙ充填 | 外部建具 | 27.6 | m | | | |
| 打放し面補修 | B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい | 40.1 | ㎡ | | | |
| 巾木専用塗材塗り下地調整共下塗り共 | ベースプロテクト同等 | 42.1 | m2 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 左官 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し<br>仕上げ | 金ごて 厚張物下地 | 153 | ㎡ | | | |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し | ﾓﾙﾀﾙ下地 | 10.4 | ㎡ | | | |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し | ﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地 | 342 | ㎡ | | | |
| 床ﾓﾙﾀﾙ塗り | 木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　厚37 | 10.4 | ㎡ | | | |
| 床ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ | ｾﾒﾝﾄ系　厚10 | 342 | m2 | | | |
| 土台下ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ | ｾﾒﾝﾄ系　厚10 | 312 | m | | | |
| 建具周囲<br>ﾓﾙﾀﾙ充填 | 内部建具 | 34.6 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | アルミニウム製建具 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| AD-1<br>引分け自動ﾄﾞｱ | W3360×H2045 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| AD-1<br>自動開閉装置 | | 1 | か所 | | | |
| AD-2<br>引分け自動ﾄﾞｱ | W3360×H2045 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| AD-2<br>自動開閉装置 | | 1 | か所 | | | |
| AD-3<br>親子開きﾄﾞｱ | W1200×H2215 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| AD-4<br>片開きﾄﾞｱ | W 900×H2215 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| AW-1<br>引違い窓 | W1600×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 2 | か所 | | | |
| AW-2<br>引違い窓 | W2055×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 4 | か所 | | | |
| AW-3<br>FIX窓 | W1145×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 2 | か所 | | | |
| AW-4<br>引違い窓 | W2400×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 3 | か所 | | | |
| AW-5<br>FIX窓付たてすべり出し段窓 | W 600×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 1 | か所 | | | |
| AW-6<br>FIX窓付たてすべり出し段窓 | W 600×H2400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 1 | か所 | | | |
| AW-7<br>FIX窓付たてすべり出し連窓 | W2500×H1200 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 1 | か所 | | | |
| AW-8<br>両袖片引き窓 | W2955×H1200 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 1 | か所 | | | |
| AW-9<br>引違い窓 | W1600×H1200 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 2 | か所 | | | |
| AW-10<br>ﾗﾝﾏ突出し排煙窓付引違い窓 | W2000×H1660 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共<br>ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ共 | 1 | か所 | | | |
| AW-11<br>たてすべり出し窓 | W 600×H1200 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 1 | か所 | | | |
| AW-12<br>たてすべり出し窓 | W 600×H1200 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 5 | か所 | | | |
| AW-13<br>たてすべり出し窓 | W 600×H1100 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共 | 4 | か所 | | | |
| AW-14<br>突出し排煙窓 | W2400×H 400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共<br>ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ共 | 3 | か所 | | | |

| 交流館 | 建具 | | | アルミニウム製建具 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| AW-15<br>突出し排煙窓 | W1600×H 400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共<br>ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ共 | 6 | か所 | | | |
| AW-16<br>突出し排煙窓 | W1560×H 400 付属金物一式共<br>網戸､結露排水部品共<br>ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ共 | 1 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費費 | | 1 | 式 | | | |
| 法定福利費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | 樹脂製建具 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| JW-1<br>樹脂製引違い窓 | W1630×H1215 付属金物一式共 | 2 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | 鋼製建具 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| SD-1<br>両開き戸 | 焼付塗装<br>W1620×H2000 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | 電動式天井収納間仕切り | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| SP-1<br>可動(電動)間仕切り | ｱﾙﾐ押出形材<br>W8000×H2690 付属金物一式共<br>ﾀﾞｲﾉｯｸｼｰﾄ張り別途 | 1 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | 木製学校間仕切り | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| WD-1<br>4枚引違い框戸 | 集成材､杉羽目板<br>W3600×H2450 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | 木製建具 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| WD-2<br>上吊り式片引き戸 | 集成材､杉羽目板<br>W 900×H2000 | 2 | か所 | | | |
| WD-3<br>上吊り式片引き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>有効W 900×H2000 | 5 | か所 | | | |
| WD-4<br>上吊り式片引き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>有効W 800×H2000 | 2 | か所 | | | |
| WD-5<br>上吊り式片引き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>有効W 730×H2000 | 4 | か所 | | | |
| WD-6<br>上吊り式片引き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>有効W 900×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WD-7<br>引分け戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>W1365*2×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WD-8<br>2枚片引き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>W2550×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WD-9<br>片開き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>W 920×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WD-10<br>3枚引違い戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>W2034×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WD-11<br>片開き戸 | ﾒﾗﾐﾝ化粧合板､枠:杉<br>W 620×H2000 | 1 | か所 | | | |
| WW-1<br>引違いｶｳﾝﾀｰ窓 | 杉､枠:杉<br>W1600×H1000 | 1 | か所 | | | |
| 同上建具金物 | | 1 | 式 | | | |
| 同上切嵌め | | 1 | 式 | | | |
| 同上切嵌め | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 建具 | | | ガラス | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ | 厚さ5　特寸 2.18㎡以下<br>ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃別途 | 4 | ㎡ | | | |
| 複層ｶﾞﾗｽ | 強化5+A6+FL5　特寸2.00㎡以下 | 9.2 | m2 | | | |
| 複層ｶﾞﾗｽ | LowE5+A6+F4　特寸2.00㎡以下 | 13.6 | m2 | | | |
| 複層ｶﾞﾗｽ | LowE5+A6+FL5　特寸2.00㎡以下 | 26 | m2 | | | |
| 複層ｶﾞﾗｽ | LowE5+A6+FL5　特寸4.00㎡以下 | 42.3 | m2 | | | |
| 複層ｶﾞﾗｽ | LowE5+A6+FL5　特寸2.00㎡以下 | 6.9 | m2 | | | |
| 強化ｶﾞﾗｽ | 厚さ 4　特寸2.00㎡以下 | 1.7 | m2 | | | |
| 強化ｶﾞﾗｽ | 厚さ 5　特寸2.00㎡以下 | 8.1 | m2 | | | |
| 衝突防止ｼｰﾙ(両面) | 30φ | 16 | m2 | | | |
| ｶﾞﾗｽ清掃 | | 112 | ㎡ | | | |
| ｶﾞﾗｽとめ(ｼｰﾘﾝｸﾞ) | ｼﾘｺﾝ　1成分形<br>SR-1 | 441 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 塗装 | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ＤＰ塗り | 下地調整共 | 12.1 | m2 | | | |
| 自然保護塗料塗り(WP塗装) | 木部 | 25.7 | m2 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 塗装 | 内部 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ＵＣ塗り | 工程B種 2液形 | 53.8 | ㎡ | | | |
| ＵＣ塗り | 工程B種 2液形 | 88.4 | ㎡ | | | |
| 素地ごしらえ | 木部(屋内)　工程A種 | 136 | m2 | | | |
| UC塗り(糸幅300㎜以下) | 木部 | 680 | m | | | |
| ＳＯＰ塗り(糸幅300㎜以下) | 鉄鋼面　工程B種 錆止現場1回共 | 1.5 | m | | | |
| ＥＰ－Ｇ塗り(糸幅300㎜以下) | 木部　素地A種 | 0.5 | m | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 内外装 | | | 外部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 外壁窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り | 厚16 横張り(塗装品)<br>金具止め工法(通気留付付金具)<br>ﾆﾁﾊ:ﾓｴﾝｴｸｽﾗｰﾄﾞ16 N-fitｼﾘｰｽﾞ<br>しぶきﾌﾟﾚﾐｱﾑ同等 | 371 | m2 | | | |
| 透湿防水ｼｰﾄ | 厚1.0<br>ﾆﾁﾊ:ﾓｴﾝ遮熱ｼｰﾄII同等 | 393 | m2 | | | |
| 外壁出隅役物 | 85+85(塗装品) | 23.6 | m | | | |
| 外壁入隅処理 | | 7.2 | m | | | |
| 通気見切縁 | | 223 | m | | | |
| 外壁防鼠付土台水切り | ｱﾙﾐ | 106 | m | | | |
| 建具上部取合い処理 | | 65.1 | m | | | |
| 建具上部取合い処理 | | 122 | m | | | |
| 壁ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ板 | 厚12.5 両面ｶﾞﾗｽﾈｯﾄ張り<br>通気金物t=15@455 | 9.2 | m2 | | | |
| 壁ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ板 | 厚12.5 両面ｶﾞﾗｽﾈｯﾄ張り<br>通気金物t=15@455<br>内部風除 | 9.1 | m2 | | | |
| 屋根破風 | 窯業系不燃性化粧外装材<br>H=210 2枚重ね<br>ﾆﾁﾊ:ｱｳﾃｨ 木目調PNｼﾘｰｽﾞ同等 | 139 | m | | | |
| 屋根破風 | 窯業系不燃性化粧外装材<br>H=210<br>ﾆﾁﾊ:ｱｳﾃｨ 木目調PNｼﾘｰｽﾞ同等 | 115 | m | | | |
| 天井 ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 | 厚12 | 267 | m2 | | | |
| 壁ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 | 厚100 24K | 404 | m2 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 内外装 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ | 無 地 厚さ2.0 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS<br>一般床 突付け　- | 72.4 | ㎡ | | | |
| ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ | 厚2.0 (耐汚染) | 91.2 | m2 | | | |
| ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上げ | 高さ75　厚2.0 (耐汚染) | 84.7 | m | | | |
| 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | 厚3.0 | 131 | m2 | | | |
| ﾋﾞﾆﾙ幅木 | 高さ75　ﾌﾟﾚｰﾝｶﾗｰ | 53 | m | | | |
| ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | 厚さ2.0 ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙKT<br>一般床 - | 12.2 | ㎡ | | | |
| 視覚障碍者用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | 厚7.0 | 21 | 枚 | | | |
| 壁<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-R) | 厚12.5　不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け<br>-　- | 14.7 | ㎡ | | | |
| 壁<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-R) | 厚12.5　不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り<br>-　- | 150 | ㎡ | | | |
| 壁<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-R) | 厚12.5　不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理<br>-　- | 527 | ㎡ | | | |
| 壁<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-R) | 厚 9.5　準不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け<br>下張GB-R　厚12.5共 | 192 | ㎡ | | | |
| 壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-S) | 厚12.5　不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け<br>-　- | 1.4 | ㎡ | | | |
| 壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-S) | 厚12.5　不燃<br>鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り<br>-　- | 211 | ㎡ | | | |
| 壁 押入ﾎﾞｰﾄﾞ | 厚12.5<br>吉野石膏:ﾀｲｶﾞｰﾊｲｸﾘﾝｽｶｯﾄ同等 | 68.9 | m2 | | | |
| 壁 化粧ﾎﾞｰﾄﾞ | 厚2.5 耐摩耗化粧合板<br>ｱｲｶ工業:ﾏｰﾚｽﾎﾞｰﾄﾞ同等 | 29.5 | m2 | | | |
| 壁 化粧けい酸カルシｳﾑ板張り | 厚6.0(目地:ｼｰﾘﾝｸﾞ)<br>ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ:ｽﾃﾝﾄﾞ#400 | 211 | m2 | | | |
| 出隅ｼﾞｮｲﾅｰ | ｱﾙﾐ製 | 16.3 | m | | | |
| 壁 ﾎｰﾛｰ鋼板張り | 厚1.3 H910<br>ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ:ｴﾏｳｫｰﾙt=1.3<br>上部L型見切り共 | 18 | m | | | |
| 天井 押入ﾎﾞｰﾄﾞ | 厚12.5<br>吉野石膏:ﾀｲｶﾞｰﾊｲｸﾘﾝｽｶｯﾄ同等 | 6.4 | m2 | | | |
| 天井<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り(GB-R) | 厚 9.5　準不燃 突付け | 5.7 | ㎡ | | | |

| 交流館 | 内外装 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 天井<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ<br>張り(GB-R) | 厚 9.5　準不燃 継目処理 | 172 | ㎡ | | | |
| 天井　化粧<br>せっこうﾎﾞｰﾄﾞ<br>張り(GB-D) | 厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ<br>突付け | 81.8 | ㎡ | | | |
| 天井 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧<br>吸音板張り(DR) | ﾌﾗｯﾄ内部用 厚 9 不燃<br>下張GB-R 厚 9.5共 | 239 | m2 | | | |
| 化粧天井ﾙｰﾊﾞｰ | 50*150@150(化粧ｼｰﾄ貼)<br>取付下地､吊りﾎﾞﾙﾄ共<br>大建工業:ｸﾞﾗﾋﾞｵﾙｰﾊﾞｰUB同等 | 50.8 | m2 | | | |
| 小屋裏収納用ﾀﾗｯﾌﾟ | 天井収納式9尺用ｽﾗｲﾄﾞﾀﾗｯﾌﾟ<br>大建工業:CQ0336-2同等 | 1 | か所 | | | |
| 床 防塵塗装 | | 1 | m2 | | | |
| 置畳 | ｽﾀｲﾛ畳(KT-Ⅲ)t=60 半畳 | 38 | 枚 | | | |
| 壁ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 | 厚100 24K | 100 | m2 | | | |
| 天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込み | 厚100 24K | 32.1 | m2 | | | |
| 壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ | ﾎﾞｰﾄﾞ面　中級 AAAｸﾗｽ | 506 | m2 | | | |
| 建具面　硬質塩ﾋﾞﾀｯｸｼｰﾄ | 鉄鋼面 | 41 | ㎡ | | | |
| 壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ | ﾎﾞｰﾄﾞ面　中級 AAAｸﾗｽ | 172 | m2 | | | |
| 天井廻縁 | 塩化ﾋﾞﾆﾙ製 | 539 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

交流館　ユニット及びその他　外部

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| （サイン） | | | | | | |
| A館名文字 | SUS304PL t=5.0 焼付塗装<br>(市章ﾏｰｸ+7文字)h=200程度<br>浮かせ仕様 | 1 | か所 | | | |
| B身障者駐車場ｻｲﾝ | ｱﾙﾐ複合板t3<br>W188*H180 両面ﾃｰﾌﾟ・接着剤止 | 1 | か所 | | | |
| 小計 | | | | | | |
| （デッキテラス） | | | | | | |
| ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ<br>ｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ幕板 | 再生木材t=30<br>H=120 付属下地金物共 | 31.4 | m | | | |
| ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ<br>ｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ | 再生木材t=30<br>付属下地金物共<br>YKKAP:ﾊﾟﾙｺﾆｰ用ﾘｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ200同等 | 57.1 | m2 | | | |
| 小計 | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | ユニット及びその他 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| （家具） | | | | | | |
| 給湯室<br>流し台ｾｯﾄ | 流し台L=1200､吊り戸棚L=1200<br>ｽﾃﾝﾚｽ水切り棚L=900<br>LIXIL:TIO同等 | 2 | ｾｯﾄ | | | |
| F-1 収納棚 | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ､天板ｽﾃﾝﾚｽ<br>W1800*D600*H880 | 1 | か所 | | | |
| F-2 傾斜高書架 | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W2700*D330*H2500 | 1 | か所 | | | |
| F-3 下足入れ | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W600*D350*H1200 | 1 | か所 | | | |
| F-4 ｵｰﾌﾟﾝ棚 | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W1500*D450*H2000 | 1 | か所 | | | |
| F-5 掃除具入れ | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W600*D470*H1900 | 1 | か所 | | | |
| F-6 食器棚 | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W3600*D600*H2600 | 1 | か所 | | | |
| F-7 作業台 | ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>W4500*D600*H880 | 1 | か所 | | | |
| F-8 教師用調理台 | ﾒﾗﾐﾝﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ､天板・ｼﾝｸ:ｽﾃﾝﾚｽ<br>W2100*D900*H800 | 1 | か所 | | | |
| F-9 生徒用調理台 | ﾒﾗﾐﾝﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ､天板・ｼﾝｸ:ｽﾃﾝﾚｽ<br>W1800*D900*H800 | 4 | か所 | | | |
| F-10 ｱﾙﾐ枠平板白板 | ﾎｰﾛｰ製 抗菌・抗ｳｲﾙｽ対応<br>W2700*H1200 無地<br>ｱｲﾑ:A-AFW-02同等 | 4 | か所 | | | |
| F-10 ｱﾙﾐ枠平板白板 | ﾎｰﾛｰ製 抗菌・抗ｳｲﾙｽ対応<br>W1800*H1200 行事用<br>ｱｲﾑ:A-AFW-02同等 | 1 | か所 | | | |
| F-11 ｱﾙﾐ枠予約掲示白板 | ｶﾗｰ印刷対応<br>W1500*H900 行事用<br>ｱｲﾑ:A-MKW-105同等 | 1 | か所 | | | |
| F-12 ｱﾙﾐ枠引分け白板 | ﾎｰﾛｰ製 抗菌・抗ｳｲﾙｽ対応<br>W5260*H1500 ｽｸﾘｰﾝ対応<br>ｱｲﾑ:A-MKW-105同等 | 1 | か所 | | | |
| 姿見鏡 | W2640*H2000 | 2 | 枚 | | | |
| 手動昇降ﾊﾞﾄﾝ(ｹｰｽ入り) | ｱﾙﾐ合金押出形材､電解塗装<br>ﾊﾟﾄﾝﾊﾟｲﾌﾟφ25*4000 吊下荷重10kg<br>ｹｲ ｱｲｼｰ:KMB-CP4025同等 | 1 | か所 | | | |
| ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ巻上げｽｸﾘｰﾝ | ｱﾙﾐ合金押出形材､電解塗装<br>100ｲﾝﾁ(天板式HD16:10ｻｲｽﾞ)<br>ｹｲ ｱｲｼｰ:KM-WX100同等 | 1 | か所 | | | |
| 小計 | | | | | | |
| （トイレ設備） | | | | | | |

| 交流館 | ユニット及びその他 | | | 内部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 身障者用補助手摺 | L型 壁付<br>TOTO:T112CL10同等 | 6 | か所 | | | |
| 身障者用補助手摺 | 跳上げ<br>TOTO:T112HK8R同等 | 1 | か所 | | | |
| 身障者用補助手摺 | 小便器用<br>TOTO:T112CU22同等 | 1 | か所 | | | |
| ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ | TOTO:YKA24S同等 | 1 | か所 | | | |
| ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱｰ | TOTO:YKA16S同等　平面設置 | 1 | か所 | | | |
| ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱｰ | TOTO:YKA16S同等　ｺｰﾅｰ設置 | 1 | か所 | | | |
| 収納式多目的ｼｰﾄ | TOTO:EWC520ARS同等 | 1 | か所 | | | |
| 男子便所<br>洗面ｶｳﾝﾀｰ | ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰL1500*D600<br>TOTO:ﾂｲﾝﾃﾞｯｷｶｳﾝﾀｰ ｽﾍﾟｰｽｱｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ<br>(W500)MDWE(D=600)同等 | 1 | か所 | | | |
| 女子便所<br>洗面ｶｳﾝﾀｰ | ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰL1500*D600<br>TOTO:ﾂｲﾝﾃﾞｯｷｶｳﾝﾀｰ ｽﾍﾟｰｽｱｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ<br>(W500)MDWE(D=600)同等 | 1 | か所 | | | |
| 廊下 洗面ｶｳﾝﾀｰ | ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰL1600*D450<br>TOTO:ﾂｲﾝﾃﾞｯｷｶｳﾝﾀｰ ｽﾍﾟｰｽｱｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ<br>(W500)MDWE(D=600)同等 | 1 | か所 | | | |
| 化粧鏡 | 500*100<br>TOTO:MMA1同等 | 7 | か所 | | | |
| 小計 | | | | | | |
| （トイレブース） | | | | | | |
| TB-1<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板<br>W2992×D1490×H2400 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| TB-2<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板<br>付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| TB-3<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板<br>W 900×H2400 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| TB-4<br>ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | 高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板<br>W1240×D1390×H2400 付属金物一式共 | 1 | か所 | | | |
| 運搬費 | | 1 | 式 | | | |
| 取付費費 | | 1 | 式 | | | |
| （フリーフロアー） | | | | | | |

交流館　ユニット及びその他　内部

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 乾式二重床 | 高さ150<br>ﾌｸﾋﾞ:ﾌﾘｰﾌﾛｱｰ ｴｱﾛﾋﾞｸｽｼｽﾃﾑ同等 | 152 | m2 | | | |
| （サイン） | | | | | | |
| 突出型室名札 | 練付合板､ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼<br>W200*H200<br>研創:ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ同等 | 3 | か所 | | | |
| 平付型室名札 | 練付合板､ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼<br>W250*H60<br>研創:ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ同等 | 4 | か所 | | | |
| 平付型室名札 | 練付合板､ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼<br>W200*H200<br>研創:ｳｯﾄﾞｻｲﾝ ｽｸｴｱｺｰﾅｰﾀｲﾌﾟ同等 | 10 | か所 | | | |
| （その他） | | | | | | |
| 消火器 | ABC粉末消火器10型 | 3 | か所 | | | |
| 消火器ﾎﾞｯｸｽ | 全埋込式 W202*H693<br>ﾕﾆｵﾝ:UFB-1F-3017-PWH同等 | 3 | か所 | | | |
| ｷｰBOX | 30個用 鍵札付き | 1 | か所 | | | |
| 小計 | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 発生材処理 | | | 運搬 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 建設発生土運搬 | 地盤改良発生土 | 91 | m3 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | | 発生材処理 | | | 処分 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 建設発生土処分 | 地盤改良発生土 | 91 | m3 | | | |
| ｽｸﾗｯﾌﾟ控除 | H2 | ▲0.6 | t | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

屋外施設等　　囲障

| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目隠しﾌｪﾝｽ | H=1500<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:XW-1500M(PNﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ)<br>同等 | 61.8 | m | | | |
| 目隠しﾌｪﾝｽ | H=1500 PC基礎共<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:XW-1500M(PNﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ)<br>同等 | 5.2 | m | | | |
| 目隠しﾌｪﾝｽ | W1000*H1500 PC基礎共<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:XW-1500M(PNﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ)<br>同等 | 1 | か所 | | | |
| ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ | H=1200 PC基礎共<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:UN-A1200同等 | 21 | m | | | |
| 既存ﾌｪﾝｽ<br>ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉新設 | W1200*H1200 PC基礎共､南京錠共<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:UN片開き門扉同等 | 1 | か所 | | | |
| 既存ﾌｪﾝｽ<br>ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉新設 | W4000*H1200 PC基礎共､南京錠共<br>朝日ｽﾁｰﾙ工業:UN両開き門扉同等 | 1 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |

屋外施設等　構内舗装

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 盛土（B種） | 購入土　厚200程度<br>敷均し、締固め共 | 174 | m3 | | | |
| ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 | A-5-15 再生密粒 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ<br>500-1000㎡未満 | 960 | ㎡ | | | |
| ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 | 厚60､ｸｯｼｮﾝ砂厚30<br>基層:ｺﾝｸﾘｰﾄ版t70､砕石路盤RC-40 t100 | 144 | m2 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 | 歩道C-7-10<br>特に狭い場所 人力 路盤材共<br>再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6-150*150 | 88.9 | ㎡ | | | |
| 縁石 | 9-11-8　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ | 69 | m | | | |
| 歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ | A種（150/170x200）<br>再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ | 97 | m | | | |
| 歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ | C種（180/210x300）<br>再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ | 29 | m | | | |
| 花壇盛土 | 良質土 厚200程度 | 40 | m3 | | | |
| ﾗｲﾝ引き | 路面表示用塗料 白色 W=100 | 66.5 | m | | | |
| 停止線 | 路面表示用塗料 白色 W300*L6000 | 1 | か所 | | | |
| ｾﾞﾌﾞﾗﾗｲﾝ | 路面表示用塗料 1200*4000 | 1 | か所 | | | |
| 身障者ﾏｰｸ | 1500*1500程度 | 1 | か所 | | | |
| 車止め | ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(W600)<br>ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ止め | 64 | か所 | | | |
| 上下式ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞﾘｶｰ | φ76.3*H750(端部固定式)<br>ﾎﾟｰﾙ4本､SUSｸｻﾘ6φ11.5m､南京錠共<br>ｻﾝﾎﾟｰﾙ:LA-8K･LA-8UCE同等品 | 1 | 式 | | | |
| 上下式ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞﾘｶｰ | φ76.3*H750(端部固定式)<br>ﾎﾟｰﾙ5本､SUSｸｻﾘ6φ18.5m､南京錠共<br>ｻﾝﾎﾟｰﾙ:LA-8K･LA-8UCE同等品 | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | | 屋外排水 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| U字側溝 | 現場打 W240*H300~500<br>土工・地業共 (60.9m) | 1 | 式 | | | 別紙 00-0009 |
| U字側溝 | 360B型<br>土工・地業共 | 54.2 | m | | | |
| U字側溝溝蓋 | 360B型用(落蓋型)<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2) | 54.2 | m | | | |
| U字側溝溝蓋 | 現場打ち側溝W240用(落蓋型)<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2) | 13.1 | m | | | |
| U字側溝<br>溝蓋 | U形可変出入口Zｱﾝｸﾞﾙﾎﾞﾙﾄ固定ﾀｲﾌﾟ<br>ﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)<br>土工・地業共 | 7 | m | | | |
| 排水桝 | 既成桝 460*460*H700<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 2 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:250*250B(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 460*460*H800<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 1 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:250*250C(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 460*460*H1000<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 3 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:250*250D(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 520*520*H600<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 2 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:300*300A(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 520*520*H700<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 1 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:300*300B(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 520*520*H800<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 3 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:300*300C(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 630*630*H710<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 1 | か所 | | | |
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:400*400A(PU桝)同等 | | | | | |
| 排水桝 | 既成桝 630*630*H710<br>細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25)共<br>土工・地業共 | 1 | か所 | | | |

屋外施設等　屋外排水

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 共和:ｺﾝｸﾘｰﾄ:400*400C(PU桝)同等 | | | | | |
| 屋外配管埋設 | 硬質塩化ビニル管 Φ100 | 10.6 | m | | | |
| 屋外配管埋設 | 硬質塩化ビニル管 Φ125 | 53.2 | m | | | |
| 屋外配管埋設 | 硬質塩化ビニル管 Φ150 | 24.5 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | 工作物・その他 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 屋外独立看板 | ｱﾙﾐ製 合成樹脂焼付塗装<br>W900*D127*H3913 <A-50-⑬><br>ｺﾄﾌﾞｷ:ｱﾙﾌﾞﾗﾝｸUC-S712102同等 | 1 | か所 | | | |
| ｶｰﾎﾟｰﾄ | ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製､ｱﾙﾐ屋根材<br>W5810*D3300*H2500 <A-51-⑭><br>YKKAP:ﾌﾟﾚｰﾝﾙｰﾌ600ﾀｲﾌﾟ H25-58-33M | 1 | か所 | | | |
| | (ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ付)同等 | | | | | |
| ｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ | ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製､ｱﾙﾐ屋根材<br>W7884*D2000*H2000 <A-51-⑮><br>YKKAP:ﾙｼｱｽｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ750ﾀｲﾌﾟ<br>J-50-30-20同等 | 1 | か所 | | | |
| 屋外倉庫 | 鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ造<br>W2914*D1863*H2359 <A-51-⑯><br>淀川製作所:ﾖﾄﾞ物置ｴﾙﾓ LMD-2918同等 | 1 | か所 | | | |
| 屋外独立看板基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0010 |
| ｶｰﾎﾟｰﾄ基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0011 |
| ｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0012 |
| 屋外倉庫用土間 | W15000*D2800･W5300*D2000 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0013 |
| 室外機用基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0014 |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

交流館　直接仮設

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 遣方 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 |
| 遣方 | 一 般 | 641 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 墨出し | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0002 |
| 墨出し | 一 般<br>- - | 544 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 養生 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0003 |
| 養生 | 一 般<br>- - | 544 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 整理清掃<br>後片付け | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0004 |
| 整理清掃<br>後片付け | 一 般<br>- - | 544 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 外部足場 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0005 |
| 枠組本足場<br>(手すり先行方式) | 建枠 900×1700　布枠500+240<br>RC造標準日数 修理費含む<br>12m未満　1階建 建築面積　750㎡ | 658 | ㎡ | | | |
| 安全手すり<br>(手すり先行方式) | 枠組本足場用<br>RC造標準日数 修理費含む<br>建築面積　750㎡ | 141 | m | | | |
| 計 | | | | | | |

交流館　直接仮設

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内部足場 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0006 |
| 内部仕上足場 | RC造標準日数 修理費含む<br>脚立足場<br>階高4.0m以下　平家用 | 544 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 災害防止 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0007 |
| 養生ｼｰﾄ張り | 防炎性能 JIS A 8952 Ⅰ類<br>RC造標準日数 修理費含む　2階建<br>建築面積　300㎡ | 658 | ㎡ | | | |
| 水平ﾈｯﾄ（建方用） | | 544 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 仮設材運搬 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0008 |
| 仮設材運搬<br>(枠組本足場)<br>(手すり先行方式) | 建枠幅900(二枚布) | 658 | ㎡ | | | |
| 仮設材運搬<br>(安全てすり) | 枠組本足場用(手すり先行方式) | 141 | m | | | |
| 仮設材運搬<br>(内部仕上足場<br>脚立足場) | 平家建 | 544 | ㎡ | | | |
| 仮設材運搬<br>(ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類) | | 658 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ﾌﾟﾚｶｯﾄ加工料金 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0017 |
| 基本加工料 | | 165 | 坪 | | | |
| 運賃 | | 1 | 式 | | | |
| 垂木加工 | | 165 | 坪 | | | |
| 間柱加工 | | 165 | 坪 | | | |
| 筋交加工 | | 165 | 坪 | | | |
| 窓台・まぐさ加工 | | 148 | 本 | | | |
| 隅谷木先カット | | 1 | 本 | | | |
| 隅谷木先カット | | 1 | 本 | | | |
| 野地合板カット | | 1,012 | 枚 | | | |
| 隅谷木しのぎ | | 72 | m | | | |
| 柱紙巻 | 3M | 8 | 本 | | | |
| 柱モルダー | 3M | 8 | 本 | | | |
| 柱超仕上げ | 3M | 8 | 本 | | | |
| 現し梁プレーナー | | 173 | m | | | |
| 現し梁紙巻き | | 173 | m | | | |
| 現し束・火打プレーナー | | 9 | 本 | | | |
| 現し束・火打紙巻き | | 9 | 本 | | | |
| 登り梁 | 途中加工なし | 94 | 本 | | | |
| HB工法 | 金物取付有 | 80 | か所 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| ﾌﾟﾚｶｯﾄ加工料金 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0017 |
| 長尺梁加工 | | 7 | 本 | | | |
| 平角　通柱加工 | | 8 | 本 | | | |
| つなぎ登り梁加工 | | 692 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 土台 | 檜KD　広島県産材<br>120 x 120 x 4000 | 32 | 本 | | | |
| 土台 | 檜KD　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 31 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 120 x 4000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 4 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD　広島県産材<br>110 x 120 x 4000 | 6 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD　広島県産材<br>110 x 120 x 3000 | 4 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（米松）　E135<br>180 x 600 x 9000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 6000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 4000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 3000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 6000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 4000 | 7 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 3000 | 9 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 6000 | 5 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 5000 | 7 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 4000 | 42 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 3000 | 34 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 4000 | 21 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 3000 | 16 | 本 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 150 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 150 x 3000 | 5 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 4000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 7 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 91 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 91 x 3000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>90 x 90 x 3000 | 256 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 6000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 5000　三面現し | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 4000　三面現し | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 3000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 6000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 5000　三面現し | 4 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 4000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 240 x 3000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 3000　三面現し | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 4000　三面現し | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 3000　三面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 150 x 3000　四面現し | 7 | 本 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 330 x 5000　三面現し | 4 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 570 x 9000　四面現し | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 330 x 4000　四面現し | 4 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 330 x 3000　四面現し | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 210 x 3000　四面現し | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 180 x 3000　四面現し | 10 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 750 x 9000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 600 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 450 x 7000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 450 x 5000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 450 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 420 x 8000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 390 x 6000 | 16 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 390 x 5000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 390 x 4000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 390 x 3000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 360 x 6000 | 3 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 360 x 5000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 360 x 4000 | 2 | 本 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 330 x 4000 | 2 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 300 x 7000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 300 x 6000 | 1 | 本 | | | |
| 桁・梁 | EW（RW）<br>120 x 210 x 7000 | 3 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 5000 | 1 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 210 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 150 x 3000 | 2 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 4000 | 121 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 101 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 105 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 母屋 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>90 x 90 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 4000 | 4 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 270 x 3000 | 2 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 6000 | 1 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 5000 | 1 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 4000 | 4 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 隅木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 105 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 隅木 | EW(RW)<br>120 x 420 x 6000 | 1 | 本 | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 横架材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 谷木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 4000 | 2 | 本 | | | |
| 谷木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 180 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 棟木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 270 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 棟木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 270 x 3000 | 5 | 本 | | | |
| 棟木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 210 x 4000 | 6 | 本 | | | |
| 棟木 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>105 x 210 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 柱材 材料費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019 |
| 管柱 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 6000 | 2 | 本 | | | |
| 管柱 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 4000 | 72 | 本 | | | |
| 管柱 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 82 | 本 | | | |
| 小屋束 | 杉KD（JAS）　広島県産材<br>120 x 120 x 3000 | 139 | 本 | | | |
| 小屋束 | EW（RW)柱　四面現し<br>120 x 120 x 3000 | 6 | 本 | | | |
| 化粧柱 | EW（RW）　四面現し<br>120 x 300 x 4000 | 6 | 本 | | | |
| 化粧柱 | EW（RW）　四面現し<br>120 x 180 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 化粧柱 | EW（RW）　四面現し<br>120 x 180 x 3000 | 1 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 羽柄材 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0020 |
| 垂木 | 杉KD　広島県産材<br>45 x 90 x 4000 | 328 | 本 | | | |
| 垂木 | 杉KD　広島県産材<br>45 x 90 x 3000 | 739 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 45 x 4000 | 43 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 45 x 3000 | 113 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 30 x 4000 | 57 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 30 x 3000 | 126 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>110 x 45 x 4000 | 1 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>110 x 45 x 3000 | 32 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 45 x 3000 | 44 | 本 | | | |
| 間柱 | 杉KD　広島県産材<br>120 x 30 x 3000 | 52 | 本 | | | |
| 屋根合板 | 針葉樹合板　特類<br>12 x 910 x 1820 | 589 | 枚 | | | |
| 屋根合板 | 針葉樹合板　特類<br>24 x 1000 x 2000 | 423 | 枚 | | | |
| 仮筋交 | WW・KD<br>30 x 40 x 4000 | 180 | 本 | | | |
| 雲筋交 | 桧<br>15 x 90 x 4000 | 80 | 枚 | | | |
| 窓台・窓まぐさ | 杉KD　広島県産材<br>45 x 120 x 3000 | 110 | 本 | | | |
| 耐力壁面材 | 針葉樹合板　特類<br>9 x 910 x 1820 | 370 | 枚 | | | |
| 幅桟 | 杉KD<br>45 x 45 x 3000 | 115 | 本 | | | |
| 受桟 | 杉KD<br>45 x 45 x 3000 | 165 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |

| 交流館 | 木工 | | | 構造 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| 金物費用 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0021 |
| 金物費 | 建方、柱脚柱頭、登梁、引寄金物他 | 1 | 式 | | | |
| ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ | 土台用<br>L型　M12x400 | 190 | 本 | | | |
| ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ | 柱脚用<br>L型　M16x600 | 42 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | | 屋外排水 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| U字側溝 | 現場打 W240*H300~500<br>土工･地業共（60.9m） | 1 | 式 | | | 別紙 00-0009 |
| 根切り | 小規模土工<br>- | 33.5 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 42.6 | ㎡ | | | |
| 埋戻し(B種) | 小規模土工 発生土 | 14.3 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 19.2 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 4.3 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=18　S15<br>粗骨材20 | 2.1 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 14.3 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設<br>-　S15～S18<br>-　- | 2.1 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 14.3 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 116 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 116 | ㎡ | | | |
| 打放し面補修 | B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい | 48.7 | ㎡ | | | |
| ｽﾘｰﾌﾞ | | 32 | か所 | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D10 | 0.41 | t | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D13 | 0.28 | t | | | |
| ｽｸﾗｯﾌﾟ 控除 | H2（250*0.7=175） | ▲18 | kg | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物<br>-　- | 0.66 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | 4ｔ車　30km程度 | 0.66 | t | | | |
| 側溝底ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | 金ごて 幅300 | 60.9 | m | | | |

| 屋外施設等 | | 屋外排水 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| U字側溝 | 現場打 W240*H300~500<br>土工･地業共（60.9m） | 1 | 式 | | | 別紙 00-0009 |
| 笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ<br>直均し仕上げ | 金ごて 幅300 | 122 | m | | | |
| 計 | | | | | | |

| 屋外施設等 | | 工作物・その他 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 屋外独立看板基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0010 |
| 根切り | 小規模土工<br>- | 2.4 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 1.2 | ㎡ | | | |
| 埋戻し(B種) | 小規模土工 発生土 | 1.7 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 0.7 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 0.1 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=18　S15<br>粗骨材20 | 0.1 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 0.5 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設<br>-　S15～S18<br>-　- | 0.1 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 0.5 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 2 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 2 | ㎡ | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D13 | 0.04 | t | | | |
| ｽｸﾗｯﾌﾟ控除 | H2（250*0.7=175） | ▲1 | kg | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物<br>-　- | 0.04 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | 4ｔ車　30km程度 | 0.04 | t | | | |
| ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ埋込み<br>(B種) | 径13～16(間柱等) 取付手間 | 8 | 本 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | 工作物・その他 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ｶｰﾎﾟｰﾄ基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0011 |
| 根切り | 小規模土工<br>- | 9.4 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 5.1 | ㎡ | | | |
| 埋戻し(B種) | 小規模土工 発生土 | 6.5 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 2.9 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 0.5 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=18　S15<br>粗骨材20 | 0.3 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 2.8 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設<br>-　S15～S18<br>-　- | 0.3 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 2.8 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 9.4 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 9.4 | ㎡ | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D10 | 0.08 | t | | | |
| ｽｸﾗｯﾌﾟ控除 | H2（250*0.7=175） | ▲2 | kg | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物<br>-　- | 0.07 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | 4ｔ車　30km程度 | 0.07 | t | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | 工作物・その他 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0012 |
| 根切り | 小規模土工<br>- | 7.4 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 4.3 | ㎡ | | | |
| 埋戻し(B種) | 小規模土工 発生土 | 5.7 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 1.7 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 0.4 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=18　S15<br>粗骨材20 | 0.2 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 1.6 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設<br>-　S15～S18<br>-　- | 0.2 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 1.6 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 8.1 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 8.1 | ㎡ | | | |
| 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用<br>異形棒鋼 | JIS G3112 SD295　D10 | ▲0.08 | t | | | |
| ｽﾗｯﾌﾟ控除 | H2（250*0.7=175） | ▲2 | kg | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物<br>-　- | 0.1 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | 4ｔ車　30km程度 | 0.1 | t | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | | 工作物・その他 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 屋外倉庫用土間 | W15000*D2800･W5300*D2000 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0013 |
| すきとり | 積み込み共 H300程度 | 5.3 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 52.6 | ㎡ | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 5.3 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 5.3 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 10.5 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 10.5 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 10 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 10 | ㎡ | | | |
| ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ | φ6-150*150 | 52.6 | m2 | | | |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | 金ごて 直均し仕上げ | 52.6 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 屋外施設等 | | 工作物・その他 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
| 室外機用基礎 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0014 |
| すきとり | 積み込み共 H300程度 | 0.9 | m3 | | | |
| 床付け | つぼ,布掘り | 6.1 | ㎡ | | | |
| 建設発生土処理 | 構内敷均し | 0.9 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 再生切込砕石 | 0.9 | m3 | | | |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | JIS A5308　FC=21　S15<br>粗骨材20 | 1.4 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎等　S15～S18<br>-　- | 1.4 | m3 | | | |
| 型枠 | 小型構造物用型枠<br>擁壁、囲障の基礎等 -<br>- | 5 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費 | 4ｔ車　30km程度 往復 | 5 | ㎡ | | | |
| ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ | φ6-150*150 | 9.1 | m2 | | | |
| 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ | 金ごて 直均し仕上げ | 9.1 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 室内空気中化学物質の測定 | ﾊﾟｯｼﾌﾞ法　5項目<br>5ヵ所 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0016 |
| 仮囲い | 成形鋼板<br>H=2.0m<br>10ヶ月 | 165 | m | | | |
| ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ | W6.0xH1.8　10ヶ月 | 1 | か所 | | | |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ<br>(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型) | 25t吊り　　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料<br>標準 | 20 | 日 | | | |
| 交通誘導員 | | 10 | 人 | | | |
| 情報共有ｼｽﾃﾑ登録料 | | 1 | 式 | | | |
| 騒音･振動計 | 騒音・振動表示装置<br>基本料、ソフト、補償料、持込料、<br>引取料共　賃料 10ヶ月 | 2 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 室内空気中化学物質の測定 | ﾊﾟｯｼﾌﾞ法　5項目<br>5ヵ所 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0016 |
| 試料採取費 | 5ヶ所 | 1 | 式 | | | |
| 報告書作成費 | | 1 | 式 | | | |
| 分析費 | | 5 | か所 | | | |
| 材料費等 | | 5 | か所 | | | |
| 交通費 | | 1 | 式 | | | |
| 諸経費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |